

島本町水道事業ビジョン



令和3（2021）年3月

島本町上下水道部

目 次

第 1 章 「島本町水道事業ビジョン」の策定に当たって	1
1.1 策定の趣旨	1
1.2 ビジョンの位置付け	2
1.3 計画期間	2
第 2 章 島本町水道事業のあゆみ	4
2.1 島本町の概要	4
2.2 水道事業の概要	5
2.2.1 水道事業の沿革	5
2.2.2 水道施設の概要	6
第 3 章 水道事業の現状評価と課題	13
3.1 前ビジョンの進捗評価	13
3.1.1 前ビジョンの施策体系	13
3.1.2 施策の進捗評価	15
3.2 事業の分析・評価	17
3.2.1 現状評価の着眼点	17
3.2.2 安全な水の供給は保証されているのか	18
3.2.3 危機管理への対応は徹底されているのか	19
3.2.4 水道サービスの持続性は確保されているのか	24
3.3 お客さまニーズ	31
3.3.1 アンケート調査に基づくお客さまニーズの把握	31
3.3.2 アンケート調査結果	31
3.4 対応すべき課題の整理	45
第 4 章 将来の事業環境	46
4.1 給水人口と水需要の見通し	46
4.2 給水収益の見通し	47
4.3 施設の老朽化と更新需要の増大	48
4.4 水道事業を担う人材の育成と技術の継承	50
4.5 お客さまニーズの把握	51

第5章 基本理念と理想像	52
5.1 基本理念	52
5.2 理想像設定	52
第6章 目標設定と推進する実現方策	53
6.1 施策体系図	53
6.2 「安全」に対する具体的な施策	54
6.3 「強靱」に対する具体的な施策	55
6.4 「持続」に対する具体的な施策	58
第7章 中長期経営計画（経営戦略）	61
7.1 策定の趣旨	61
7.2 計画の位置付け	61
7.3 計画期間	62
7.4 経営の基本方針	62
7.5 経営の状況	63
7.5.1 経営の健全性・効率性	63
7.5.2 老朽化の状況	67
7.5.3 総 評	69
7.6 経営目標	70
7.7 投資・財政計画（収支計画）	71
7.7.1 投資計画	71
7.7.2 財政計画	73
7.7.3 投資・財政計画（収支計画）	74
7.7.4 投資・財政計画（収支計画）の総括	81
7.7.5 今後の取り組み	83
第8章 進 捗 管 理	84
資 料 編	
1. 総務省 経営戦略ひな形様式による投資・財政計画（収支計画）	資 1-1～ 4
2. 用語集	資 2-1～ 3
3. アンケート調査【結果報告書】	資 3-1～90

第1章 「島本町水道事業ビジョン」の策定に当たって

1.1 策定の趣旨

島本町（以下「本町」という。）は、明治 22（1889）年の市制町村制の施行に伴い、大沢・尺代・山崎・東大寺・広瀬・桜井・高浜の 7 つの村が合併し、島本村が誕生し、それ以降、鉄道沿線にある立地などから、大阪近郊の工業地として発展し、昭和 15（1940）年に町制を施行しました。

本町の水道事業は、昭和 34（1959）年に給水を開始して以来、60 年の歴史があります。この間、人口増、生活様式の向上、産業構造の高度化等による水需要の拡大に対応するため、4 次に及ぶ拡張事業で浄水場をはじめとする水道施設の整備を進めてきました。また、「拡張」から「維持管理」の時代へと移行し、水道施設の多くが更新時期を迎えていることなど、早急にその更新に取り組む必要があります。

平成 24（2012）年 7 月には、水道事業の将来像とその実現のための施策目標や施策方針などをまとめた『島本町地域水道ビジョン』（以下「前ビジョン」という。）を策定し、いつでもどこでも安全でおいしい水を低廉に供給することを目指して、施設や管路の整備事業を実施するとともに、経費削減等により効率的な事業運営に努めてきました。

平成 22（2010）年頃から我が国の総人口は減少局面に転じ、平成 23（2011）年 3 月には東日本大震災が発生するなど、水道を取り巻く環境がこれまでとは大きく変化したことから、厚生労働省では、平成 25（2013）年 3 月に、これまでの「水道ビジョン」の改訂ではなく、来るべき時代に求められる課題に挑戦するため、「安全」、「強靱」、「持続」を水道の理想像とした「新水道ビジョン」を公表されました。

「新水道ビジョン」では、水道の給水対象としてきた「地域」とその需要者との間において築きあげてきた「信頼」の概念を重要視し、関係者が共有する基本理念を「地域とともに、信頼を未来につなぐ日本の水道」とし、関係者それぞれが取組に挑戦することとしており、各水道事業者は、この「新水道ビジョン」に基づき、「水道事業ビジョン」の策定を進めています。

本町水道事業においても、今後、水道施設の更新需要が増大する中で、給水人口や料金収入の減少が想定されるなど、非常に厳しい事業環境の変化に直面することが予想されます。

このような水道事業をとりまく環境の変化や今後の水道事業の課題に対応するため、「前ビジョン」の進捗評価、見直しを行うとともに、「新水道ビジョン」を踏まえた『島本町水道事業ビジョン』（以下「新ビジョン」という。）を策定するものです。

1.2 ビジョンの位置付け

新ビジョンでは、「第五次島本町総合計画」及び厚生労働省の「新水道ビジョン」を上位計画とし、前ビジョンの進捗管理、事業の現状分析及びアンケート調査による課題の明確化を行い、将来の事業環境を示すとともに、大阪府が策定した「大阪府水道整備基本構想（おおさか水道ビジョン）」との整合を図りながら、「安全」、「強靱」、「持続」の観点からその目標を実現するための施策を示します。

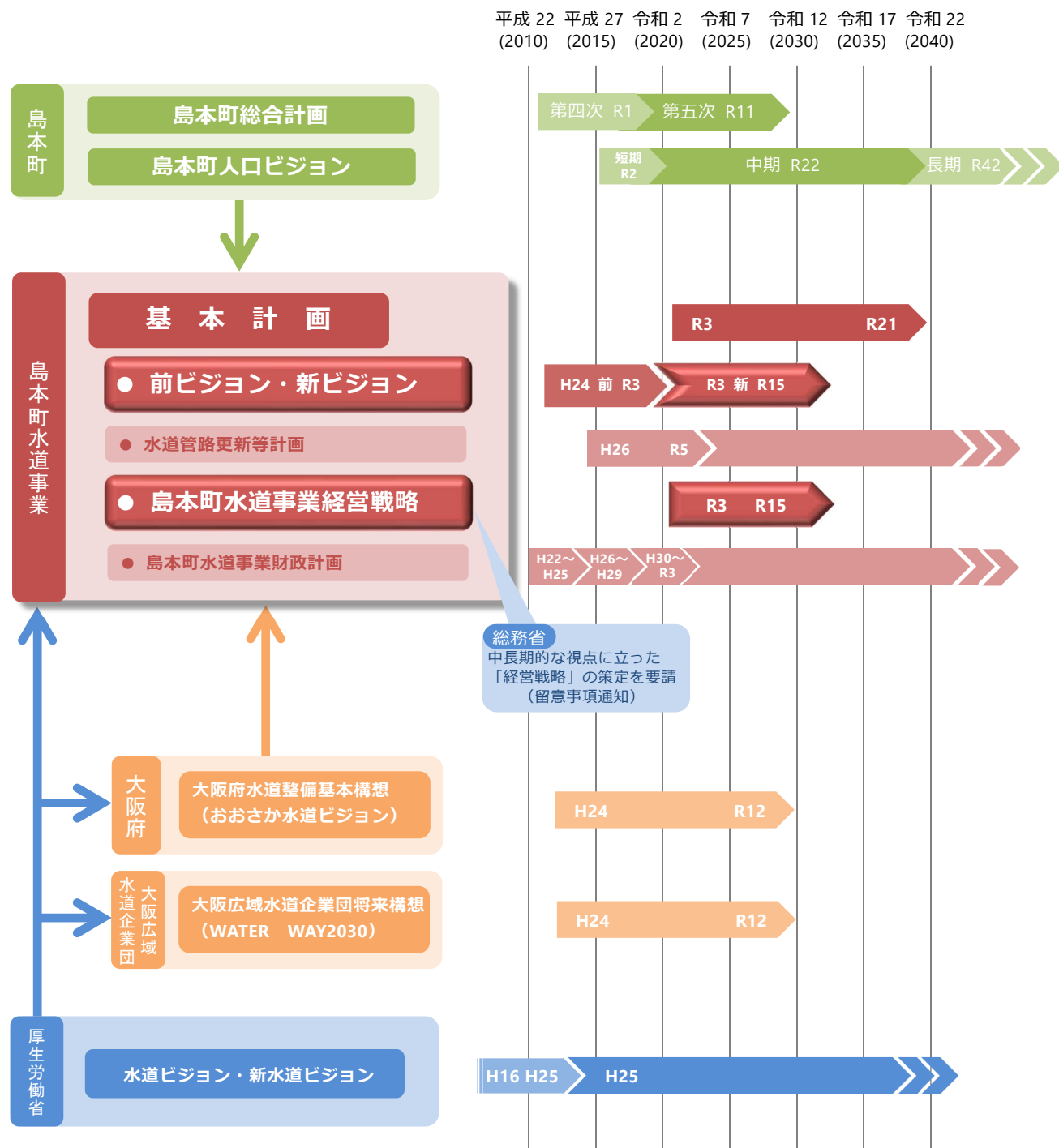
また、施設整備などの支出に係るものを投資計画とし、今後の収入の見通しを財政計画として、これら投資と財源の均衡が図られるよう調整した投資・財政計画を、「中長期経営計画（経営戦略）」として策定しています。これは、総務省が平成 26（2014）年 8 月 29 日に通知した「公営企業の経営に当たっての留意事項について」において、策定を推奨している「経営戦略」に位置付けられるものです。

1.3 計画期間

本町のまちづくりの指針となる「第五次島本町総合計画基本構想」におけるまちの将来像の実現を目的とし、計画期間については、令和 3（2021）年度から令和 15（2033）年度までの 13 年間とします。



上下水道部庁舎



図表 1-1 新ビジョンの位置付けと計画期間

第2章

島本町水道事業のあゆみ

2.1

島本町の概要

本町は、大阪府の北東部、京都府との府境に位置し、東は淀川を隔てて枚方市及び京都府八幡市と相對し、南及び西は高槻市と、北は京都府京都市・長岡京市・大山崎町に隣接しています。

町域は 16.81 km²の面積を有し、東西約 3.3 km、南北約 8.9 kmと細長い形状で、標高は、最低点が淀川で 8.5m、最高点が北部の釈迦岳で 631.4m、高低差は約 623mあり、北・中部に山岳丘陵地が広がり、町域の約 7 割を占め、南部の平坦地に市街地を形成しています。南東部では木津川、宇治川、桂川の三川が合流して淀川となり、その右岸側に位置しています。



図表 2-1 本町の位置

2.2 水道事業の概要

2.2.1 水道事業の沿革

本町の水道事業は、昭和 33（1958）年に大阪府知事の創設事業認可を得て事業に着手し、昭和 34（1959）年に給水を開始して以来、60 年が経過しています。

現在は、計画給水人口 32,100 人、計画一日最大給水量 10,300m³/日で事業を運営しており、水量の内訳は、令和元（2019）年度では、地下水を水源とし大薮浄水場でつくられた水（以下「自己水」という。）が約 90%、淀川を水源とし大阪広域水道企業団の村野浄水場でつくられた水（以下「企業団水」という。）が約 10%となっています。

図表 2-2 水道事業の沿革

年 次（年）	事業名 等	計画給 水人口 （人）	計画一日 最大給水量 （m³/日）	概 要
昭和 33（1958）	創設	16,000	3,200	総事業費 約 40 億 1,800 万円 取水施設：深井戸（8 井） 浄水施設：大薮浄水場施設外 送水施設：送水ポンプ、送水管外 配水施設：配水池、配水管外
昭和 34（1959）	給水開始			
昭和 40（1965） ～昭和 48（1959）	第 1 次 拡張	20,000	7,800	
昭和 48（1965） ～昭和 63（1988）	第 2 次 拡張	30,000	15,000	
昭和 63（1988） ～平成 10（1998）	第 3 次 拡張	35,000	16,400	総事業費 約 5 億 8,400 万円 大阪府営水道（約 1,000 m³/日）受水 取水施設：深井戸（2 井） 導水施設：導水管（大阪府営水道）外
平成 15（2003）	第 4 次 拡張	32,100	13,400	総事業費 約 11 億 1,600 万円 給水区域拡張（尺代簡易水道統合外） 浄水施設：急速ろ過池更新外 送水施設：送水ポンプ、送水管外 配水施設：配水池、配水管外
平成 20（2008）	第 4 次 変更	32,100	11,700	総事業費 約 11 億 1,600 万円 取水地点・浄水処理方法の変更
令和元（2019）	第 4 次 変更	32,100	10,300	総事業費 約 8 億 2,500 万円 取水地点・浄水処理方法の変更

※ 大阪府営水道は、平成 22（2010）年度に大阪広域水道企業団に事業を引き継ぎ、大阪広域水道企業団は、平成 23（2011）年度に大阪市を除く大阪府内 42 市町村が共同で設立した特別地方公共団体（一部事務組合）です。

2.2.2 水道施設の概要

(1) 取水施設

取水施設は、水源から原水を取水するための施設です。現在は、町域内にある 7 箇所の井戸から原水を取水しています。

図表 2-3 取水施設の概要

取水施設名	水源種別	適正揚水量(認可値) (m ³ /日)	完成年 (年度)	経過年数 (年)
水無瀬（さく井 1 号）	地下水	1,100	昭和 33（1958）	61
国木原（さく井 4 号）	〃	1,300	平成 12（2000） （2重ケーシング）	19
堀 込（さく井 10 号）	〃	1,300	平成 6（1994）	25
鳥 合（さく井 11 号）	〃	1,600	平成 8（1996）	23
大藪 3 号（さく井 12 号）	〃	1,600	平成 13（2001）	18
天 葉（さく井 13 号）	〃	1,300	平成 19（2007）	12
第二大藪（さく井 14 号）	〃	1,600	平成 31（2019）	0

（令和元年度末現在）



大藪 3 号取水場



第二大藪取水場

(2) 浄水施設

浄水施設は、取水した原水を浄水にするための施設です。本町水道事業の唯一の浄水場である大藪浄水場は、平成 20（2008）年より、急速ろ過池やエアレーション設備などの浄水処理施設の更新や耐震化に着手し、令和元（2019）年度末には、概ね整備が完了しております。1 日に原水を浄水にできる水量を示す施設能力は、12,000m³/日です。

図表 2-4 浄水施設の概要

浄水場名	処理方法	施設能力 (m^3)	完成年 (年度)	経過年数 (年)
大藪浄水場 (浄水処理施設)	エアレーション + 急速ろ過	12,000	昭和 50 (1975) ～令和元 (2019)	44

(令和元年度末現在)



大藪浄水場 急速ろ過池



大藪浄水場 高速凝集沈澱池

(3) 送配水施設

送配水施設は、浄水場でつくられた水道水をお客さまへ配るための施設です。配水池(浄水池を含む。)が6箇所、ポンプ室が4箇所あります。配水池の概要を図表 2-5 に、ポンプ室の概要を図表 2-6 に示します。

図表 2-5 配水池の概要

配水池名	構造	有効容量 (m^3)	完成年 (年度)	経過年数 (年)	備 考
大 藪 浄 水 場 浄 水 池	RC	500	平成 28 (2016)	2	
第 一 高 区 配 水 池	RC	150	昭和 37 (1962)	57	
第 二 高 区 配 水 池	PC	2,000	昭和 51 (1976)	43	平成 24(2012)年度 耐震補強
第 三 低 区 配 水 池	PC	5,000	昭和 50 (1975)	44	平成 21(2009)年度 耐震補強
第 四 低 区 配 水 池	PC	3,000	平成 7 (1995)	24	
尺 代 配 水 池	SUS	100	平成 15 (2003)	16	

注) SUS : ステンレス製 RC : 鉄筋コンクリート製 PC : プレストレスコンクリート製
(令和元年度末現在)



第三,四低区配水池



第二高区配水池

図表 2-6 ポンプ所の概要

ポンプ所名	構造	建屋面積 (m ²)	完成年 (年度)	経過年数 (年)	備 考
低 区 送 水 ポ ン プ 室	RC	214	平成 25 (2013)	6	耐震性能あり
第二高区中継ポンプ室	RC	72	昭和 51 (1976)	43	
尺代ブースターポンプ室	RC (地下ピット)	—	昭和 51 (1976)	43	耐震性能あり
山 崎 加 圧 ポ ン プ 室	ブロック	25	昭和 50 (1975)	44	

注) RC : 鉄筋コンクリート製

(令和元年度末現在)



低区送水ポンプ室



山崎加圧ポンプ室

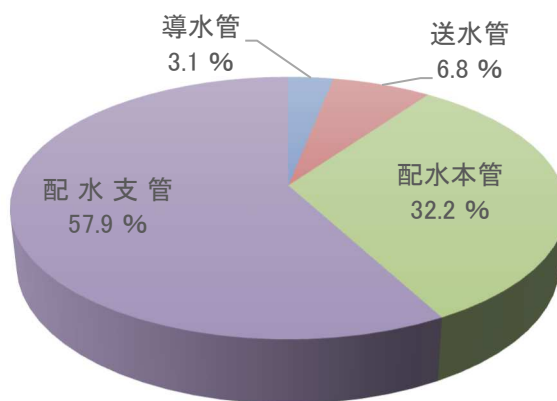
(4) 管路

管路は、町内に全長約 91 kmが布設されています。その内訳は、基幹管路である井戸から浄水場に原水を送る導水管、浄水場から配水池に浄水を送る送水管、配水池から水道水を配る配水本管が合せて約 38 kmが布設されており、その他配水支管が約 53 km布設されています。また、全管路のうち約 58%は、口径φ100 mm以下の小口径管が占めており、管路の材質別では、主なものでダクタイル鋳鉄管類が約 80%、ポリエチレン管類が約 13%を占めています。

図表 2-7 用途別管路延長

用 途		延長 (m)	構成比 (%)
基幹管路	導水管	2,866	3.1
	送水管	6,168	6.8
	配水本管 (φ150 以上)	29,196	32.2
	小 計	38,230	42.1
配水支管		52,547	57.9
計		90,777	100.0

(令和元年度末現在)

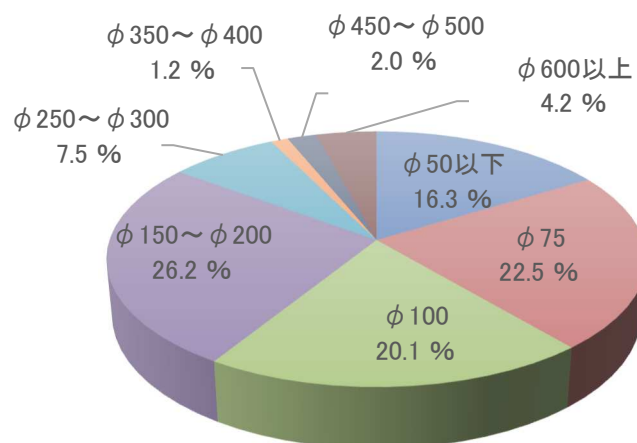


【用途別延長構成比】

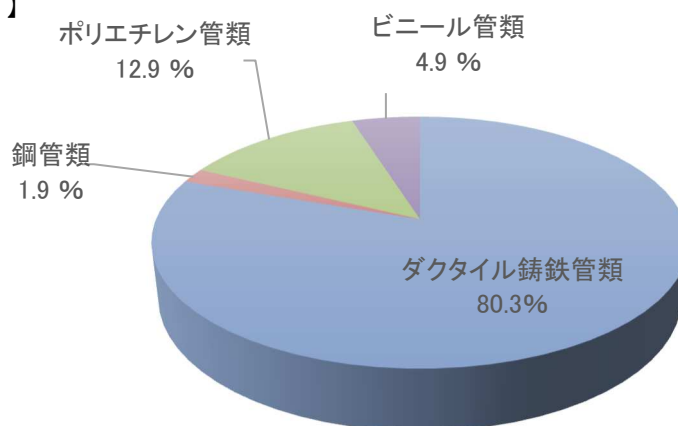
図表 2-8 口径別管種別管路延長

材 質 口径(mm)	ダクタイル 鋳鉄管類	鋼管類	ポリエチ レン管類	ビニール 管類	合計 (m)	構成比 (%)
φ 50 以下		118	11,111	3,577	14,806	16.3
φ 75	19,390	39	582	400	20,411	22.5
φ 100	16,436	1,259	1	512	18,208	20.1
φ 150～φ 200	23,707	94	0	1	23,802	26.2
φ 250～φ 300	6,740	58	0	0	6,798	7.5
φ 350～φ 400	1,099	0	0	0	1,099	1.2
φ 450～φ 500	1,721	110	0	0	1,831	2.0
φ 600 以上	3,822	0	0	0	3,822	4.2
合計 (m)	72,915	1,678	11,694	4,490	90,777	100.0
構成比 (%)	80.3	1.9	12.9	4.9	100.0	

(令和元年度末現在)



【 口径別延長構成比 】



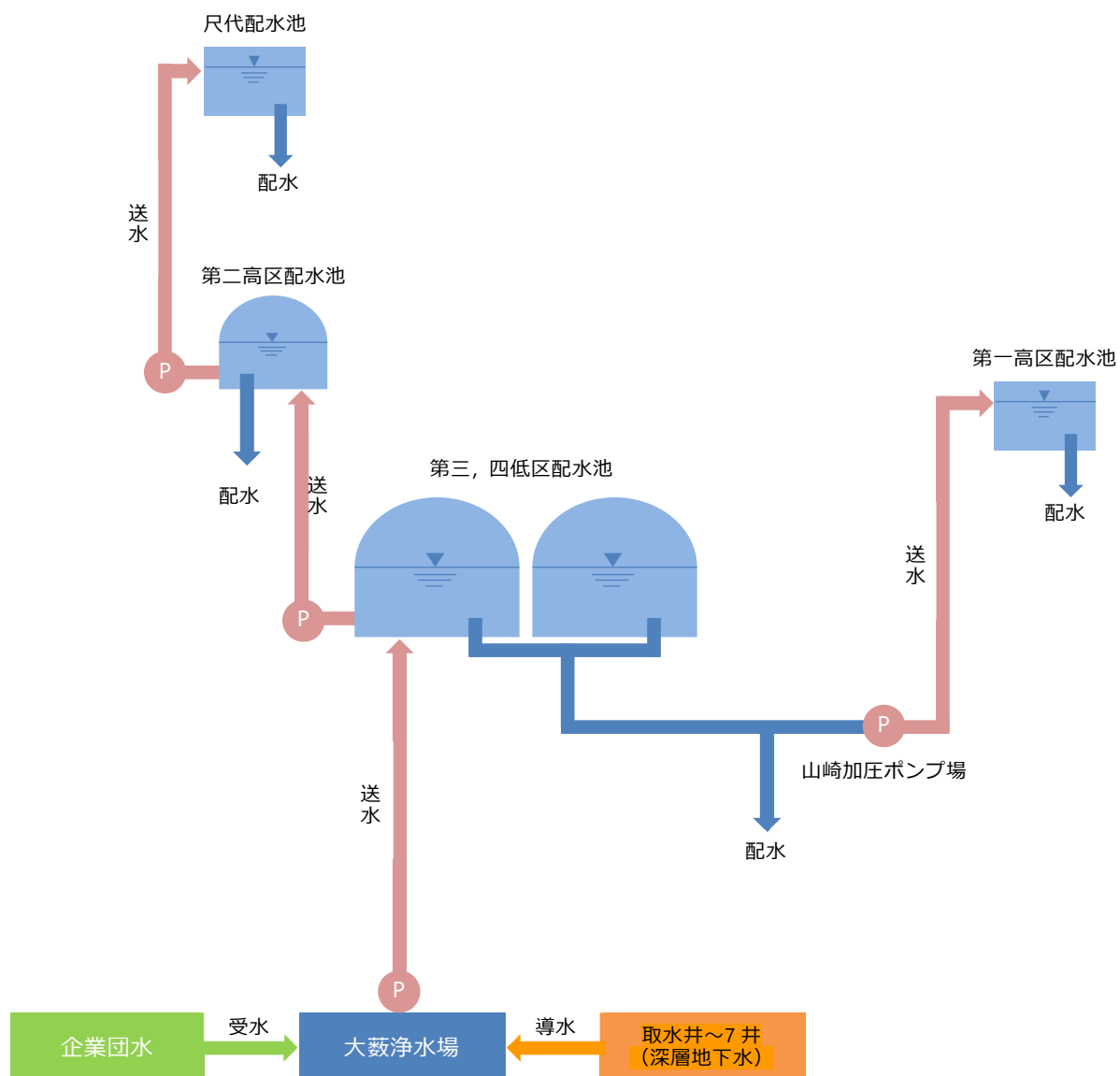
【 管種別延長構成比 】

(5) 給水区域



図表 2-9 水道施設の位置と給水区域

(6) 水道施設フロー図



図表 2-10 施設フロー図

第3章

水道事業の現状評価と課題

3.1 前ビジョンの進捗評価

前ビジョンでは、「いつでもどこでも安全でおいしい水を低廉に供給する」を基本理念とし、「安心」、「安定」、「持続」及び「環境」の4つの視点における政策目標、目標を実現するための実現方策を掲げ、事業を推進してきました。

3.1.1 前ビジョンの施策体系

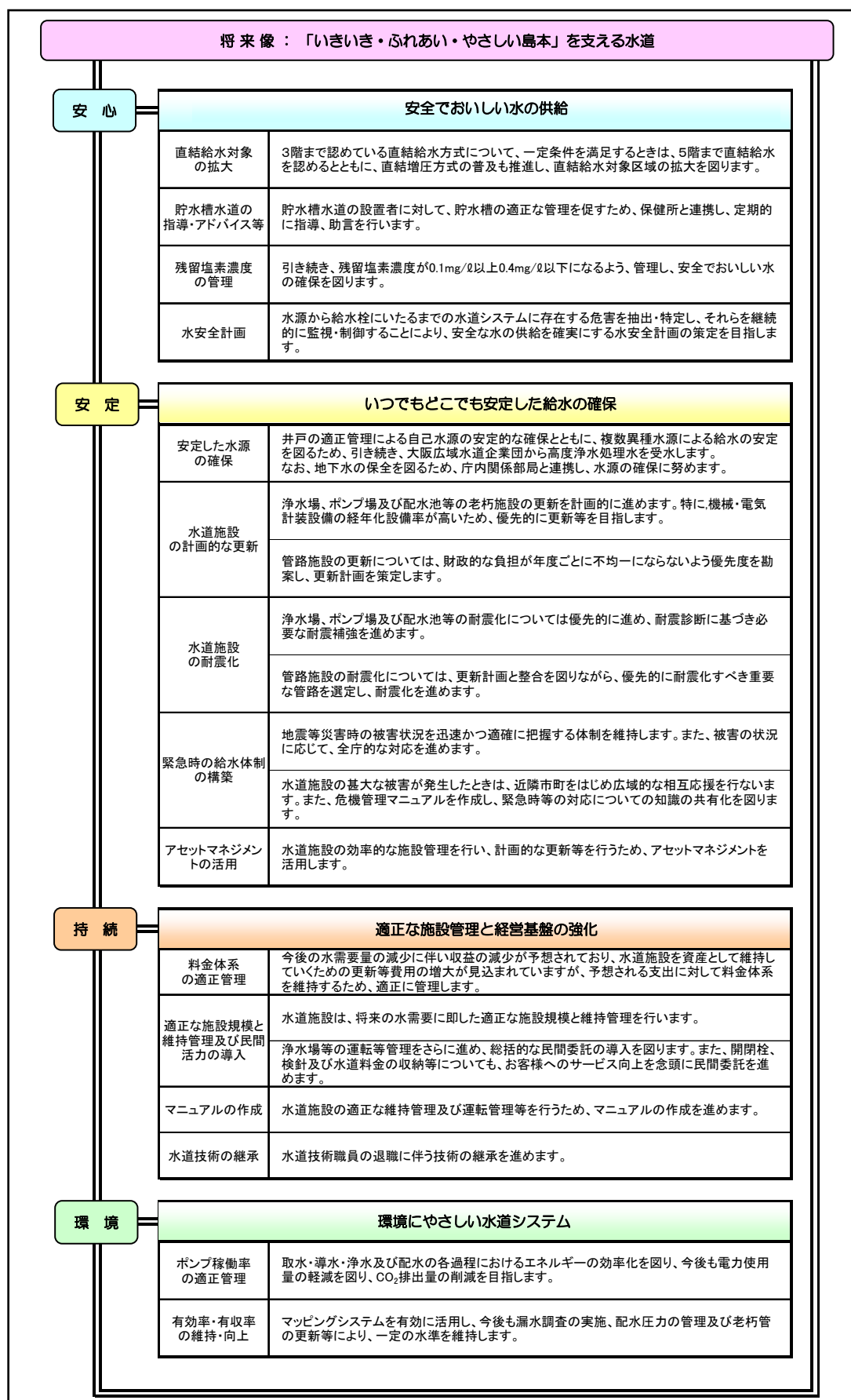
(1) 将来像

『いきいき・ふれあい・やさしい島本』を支える水道

(2) 目標の設定

業務指標における目標値						
施策	業務指標番号	業務指標	現状(平成22年度)		目標(平成33年度)	
			指標値	評価	指標値	評価
安心	1115	直結給水率	54.9%	C	75.0%	B
	1117	鉛製給水管率	0.4%	C	0.0%	A
安定	2102	経年化設備率	63.9%	C	10.0%	A
	2207	浄水施設耐震率	0.0%	C	100.0%	A
	2208	ポンプ場耐震施設率	0.0%	C	100.0%	A
	2209	配水池耐震施設率	59.0%	C	100.0%	A
	2210	管路の耐震化率	8.3%	C	35.0%	B
持続	3001	営業収支比率	111.4%	B	112.0%	B
	3018	有収率	93.9%	B	94.0%	B
	3020	施設最大稼働率	88.2%	B	90.0%	A
環境	4001	配水量1m ³ 当たり電力消費量	0.9kwh/m ³	-	0.8kwh/m ³	-

(3) 実現方策



3.1.2 施策の進捗評価

令和元（2019）年度におけるPI値を算出し施策の進捗評価を行います。

図表 3-1 業務指標による進捗評価表

前ビジョンの目標設定値					現状進捗評価				類似事業体
施策 (旧)	業務指 標番号 (旧)	業務指標	現状 平成 22 (2010)	目標 令和 3 (2021)	施策 (新)	業務指 標番号 (新)	現状 令和元 (2019)	達成率 令和元 (2019)	現状 平成 29 (2017)
			指標値	指標値			指標値		指標値
安心	1115	直結給水率	54.9%	75.0%	安全	A204	53.8%	0.0%	1.4%
	1117	鉛製給水管率	0.4%	0.0%		A401	0.0%	100.0%	2.6%
安定	2102	経年化設備率	63.9%	10.0%	強靱	B502	54.3%	17.8%	41.9%
	2207	浄水施設耐震率	0.0%	100.0%		B602	100.0%	100.0%	22.4%
	2208	ポンプ場耐震施設率	0.0%	100.0%		B603	74.7%	74.7%	21.6%
	2209	配水池耐震施設率	59.0%	100.0%		B604	98.5%	96.3%	39.6%
	2210	管路の耐震化率	8.3%	35.0%		B605	15.7%	27.7%	5.6%
持続	3001	営業収支比率	111.4%	112.0%	持続	C101	98.6%	0.0%	101.8%
	3018	有収率	93.9%	94.0%		B112	94.4%	100.0%	84.3%
	3020	施設最大稼働率	88.2%	90.0%		B105	93.6%	100.0%	72.9%
環境	4001	配水量 1 m ³ 当たり 電力消費量	0.9kwh/m ³	0.8kwh/m ³		B301	0.73kwh/m ³	100.0%	0.52kwh/m ³

図表 3-1 業務指標による進捗評価表に見られるように、全 11 項目の目標設定の内、予定より遅れている項目は 6 項目となっています。それぞれの分析結果は次のとおりです。

■ 直 結 給 水 率 = 直結給水件数 / 給水件数 × 100 (%)

現在、5 階建てまでの建物への給水については、直結給水方式を採用し、6 階建て以上の建物への給水については、増圧ポンプの設置が困難であることから「受水槽水道方式」を採用しています。

近年の大型開発等により、中高層住宅が増加傾向にあるため、直結給水率を向上させる事は困難な状況にあります。

そのため、大阪府茨木保健所と連携し貯水槽の衛生管理の充実に努めています。

■ 経年化設備率 = 法定耐用年数を超えている機械・電気・計装設備などの合計
 / 機械・電気・計装設備などの合計 × 100 (%)

これまでは、基幹施設である配水池の耐震化や浄水場の更新等を優先的に実施し、平成 26 (2014) 年度からは、水道管路更新等計画に基づき管路の更新及び耐震化を実施しているところです。

現状としては、類似事業体平均に比べて低い水準にありますが、今後はアセットマネジメント手法による、計画的な経年化設備の更新に努めます。

■ 耐震化率 = 耐震対策の施された施設または管路
 / 施設または管路の合計 × 100 (%)

ポンプ場及び配水池に関しては、類似事業体平均に比べて高い水準にあります。引き続き、早期達成を目指します。

管路につきましては、水道管路更新等計画に基づき計画的に耐震化を実施するとともに、公共下水道事業に伴う水道管支障移設に併せて耐震化を実施しております。今後は、最重点課題として耐震化率の向上に努めます。

■ 営業収支比率 = (営業収益 - 受託工事収益)
 / (営業費用 - 受託工事費) × 100 (%)

平成 22 (2010) 年度は 111.4%と高い水準を示しており、より高く推移するよう計画しましたが、令和元 (2019) 年度は 98.6%と低い値を示しています。

この主な要因は、給水収益の減少傾向によるものですが、損益収支全体では黒字基調が続いており問題はありません。今後とも、100%以上を維持できるよう収入の確保と経費の縮減に努めます。

3.2.1 現状評価の着眼点

新ビジョンの策定にあたっては、本町水道事業の現状を整理し、課題を把握しておくことが必要となります。そのため、本町水道事業の現状を「安全（安全な水の供給は保証されているか）」・「強靱（危機管理への対応は徹底されているか）」・「持続（水道サービスの持続性は確保されているか）」という3つの観点から評価分析し、課題の抽出を行いました。なお、現状評価・課題の抽出にあたっては、前ビジョンの進捗評価と同様「水道事業ガイドライン」に基づく業務指標（PI 値）を活用しました。

安全

安全な水の供給は保証されているのか

- 水質管理体制
- 貯水槽水道の管理

強靱

危機管理への対応は徹底されているのか

- 施設の耐震性
- 管路の耐震性
- 緊急時の給水体制

持続

水道サービスの持続性は確保されているのか

- 安定した水源の確保
- 施設・設備の老朽化の状況
- 管路の老朽化の状況
- 有収率の維持・向上
- 人材の育成と技術の継承
- 広域連携への対応
- 財政状況

3.2.2 安全な水の供給は保証されているのか

① 水質管理体制

水質検査箇所密度 (A202)

$$= \text{水質検査箇所数} / \text{給水区域*面積} \times 100 \text{ (箇所/百 km}^2\text{)}$$

指 標 名	単位	島本町	類似団体 平均 (全国)	望ましい 方向性	評価	備 考
水質検査箇所密度	箇所/ 百 km ²	73.5	—	↑	○	給水区域単位面積当たりの水質検査箇所の割合を表している。

水質管理体制については、業務指標 (PI 値) より「水質検査箇所密度」について、現状評価を行い、課題の抽出を行いました。

水質検査箇所密度を見ると、本町水道事業の場合令和元 (2019) 年度において 73.5 箇所/百 km² であり、府下類似平均の 31.5 箇所/百 km² に比べ高い値を示しています。

② 貯水槽水道の管理

貯水槽水道指導率 (A205)

$$= \text{貯水槽水道指導件数} / \text{貯水槽水道総数} \times 100 \text{ (\%)}$$

指 標 名	単位	島本町	類似団体 平均 (全国)	望ましい 方向性	評価	備 考
貯水槽水道指導率	%	14.6	—	↑	△	貯水槽に対する調査、指導の割合を示し、水質の安全性への取組状況を表している。

ビルやマンション等の建築物では、水道から供給された水をいったん受水槽に貯め、これをポンプで加圧して各ご家庭に供給しています。これらの設備を一般的に貯水槽水道といいます。貯水槽水道のうち、有効容量 10m³ 以下の小規模貯水槽水道は水道法の適用を受けません。小規模貯水槽水道の管理が適切に行われていない場合は、水質の悪化等、衛生面における問題が生じる恐れがあります。

対策として、「小規模貯水槽水道の管理指導要領」を定め、小規模貯水槽水道の衛生管理及び水質汚染時の措置について必要な事項を示すとともに、大阪府茨木保健所と連携し、設置者等による自己管理責任の徹底を図っています。

3.2.3 危機管理への対応は徹底されているのか

① 施設の耐震性

■ 浄水施設

浄水施設の耐震化率（B602）

$$= \text{耐震対策の施された浄水施設能力} / \text{全浄水施設能力} \times 100 (\%)$$

指 標 名	単位	島本町	類似団体 平均 (全国)	望ましい 方向性	評価	備 考
浄水施設の 耐震化率	%	70.1	22.4	100.0	○	浄水施設の耐震化率で、地震災害に対する安全性を表している。

業務指標（PI 値）にて浄水施設の耐震化率を見ると、平成 20（2008）年度より、急速ろ過池の更新に併せて耐震化を実施しており、令和元（2019）年度で、耐震化率は 70.1%ですが、同年度末時点で浄水場耐震化工事が完了しましたので、現在では 100% となっております。

■ ポンプ所

ポンプ所の耐震化率（B603）

$$= \text{耐震対策の施されているポンプ所能力} / \text{全ポンプ所能力} \times 100 (\%)$$

指 標 名	単位	島本町	類似団体 平均 (全国)	望ましい 方向性	評価	備 考
ポンプ所の耐震化率	%	68.9	21.6	100.0	○	ポンプ設備を設置している水道施設の耐震率で、地震災害に対する安全性を表している。

業務指標（PI 値）にてポンプ所の耐震化率を見ると、令和元（2019）年度において 68.9%と高く、全国類似平均の 21.6%に比べても高い値を示しています。

図表 3-2 ポンプ所耐震化状況

ポンプ所名	構造	完成年 (年度)	経過年数 (年)	送水能力 (m³/日)	耐震 性能	耐震化能力 (m³/日)	備 考
低 区 送 水 ポ ン プ 室	RC	平成 25 (2013)	6	12,000	有	12,000	浄水能力と 同じとした
第二高区中継ポンプ室	RC	昭和 51 (1976)	43	5,040	無	0	
尺代ブ-スターポンプ室	RC	昭和 51 (1976)	43	290	有	290	
山 崎 加 圧 ポ ン プ 室	ブロック	昭和 50 (1975)	44	520	無	0	
計				17,850		12,290	耐震化率 68.9%

注) RC : 鉄筋コンクリート製

(令和元年度末現在)

■ 配水池

配水池の耐震化率 (B604)

$$= \text{耐震対策の施されている配水池容量} / \text{配水池総容量} \times 100 (\%)$$

指 標 名	単位	島本町	類似団体 平均 (全国)	望ましい 方向性	評価	備 考
配水池の耐震化率	%	98.5	39.6	100.0	○	配水池等の耐震率で、地震災害に対する安全性を表している。

業務指標 (PI 値) にて配水池耐震化率を見ると、令和元 (2019) 年度において 98.5% と高く、全国類似平均の 39.6% に比べても高い値を示しています。

図表 3-3 配水池耐震化状況

配水池名	構造	完成年 (年度)	経過年数 (年)	有効容量 (m³)	耐震 性能	耐震化容量 (m³)	備 考
第一高区配水池	RC	昭和 37 (1962)	57	150	無	0	
第二高区配水池	PC	昭和 51 (1976)	43	2,000	有	2,000	平成 24(2012)年度 耐震補強
第三低区配水池	PC	昭和 50 (1975)	44	5,000	有	5,000	平成 19(2007)年度 緊急遮断弁設置 平成 21(2009)年度 耐震補強
第四低区配水池	PC	平成 7 (1995)	24	3,000	有	3,000	平成 19(2007)年度 緊急遮断弁設置
尺 代 配 水 池	SUS	平成 15 (2003)	16	100	有	100	
計				10,250		10,100	耐震化率 98.5%

注) SUS : ステンレス製 RC : 鉄筋コンクリート製 PC : プレストレスコンクリート製

(令和元年度末現在)

② 管路の耐震性

管路の耐震化率（B605）

$$= \text{耐震管路延長} / \text{管路総延長} \times 100 (\%)$$

基幹管路の耐震化率（B606）

$$= \text{基幹管路のうち耐震管路延長} / \text{基幹管路延長} \times 100 (\%)$$

基幹管路の耐震適合率（B606-2）

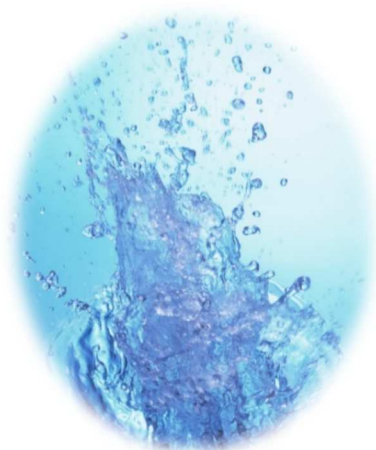
$$= \text{基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長} / \text{基幹管路延長} \times 100 (\%)$$

指 標 名	単位	島本町	類似団体 平均 (全国)	望ましい 方向性	評価	備 考
管路の耐震化率	%	15.7	10.1	100.0	△	管路の耐震化率または耐震適合率で、地震災害に対する安全性を表している。
基幹管路の 耐震化率	%	23.2	19.0	100.0	△	
基幹管路の 耐震適合率	%	38.7	27.6	100.0	△	

業務指標（PI 値）にて管路の耐震化率、基幹管路（導水管・送水管・配水本管）の耐震化率及び耐震適合率を見ると、令和元（2019）年度において、それぞれ 15.7%、23.2% 及び 38.7%を示し、全国類似団体平均のそれぞれ 10.1%、19.0%及び 27.6%に比べて高い値を示しています。

管路の耐震化については、平成 26（2014）年度より、「水道管路等更新計画」に基づき、配水本管（φ150 mm以上の配水管）の更新に併せて耐震化を優先的に進めています。

今後は、導水管や送水管の耐震化についても、計画的に進めていく必要があります。

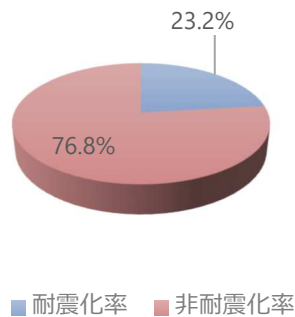


図表 3-4 管路の耐震化率、耐震適合率

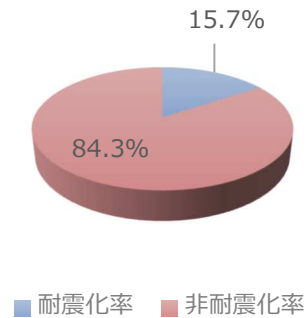
		基幹管路				その他管路				計			
		耐震管	耐震適合管	非耐震管	計	耐震管	耐震適合管	非耐震管	計	耐震管	耐震適合管	非耐震管	計
延長 (m)	導水管	64		2,802	2,866					64		2,802	2,866
	送水管	1,574	1,642	2,952	6,168					1,574	1,642	2,952	6,168
	配水管	7,217	4,280	17,699	29,196	5,350	5,893	41,304	52,547	12,567	10,173	59,003	81,743
	計	8,855	5,922	23,453	38,230	5,350	5,893	41,304	52,547	14,205	11,815	64,757	90,777
耐震 化率	導水管	2.2%		97.8%	100.0%	-	-	-	-	2.2%		97.8%	100.0%
	送水管	25.5%	26.6%	47.9%	100.0%	-	-	-	-	25.5%	26.6%	47.9%	100.0%
	配水管	24.7%	14.7%	60.6%	100.0%	10.2%	11.2%	78.6%	100.0%	15.4%	12.4%	72.2%	100.0%
	計	23.2%	15.5%	61.3%	100.0%	10.2%	11.2%	78.6%	100.0%	15.7%	13.0%	71.3%	100.0%

(令和元年度末現在)

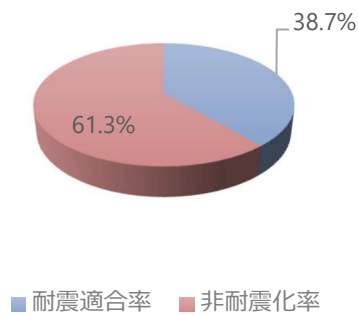
耐震化率（基幹管路）



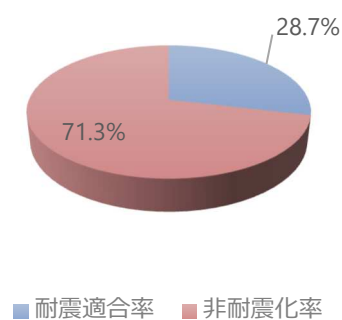
耐震化率（全体）



耐震適合率（基幹管路）



耐震適合率（全体）



③ 緊急時の給水体制

ソフト面においては、「危機管理対策マニュアルの整備状況」「災害時の応援体制」及び「必要な資機材の確保状況」について現状評価を行い、課題の抽出を行いました。

■ 危機管理対策マニュアルの整備状況

大規模な水道水の濁りが発生した場合、被害の最小化に努めるため、「水道水濁り対応マニュアル」を整備しておりますが、自然災害などの危機事象への対応が不十分な状況にあります。

■ 災害時の応援体制

災害時に本町水道事業単独での活動では限界があるため、近隣水道事業体との相互連絡網の整備や他の水道事業体や関係事業者等との応援協定は結んでいますが、その際の人員配置の考え方や受援体制の構築について検討する必要があります。

■ 必要な資機材の確保状況

応急給水施設密度（B611）

$$= \text{応急給水施設数} / \text{現在給水面積} \times 100$$

指 標 名	単位	島本町	類似団体 平均 (全国)	望ましい 方向性	評価	備 考
給水車保有度	箇所/ 100 k m ²	171.6	17.3	↑	○	災害、事故等に対する給水の安定性、危機対応性を表している。

危機管理対策マニュアルを整備し、応援協定で人員確保が出来たとしても、災害時に必要な水の確保並びに資材（管材料等）や機具が十分でないと満足な活動は出来ません。よって、応急給水のための応急給水施設の状況を、業務指標（PI 値）で見ると、171.6 箇所/100 k m² で全国類似平均 17.3 箇所/100km² に比べ高い値を示しています。

3.2.4 水道サービスの持続性は確保されているのか

① 安定した水源の確保

本町の水源は、自己水と企業団水で構成しており、そのうち、自己水が約 90%を占め、複数水源を確保することで安定した水源の確保に努めています。

図表 3-5 自己水と企業団水の推移

水源種別	平成 27 (2015)	平成 28 (2016)	平成 29 (2017)	平成 30 (2018)	令和元 (2019)
自 己 水 (m ³)	2,819,209	2,885,180	2,944,410	2,846,014	2,896,825
企 業 団 水 (m ³)	328,170	328,090	327,970	328,040	327,560



② 施設・設備の老朽化の状況

施設・整備の老朽化の状況は、アセットマネジメント手法を用いた資産状況により老朽度を建築、土木、機械、電気及び計装に分け、それぞれ資産額で見ますと、健全資産の割合は土木建築等の施設は 97～99%と高いですが、機械電気の設備に関しては、35～57%と低く老朽化資産が半数近く存在しています。

図表 3-6 施設・設備の老朽化状況

(単位 上段：千円 下段：%)

	健全資産	経年化資産	老朽化資産	計
建築	1,132,451	32,651	0	1,165,102
	97.2	2.8	0.0	100.0
土木	3,228,909	29,445	0	3,258,354
	99.1	0.9	0.0	100.0
電気	565,024	67,575	960,160	1,592,759
	35.5	4.2	60.3	100.0
機械	563,964	0	415,115	979,079
	57.6	0.0	42.4	100.0
計装	361,078	36,289	291,538	688,905
	52.4	5.3	42.3	100.0
計	5,851,426	165,960	1,666,813	7,684,199
	76.1	2.2	21.7	100.0

(令和元年度末現在)

図表 3-7 資産の区分（施設・設備）

名 称	算 式
健 全 資 産	経過年数が法定耐用年数以内の資産額
経年化資産	経過年数が法定耐用年数の 1.0～1.5 倍の資産額
老朽化資産	経過年数が法定耐用年数の 1.5 倍を超えた資産額

③ 管路の老朽化の状況

管路の老朽化の状況は、アセットマネジメント手法を用いた資産状況により老朽度を、導水管、送水管、配水本管（φ150 以上）及び、配水支管（φ100 以下）に分け、それぞれ延長で見ますと、健全資産は全体で約 63%、残りは経年化資産で老朽化資産は存在していません。

今後は、アセットマネジメント手法による計画的な更新を行い健全化に努めていきます。

図表 3-8 管路の老朽化状況

（単位 上段：m 下段：％）

	健全資産	経年化資産	老朽化資産	計
導水管	1,438	1,428	0	2,866
	50.2	49.8	0.0	100.0
送水管	2,806	3,362	0	6,168
	45.5	54.5	0.0	100.0
配水本管	15,507	13,689	0	29,196
	53.1	46.9	0.0	100.0
配水支管	37,642	14,905	0	52,547
	71.6	28.4	0.0	100.0
計	57,393	33,384	0	90,777
	63.2	36.8	0.0	100.0

（令和元年度末現在）

図表 3-9 資産の区分（管路）

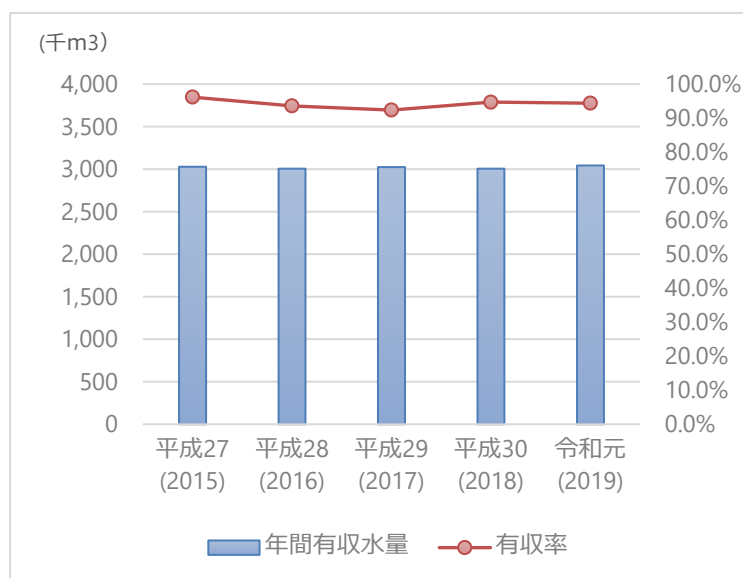
名 称	算 式
健 全 管 路	経過年数が法定耐用年数以内の管路延長
経年化管路	経過年数が法定耐用年数の 1.0～1.5 倍の管路延長
老朽化管路	経過年数が法定耐用年数の 1.5 倍を超えた管路延長

④ 有収率の維持・向上

配水量のうち、水道料金として収入に結びついた水量の割合を示す有収率は、令和元（2019）年度で 94.4%であり、近年は比較的高い水準を保っています。引き続き、有収率の維持・向上に努めていく必要があります。

図表 3-10 年間有収水量と有収率の推移

項 目	平成 27 (2015)	平成 28 (2016)	平成 29 (2017)	平成 30 (2018)	令和元 (2019)
年間有収水量 (m ³)	3,028,603	3,006,216	3,024,310	3,006,196	3,043,252
有 収 率 (%)	96.2	93.6	92.4	94.7	94.4



⑤ 人材の育成と技術の継承

本町水道事業に係る組織体制は2課で構成され、令和元（2019）年度における再任用職員を除く職員数は全体で8名です。その内訳は、事務職員が6名、技術職員が2名となっています。

今後も安定的な事業運営に向けて、増加する管路の更新等への対応や施設の維持管理に係る技術及び経営的ノウハウの継承が可能となるよう、人材育成と年代のバランスのよい組織構成を維持していく必要があります。

図表 3-11 業務内容

担当課	主 な 業 務 内 容
業 務 課	・ 庶務、経理、予算・決算の編成・管理、職員の給与・福利厚生に関する業務 ・ 水道料金の徴収・還付、量水器の検針及び開閉栓などに関する業務
工 務 課	・ 浄水・配水施設の操作・維持管理、水道の水質に関する業務 ・ 給水装置工事、開発協議、地下埋設物の協議、漏水調査などに関する業務 ・ 水道施設に関する計画・設計・施工監理、維持管理などに関する業務

図表 3-12 年齢別職員構成表

項 目	水 道 事 業 会 計					
	事務職員		技術職員		全 体	
	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)
55 歳以上 60 歳未満	1	16.7	—	—	1	12.5
50 歳以上 55 歳未満	1	16.7	—	—	1	12.5
45 歳以上 50 歳未満	1	16.7	2	100.0	3	37.5
40 歳以上 45 歳未満	—	—	—	—	—	—
35 歳以上 40 歳未満	—	—	—	—	—	—
30 歳以上 35 歳未満	1	16.7	—	—	1	12.5
25 歳以上 30 歳未満	2	33.3	—	—	2	25.0
～25 歳未満	—	—	—	—	—	—
合 計	6	100.0	2	100.0	8	100.0
平均年齢	41.5 歳		47.0 歳		42.9 歳	

(令和元年度末現在)

⑥ 広域連携への対応

大阪府では、平成 24（2012）年 3 月に策定された大阪府水道整備基本構想（おおさか水道ビジョン）で示された広域化のロードマップにおいて、短期的には業務の共同化を進めながら、中期的には経営の一体化、事業統合を行い、長期的には大阪広域水道企業団を核とした府域一水道を目指すとされています。

また、平成 30（2018）年 12 月に可決されました改正水道法では、広域連携の推進が求められており、本町水道事業においても、より効率的で安定的な事業運営に向けた広域連携について、検討していく必要があります。

⑦ 財政状況

本町水道事業の財政収支状況を評価するに当たり、「経常収支比率」及び「自己資本構成比率」について現状評価を行い、課題の抽出を行いました。

■ 経常収支比率

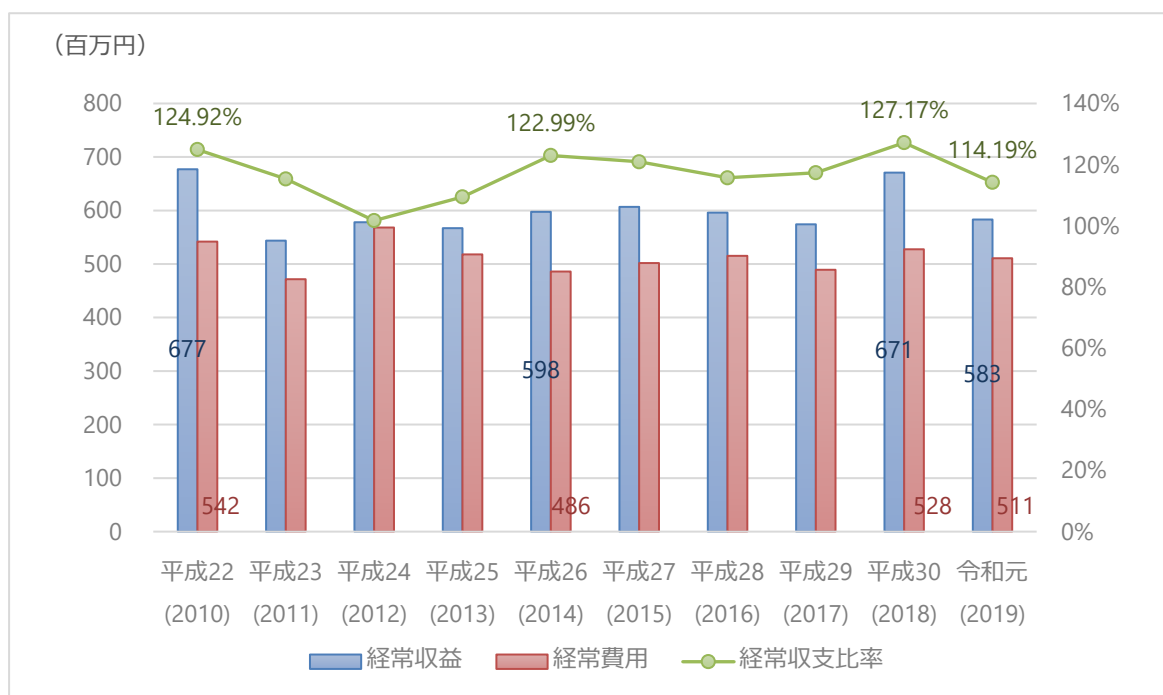
経常収支比率（C102）

$$= (\text{営業収益} + \text{営業外収益}) / (\text{営業費用} + \text{営業外費用}) \times 100 (\%)$$

指 標 名	単位	島本町	類似団体 平均 (全国)	望ましい 方向性	評価	備 考
経常収支比率	%	114.2	112.0	↑	○	災害、事故等に対する給水の安定性、危機対応性を表している。

経常収支比率とは、経常収益（営業収益＋営業外収益）の経常費用（営業費用＋営業外費用）に対する割合を示し、100%以上であることが望ましく、本町水道事業においては、平成 22（2010）年度から令和元（2019）年度にかけて 101.7%から 114.2%へと 100%以上で推移し、全国類似平均の 112.0%に比べ高く、良好な状況を示しています。

図表 3-13 経常収支比率



■ 自己資本構成比率

自己資本構成比率（C119）

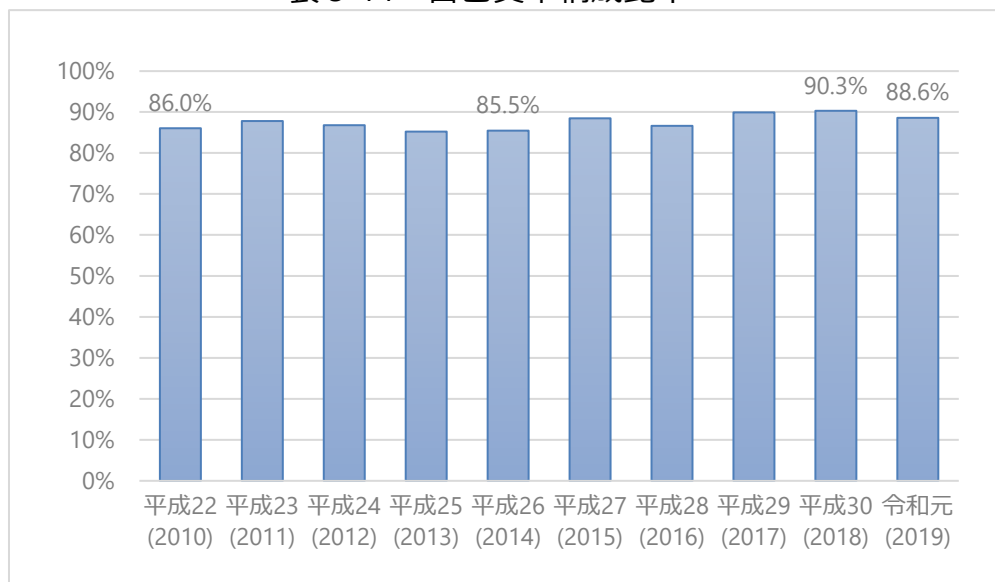
$$= (\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}) / \text{負債} \cdot \text{資本合計} \times 100\%$$

指 標 名	単位	島本町	類似団体 平均 (全国)	望ましい 方向性	評価	備 考
自己資本構成比率	%	88.6	68.7	↑	○	総資本（負債及び資本）に占める自己資本の割合を示し、財務の健全性を表している。

自己資本構成比率とは、総資本（負債及び資本）に占める自己資本の割合を示し、財務の健全性を表し、高い方が財務的に安定していると言えます。

本町水道事業の場合、平成 22（2010）年度の 86.0%からわずかな増減を繰り返しながら推移し、令和元（2019）年度は、88.6%を示し、全国平均の 68.7%に比べ全体に高い値を維持し、財務が健全であることを示しています。

表 3-14 自己資本構成比率



3.3 お客さまニーズ

3.3.1 アンケート調査に基づくお客さまニーズの把握

本アンケートは、令和2（2020）年2月にお客さまの水道の利用状況、ご意見等を伺って、新ビジョンの策定の基礎資料とするため、一般用途（大沢地区特設水道を除く口径20ミリ以下）で水道水をお使いのみなさまの中から無作為に抽出した2,000人を対象に実施しました。

調査内容は、「お客さまの属性」、「水道水の安全性とおいしさ」、「水道水の利用状況」、「水道料金」、「お客さまサービス」、「今後の水道事業の経営と災害対策」、「情報の提供」の7つの視点に基づき設定しました。このアンケート調査結果をもとに、お客さまニーズを把握します。

3.3.2 アンケート調査結果

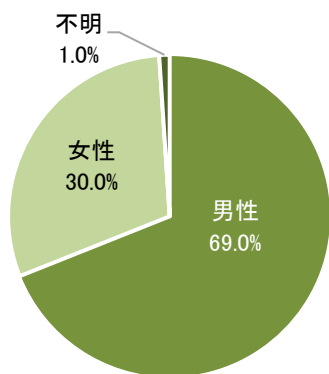
アンケート調査結果はホームページ及び資料編に掲載していますが、概要は以下のとおりです。

（1）お客様の属性

- 性別は男性が69%
- 年齢層は60歳以上が約61%、40～59歳が約27%、39歳以下が約12%
- 住宅形式は集合住宅が約58%と戸建てより多い。

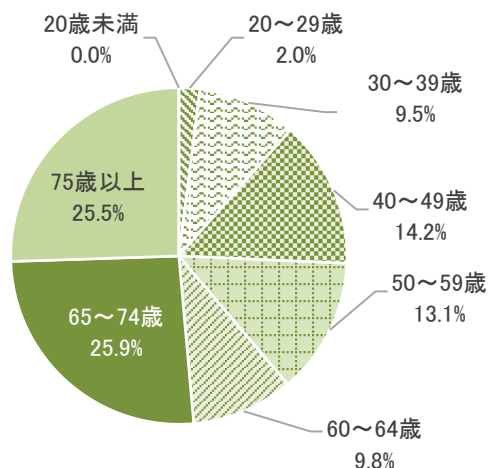
『問1』

あなたの性別を教えてください。（単数回答）



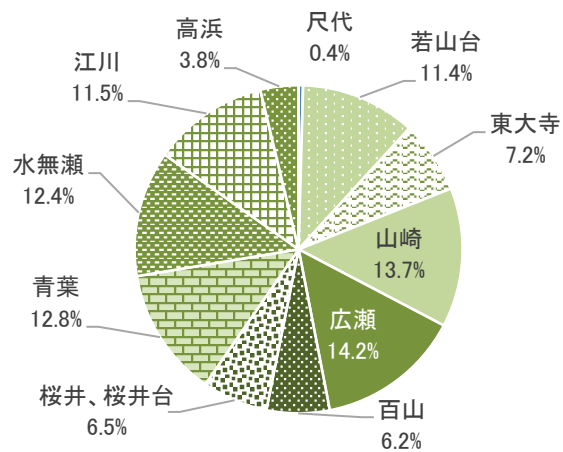
『問2』

あなたの年齢（令和元年12月31日時点）を教えてください。（単数回答）



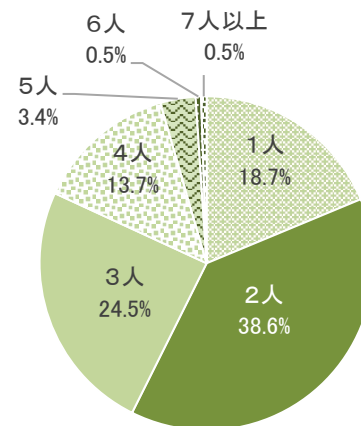
『問 3』

あなたが水道を使用している地区を教えてください。(単数回答)



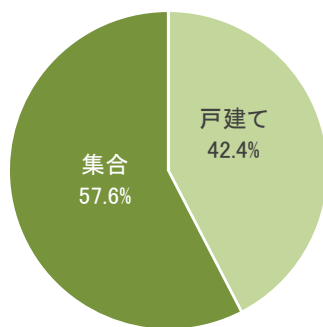
『問 4』

あなたのお宅で水道を使用されている人数を教えてください。(単数回答)



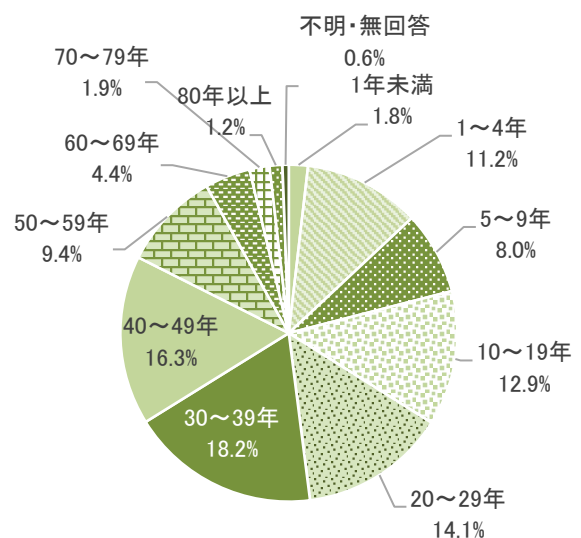
『問 5』

あなたのお宅の住宅形式を教えてください。(単数回答)



『問 6』

あなたのお島本町に在住しているおおよその年数を教えてください。

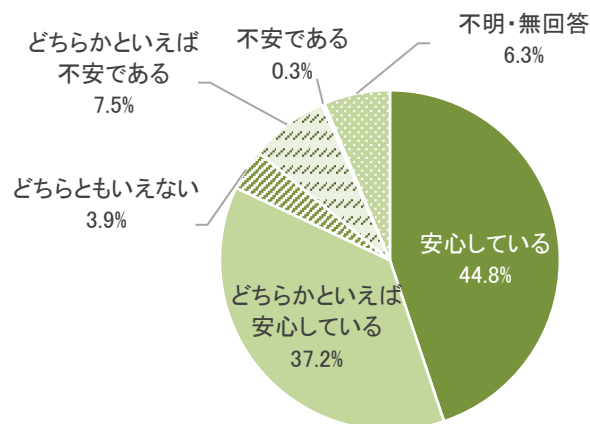


(2) 水道水の安全性とおいしさについて

- 安全性は、「安心している」(44.8%)と、「どちらかといえば安心している」(37.2%)で 82%と高い値を示しています。
- おいしさは、「おいしい」(25.6%)と「まあまあおいしい」(41.4%)で 67%を占めています。
- 「おいしくない」(1.0%)、「あまりおいしくない」(4.0%)と答えた人の理由は、「塩素臭(カルキ)」(51.7%)が最も多く、「その他」(20.7%)、「生くさい」(15.5%)となっています。

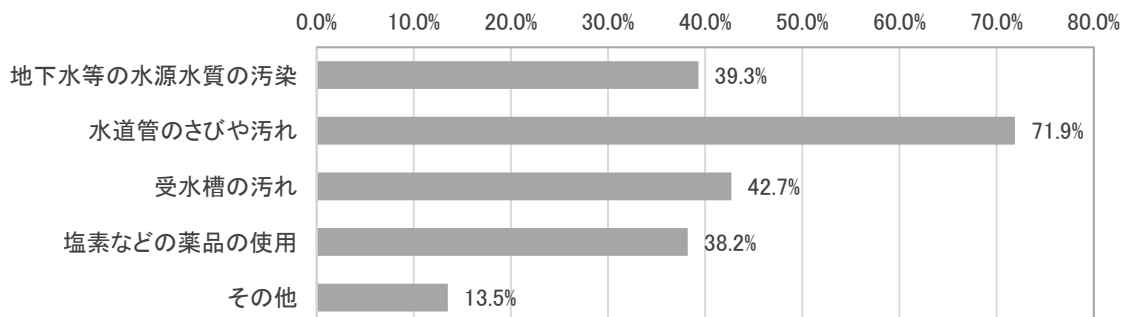
『問 7』

あなたは水道水の安全性についてどのように感じていますか。(単数回答)



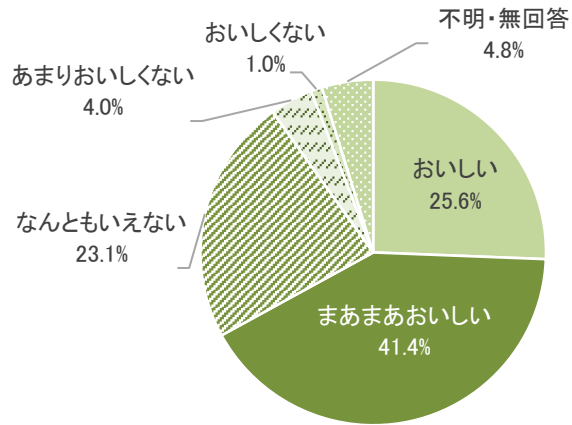
『問 8』

問 7 で「4 どちらかと言えば不安である」、「5 不安である」と答えた方におたずねします。あなたが水道水に「不安」を感じる理由は何ですか。(複数回答)



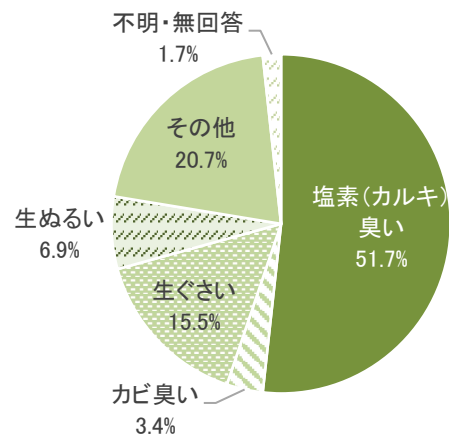
『問 9』

あなたは水道水の味についてどのように感じていますか。(単数回答)



『問 10』

問 9 で「4 あまりおいしくない」、「5 おいしくない」と答えた方におたずねします。あなたが水道水を「おいしくない」と感じる理由は何ですか。(単数回答)

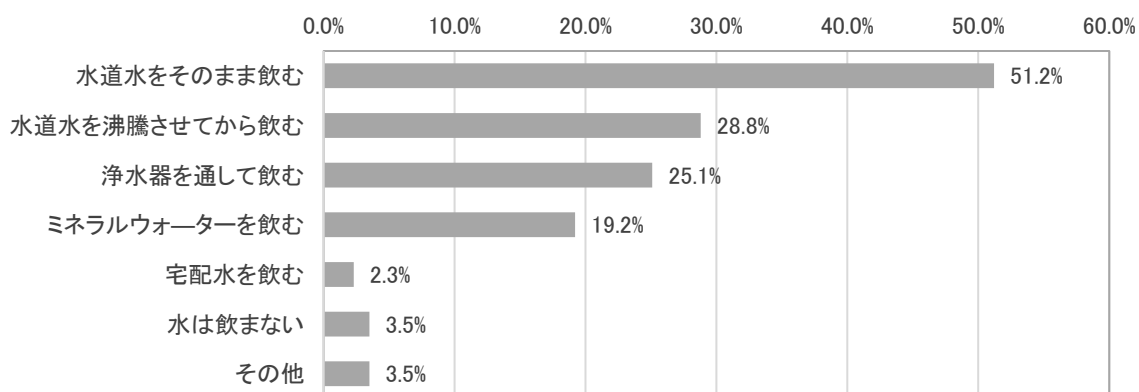


(3) 水道水の利用状況について

- 「水道水をそのまま飲む」が 51.2%と最も高く、次いで「水道水を沸騰させて飲む」が 28.8%、「浄水器を通して飲む」が 25.1%「ミネラルウォーターを飲む」が 19.2%となっています。
- 洗濯水への風呂水の再利用状況は、「0%…利用しない」が 60.0%と最も高く、次いで「25%程度」が 13.9%、「50%程度」が 10.7%となっています。
- 節水意識は、「強く節水を意識」(10.1%)と「どちらかといえば意識」(58.4%)で 68.5%とを占め、節水意識は高目といえます。
また、その理由は「水道料金の節約」が 62.5%を占めています。

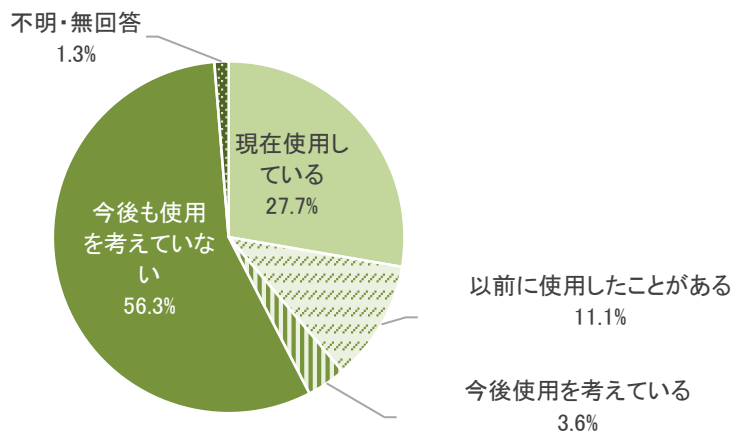
『問 11』

あなたの家庭では普段、水をどのようにして飲んでいきますか。(複数回答)



『問 12』

あなたの家庭では浄水器を使用していますか。(単数回答)

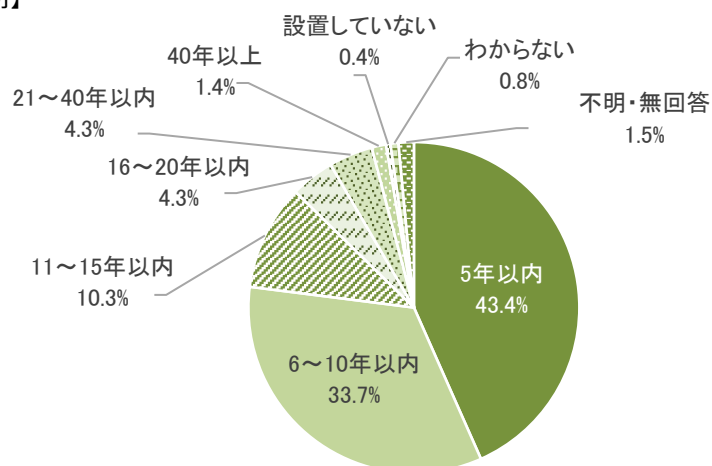


『問 13』

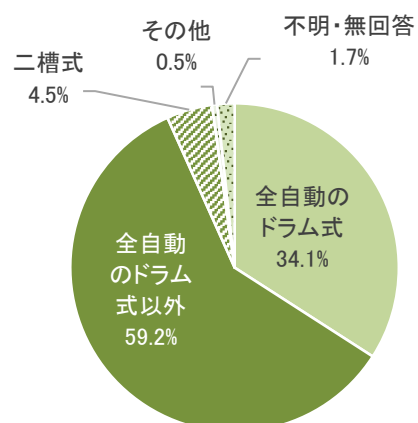
現在使用している洗濯機の設置時期と型式と風呂水の再利用率を教えてください。

(単数回答)

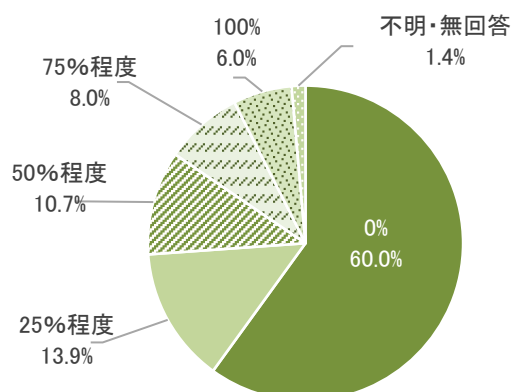
【設置時期】



【型式】



【風呂水の再利用率】

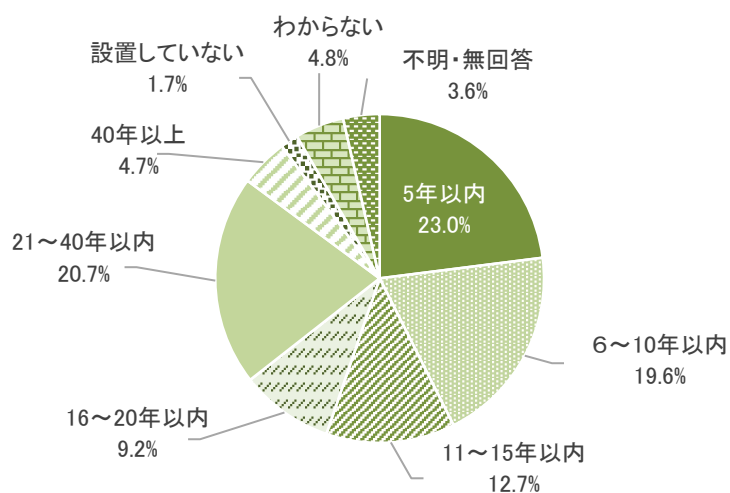


『問 14』

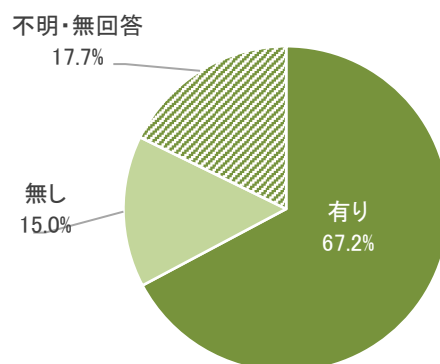
現在使用している水洗トイレの設置時期とウォシュレットの有無を教えてください。

(単数回答)

【設置時期】

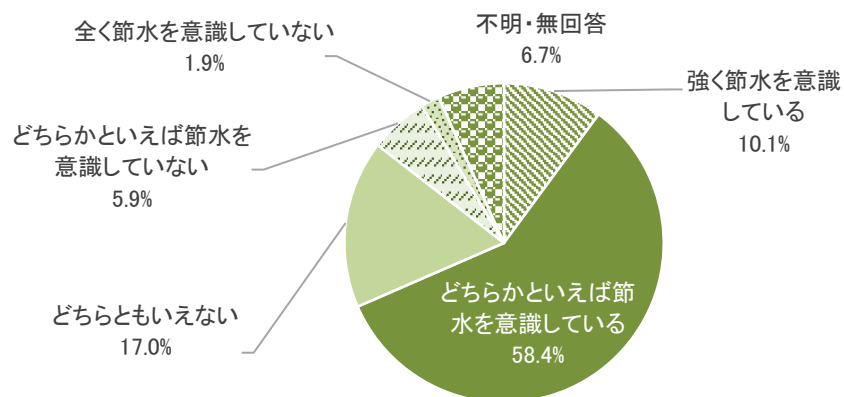


【ウォシュレットの有無】



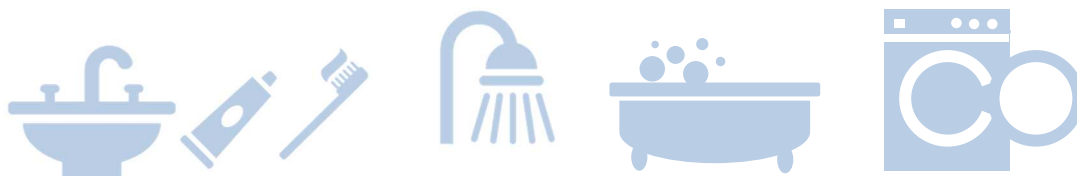
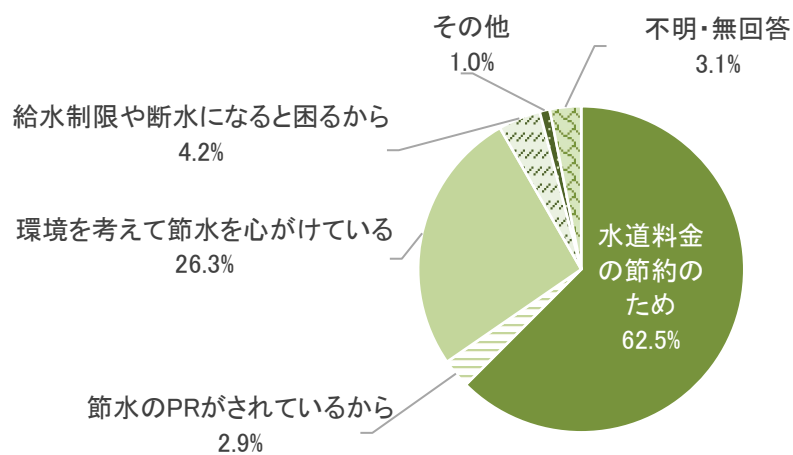
『問 15』

あなたの節水意識について教えてください。(単数回答)



『問 16』

問 15 で「1 強く節水を意識している」または「2 どちらかといえば節水を意識している」と答えた方におたずねします。その理由は何ですか。(単数回答)

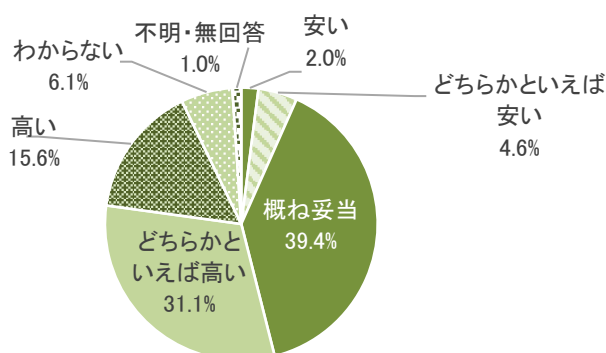


(4) 水道料金について

- 水道水が「高い」(15.6%)、「どちらかといえば高い」(31.1%) の計で約 46.7%と半数近くを占め、「概ね妥当」(39.4%) と「安い」(2.0%) 及び「どちらかといえば安い」(4.6%) の計で約 46.0%と均衡しています。
- 水道料金体系で島本町の場合、使用料が増えるほど料金単価が上がる「逦増性（ていぞうせい）」となっていますが、これに対しては、「今のままでよい」が 62.1%と過半数を占めています。

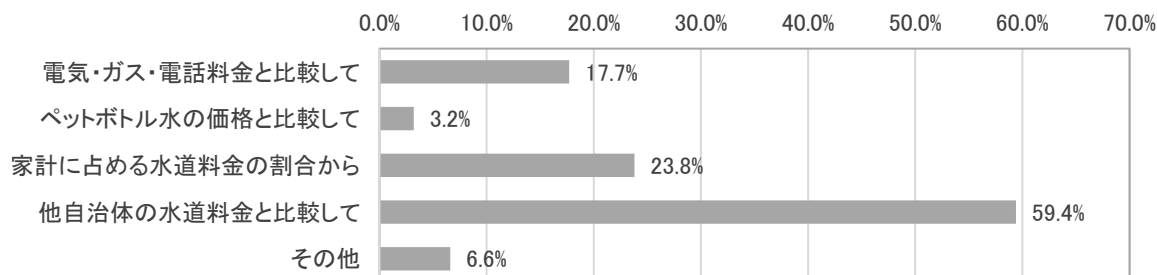
『問 17』

あなたは水道料金についてどのように思っていますか。(単数回答)



『問 18』

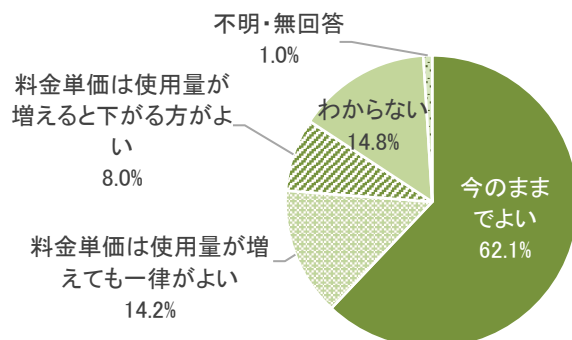
あなたはどのような理由で問 17 に答えましたか。(複数回答)



『問 19』

島本町では、使用量が増えるほど料金単価が上がる料金体系になっており、工場など大量に水を使うところでは料金単価が高くなっています。このことについて、あなたはどう思いますか。

(単数回答)

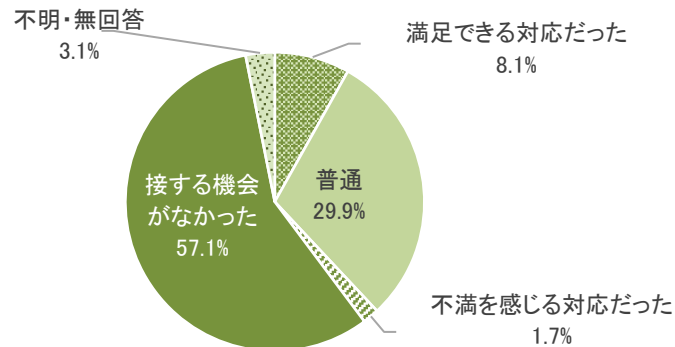


(5) お客さまサービスについて

- 職員の対応については「接する機会がなかった」が 57.1%と最も高く、次いで「普通」が 29.9%「満足できる対応だった」が 8.1%となっています。

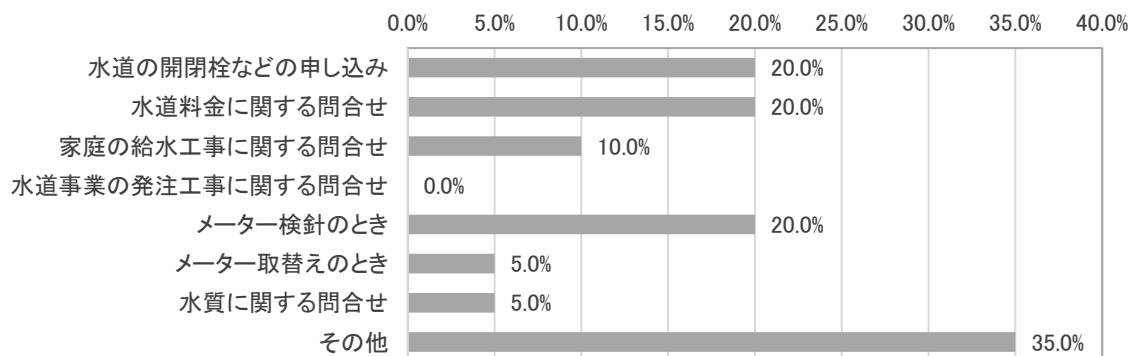
『問 20』

この 1、2 年の間に上下水道部職員や検針員、水道事業が委託している業者について、ご自宅や窓口、電話等での対応はどうでしたか。(単数回答)



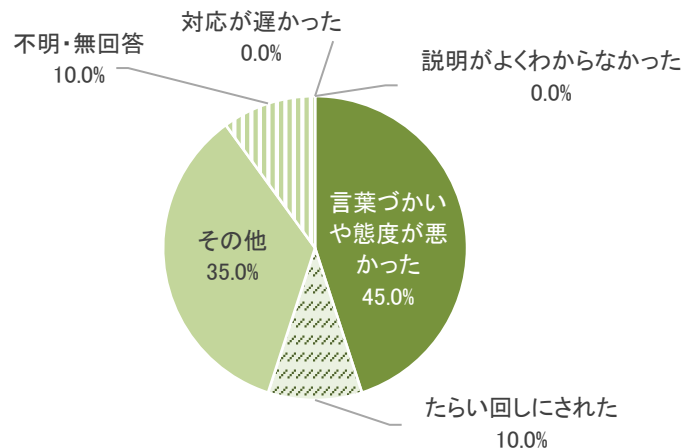
『問 21』

問 20 で「3 不満を感じる対応だった」と答えた方におたずねします。あなたが不満を感じたのはどのような用件の時でしたか。(複数回答)



『問 22』

問 20 で「3 不満を感じる対応だった」と答えた方におたずねします。どのような点に不満を感じましたか。(単数回答)



(6) 今後の水道事業の経営と災害対策について

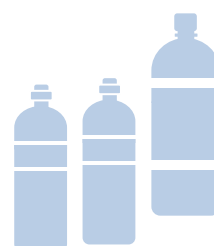
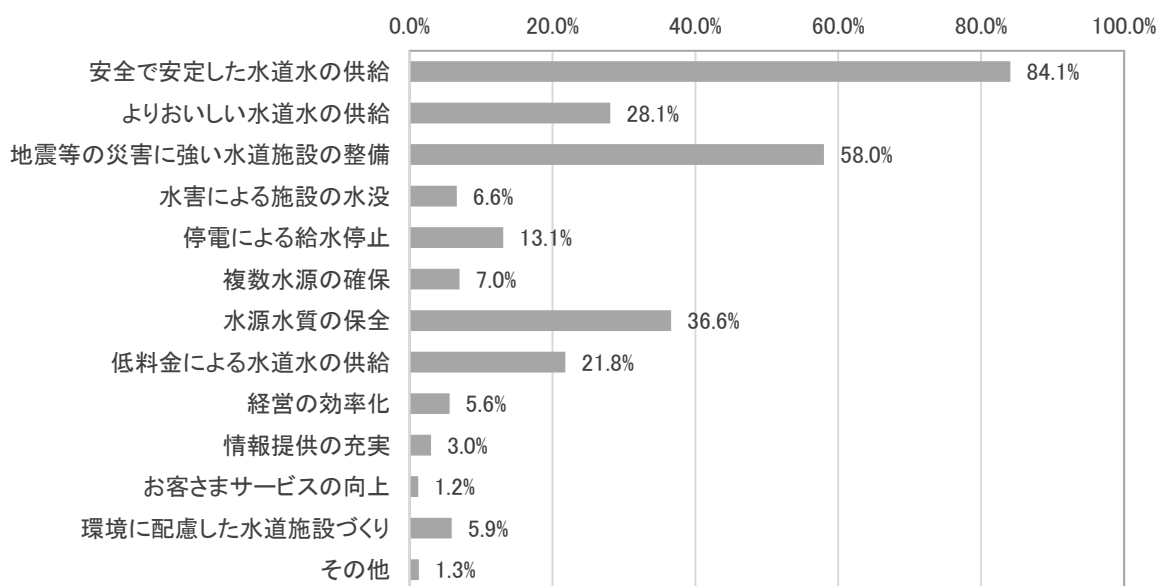
- 今後の水道事業で特に重要と思う事については、「安全で安定した水道水の供給」が 84.1%と最も高く、次いで「地震等の災害に強い水道施設の整備」が 58.0%、「水源水質の保全」が 36.6%となっています。

これらは「新水道ビジョン」が掲げる理想像である『安全』『強靱』『持続』に通ずるものです。

- 家庭における日頃から大規模災害時に備えての飲料水の確保については、「ペットボトルで確保している」が 60.5%と最も高く、次いで「確保していない」が 34.1%、「タンクで確保している」が 2.4%となっています。

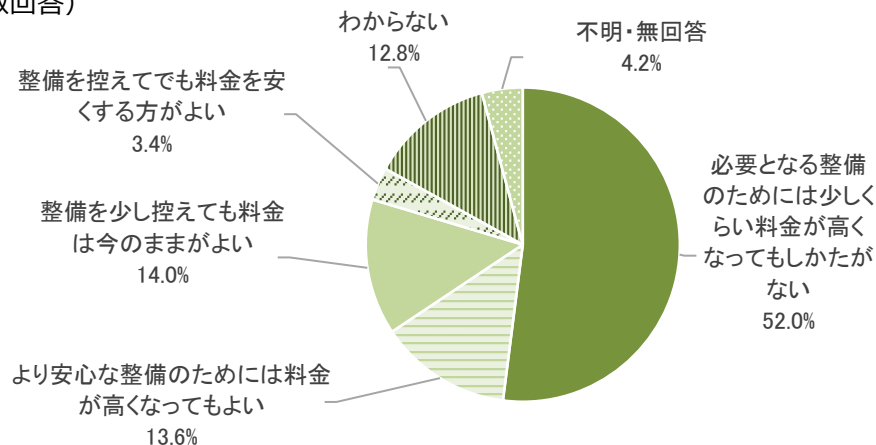
『問 23』

あなたが今後の水道事業で特に重要と思うことは何ですか。(3 つまでに○)



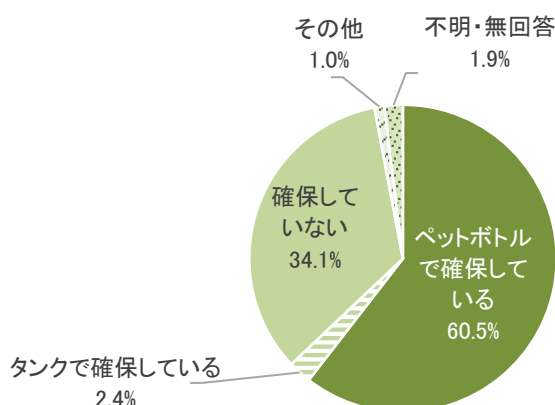
『問 24』

現在、上下水道部では、経費削減等の経営努力を行いながら、安全でおいしい水道水の供給や災害に強い水道施設の整備を進めています。あなたは整備に必要な経費の負担についてどう思いますか。(単数回答)



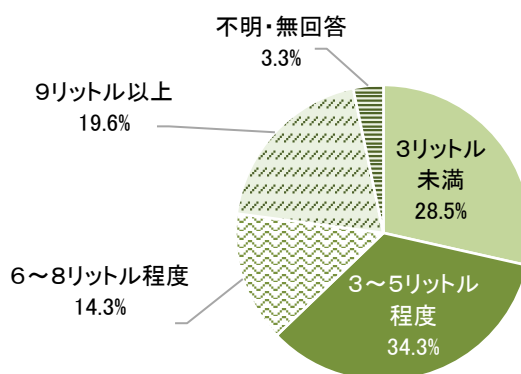
『問 25』

あなたの家庭では日頃から大規模な災害時（風水害、地震など）に備えて「飲料水」を確保していますか。また、どのような容器で確保していますか。(単数回答)



『問 26』

問 25 で「確保している」と答えた方におたずねします。ひとりあたり、どれくらいの量の水を確保していますか。(単数回答)

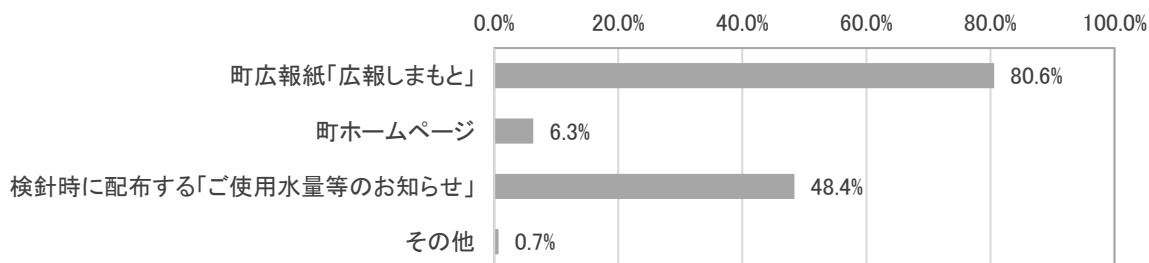


(7) 情報の提供について

- 水道事業の情報については「町広報紙『広報しまもと』」が 80.6%と最も高く、次いで検針時に配布する「ご使用水量等のお知らせ」が 48.4%「町ホームページ」が 6.3%となっています。
- 今後、水道事業について知りたいと思うことは、「水質のこと」が 60.0%と最も高く、次いで「地震等の災害対策のこと」が 54.6%、「老朽化対策のこと」が 48.6%となっています。

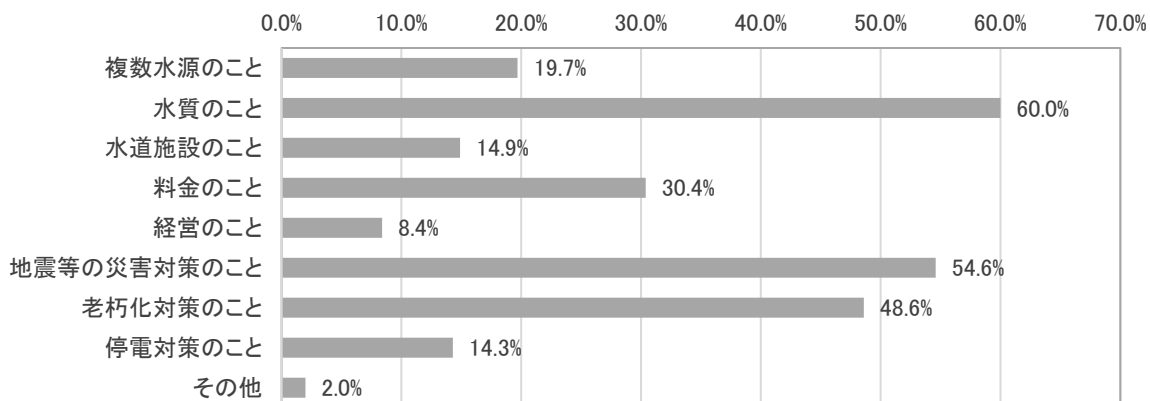
『問 27』

水道事業の情報などをお知らせするもので、あなたが普段読んだり、見たりするものがありますか。(複数回答)



『問 28』

あなたが、今後、水道事業について知りたいと思うことは何ですか。(3 つまでに○)

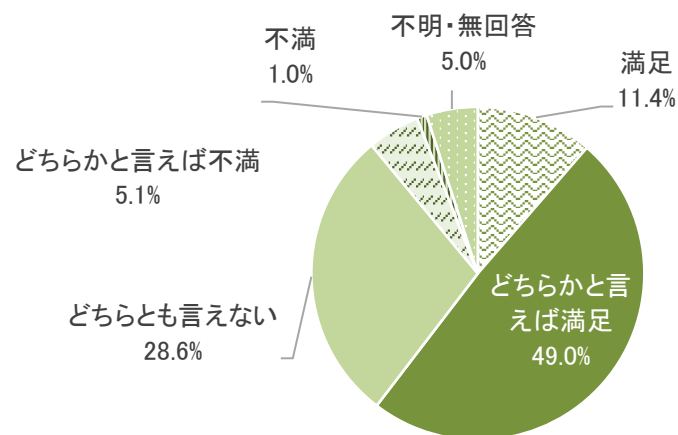


(8) 総合評価について

- 総合評価については、「どちらかと言えば満足」が 49.0%と最も高く、「満足」の 11.4%と合計すると、60.4%と過半数を占めています。

『問 29』

ここまで、水源、水質、料金、お客さまサービスなどについておたずねしてきましたが、島本町の水道事業を総合的にみて、あなたはどのように思いますか。(単数回答)



3.4 対応すべき課題の整理

安 全

■ 課題 1 ■ 貯水槽水道の管理

近年の大型開発により、中高層住宅の割合が増加し、貯水槽水道が増加傾向にあるため、大阪府茨木保健所と連携し、貯水槽の衛生管理の充実に努める必要があります。

強 韌

■ 課題 2 ■ 施設の耐震性

水道施設の耐震化率は、浄水施設は 100%、送水施設（ポンプ所）は 68.9%、配水池は 98.5%であり、早急に送配水施設の耐震化に努める必要があります。

■ 課題 3 ■ 管路の耐震性

管路の耐震適合率が 28.7%と低いため、基幹管路を中心にアセットマネジメント手法を用いて、更新優先度の高い管路から計画的に耐震化に努める必要があります。

■ 課題 4 ■ 緊急時の給水体制

災害発生時における危機管理対策マニュアルの整備状況が不十分であり、また災害時に本町水道事業単独での活動では限界があるため、マニュアルの整備拡充と受援体制の構築について検討する必要があります。

■ 課題 5 ■ 設備の老朽化

本町水道事業の施設・整備及び管路等は近年の更新事業により、老朽化の進行度合の抑制に努めておりますが、法定耐用年数が 10～20 年と短い機械・電気設備については老朽化が進んでいるため、今後もアセットマネジメント手法を用いて、計画的に更新を行っていく必要があります。

持 続

■ 課題 6 ■ 事業運営体制について

スリム化した職員体制においても安定した事業運営を行っていくため、職員の人材育成や業務の効率化を図る必要があります。

■ 課題 7 ■ 財政状況について

給水収益が減少していく中、水道料金を確実に徴収しつつ、更なる事業費用を確保する施策について検討する必要があります。

■ 課題 8 ■ 水道サービスについて

お客さまニーズを把握する効率的・効果的な手法について検討する必要があります。

第4章

将来の事業環境

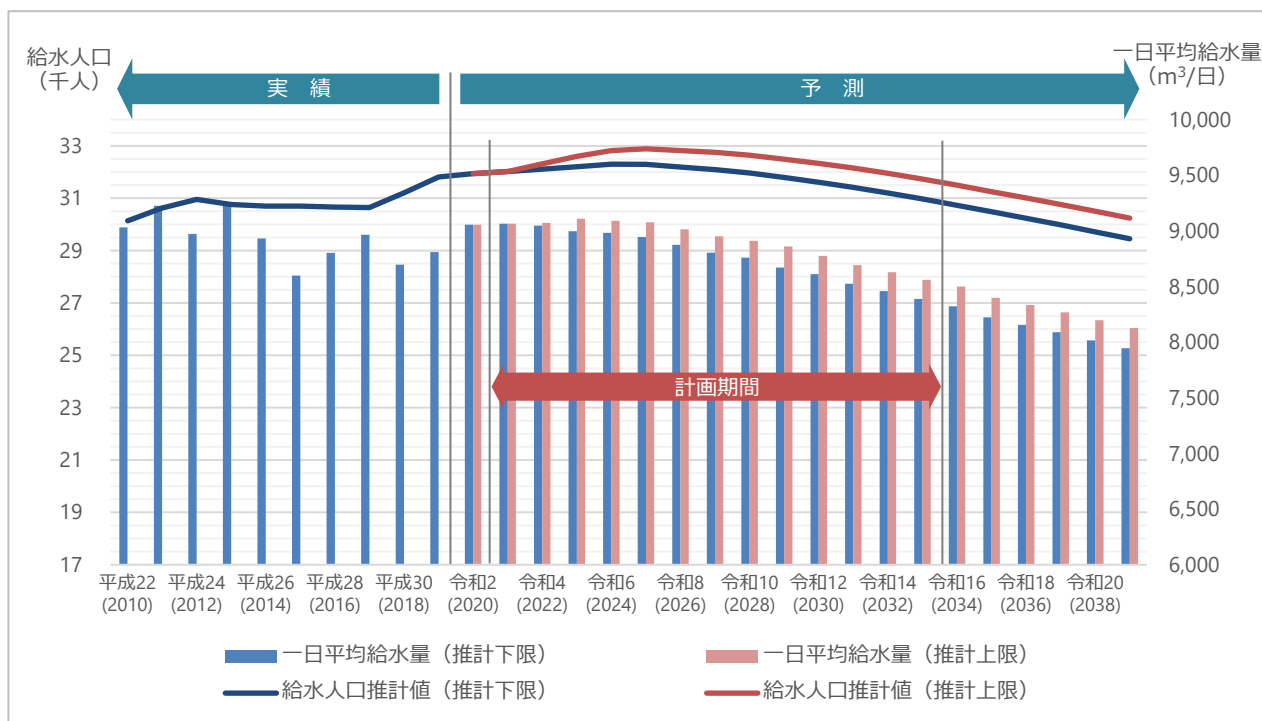
4.1 給水人口と水需要の見通し

本町水道事業の給水人口は平成元（1989）年以降 3 万人台で推移し、平成 15（2003）年度に 3 万人を割り込みましたが、平成 20（2008）年の JR 島本駅開業を契機として大型マンション等の住宅開発が進み、平成 22（2010）年度には再び 3 万人を超えました。

今後も、住宅開発により給水人口は増加傾向にありますが、令和 7（2025）年頃をピークに減少に転じ、令和 15（2033）年度では 30,970～31,730 人と令和元（2019）年度 31,809 人と比べて約 2.6～0.3%減少していくものと推計しています。

一方で、水需要は、給水人口が増加傾向にあるものの節水意識の高まりや各種節水機器の普及等による節水型社会の浸透に伴い減少傾向が続いています。

本町水道事業における一日平均配水量は、令和 15（2033）年度では 8,388～8,560m³/日と令和元（2019）年度 8,810m³/日と比べて約 5～3%減少する見込みとなっております。



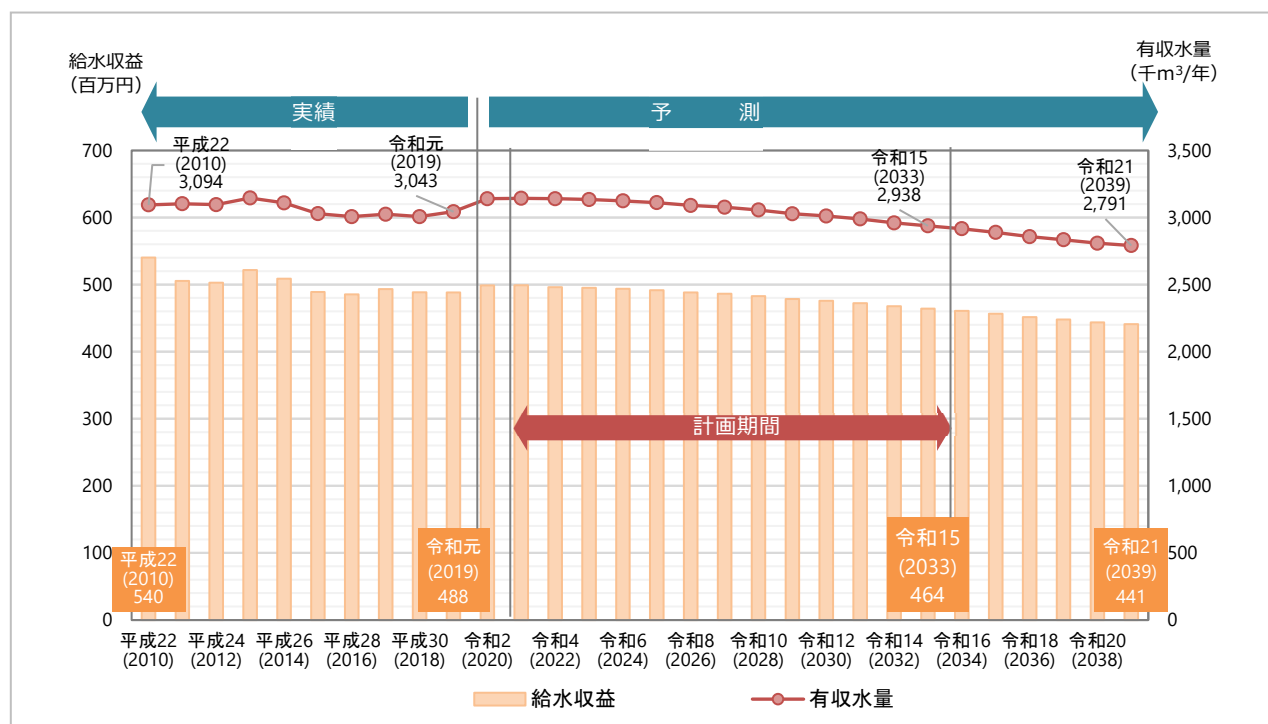
図表 4-1 給水人口と水需要の推計（グラフ）

4.2 給水収益の見通し

給水収益の実績は、図表 4-2 に示すとおり、平成 22（2010）年度の約 540 百万円から令和元（2019）年度の約 488 百万円へと減少傾向が続いています。

今後の給水収益の動向を左右する有収水量の予測を見ると、令和 7（2025）年度頃までは年間 3,100 千 m^3 代で推移した後徐々に減少し、令和 15（2033）年度では 2,938 千 m^3 となり、令和元（2019）年度の 3,043 千 m^3 と比べて約 3.5% 減少する見込みです。

それに伴い、給水収益は令和 15（2033）年度で約 464 百万円となり、令和元（2019）年度の約 488 百万円に比べ約 5% 減少する見込みです。



図表 4-2 有収水量と給水収益の推計

4.3 施設の老朽化と更新需要の増大

本町の水道事業は、人口増、生活様式の向上等による水需要の拡大に対応するため、浄水場、配水池等の多くの施設や管路の整備を進めてきました。

現在、保有する資産のうち管路が全体の約56.5%を占め、次いで土木施設が約18.4%を占めています。

これらの資産については、既に法定耐用年数を経過しているものもあり、今後はより老朽化が進むことが予想されることから、いつでもどこでも安定した給水を確保するためには、これら資産の計画的かつ効率的な更新が必要となります。

また、現有資産をすべて法定耐用年数で更新した場合には、今後50年間で約278億円の費用が必要となります。しかしながら、法定耐用年数を経過してもこれらの資産がすぐに使用できなくなるわけではなく、まだ十分に使用できる資産もあるため、アセットマネジメント（資産管理）手法を用いて、実使用実績を考慮した更新基準年数を新たに設定しました。

その結果、更新基準年数で更新した場合は、今後50年間で約176億円の費用となり、法定耐用年数による更新に比べ約102億円の費用縮減効果が見込めます。

図表 4-3 現有資産の内訳

施設・整備			管 路		
区 分	金額 (百万円)	割合 (%)	区 分	金額 (百万円)	割合 (%)
建 築	1,165	6.6	導 水 管	351	2.0
土 木	3,258	18.4	送 水 管	1,569	8.9
電 気	1,593	9.0	配水本管	4,092	23.1
機 械	979	5.6	配水支管	3,640	20.6
計 装	689	3.9	その他 1	268	1.5
			その他 2	76	0.4
小 計	7,684	43.5	小 計	9,996	56.5
計				17,680	100.0

図表 4-4 更新基準年数

区 分	法定耐用年数	更新基準
建築	50	75
土木（管路を除く）	60	90
管路	40	60
電気（計装含む）	15	22
機械	15	22

- 注） 1.更新基準は法定耐用年数の 1.5 倍とした。
 2.電気及び計装は一体とし簡易ツールに則り、法定耐用年数を 15 年とした。

図表 4-5 更新需要（法定耐用年数による試算結果）

（単位：百万円）

区 分	2020 年～ 2024 年	2025 年～ 2029 年	2030 年～ 2034 年	2035 年～ 2039 年	2040 年～ 2044 年	2045 年～ 2049 年	2050 年～ 2054 年	2055 年～ 2059 年	2060 年～ 2064 年	2065 年～ 2069 年	計 2020 年～ 2069 年
建 築	172	299	100	0	0	354	0	0	58	109	1,092
土 木	114	198	561	488	0	0	47	388	139	62	1,997
電 気	658	552	348	244	933	415	177	918	341	306	4,892
機 械	265	713	1	106	651	222	29	516	434	10	2,947
計 装	134	285	270	134	249	307	114	123	181	299	2,096
小 計	1,343	2,047	1,280	972	1,833	1,298	367	1,945	1,153	786	13,024
導 水 管	164	17	82	80	0	1	1	8	29	146	528
送 水 管	323	712	19	340	109	8	56	0	0	1,024	2,591
配水本管	1,261	1,033	221	742	125	248	69	314	1,209	1,023	6,245
配水支管	1,057	501	596	488	138	244	346	266	960	424	5,020
その他 1	43	31	38	27	33	41	30	25	37	25	330
その他 2	0	0	0	0	76	0	0	0	0	0	76
小 計	2,848	2,294	956	1,677	481	542	502	613	2,235	2,642	14,790
計	4,191	4,341	2,236	2,649	2,314	1,840	869	2,558	3,388	3,428	27,814

図表 4-6 更新需要（更新基準年数による試算結果）

（単位：百万円）

区 分	2020 年～ 2024 年	2025 年～ 2029 年	2030 年～ 2034 年	2035 年～ 2039 年	2040 年～ 2044 年	2045 年～ 2049 年	2050 年～ 2054 年	2055 年～ 2059 年	2060 年～ 2064 年	2065 年～ 2069 年	計 2020 年～ 2069 年
建 築	0	0	19	5	9	172	267	100	0	0	572
土 木	0	0	0	0	0	29	114	168	561	488	1,360
電 気	347	681	182	191	305	723	193	180	348	184	3,334
機 械	43	386	292	258	10	212	265	491	1	14	1,972
計 装	148	232	21	18	357	96	197	39	270	143	1,521
小 計	538	1,299	514	472	681	1,232	1,036	978	1,180	829	8,759
導 水 管	0	1	152	12	10	5	82	80	0	1	343
送 水 管	0	0	324	530	0	181	19	340	109	8	1,511
配水本管	57	724	297	838	184	194	221	742	125	248	3,630
配水支管	15	269	581	200	234	260	595	488	137	245	3,024
その他 1	0	12	4	12	29	17	38	27	33	41	213
その他 2	0	0	0	0	0	0	0	0	76	0	76
小 計	72	1,006	1,358	1,592	457	657	955	1,677	480	543	8,797
計	610	2,305	1,872	2,064	1,138	1,889	1,991	2,655	1,660	1,372	17,556

4.4

水道事業を担う人材の育成と技術の継承

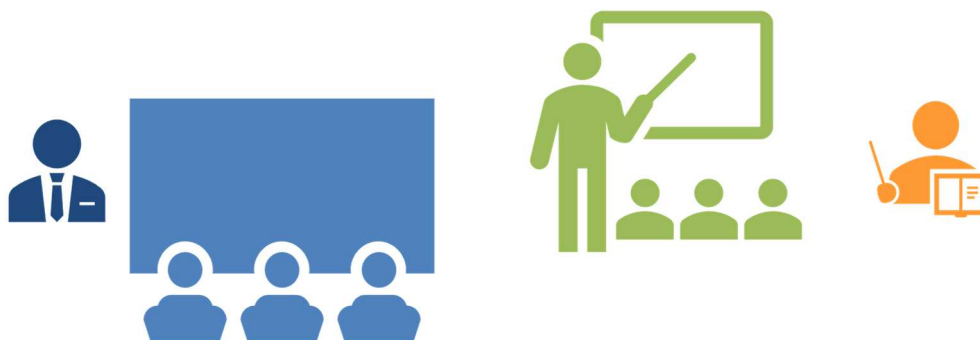
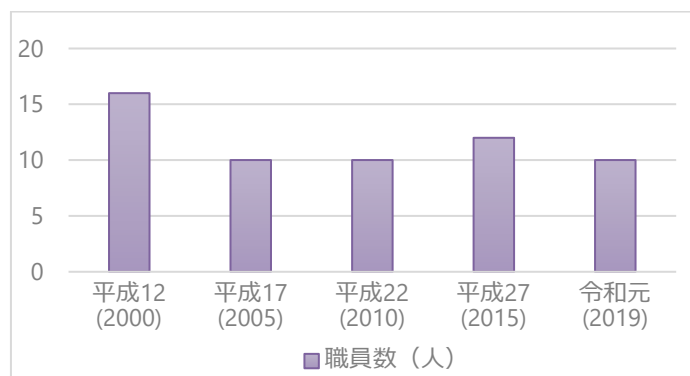
水道事業は、様々な分野の業務（経営、経理、料金、契約、広報、建設、維持管理、給水、浄水、水質、計画など）で構成されており、それぞれの分野において専門性に富んだ人材を適切に配置することが求められています。

職員数は平成 12（2000）年度には機構改革により 16 名でしたが、浄水場運転管理の全面委託等の業務委託の拡充や退職者の不補充により、人員削減が進み、近年は 10 名前後で水道事業を運営しています。

今後は、更に更新事業の増大が想定される一方で、技術職員の確保や事業量に見合った人員配置が難しくなっており、そのため、技術の継承が難しくなることや 1 人当たりの業務量が増大することが見込まれるため、厳しい業務執行体制になると想定しています。

図表 4-7 職員数の変遷

年 度	平成 12 2000	平成 17 2005	平成 22 2010	平成 27 2015	令和元 2019
職員数（人）	16	10	10	12	10



4.5 お客さまニーズの把握

今後の事業環境を認識するうえで、お客さまの水道に対するニーズの把握は重要であるため、新ビジョンの策定にあたり、アンケート調査を実施しました。

アンケート調査において実施した「あなたが今後の水道事業で特に重要と思うことは何ですか。」の設問では、お客さまから、「安全で安定した水道水の供給」が 84.1%と最も高く、次いで「地震等の災害に強い水道施設の整備」が 58.0%、「水源水質の保全」が 36.6%の順に多くの回答をいただきました。

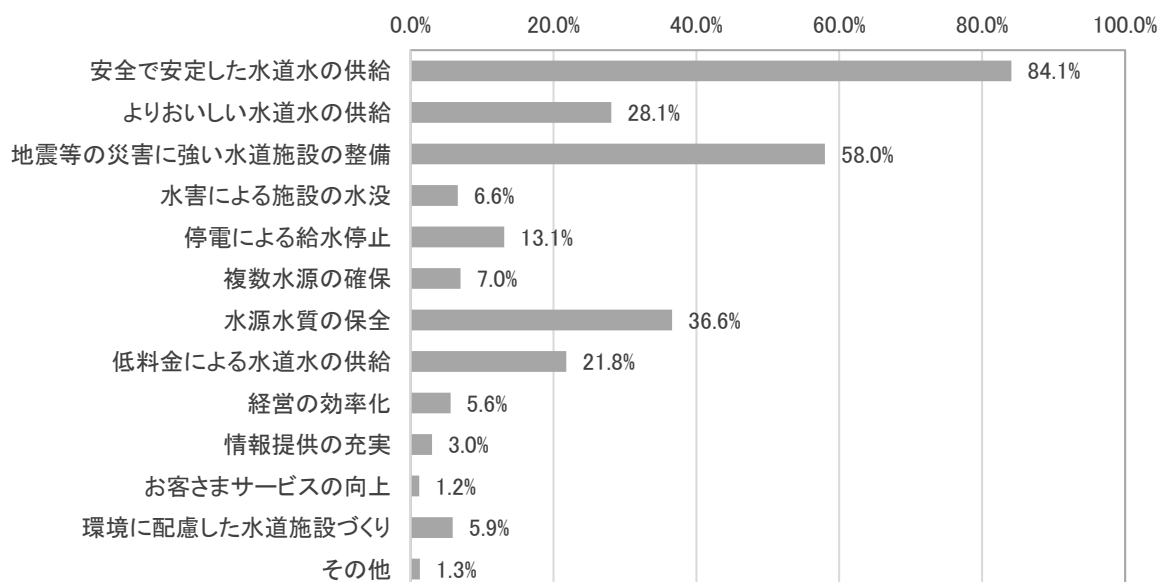
特に上位の二つの事項については、半数以上の回答をいただきました。

今回のアンケート調査でいただきましたお客さまのご意見やご要望を踏まえ、今後の施策や取組に反映させていきます。

また、今後の事業環境の変化によっては、お客さまのニーズも変化することが想定されるため、適切な時期にアンケート調査によりお客さまニーズを把握し、施策に反映する取組を継続します。

『問 23』

あなたが今後の水道事業で特に重要と思うことは何ですか。(3 つまでに○)



図表 4-8 アンケート調査

第5章

基本理念と理想像

5.1 基本理念

これからの水道事業は、給水人口や水需要が減少していく事業環境の下で、老朽化した水道施設の維持管理、高まる更新需要への対応や水道を担う人材の確保や技術の継承、他水道事業者との連携促進や広域化への取組等、様々な課題に直面することになります。

今後の事業環境においても、これまでと同様にお客さまに安心して水道をご利用いただき、本町の水道事業を、10年後20年後、さらにその先の将来にわたって次世代に継承していかなければなりません。

新ビジョンにおいては

『 いきいき・ふれあい・やさしい島本 』
を支える水道

を基本理念とします。

5.2 理想像設定

基本理念の実現に向けて、「安全で安心な水道」、「強靱でしなやかな水道」、「健全で持続可能な水道」の3つを本町の水道事業の理想像に設定します。

また、これら3つの理想像の観点から本町の実情を踏まえた実現方策を立案し、具体的な取組を実施します。

..... 理 想 像



図表 5-1 新ビジョン概念図

第6章

目標設定と推進する実現方策

6.1 施策体系図

理想像として設定した「安全で安心な水道（安全）」、「強靱でしなやかな水道（強靱）」、「健全で持続可能な水道（持続）」の実現に向けて、12の基本施策、25の具体的な取り組みを推進します。

目標設定（基本施策）		具体的な実現方策
安全	水質管理の充実と強化	水質検査体制の充実と強化 水道施設の保安対策の強化 水質を維持するための洗管作業
	給水装置の水質管理	給水装置の管理強化 貯水槽水道の管理強化 直結給水方式の拡大
強靱	水道施設の計画的な更新	配水池・ポンプ所の計画的な更新 水道管路の計画的な更新
	水道施設の耐震化	配水池・ポンプ所の耐震化 管路の耐震化
	バックアップ機能の強化	バイパス送水管の整備
	危機管理体制の強化	災害時の応急給水拠点等の整備 災害時の応急給水施設・資機材の充実 災害対応力の強化
持続	将来にわたる水源の確保	複数水源の確保
	広報活動の充実とお客さまサービスの向上	広報活動の充実 お客さまニーズの把握とお客さまサービスの向上
	事業経営と業務の効率化	アセットマネジメント手法の活用 民間活用 資産の有効活用 適正な水道料金の検討
	人材の育成と技術の継承	人材の育成と技術の継承
	広域化の推進	広域連携の推進
	環境施策の推進	ポンプ稼働率の適正管理 有効率・有収率の維持・向上

図表 6-1 施策体系図

「安全で安心な水道」の実現に向け、以下の施策を実施します。

(1) 水質管理の充実と強化

本町水道事業では、残留塩素濃度の管理を中心として従来通り、以下の施策を実行していきます。

① 水質検査体制の充実と強化

配水系統毎に末端において常時水質モニターにより残留塩素・濁度・色度を監視するとともに、工事等の実施による水質異常の監視等、水質検査体制の充実と強化に努めます。

② 水道施設の保安対策の強化

施設への侵入者による水道水の汚染などを防ぐため、保安強化対策を進めています。浄水場・配水池の全施設に警報を設置しており、引き続き保安に努めます。

③ 水質を維持するための洗管作業

日常管理として、町内末端等滞留水の恐れのある箇所を優先的に定期的な洗管作業を行います。

(2) 給水装置の水質管理

① 給水装置の管理強化

給水装置の水質汚染事故を防止するために、逆止弁の設置や水道以外の配管との誤接続（クロスコネクション）の防止について、引き続き指定給水装置工事事業者に指導等を行うとともに、工事完了時の検査の強化に努めます。

② 貯水槽水道の管理強化

安全でおいしい水道水をお届けするために、衛生行政を担う大阪府茨木保健所と連携し、貯水槽水道設置者や管理者に対して、点検、清掃、検査及び異常時の対応などについて、指導、助言及び勧告を行います。

また、貯水槽水道の管理につきましては、その充実を図るため計画的に現場調査を実施します。

③ 直結給水方式の拡大

水道水を貯水槽を介さず直接お客さまにお届けできるように、引き続き、直結給水方式の拡大に関する取り組みについて調査・研究し、良好な水質の確保に努めます。

「強靱でしなやかな水道」の実現に向け、以下の施策を実施します。

(1) 水道施設の計画的な更新

① 配水池・ポンプ所の計画的な更新

浄水場、配水池及び加圧施設などの水道施設は、土木構造物、建築物、場内配管、電気設備、機械設備などの様々な施設で構成されています。

これら水道施設の設備機器は、日常における適正な維持管理と計画的な更新を行うことにより、安定した運転が維持できます。

今後とも、予防保全による施設機器の長寿命化や将来の水需要を踏まえた施設規模の最適化などにより更新費用の縮減を図るとともに、計画的かつ効率的な施設設備の更新に努めます。

② 水道管路の計画的な更新

これまでに整備した水道管路が更新時期を迎えて更新需要への投資額が大幅に増大し、今後の事業経営にも大きな影響を与えることが予想されることから、計画的に水道管の更新を実施していく必要があります。

本町水道事業においては、平成 26（2014）年度より、「水道管路更新等計画」に基づき、計画的な水道管路の更新に努めています。引き続き、更新費用の縮減を図りながら、計画的な水道管路の更新に努めます。

(2) 水道施設の耐震化

① 配水池の耐震化

3.2 節の事業の分析・評価にてまとめたとおり、配水池の耐震化率は令和元（2019）年度現在 98.5%で、5 箇所ある施設のうち、非耐震の施設は、第一高区配水池（RC 造、 $V=150\text{m}^3$ ）であります。

本配水池は経過年数が 57 年と法定耐用年数に近づいている上に、急傾斜地に立地し、更新工事が困難な施設であります。

対策として、本配水池への送水ポンプ（山崎加圧ポンプ）を配水ポンプに変更し、本配水池を廃止することにより、配水池の耐震化率 100%を目指します。

② ポンプ所の耐震化

ポンプ所の耐震化率は令和元（2019）年度現在 68.9%で、4 箇所ある施設のうち、非耐震の施設は低区配水場内の第二高区中継ポンプ室及び山崎加圧ポンプ室の 2 箇所で、計画期間内に耐震補強または更新を行い、ポンプ所の耐震化率 100%を目指します。

③ 管路の耐震化

耐震管と非耐震管の K 形ダクタイル管で良質地盤に布設されている管を合わせて耐震適合管といいます。

令和元（2019）年度末現在の耐震適合率は、基幹管路で 38.7%、全管路で 28.7%となっています。

本計画におきましては、耐震適合率の更なる向上を図るとともに、全管路での耐震適合率 50%を目指します。

(3) バックアップ機能の強化

① バイパス送水管の整備

現在、大藪浄水場から低区配水池へは、全域の水量を一系統のみで送水しておりますが、事故による送水停止の影響が大きいことや管路更新時の代替機能を確保する必要があるため、バイパス送水管の整備に努めます。

(4) 危機管理体制の強化

① 災害時の応急給水拠点等の整備

災害時の応急給水拠点については、配水池の敷地内等に設置することとしていますが、応急給水拠点の開設・運営を上下水道部職員だけで行うことは困難な状況にあります。

今後は、災害直後に地域主導で応急給水活動ができるような応急給水スペースの確保の検討や配水池等で確保された飲料水を効率よく運搬するための給水拠点（給水塔・タンク等）の整備に努めます。

② 災害時の応急給水施設・資機材の充実

飲料水確保と二次災害防止の観点から、主要な配水池において緊急遮断弁の整備を進めています。しかしながら、災害時に応急給水活動を円滑に行うためには、応急給水施設や資機材が十分ではありません。

今後は、災害時に応急給水活動を円滑に行えるよう、応急給水施設密度の低い地域に

おける耐震性緊急貯水槽の整備について検討するとともに、応急給水栓の整備や組み立て式応急給水タンクの配備等応急給水施設や資機材の充実を図ります。

③ 災害対応力の強化

令和2（2020）年4月に改訂された公益社団法人日本水道協会発行の「地震等緊急時対応の手引き」を活用した「危機管理対応マニュアル」を整備し、災害対応力の強化に努めます。



堺市上下水道局より提供

「健全で持続可能な水道」の実現に向け、以下の施策を実施します。

(1) 将来にわたる水源の確保

① 複数水源の確保

今後とも、渇水や災害など非常時に備え、自己水と企業団水による複数水源を確保するとともに、毎年、各井戸の適正揚水量を把握したうえで、適宜、井戸の改修工事を実施するなど、適切な維持管理に努めます。

また、自己水と企業団水の比率については、自己水約 90%、企業団水約 10%を維持しながら、安定した水源の確保に努めます。

(2) 広報活動の充実とお客さまサービスの向上

① 広報活動の充実

お客さまに水道事業に対する理解を深めていただくため、広報しまもとや町ホームページ等を活用した PR 活動の充実を図ります。

② お客さまニーズの把握とお客さまサービスの向上

現在、コンビニ収納や「LINE Pay (ラインペイ)」を活用した決済サービスを導入しています。

今後も、必要に応じてお客さまアンケートを実施することで、多様化するお客さまニーズの把握に努め、お客さまサービスの向上を目指します。

(3) 事業経営と業務の効率化

① アセットマネジメント手法の活用

アセットマネジメント手法を用いて中長期的な視点を持った資産管理を行いながら、持続可能な水道事業運営に努めます。

② 民間活用

本町水道事業では、水道料金の徴収や大藪浄水場の運転管理や水道管路の修繕等を民間業者へ委託しています。今後も、民間活用を継続しながら、事業運営のさらなる効率化と適正化を図っていきます。

③ 資産の有効活用

廃止した水道施設用地については、水道施設の維持管理や将来の更新時における土地

利用を考慮した上で、収益拡大につながる活用方法やその実現可能性等について検討します。

④ 適正な水道料金の検討

本町水道事業においては、昨今、住宅開発等により給水人口は増加傾向にあるものの需要者の節水意識の浸透や家庭における節水器具の普及などにより、水需要の大きな増加にはつながっていないのが現状です。将来の給水人口については、減少が見込まれることから、水需要の減少と料金収入の減少が予想されます。

支出面においては、更新時期を迎える浄水場の設備機器や基幹管路等の更新や耐震化を着実に進めていかなければならないことから、水道施設の更新などの投資に多額の費用がかかります。

これらの更新費用などの財源は主に料金収入と企業債です。企業債の必要以上の借入れは将来世代に過度な負担を残すことになるため、借入額は一定の水準以下に抑制する必要があります。

持続可能な水道事業を運営するため、これまで以上に経営の効率化と経費削減を行いながら、今後の事業環境に対応した適正な水道料金のあり方について検討を行っていきます。また、水道料金に関する様々な情報をお客さまに発信し、経営の透明性を高めていきます。

(4) 人材の育成と技術の継承

① 人材の育成と技術の継承

本町水道事業では、技術の継承を図るために、再任用制度の活用、施設管理マニュアルの作成や外部研修への積極的な参加等に取り組んできました。

今後も、公益社団法人日本水道協会や大阪広域水道企業団など水道関連団体等が主催する各種分野の研修会を活用しながら、人材の育成と技術の継承を図ります。

(5) 広域化の推進

① 広域連携の推進

大阪府が目指す「府域一水道」については、府域水道事業 43 団体の共通の認識となっていますが、各水道事業によって水道施設の老朽度や経営状況、自己水源の保有状況等、それぞれで事情が異なることから、広域化の取組みについては条件が異なり、協議が整った水道事業から順次、大阪広域水道企業団との統合が進められています。

府域の現状としては、平成 29（2017）年 4 月から 3 団体が、平成 31（2019）年 4 月

からは6団体が大阪広域水道企業団と統合し、4団体が令和3（2021）年4月から、1団体が令和6（2024）年4月からの統合を予定しています。

本町水道事業においては、平成29（2017）年8月より、「薬品等の共同購入」及び「施設・設備の共同化」について、近隣水道事業と連携し、検討及び協議を行っています。

今後も引き続き、水道事業の持続的経営、お客さまサービスの向上の視点から、多様な連携方策について検討を行います。

（6）環境施策の推進

当面は、現状の化石エネルギーを利用していく上で、エネルギーのより効率的な利用を目指し以下の施策を実施するとともに、太陽光発電システムの導入など再生可能エネルギーの確保についても検討を行います。

① ポンプ稼働率の適正管理

本町水道事業の送配水システムにおいて、送水は全量ポンプによる加圧送水方式であるため、送水量と送水圧に適合したポンプ形式の選定と運転を管理し、使用電力量の軽減に努めます。

② 有効率・有収率の維持・向上

配水池を出た水が極力100%有効に利用出来ることは引いては送水量の軽減につながります。

よって、計画的な管路更新と日常の漏水調査による管路の維持管理により、有効率の維持・向上に努め、引いては有収率の維持・向上に努めます。



第7章

中長期経営計画（経営戦略）

7.1 策定の趣旨

本町水道事業では、平成9（1997）年度から、計画期間を4年から5年とする「島本町水道事業財政計画」を策定し、また、平成24（2012）年7月には「島本町地域水道ビジョン」を策定し、これまで経営の効率化や健全化に取り組んできました。

第4章でも記述したとおり、今後、給水人口の減少に伴い水需要が減少していく一方で、水道基幹施設の老朽化に伴い改築・更新事業に多額の費用が必要になることから、水道事業を取り巻く経営環境はますます厳しくなることが予想されます。

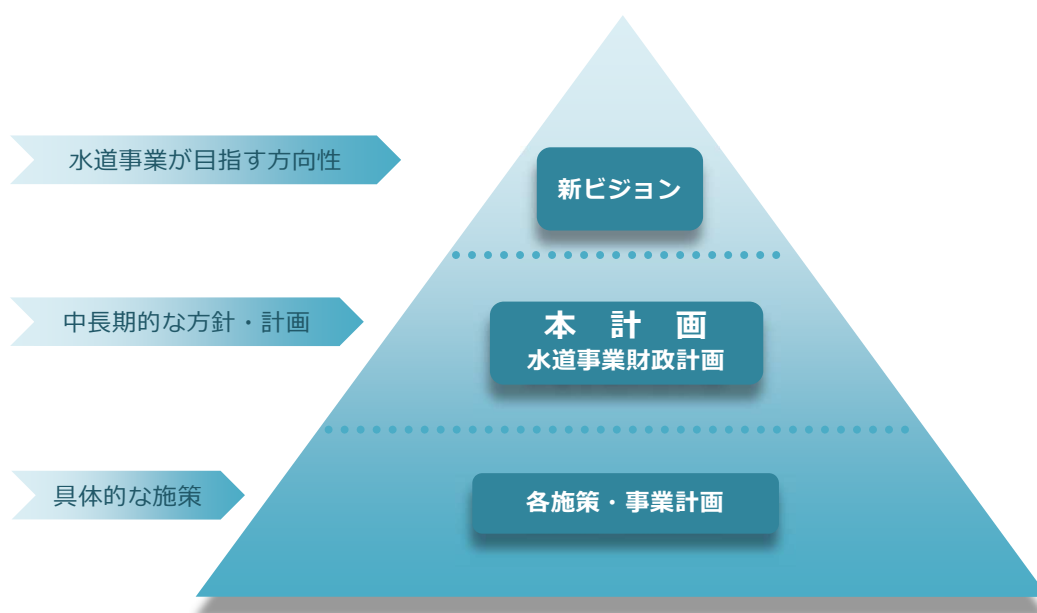
この厳しい経営環境にあっても、持続可能な水道事業を運営するためには、中長期的な視点で必要となる施設や設備に関する投資の見通しと、投資のために投入できる財源の見通しを試算し、収入と支出が均衡するよう調整した収支計画を立て、経営の効率化・健全化に徹底して取り組む必要があります。このことから、「中長期経営計画（経営戦略）」（以下「本計画」という。）を新たに策定し、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ります。

7.2 計画の位置付け

本計画は、総務省から通知された「公営企業の経営に当たっての留意事項について」（平成26年8月付け）の中で策定が推奨されている「経営戦略」に位置付けられるものです。

本計画における投資に係る費用については、第6章「実現方策」で掲げる主要施策の実施に必要な費用を中長期的な視点から試算したものです。なお、「実現方策」には、投資や経営の効率化・健全化の取り組みが含まれています。

本計画と「実現方策」を一体的に推進することで、新ビジョンに掲げる将来像の実現を目指します。



図表 7-1 本計画の位置付け

7.3 計画期間

第1章「3 計画期間」(P3)で示しているとおり、計画期間は、令和3(2021)年度から令和15(2033)年度までの13年間とします。

7.4 経営の基本方針

今後、より一層厳しい経営環境が続くことが予想される中、後世に健全な施設を引き継ぎ、お客さまに継続して安全で安心な水道水を供給するために、経営の効率化・健全化の取組を進めていきます。

そして、徹底した経費の削減と財源の確保を図りながら、新ビジョンに掲げる将来像「いきいき・ふれあい・やさしい島本を支える水道」の実現に向けて、安全で安心な水道の確保(「安全」)、強靱でしなやかな水道の確保(「強靱」)及び、健全で持続可能な水道の確保(「持続」)の3つを施策目標とし、体系的に取り組むことで将来にわたって安全で良質な水道水を安定して供給していけるよう、事業経営を行っていきます。

7.5 経営の状況

総務省では、公営企業の経営の見える化を推進しており、平成 26（2014）年度決算より各公営企業の経営及び施設の状況を表す主要な経営指標を分析した「経営比較分析表」を公表しています。新ビジョンにおいては、第 3 章で島本町水道事業の現状評価を行いました。ここでは、この経営比較分析表を活用し、本町水道事業の経営の現状について類似他都市との比較を行うとともに、各指標ごとに「◎」、「○」、「△」の評価を行いました。

[評 価]

◎：各指標の望ましい数値を達成しており、かつ類似団体平均よりも良好な状況である。

○：各指標は望ましい数値を達成しているが、類似団体平均以下の状況。

△：各指標が望ましい数値を達成しておらず、類似団体平均以下の状況。

注）類似団体の令和元（2019）年度値は平成 30（2018）年度値としました。

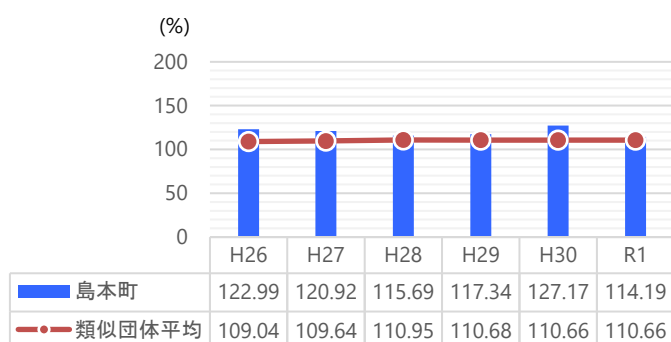
7.5.1 経営の健全性・効率性

1) 経常収支比率

$$\text{経常収益} \div \text{経常費用} \times 100$$

<指標の意味>

給水収益や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。100%以上となっていることが望ましいです。



<分析コメント>

図表 7-2 に示すとおり、経常収支比率は 100% 以上で推移しており、数値も安定しています。現状の経営の健全性は良好な水準で、類似団体平均より高い状態です。

図表 7-2 経常収支比率

評価



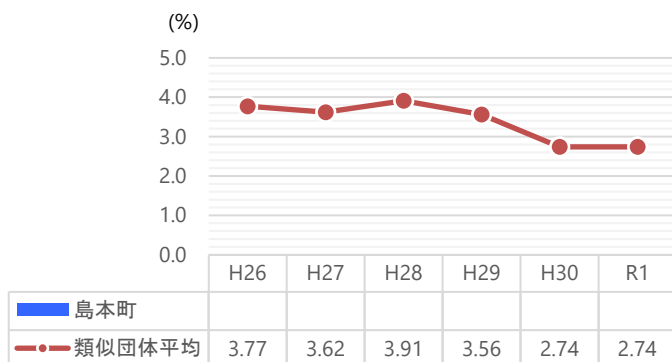
2) 累積欠損金比率

$$\text{当年度未処理欠損金} \div (\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) \times 100$$

<指標の意味>

営業収益に対する累積欠損金（営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと）の状況を表す指標です。

累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが求められます。



<分析コメント>

図表7-3に示すとおり、欠損金は生じておらず、良好な状況です。

評価



図表7-3 累積欠損金比率

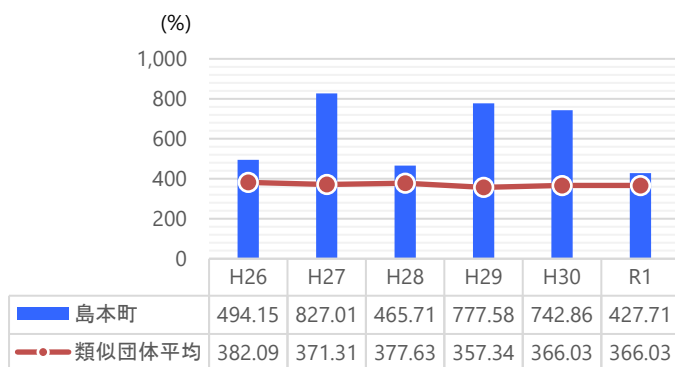
3) 流動比率

$$\text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100$$

<指標の意味>

短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。

一般的には100%を下回ると、1年以内に現金化できる資産によって1年以内に支払わなければならない負債を賄えていないことを意味します。200%を上回ることが理想とされます。



<分析コメント>

図表7-4に示すとおり、每期200%を超えており、類似団体平均に比べても高い水準にあり、良好な状況です。

評価



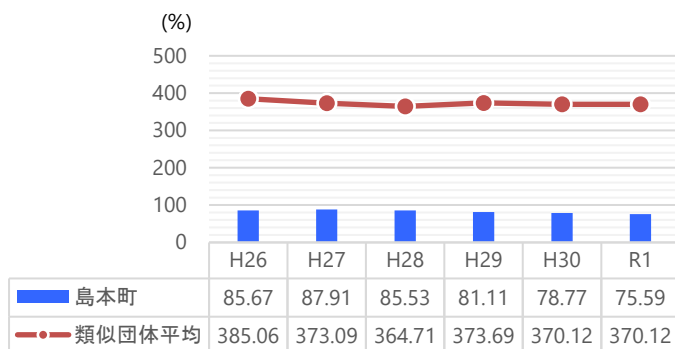
図表7-4 流動比率

4) 企業債残高対給水収益比率

$$\text{企業債現在高合計} \div \text{給水収益} \times 100$$

<指標の意味>

給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標です。



<分析コメント>

図表 7-5 に示すとおり、ゆるやかな減少傾向を示しており、類似団体平均値より低い値です。現状において財務バランスは良好で、企業債に依存しておらず、長期的な財務安全性に重要な問題はありません。

図表7-5 企業債残高対給水収益比率

評価



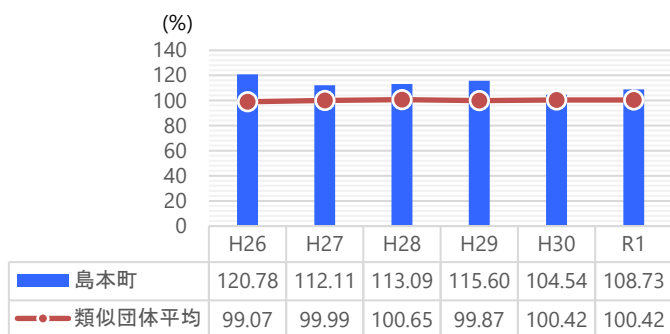
5) 料金回収率

$$\text{供給単価} \div \text{給水原価} \times 100$$

<指標の意味>

給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表す指標で、料金水準等を評価することが可能です。

100%を下回っている場合、給水に係る費用が給水収益以外の収入で賄われていることを意味します。



<分析コメント>

図表 7-6 に示すとおり、概ね 105～116%の水準を確保しており、類似団体平均よりも高く、現状において料金水準は適正であると判断できます。

図表7-6 料金回収率

評価

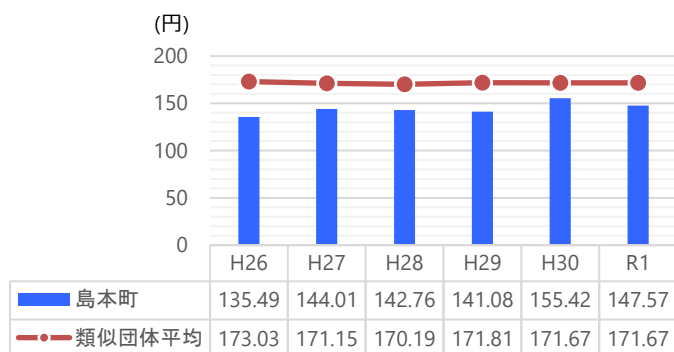


6) 給水原価

$$\left(\text{経常費用} - \left(\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{附帯事業費} \right) - \text{長期前受金戻入} \right) / \text{年間総有収水量}$$

<指標の意味>

有収水量 1 m³ 当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す指標で、経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握・分析できます。



<分析コメント>

図表 7-7 に示すとおり、現在のところ、給水原価は類似団体より低めです。

老朽管更新事業が本格的に実施され、その設計委託費、工事監理費及び給水管工事費が増加したため、ゆるやかな増加傾向にあります。

図表7-7 給水原価

評価

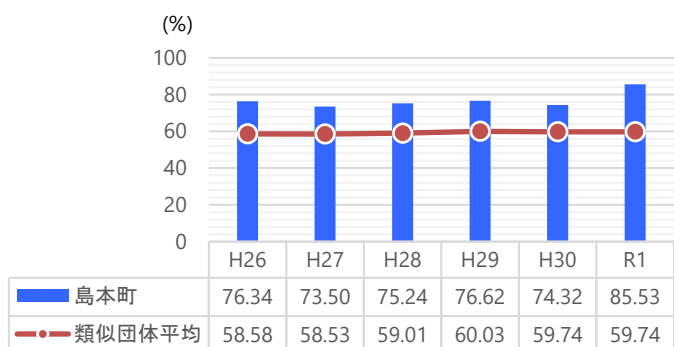


7) 施設利用率

$$\text{一日平均配水量} / \text{一日配水能力} \times 100$$

<指標の意味>

施設の利用状況や適正規模を判断する指標で、一般的には高い数値であることが望めます。



<分析コメント>

近年の宅地開発による水需要の変動により、74～86%の間で上下していますが、類似団体に比べ全体に高目で良好な状態です。

図表7-8 施設利用率

評価



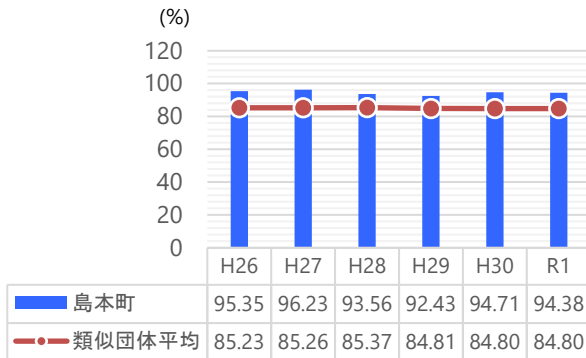
8) 有収率

$$\text{年間総有収水量} \div \text{年間総配水量} \times 100$$

<指標の意味>

有収水量の配水量に対する割合です。

水道施設及び給水装置を通して給水される水量がどの程度収益につながっているかを示す指標で高い数値であることが望まれます。



<分析コメント>

図表 7-9 に示すとおり、90%を超えており、類似団体平均より高く、良好であると考えられます。

図表7-9 有収率

評価



7.5.2 老朽化の状況

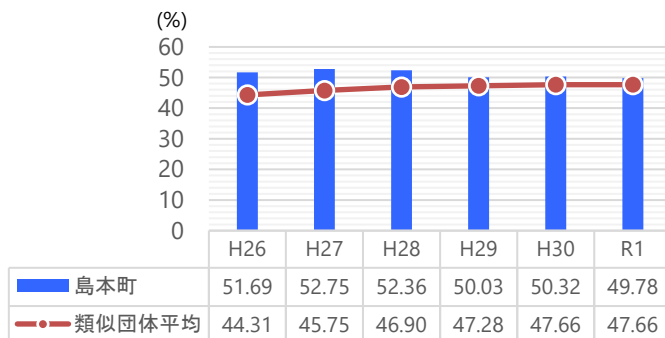
1) 有形固定資産減価償却率

$$\text{有形固定資産減価償却累計額} \div \text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価} \times 100$$

<指標の意味>

有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合いを示しています。

管路経年化率や管路更新率の状況を踏まえて分析する必要がありますが、一般的には、数値が100%に近いほど保有資産が法定耐用年数に近づいていることを示しており、将来の施設の更新等の必要性を推測することができます。



<分析コメント>

図表 7-10 に示すとおり、類似団体平均より高い水準ですが、施設の老朽化が進む中、平成 18（2007）年度～令和元（2019）年度の大藪浄水場施設更新及び平成 26（2014）年度よりの「水道管路等更新計画」の実施により、ゆるやかな減少傾向がみられます。

図表7-10 有形固定資産減価償却率

評価



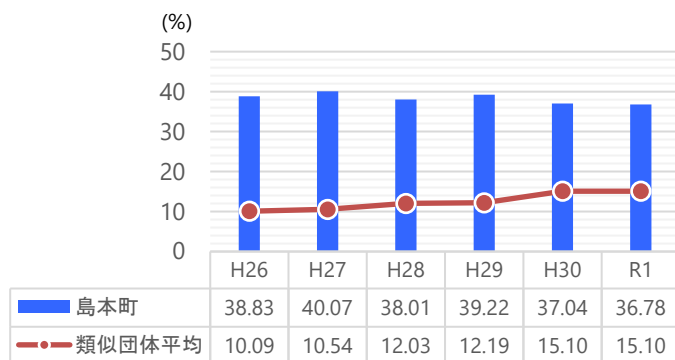
2) 管路経年化率

$$\text{法定耐用年数を経過した管路延長} \div \text{管路延長} \times 100$$

<指標の意味>

法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標で、管路の老朽化度合いを示しています。

一般的に、数値が高い場合は、法定耐用年数を経過した管路を多く保有しており、管路の更新等の必要性を推測することができます。



<分析コメント>

図表 7-11 に示すとおり、平成 26（2014）年度よりの「水道管路等更新計画」の実施によりゆるやかな減少傾向が見られますが、類似団体平均と比べると数値は高い状況です。

図表7-11 管路経年化率

評価 | △

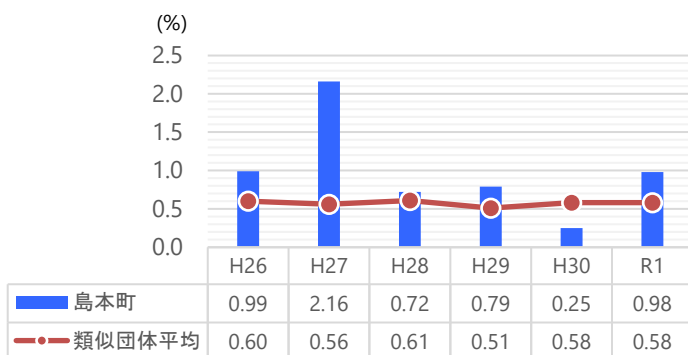
3) 管路更新率

$$\text{当該年度に更新した管路延長} \div \text{管路延長} \times 100$$

<指標の意味>

当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標で、管路の更新ペースや状況を把握できます。

数値が 1 % の場合、全ての管路を更新するのに 100 年かかる更新ペースであることが把握できます。



<分析コメント>

図表 7-12 に示すとおり、類似団体と比較して、管路更新率は高く、島本町の管路更新基準（約 1.7%）から判断しますと、平成 27（2015）年度以外は基準値を下回っています。しかし、大薮浄水場の更新事業が令和元（2019）年度で完了したため、今後は更新基準値以上の数値が見込まれます。

図表7-12 管路更新率

評価 | ○

※注：各経営指標のグラフ中、類似団体平均は給水人口 3 万人以上～5 万人未満の末端給水事業の平均を示します。

7.5.3 総 評

(1) 経営の健全性・効率性について

経営の健全性・効率性については、図表 7-13 に示すとおり、8 指標共全て「◎」で良好です。

図表 7-13 経営の健全性・効率性の評価

指 標 名	評価
1) 経常収支比率	◎
2) 累積欠損金比率	◎
3) 流動比率	◎
4) 企業債残高対給水収益比率	◎
5) 料金回収率	◎
6) 給水原価	◎
7) 施設利用率	◎
8) 有収率	◎

(2) 老朽化の状況

図表 7-14 に示すとおり、3 指標共「△」～「○」の評価であり、施設が老朽化していく中で近年の大藪浄水場施設更新や水道管路等更新の効果が表れつつあることがうかがえます。今後もアセットマネジメント手法による計画的な更新に取り組む必要があります。

図表 7-14 老朽化の状況の評価

指 標 名	評価
1) 有形固定資産減価償却率	○
2) 管路経年化率	△
3) 管路更新率	○



7.6

経営目標

本計画の策定にあたり、計画期間が終了する令和 15（2033）年度末時点までに、かつ継続的に達成すべき経営目標として次の事項を設定します。

投資計画

新ビジョンの「安全」「強靱」「持続」の 3 つの観点から設定した施策目標から、投資計画における管理指標は図表 7-15 に示すとおりとしました。

図表 7-15 投資計画の管理指標

水道の施策	指標名	単位	望ましい方向性	現 状 令和元 2019	目 標 令和 15 2033	備 考
水道施設の 計画的な更新	機械・電気計装設備 経年化率	%	0	51.1	0	
	管 路 経 年 化 率	%	0	0	0	
	有 収 率	%	↑	94.4	96	
水道施設の 耐震化	配水池耐震化率	%	100	98.5	100	
	ポンプ所耐震化率	%	100	68.9	100	
	管路耐震適合率	%	100	28.7	50	

財政計画

財政計画における管理指標は図表 7-16 に示すとおりとしました。

図表 7-16 財政計画の管理指標

指標名	単位	望ましい方向性	現 状 令和元 2019	目 標 令和 15 2033	備 考
経常収支比率	%	↑	114.19	110 以上	
資金残高対給水収益比率	%	↑	295.20	50 以上	
企業債残高対給水収益比率	%	↓	75.59	300 以内	
料金回収率（供給単価／給水原価）	%	↑	108.73	100 以上	

7.7 投資・財政計画（収支計画）

7.5 節で設定した経営目標を実現させるにあたり、計画期間における投資計画（将来にわたって安定的に事業を継続していくために必要となる施設・整備に関する投資の見通しを試算した計画）と財政計画（投資計画等の支出を賄うための財源の見通しを試算した計画）を行い、その投資・財政計画（収支計画）をまとめると、以下に示すとおりです。

7.7.1 投資計画

（1）施設整備事業費（施設・設備）

アセットマネジメントから更新基準年数による配水池・ポンプ所等の土木建築構造物、機械及び電気計装設備の更新費用、ならびにポンプ室の耐震化事業への投資額を「施設整備事業費（施設・整備）」として計上します。

その主な事業は以下のとおりです。

■ 老朽化施設更新事業費	220,100 千円
■ 耐震化事業費	18,500 千円
■ 危機管理体制強化事業	288,500 千円
計	527,100 千円

（2）施設整備事業費（管路）

前節の投資計画に示したように、令和元（2019）年度現在の耐震適合率 28.7%を令和 15（2033）年度末において 50%（年約 2 ポイントの上昇）達成すべく管路更新事業の投資額を「施設整備事業費（管路）」として計上します。

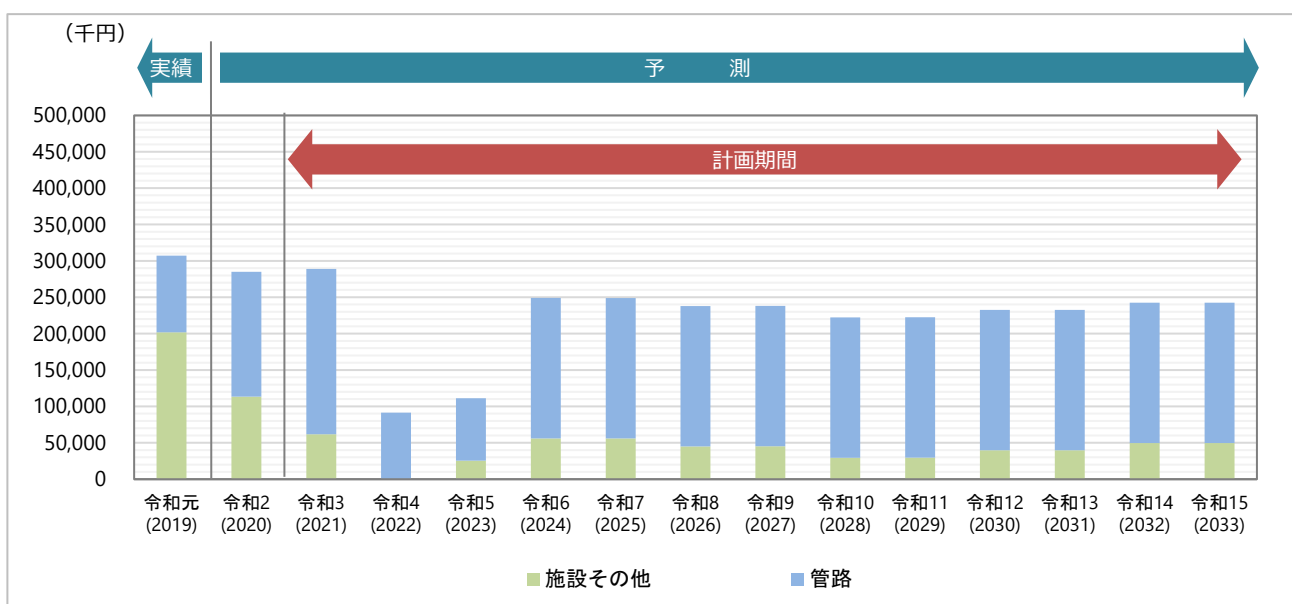
■ 耐震化事業費	2,860,400 千円
----------	--------------

(3) 年度別投資額

投資計画による年度別投資額は図表 7-17 のとおりです。

図表 7-17 年度別投資額

(単位:千円) [税込み]															
区 分	令和元 2019	令和 2 2020	令和 3 2021	令和 4 2022	令和 5 2023	令和 6 2024	令和 7 2025	令和 8 2026	令和 9 2027	令和 10 2028	令和 11 2029	令和 12 2030	令和 13 2031	令和 14 2032	令和 15 2033
施設その他	201,900	113,500	61,800	0	25,400	56,100	56,000	44,900	45,200	29,400	29,500	39,700	39,700	49,700	49,700
管 路	105,300	171,400	227,200	91,300	85,800	192,900	192,900	192,900	192,900	192,900	192,900	192,900	192,900	192,900	192,900
施設整備事業費	307,200	284,900	289,000	91,300	111,200	249,000	248,900	237,800	238,100	222,300	222,400	232,600	232,600	242,600	242,600



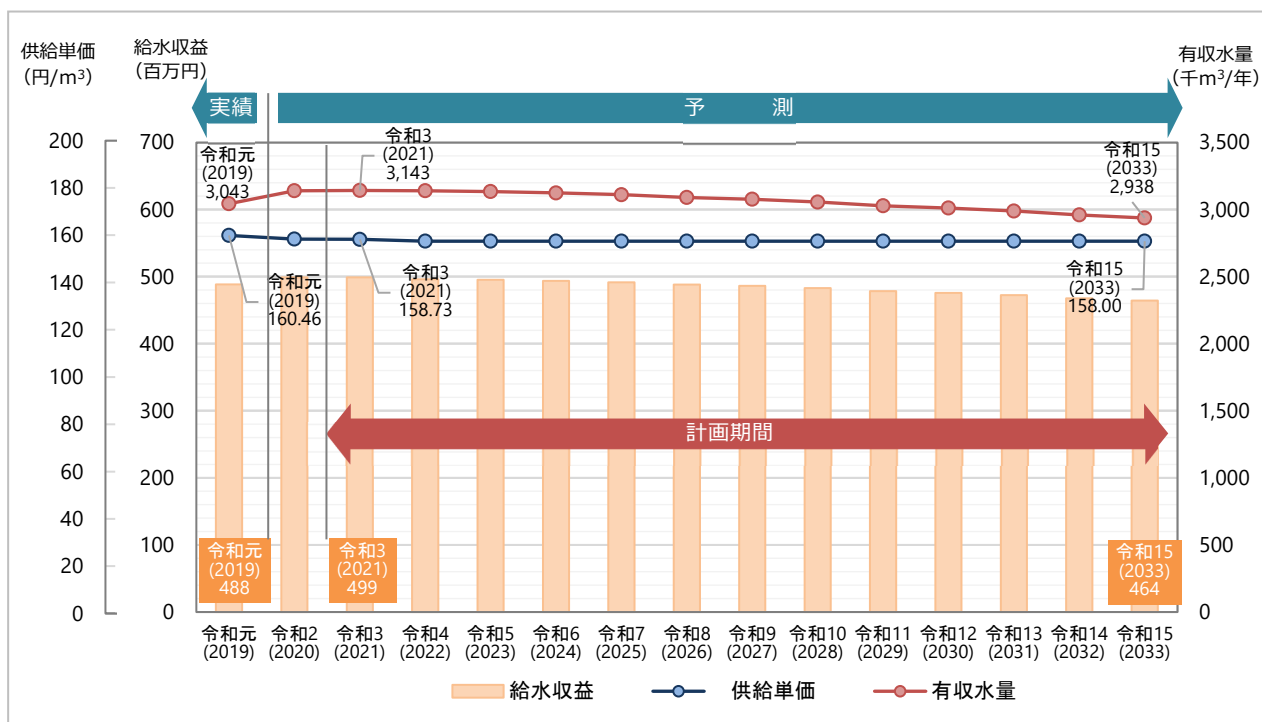
7.7.2 財政計画

(1) 給水収益

計画期間における給水収益の見通しは、安全のため人口規模が「下限」で推移すると仮定すると、図表 7-18 に示すとおりです。実績最新年度令和元（2019）年度の 488 百万円から年々減少し、令和 15（2033）年度には 464 百万円となる見込みです。

図表 7-18 有収水量と給水収益

区 分	令和元 2019	令和2 2020	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024	令和7 2025	令和8 2026	令和9 2027	令和10 2028	令和11 2029	令和12 2030	令和13 2031	令和14 2032	令和15 2033
有 収 水 量 (千m ³ /年)	3,043	3,140	3,143	3,140	3,134	3,124	3,111	3,090	3,077	3,056	3,028	3,011	2,989	2,960	2,938
供 給 単 価 (円/m ³)	160.46	158.85	158.73	158.00	158.00	158.00	158.00	158.00	158.00	158.00	158.00	158.00	158.00	158.00	158.00
給 水 収 益 (百万円)	488	499	499	496	495	494	492	488	486	483	478	476	472	468	464



(2) 企業債

本町水道事業の資本的収入の実績を見ると、平成 24（2012）年度以降は企業債を発行していないため、企業債残高対給水収益比率は令和元（2019）年度現在 75.59%と類似他都市の平均値 396.2%（平成 29（2017）年度）に比べ非常に低い水準です。

本計画における財政シミュレーションでは計画期間内の企業債は見込まなくても資金収支の均衡は保てましたが、今後の更新事業への投資額が増大する中、令和 12（2030）年度以降の収支状況の変動によっては企業債の発行について検討する必要があります。

7.7.3 投資・財政計画（収支計画）

（1）投資・財政 計画に基づく財政収支シミュレーション の前提条件

図表 7-19 収益的収支に関する前提条件

項 目			前 提 条 件		
収 益 的 収 支	収 入	営 業 収 益	料金収入	有収水量（※1）×供給単価（※2）で算定 ※1 水需要予測・m3 円止 ※2 令和 2（2020）年度決算見込単価で一定	
			受託工事収益	ゼロとして算定	
			その他	過年度の実績を踏まえ算定	
		営 業 外 収 益	他会計補助金	過年度の実績を踏まえ算定	
			長期前受金戻入	【既得資産】：固定資産減価償却計画表による。 【新規資産】：取得時の財源（他会計出資金、他会計負担金、工事負担金、その他）に償却率 0.025（法定耐用年数 40 年に対応）を乗じて算出	
			その他	過年度の実績を踏まえ算定	
		支 出	営 業 費 用	職員給与費	職員数(※3)x 一人あたり人件費(※4)で算定 ※3 職員数は令和 2(2020)年度の人数 10 人で一定 ※4 一人あたりの人件費は令和元（2019）年度実績で一定
				減価償却費	【既得資産】：固定資産減価償却計画表による。 【新規資産】：法定耐用年数毎に定額法により算出（残存価格 10%） 法定耐用年数経過後は、残存価格 5%まで償却する。
				その他	過年度の実績を踏まえ算定
	営 業 外 費 用		支払利息	【既往債】：借入金返済計画表による。 【新規債】：元利均等償還（5 年据置 25 年償還・半年賦） 固定金利	
			その他	過年度の実績を踏まえ算定	
	特別損益			ゼロとして算定	

図表 7-20 資本的収支に関する前提条件

項 目		前 提 条 件	
資 本 的 収 支	収 入	企業債	ゼロとして算定
		他会計出資金	簡易水道統合時起債額の 1／2 を計上
		他会計負担金	下水道整備による移設費を計上
		工事負担金	JR 島本駅西の土地区画整理事業による特別開発負担金を計上 (令和 3 年度のみ)
		その他	給水戸数の増加等に伴う加入金を計上
	支 出	建設改良費	投資計画に基づき算定
		企業債償還金	【既往債】：借入金返済計画表による。 【新規債】：元利均等償還（5 年据置 25 年償還・半年賦） 固定金利



(2) 財政 計画に基づく財政収支シミュレーション の 実施結果



項 目 \ 年 度			決算	予算				
			R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024
収 益 的 収 支	収 入	給 水 収 益	488,321	498,800	498,900	496,100	495,200	493,600
		その他営業収益	5,413	2,300	2,200	2,300	2,300	2,300
		長期前受金戻入	58,808	53,800	53,900	54,200	55,100	55,800
		その他	30,788	18,100	34,100	26,000	26,000	26,000
		収入計(A)	583,330	573,000	589,100	578,600	578,600	577,700
	支 出	人 件 費 計	58,599	65,200	86,200	70,000	70,000	70,000
		物 件 費 計	207,952	233,700	213,700	184,400	184,300	191,100
		受水費	23,584	23,600	23,600	23,800	23,700	23,500
		減価償却費等	209,502	199,800	206,400	208,700	208,700	208,800
		支 払 利 息	7,435	7,100	6,800	6,500	6,200	5,800
		その他	3,763	3,200	3,500	3,500	3,500	3,500
		支出計(B)	510,835	532,600	540,200	496,900	496,400	502,700
	損 益 計 (A-B)		72,495	40,400	48,900	81,700	82,200	75,000
	経常収支比率 (%)		114.19	107.59	109.05	116.44	116.56	114.92
	有 収 水 量 (m ³ /年)		3,043,252	3,140,000	3,143,000	3,140,000	3,134,000	3,124,000
	供 給 単 価 (円/m ³)		160.46	158.85	158.73	158.00	158.00	158.00
	給 水 原 価 (円/m ³)		147.57	151.46	153.71	139.97	139.79	142.03
	料金回収率 (%)		108.73	104.88	103.27	112.88	113.03	111.24
資 本 的 収 支	収 入	企業債	0	0	0	0	0	0
		加入金	27,480	4,300	4,300	30,400	20,900	32,300
		工事負担金	0	0	11,500	11,500	11,500	11,500
		特別開発負担金	5,820	0	10,700	0	0	0
		他会計出資金	1,603	1,600	1,700	1,700	1,700	1,800
		収入計 (A)	34,903	5,900	28,200	43,600	34,100	45,600
	支 出	建設改良費	390,595	324,200	306,900	109,200	129,100	266,900
		企業債償還金	15,628	15,900	16,200	16,600	16,900	17,200
		支出計 (B)	406,223	340,100	323,100	125,800	146,000	284,100
	差引不足額 (B-A) (C)		371,320	334,200	294,900	82,200	111,900	238,500
	企 業 債 残 高		369,136	353,236	337,036	320,436	303,536	286,336
	企業債残高対給水収益比率 (%)		75.59	70.82	67.56	64.59	61.30	58.01
	企 業 債 比 率 (%)			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
資 金 収 支	損益勘定 剰余金 (イ)		72,495	40,400	48,900	81,700	82,200	75,000
	損益勘定 留保資金 (ロ)		132,868	143,800	151,900	153,900	153,000	152,400
	資本勘定 収支不足額 (ハ)		371,320	334,200	294,900	82,200	111,900	238,500
	差し引き (イ+ロ-ハ)		-165,957	-150,000	-94,100	153,400	123,300	-11,100
	資 金 残 高		1,441,511	1,291,511	1,197,411	1,350,811	1,474,111	1,463,011
	資金残高対給水収益比率 (%)		295.20	258.92	240.01	272.29	297.68	296.40

計 画 期 間

(単位:千円) [税抜き]

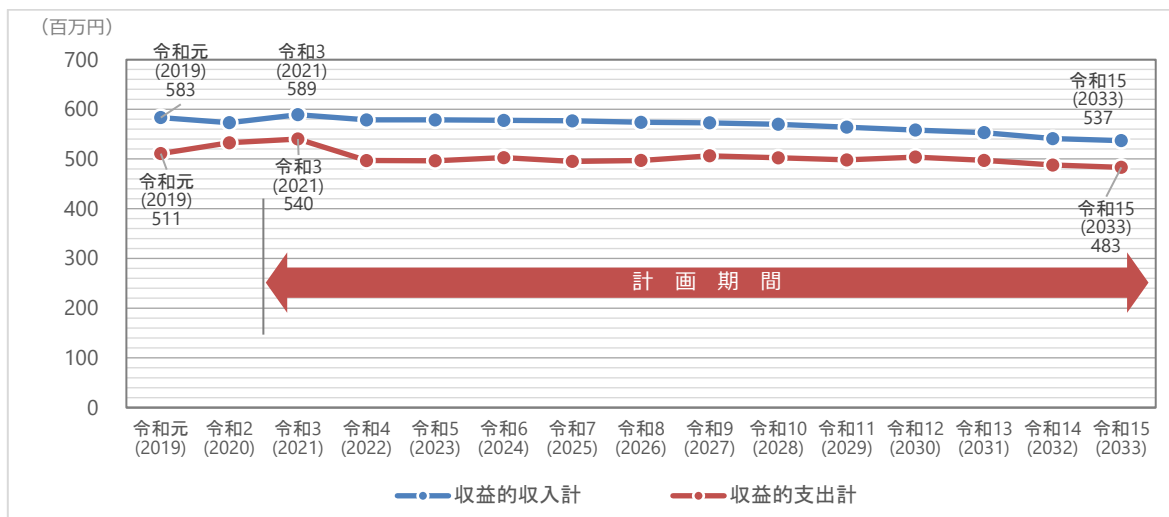
予 測								
R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033
491,500	488,200	486,200	482,800	478,400	475,700	472,300	467,700	464,200
2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
56,800	57,300	58,100	58,600	57,200	54,100	52,400	45,000	44,400
26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000
576,600	573,800	572,600	569,700	563,900	558,100	553,000	541,000	536,900
70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
183,900	183,600	190,400	183,100	182,600	189,400	182,100	181,600	188,300
23,500	23,300	23,200	23,000	22,800	22,600	22,500	22,200	22,000
208,700	211,400	214,500	218,300	215,200	214,600	215,700	207,700	197,000
5,500	5,200	4,800	4,400	4,100	3,700	3,300	2,900	2,600
3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
495,100	497,000	506,400	502,300	498,200	503,800	497,100	487,900	483,400
81,500	76,800	66,200	67,400	65,700	54,300	55,900	53,100	53,500
116.46	115.45	113.07	113.42	113.19	110.78	111.25	110.88	111.07
3,111,000	3,090,000	3,077,000	3,056,000	3,028,000	3,011,000	2,989,000	2,960,000	2,938,000
158.00	158.00	158.00	158.00	158.00	158.00	158.00	158.00	158.00
139.86	141.26	144.65	144.14	144.58	148.29	147.71	148.55	148.33
112.97	111.85	109.23	109.62	109.28	106.55	106.97	106.36	106.52
[税込み]								
0	0	0	0	0	0	0	0	0
11,400	15,200	3,800	13,300	3,800	3,800	7,600	3,800	3,800
11,500	31,900	31,900	31,900	31,900	31,900	31,900	31,900	31,900
0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,800	1,800	1,900	1,900	1,900	2,000	2,000	1,300	1,300
24,700	48,900	37,600	47,100	37,600	37,700	41,500	37,000	37,000
266,800	255,700	256,000	240,200	240,300	250,500	250,500	260,500	260,500
17,600	17,900	18,300	18,600	19,000	19,400	19,700	18,500	18,900
284,400	273,600	274,300	258,800	259,300	269,900	270,200	279,000	279,400
259,700	224,700	236,700	211,700	221,700	232,200	228,700	242,000	242,400
268,736	250,836	232,536	213,936	194,936	175,536	155,836	137,336	118,436
54.68	51.38	47.83	44.31	40.75	36.90	33.00	29.36	25.51
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
81,500	76,800	66,200	67,400	65,700	54,300	55,900	53,100	53,500
151,300	153,500	155,800	159,100	157,400	159,900	162,700	162,100	152,000
259,700	224,700	236,700	211,700	221,700	232,200	228,700	242,000	242,400
-26,900	5,600	-14,700	14,800	1,400	-18,000	-10,100	-26,800	-36,900
1,436,111	1,441,711	1,427,011	1,441,811	1,443,211	1,425,211	1,415,111	1,388,311	1,351,411
292.19	295.31	293.50	298.64	301.67	299.60	299.62	296.84	291.13

収益的収支

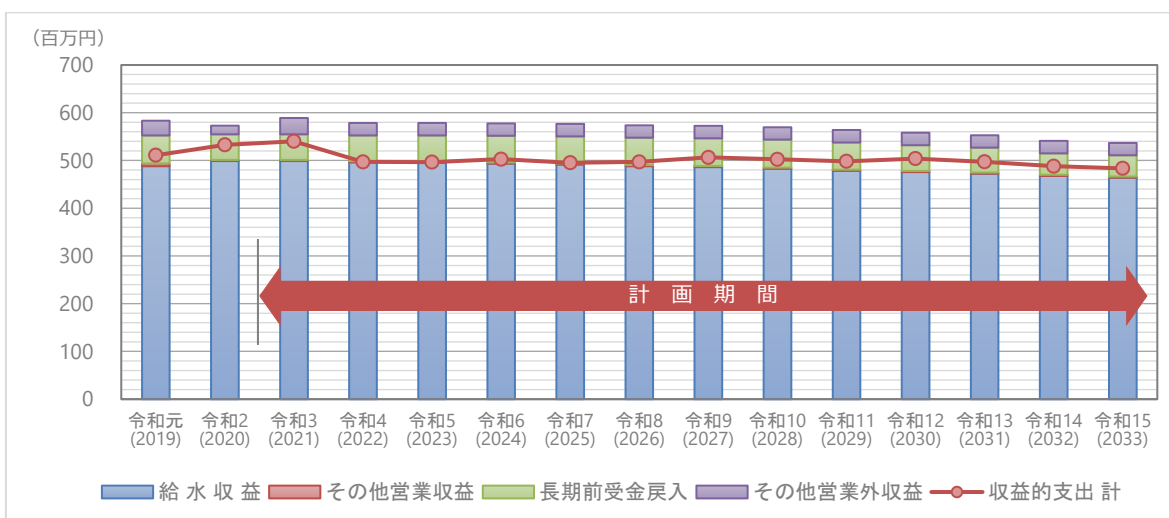
計画期間における収益的収支を見ると、収入は図表-7-21 及び図表 7-22 に示すとおり、その約 80%を占める給水収益のゆるやかな減少傾向により、令和元（2019）年度実績の約 583 百万円から令和 15（2033）年度の約 537 百万円へと減少しています。

これに対し、支出は図表 7-21 及び図表 7-23 に示すとおり、今後の投資により、減価償却費は増加傾向にありますが、水需要の減少により受水費は減少傾向にあることから、令和元（2019）年度実績の約 511 百万円から横ばい傾向の後、後半はゆるやかに減少し、令和 15（2033）年度では約 483 百万円となっています。

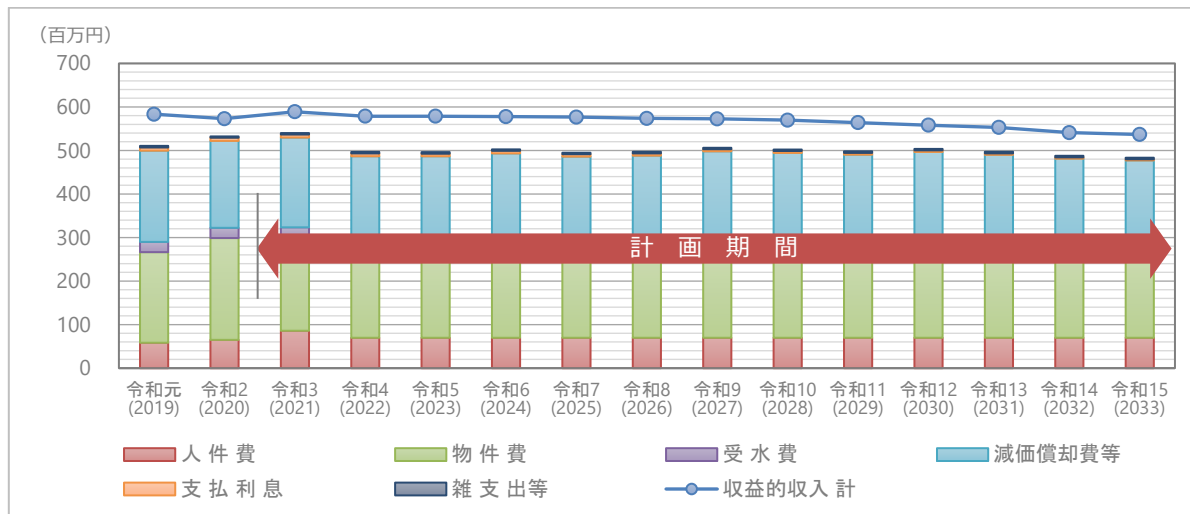
その結果、収支は、約 82 百万円から約 54 百万円へと減少傾向ですが、黒字を維持しています。



図表 7-21 収益的収支



図表 7-22 収益的収入の内訳



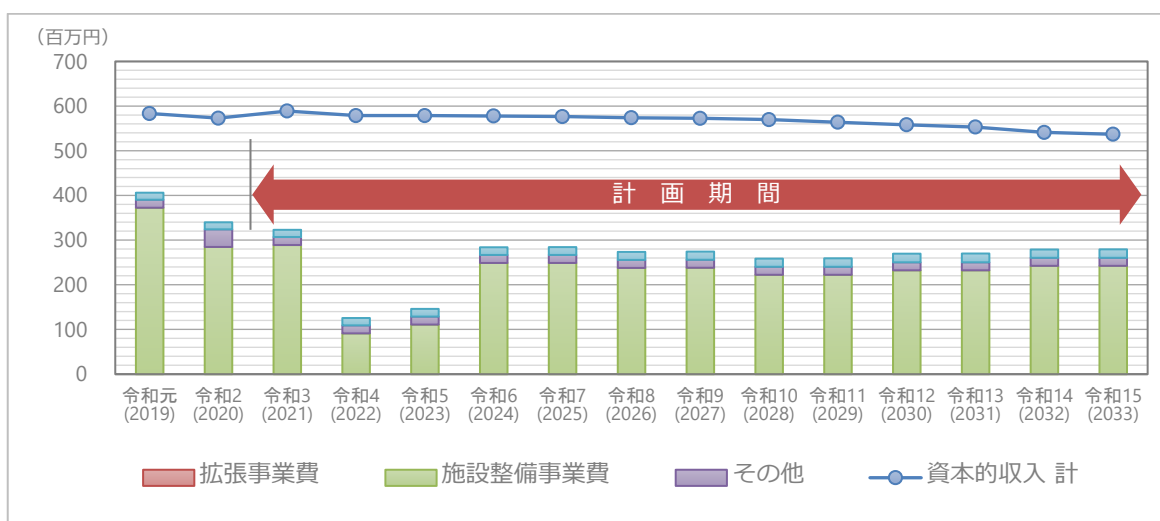
図表 7-23 収益的支出の内訳

資本的収支

計画期間における資本的収支は、図表 7-24 に示すとおり収入は、令和元（2019）年度実績で約 35 百万円でしたが、加入金と工事負担金の増減に左右され約 25 百万円から約 49 百万円の間で上下しています。

一方支出は建設改良費の見込み額により増減しており令和元（2019）年度実績で約 406 百万円だったものが約 126 百万円～約 323 百万円の間で上下しています。

その結果、収支不足額は約 82 百万円～約 295 百万円の間で上下しています。

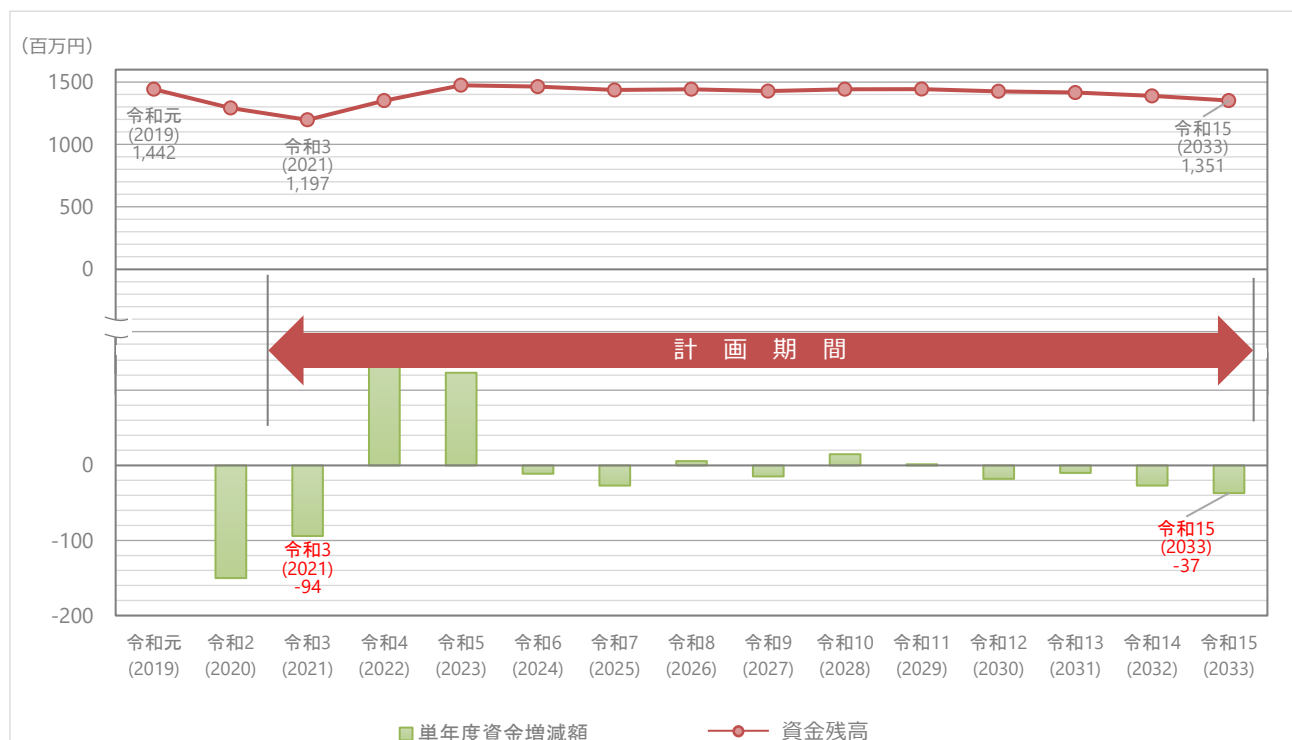


図表 7-24 資本的収支

資金収支

計画期間における資金収支は、図表 7-25 に示すとおりです。

令和元（2019）年度実績で約 1,442 百万円であった資金残高は、令和 13（2031）年度までは、ほぼ横ばい状態で推移し、令和 15（2033）年度は事業費の増加により、約 1,351 百万円となる見込みです。



図表 7-25 資金収支



7.7.4 投資・財政計画（収支計画）の総括

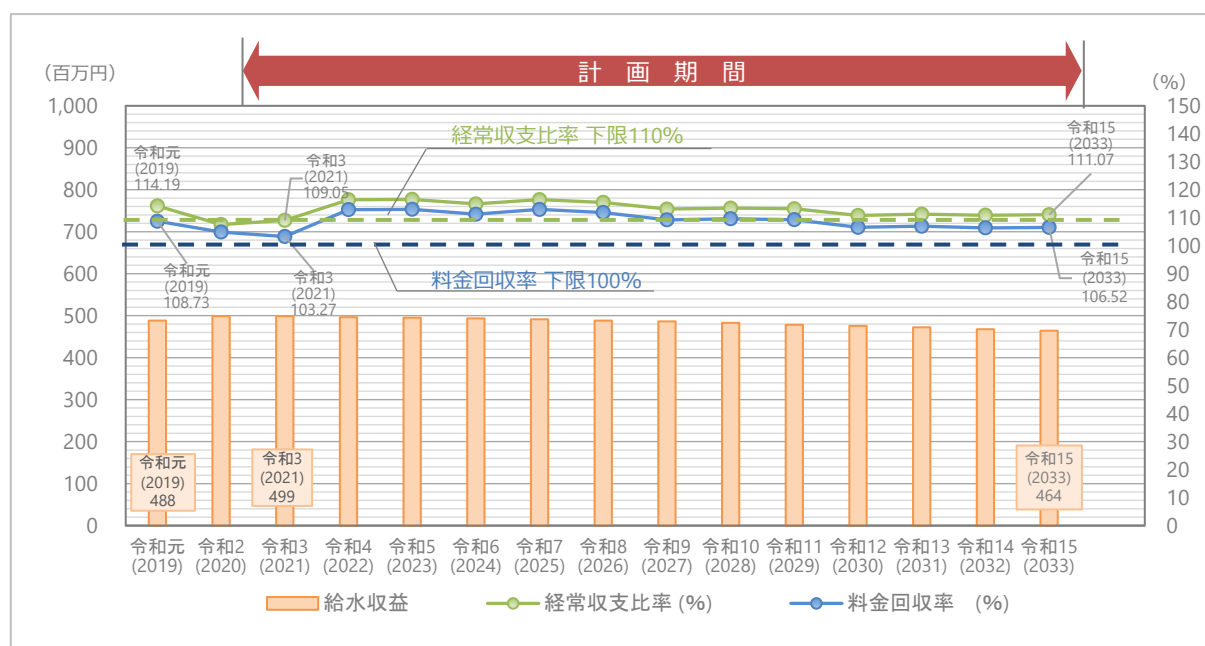
財政シミュレーションを行った結果、計画期間における財政計画の管理目標に対する達成状況は、以下に示すとおりです。

（1）経常収支比率と料金回収率

計画期間における経常収支比率と料金回収率は図表 7-26 に示すとおりです。

経常収支比率は目標値 110%以上に対し、令和元（2019）年度実績は約 114%を示し、その後横ばい状態で推移して、令和 15（2033）年度は約 111%となる見込みです。計画期間内は、目標値以上となりますが、その後は経常収支は悪化する見込みです。

料金回収率は、目標値 100%以上に対し、令和元（2019）年度実績は約 109%を示し、その後徐々に減少して令和 15（2033）年度は約 106%まで下がる見込みです。計画期間内は目標値以上となる見込みですが、同様に年々悪化する見込みです。



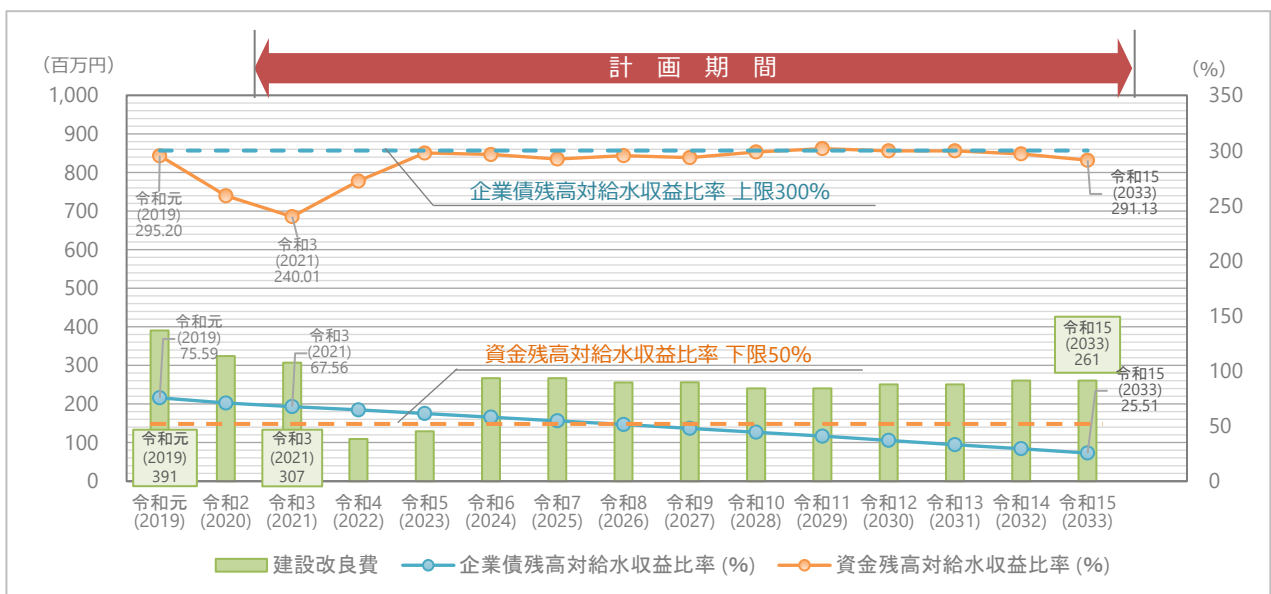
図表-7-26 経常収支比率、料金回収率と給水収益

(2) 資金残高 及び 企業債残高対給水収益比率

計画期間における資金残高対給水収益比率と企業債残高対給水収益比率は図表 7-27 に示すとおりです。

資金残高対給水収益比率は、令和元（2019）年度実績の約 295%から令和 3（2021）年度の約 258%まで一旦下がりますが、その後増加し令和 11（2029）年度の約 302%をピークに減少し、令和 15（2033）年度では約 291%となっていますが、目標値 50%以上は充分満足しています。

企業債残高対給水収益比率は計画期間内では新たな企業債の発行が無い場合、令和元（2019）年度実績の約 76%から減少し、令和 15（2033）年度では約 26%となっています。



図表 7-27 資金残高 及び 企業債残高対給水収益比率

(3) 総 括

計画期間における財政計画の管理目標の達成状況をまとめると図表 7-28 に示すとおりです。

いずれの指標値とも目標値を達成できており、計画期間内は、健全な経営が見込まれます。しかしながら、いずれの指標値も計画期間終盤からその後にかけて、年々悪化する見込みとなっていることから、計画期間後の状況も考慮しながら経営を進めていく必要があります。

図表 7-28 財政計画目標達成状況

(単位：%)

指 標 名	現 状 令和元 2019	計 画 令和 15 2033	増 減	目 標 令和 15 2033	評価
経常収支比率	114.19	111.07	-3.12	100～110 以上	◎
資金残高対給水収益比率	295.20	291.13	-4.07	50 以上	◎
企業債残高対給水収益比率	75.59	25.51	-50.08	300 以内	◎
料金回収率（供給単価／給水原価）	108.73	106.52	-2.21	100 以上	◎

7.7.5 今後の取り組み

(1) 適正な水道料金の検討

持続的、安定的な水道経営に向けた財源を確保するために、これまで以上の経営の効率化と経費削減に取り組みながら、現役世代と将来世代の世代間の負担の公平性を考慮しつつ、今後の事業環境に応じた適正な料金体系のあり方について検討を行っていきます。

(2) 適正な財源確保の検討

水道事業における主な財源は料金収入と企業債であり、その他の財源として、補助金や交付金等があります。企業債を発行することで料金の値上げを抑えることができますが、過度に企業債を発行することは将来世代に負担を残すことになります。世代間の負担の公平性を考慮しつつ、将来にわたって適正な財源が確保できるよう検討を行っていきます。

(3) 新たな収入源の検討

停止した水道施設用地については、将来の土地利用を考慮したうえで、収入増につながる活用方法等について検討していきます。

(4) ダウンサイジングの検討

水需要の動向を見ながら、的確に事業環境を把握し、適宜更新計画等を見直し、施設等への過剰投資とならないようダウンサイジングを視野にいれ整備を進めていきます。

(5) 広域連携等に係る取組み

近隣水道事業体との広域連携の範囲の拡大について、継続して検討していくとともに、府域水道事業の広域化の動きについて、今後とも注視していきます。



第8章

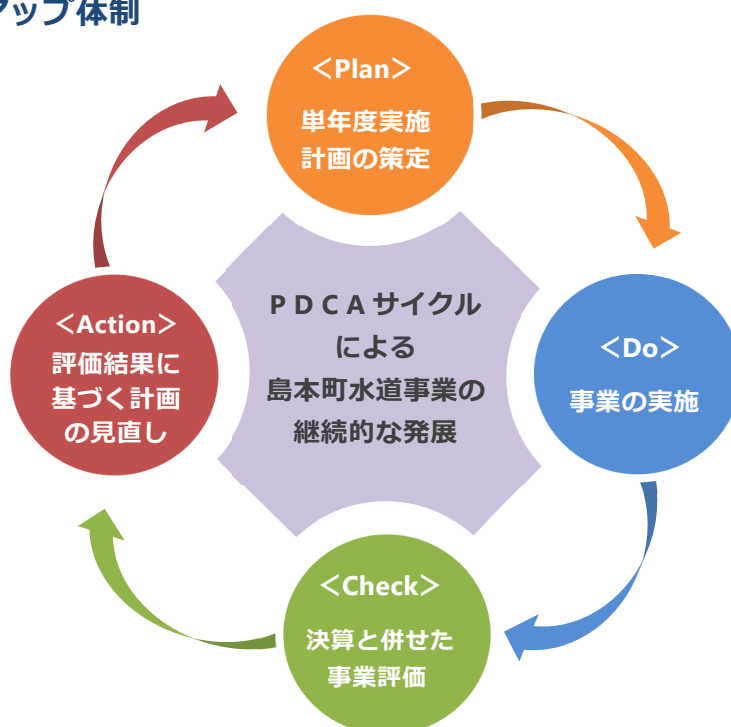
進 捗 管 理

新ビジョンによる施策や事業を着実に推進するため、現行の投資計画「水道管路更新等計画」（平成 26 年度～令和 5 年度）及び現行の財政計画「島本町水道事業財政計画」（平成 30 年度～令和 3 年度）との整合を図りながら、毎年度の進捗管理（モニタリング）を行うとともに、3～5 年に一度検証・見直し（ローリング）を行います。

見直しに当たっては、経営戦略の達成度を評価し、投資・財政計画と実績との乖離及びその原因を分析し、その結果を企業経営に反映させる PDCA サイクル「計画策定(Plan)－実施(Do)－検証(Check)－見直し(Action)」を導入します。

- ◆ 毎年度の進捗管理（モニタリング）
 - 投資・財政計画における実績値の把握と計画との乖離の確認
 - 経営指標を分析し、経営健全化に向けた状況把握と今後の取り組みの方向性の確認
- ◆ 3～5 年毎の検証・見直し（ローリング）
 - 投資・財政計画の実績推移の把握
 - 計画値との乖離が大きい場合には、将来見通しの再評価
 - 投資計画及び財源の内容の検証及び見直し
 - 経営指標の算定による経営状況の再評価及び必要に応じて新たな目標の設定

フォローアップ体制



図表 8-1 PDCA サイクルによる進捗管理

資料編

1. 総務省 経営戦略ひな形様式による投資・財政計画（収支計画）資 1-1～4
2. 用語集資 2-1～3
3. アンケート調査【結果報告書】資 3-1～90

1. 総務省 経営戦略ひな形様式による投資・財政計画（収支計画）

※P76・77 と同じデータによる

（1）収益的収支

年 度		R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
区 分		(決 算)	(予 算)	(将来予測)	(将来予測)	(将来予測)	(将来予測)
収 益 的 収 入	1. 営 業 収 益 (A)	493,734	501,100	501,100	498,400	497,500	495,900
	(1) 料 金 収 入	488,321	498,800	498,900	496,100	495,200	493,600
	(2) 受 託 工 事 収 益 (B)	1,037	300	300	300	300	300
	(3) そ の 他	4,376	2,000	1,900	2,000	2,000	2,000
	2. 営 業 外 収 益	89,596	71,900	88,000	80,200	81,100	81,800
	(1) 補 助 金	3,832	3,800	19,500	3,000	3,000	3,000
	他 会 計 補 助 金	3,832	3,800	19,500	3,000	3,000	3,000
	そ の 他 補 助 金						
	(2) 長 期 前 受 金 戻 入	58,808	53,800	53,900	54,200	55,100	55,800
	(3) そ の 他	26,956	14,300	14,600	23,000	23,000	23,000
	収 入 計 (C)	583,330	573,000	589,100	578,600	578,600	577,700
	1. 営 業 費 用	499,637	522,300	529,900	486,900	486,700	493,400
	(1) 職 員 給 与 費	58,599	65,200	86,200	70,000	70,000	70,000
	基 本 給 与 費	28,441	31,600	34,000	34,000	34,000	34,000
	退 職 給 付 費	0	0	16,200	0	0	0
	そ の 他	30,158	33,600	36,000	36,000	36,000	36,000
	(2) 経 費	231,536	257,300	237,300	208,200	208,000	214,600
	動 力 費	36,047	43,200	43,300	42,900	42,800	42,600
	薬 品 費	994	1,600	0	0	0	0
	受 水 費	23,584	23,600	23,600	23,800	23,700	23,500
	そ の 他	170,911	188,900	170,400	141,500	141,500	148,500
支 出	(3) 減 価 償 却 費	191,676	197,600	205,800	208,100	208,100	208,200
	資 産 減 耗 費	17,826	2,200	600	600	600	600
	2. 営 業 外 費 用	11,198	10,300	10,300	10,000	9,700	9,300
	(1) 支 払 利 息	7,435	7,100	6,800	6,500	6,200	5,800
	(2) そ の 他	3,763	3,200	3,500	3,500	3,500	3,500
	支 出 計 (D)	510,835	532,600	540,200	496,900	496,400	502,700
	経 常 損 益 (C)-(D) (E)	72,495	40,400	48,900	81,700	82,200	75,000
	特 別 利 益 (F)	0	0	0	0	0	0
	特 別 損 失 (G)	0	0	0	0	0	0
	特 別 損 益 (F)-(G) (H)	0	0	0	0	0	0
当 年 度 純 利 益 (又 は 純 損 失) (E)+(H)		72,495	40,400	48,900	81,700	82,200	75,000
繰 越 利 益 剰 余 金 又 は 累 積 欠 損 金 (I)		72,495	40,400	48,900	81,700	82,200	75,000
流 動 資 産 (J)	う ち 未 収 金						
	流 動 負 債 (K)						
	う ち 建 設 改 良 費 分						
	う ち 一 時 借 入 金						
累 積 欠 損 金 比 率 ($\frac{(I)}{(A)-(B)} \times 100$)							
地方財政法施行令第15条第1項により算定した 資 金 の 不 足 額 (L)							
営 業 収 益 - 受 託 工 事 収 益 (A)-(B) (M)		492,697	500,800	500,800	498,100	497,200	495,600
地 方 財 政 法 に よ る 資 金 不 足 の 比 率 ((L)/(M)×100)							
健全化法施行令第16条により算定した 資 金 の 不 足 額 (N)							
健全化法施行規則第6条に規定する 解 消 可 能 資 金 不 足 額 (O)							
健全化法施行令第17条により算定した 事 業 の 規 模 (P)							
健全化法第22条により算定した 資 金 不 足 比 率 ((N)/(P)×100)							

[illegible]

(2) 資本的収支

年 度 区 分			前々年度 (決 算)	R2(2020) (予 算)	R3(2021) (将来予測)	R4(2022) (将来予測)	R5(2023) (将来予測)	R6(2024) (将来予測)
資 本 的 収 入 <								

○他会計繰入金

年 度 区 分		前々年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
		(決 算)	(予 算)	(将来予測)	(将来予測)	(将来予測)	(将来予測)
収 益 的 収 支 分		3,832	3,800	19,500	3,000	3,000	3,000
	うち 基 準 内 繰 入 金	3,832	3,800	19,500	3,000	3,000	3,000
	うち 基 準 外 繰 入 金						
資 本 的 収 支 分		1,603	1,600	13,200	13,200	13,200	13,300
	うち 基 準 内 繰 入 金	1,603	1,600	13,200	13,200	13,200	13,300
	うち 基 準 外 繰 入 金						
合 計		5,435	5,400	32,700	16,200	16,200	16,300

(税込み、単位：千円)

R7(2025) (将来予測)	R8(2026) (将来予測)	R9(2027) (将来予測)	R10(2028) (将来予測)	R11(2029) (将来予測)	R12(2030) (将来予測)	R13(2031) (将来予測)	R14(2032) (将来予測)	R15(2033) (将来予測)
0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,800	1,800	1,900	1,900	1,900	2,000	2,000	1,300	1,300
11,500	31,900	31,900	31,900	31,900	31,900	31,900	31,900	31,900
0	0	0	0	0	0	0	0	0
11,400	15,200	3,800	13,300	3,800	3,800	7,600	3,800	3,800
24,700	48,900	37,600	47,100	37,600	37,700	41,500	37,000	37,000
24,700	48,900	37,600	47,100	37,600	37,700	41,500	37,000	37,000
266,800	255,700	256,000	240,200	240,300	250,500	250,500	260,500	260,500
8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
17,600	17,900	18,300	18,600	19,000	19,400	19,700	18,500	18,900
284,400	273,600	274,300	258,800	259,300	269,900	270,200	279,000	279,400
259,700	224,700	236,700	211,700	221,700	232,200	228,700	242,000	242,400
151,300	153,500	155,800	159,100	157,400	159,900	162,700	162,100	152,000
81,500	76,800	66,200	67,400	65,700	54,300	55,900	53,100	53,500
232,800	230,300	222,000	226,500	223,100	214,200	218,600	215,200	205,500
26,900	△ 5,600	14,700	△ 14,800	△ 1,400	18,000	10,100	26,800	36,900
268,736	250,836	232,536	213,936	194,936	175,536	155,836	137,336	118,436

R7(2025) (将来予測)	R8(2026) (将来予測)	R9(2027) (将来予測)	R10(2028) (将来予測)	R11(2029) (将来予測)	R12(2030) (将来予測)	R13(2031) (将来予測)	R14(2032) (将来予測)	R15(2033) (将来予測)
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
13,300	33,700	33,800	33,800	33,800	33,900	33,900	33,200	33,200
13,300	33,700	33,800	33,800	33,800	33,900	33,900	33,200	33,200
16,300	36,700	36,800	36,800	36,800	36,900	36,900	36,200	36,200

2. 用語集

用 語		説 明
あ行	アセットマネジメント	資産の効率的な維持管理と計画的な投資を進める目的に導入される資産管理手法。
	一日最大給水量	1年間で供給した水道水の量が最も多かった日の水量。
	一日平均給水量	1年間で供給した水道水の1日当たりの平均水量。
	営業外収益	主たる営業活動以外の財務活動から生じる収入。（受取利息、配当金、他会計補助金等）。
	営業外費用	金融財務活動に要する費用及び主たる営業活動以外の活動から生じる費用。（支払利息、雑支出等）。
	営業収益	主たる営業活動として行う財貨・サービスの提供の対価としての収入。（給水収益、受託工事収益、その他営業収益の合計をいう）。
	営業費用	主たる営業活動から生じる費用。（人件費、維持管理費、受水費、減価償却費等）。
	応急給水	災害や事故等で水道水が出なくなった時、または水道水が濁ってしまった時に、水道水を配ること。
	応急給水栓	応急給水のために水道管から水道水を取り出すための設備。
	大阪広域水道企業団	大阪府営水道を引き継ぐ団体として、平成22（2010）年度に大阪府内の42市町村が共同で設立した一部事務組合（特別地方公共団体）。琵琶湖からの支流である淀川を水源とした水道用水を市町村の水道事業に供給する「水道用水供給事業」と工業用水を事業所に届ける「工業用水道事業」を行う。平成29（2017）年度からは、統合済みの市町村のご家庭などに水道水を届ける「水道事業」を開始している。
	大阪府水道整備基本構想	大阪府が平成24（2012）年3月に公表した水道ビジョン。大阪府の広域的な水道整備の方向性を明らかにした基本的な構想を示している。
か行	拡張事業	水道法における水道事業経営の認可にかかわる事業で、給水区域の拡張、給水人口や給水量の増加等のために行う事業。
	渇水	降雨が無いまたは少ない事に起因して水が涸れている、ないしはそうなりつつある状態。
	企業債	水道事業において、建設や改良等に要する費用を国等から借りた資金。
	企業債償還金	国等から借りた企業債の返済金。
	既往債	すでに発行している企業債。
	給水管	給水装置及び給水装置より下流の貯水槽以下の給水設備を含めた水道の管。
	給水区域	市町村等が厚生労働大臣または知事の認可を受けて水道水を供給する区域。
	給水車	水道水を入れるタンクを備えた車両。
	給水収益	水道事業会計における営業収益の一つで、水道料金として収入となる収益に当たる。
	給水人口	給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口。
	給水栓	給水管の末端に取り付けて水道水の出口を開閉するもの。
	給水装置	水道事業者の布設した配水管から分岐して設けられた給水管及び直結する給水栓などの器具類。
	急速ろ過池	水の中にある濁り物質を除去（ろ過）し、水道水をきれいにする施設。
	供給単価	有収水量1㎡当たりについて、どれだけの収益を得ているかを表すもの。

用 語		説 明
	業務指標（PI 値）	水道事業の全般業務について客観的な把握分析を可能とする指標。
	緊急遮断弁	地震による水道管の破損等の異常時に自動的に弁（バルブ）が閉まり、水道水を貯水・確保するための弁（バルブ）。
	減価償却費	水道施設等の資産が時間の経過とともに減少する価値を定められた耐用年数に応じて1年ずつ費用化したもの。
	公益社団法人日本水道協会	水道技術に関する調査・研究、水道用品の規格制定、職員・会員の研修事業、水道に関する著書の出版等を行う公益社団法人。
	高速凝集沈澱地	水よりも重い粒子は、静水中やきわめて静かな流れの中では沈降して水と分離する。この原理を利用して、原水を静かに流れる広い池に流入させて原水中の粒子（懸濁物）を分離する池を、沈澱池と呼ぶ。高速凝集沈澱池はその一種。
さ行	残存価格	減価償却で法定耐用年数を過ぎた後に残る価値のこと。
	残留塩素	塩素処理の結果、水中に残留した塩素のこと。残留することで、送配水過程で消毒効果が維持される。わが国では給水栓水で残留塩素を保持するよう法律により義務づけられている。
	資金収支	収益的収支と資本的収支を合算したもので、水道事業における現金ベースの収支のこと。
	資本的収支	収益的収支に属さない収入・支出のうち現金の収支を伴うもので、企業の将来の経営活動の基礎となり、収益に結びつくもの。具体的には収入では国庫補助金・企業債・工事負担金、支出では施設の建築改良費・企業債償還金等がこれに該当する。
	収益的収支	水道事業の経常的経営活動に伴って発生する収入とこれに対応する支出をいう。具体的には収入では給水サービスの対価である料金などの給水収益のほか、土地物件収益、受取利息、支出では給水サービスに必要な人件費、物件費、施設の維持管理費、減価償却費・企業債利息などがこれに該当する。
	浄水場	河川水や地下水等をきれいにするための施設。
	受水	用水を供給する事業者から水道水の供給を受けること。（水道水の購入）。
	受託工事収益	給水装置の新設または修繕など法で定められた水道施設以外の工事を行った際の対価として受け取るもの。
	水道施設	水道のための取水施設、貯水施設、導水施設、浄水施設、送水施設及び配水施設の総称。
	水道事業ガイドライン	水道事業の事業活動全般を分析・評価するための各種規格を総合的に考慮し、水道事業の定量化によるサービス水準向上のために制定されたもの。
た行	第三者委託	水道法に基づき、水道の管理に関する技術上の業務を第三者に委託できる制度。経営主体は公的主体であり、公的主体から民間事業者へ委託料が支払われる。
	ダウンサイジング	サイズ（規模）を小さくすることを指す用語であり、具体的には、コスト（費用）の削減や効率化を目的として、水道施設を現状より小型化することをいう。

用 語		説 明
	長期前受金戻入	償却資産の取得または改良に伴い交付される補助金等について「長期前受金」として負債に計上し、耐用年数に応じて毎事業年度「長期前受金戻入」として収益化する。
	長寿命化	インフラの長寿命化を指す。耐久性を向上させ、長持ちするようにすること。
	直結給水	貯水槽に水道水を貯めないで、蛇口まで直接給水する方式
	定額法	固定資産の耐用年数の期間中、每期同一額を減価償却していく方法。
	逓増制（料金体系）	使用水量が多くなるほど 1 m ³ 当たりの料金が段階的に高くなる水道料金体系。
は行	配水施設	配水池、配水塔、高架タンク、配水管、ポンプ及びバルブ、その他の付属設備から構成される配水のための施設。
	配水池	水道水を、家庭等にする水量を調節したり、災害時に飲料水を確保するために一時保管するための施設。
	配水量	配水池、配水ポンプ等から水道管に送り出された水道水の量。
	半年賦	企業債の償還にあたり、半年ごとに償還する償還方法。
	法定耐用年数	水道施設の耐用年数のうち、地方公営企業法等により定められた耐用年数。
ま行	水需要	水道水の使用見込量のこと。
	村野浄水場	大阪広域水道企業団の浄水場の 1 つで枚方市にある浄水場。
や行	有収水量	料金徴収の対象となる水道水の量。



3. アンケート調査【結果報告書】

「島本町水道事業ビジョン」策定のための
アンケート調査
【結果報告書】

令和2年（2020）年4月

島本町上下水道部

目 次

I	住民アンケート調査の概要	1
II	住民アンケート調査の結果	2
	1. あなた自身のことについて	2
	2. 水道水の安全性とおいしさについて	8
	3. 水道水の利用状況について	12
	4. 水道料金について	24
	5. お客さまサービスについて	28
	6. 今後の水道事業の経営と災害対策について	33
	7. 情報の提供について	39
	8. 総合評価について	42
	9. 自由回答について	44
III	アンケート調査票	75

I 住民アンケート調査の概要

1. 調査の目的

本調査は「島本町水道事業ビジョン」の策定にあたり、本町水道事業の現状と課題、将来像に対する住民のみなさまの意向を把握し、計画づくりの基礎資料として役立てるために実施しました。

2. 調査方法・期間

- 調査方法 郵送による配布・回収
- 調査対象者 一般用途(大沢地区特設水道を除く口径 20 ミリ以下)の 2,000 人
- 調査期間 令和 2 年 1 月 24 日～令和 2 年 2 月 10 日
- 回収結果（回収率） 1,144 件（57.2%）

3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は調査数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。
- 単数回答及び複数回答において、回答数が所定回答数を超えるものは「不明」としています。
- 複数回答においての各項目の割合「%」は、調査数に対する割合を示しております。従いまして、各割合の合計は 100%を超えております。
- 前設問からの関連回答に対し、前設問と後設問の回答が異なるものは、どちらも「不明」としています。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- クロス集計表では、各区分において、最も割合が高い選択肢は濃い塗り（文字は白抜き）で、次に割合の高い選択肢は薄い塗りで表示しています。
- 本調査でいただいたご意見、ご要望について、文章は原則として原文のまま掲載しています。

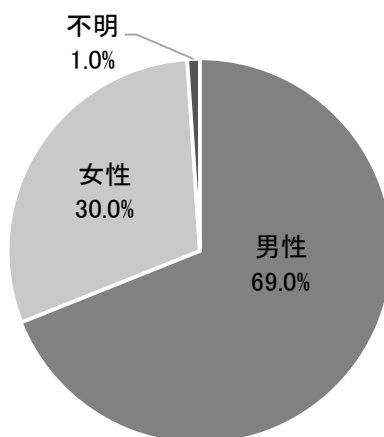
なお、明らかな誤字・脱字は訂正するとともに、特定の個人・団体が判別でき、その権利や利益を侵害する恐れがあるなど、公表することが適切でないと判断した表現については、一部修正しています。

Ⅱ 住民アンケート調査の結果

1. あなた自身のことについて

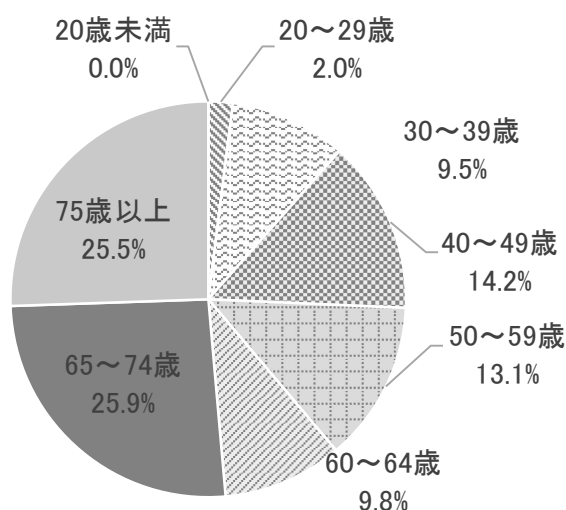
『問 1』 あなたの性別を教えてください。（単数回答）

性別については、「男性」が 69.0%、「女性」が 30.0%となっています。



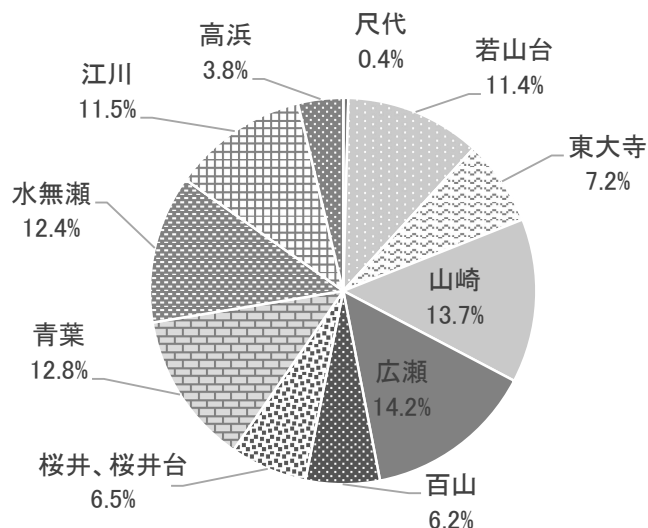
『問 2』 あなたの年齢（令和元年 1 2 月 3 1 日時点）を教えてください。（単数回答）

年齢については、「65～74 歳」が 25.9%と最も高く、次いで、「75 歳以上」が 25.5%、「40～49 歳」が 14.2%となっています。



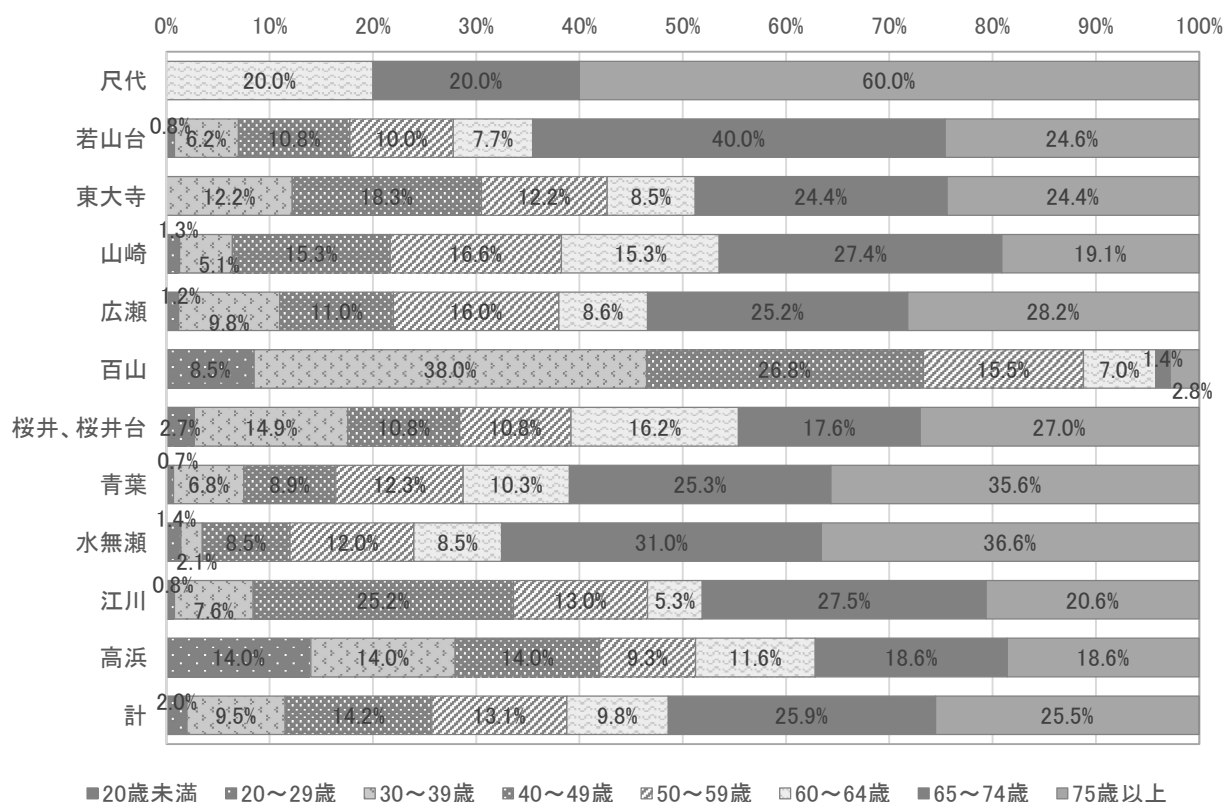
『問3』 あなたが水道を使用している地区を教えてください。(単数回答)

居住地区については、「広瀬」が14.2%と最も高く、次いで「山崎」が13.7%、「青葉」が12.8%となっています。



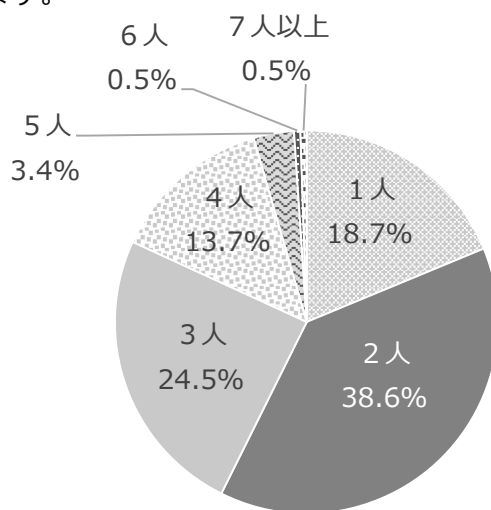
■『問3』 「居住地区」のクロス集計(年代別)

地区別の年齢層の分布状況で、尺代、水無瀬、若山台及び青葉が65歳以上が6割を超えています。



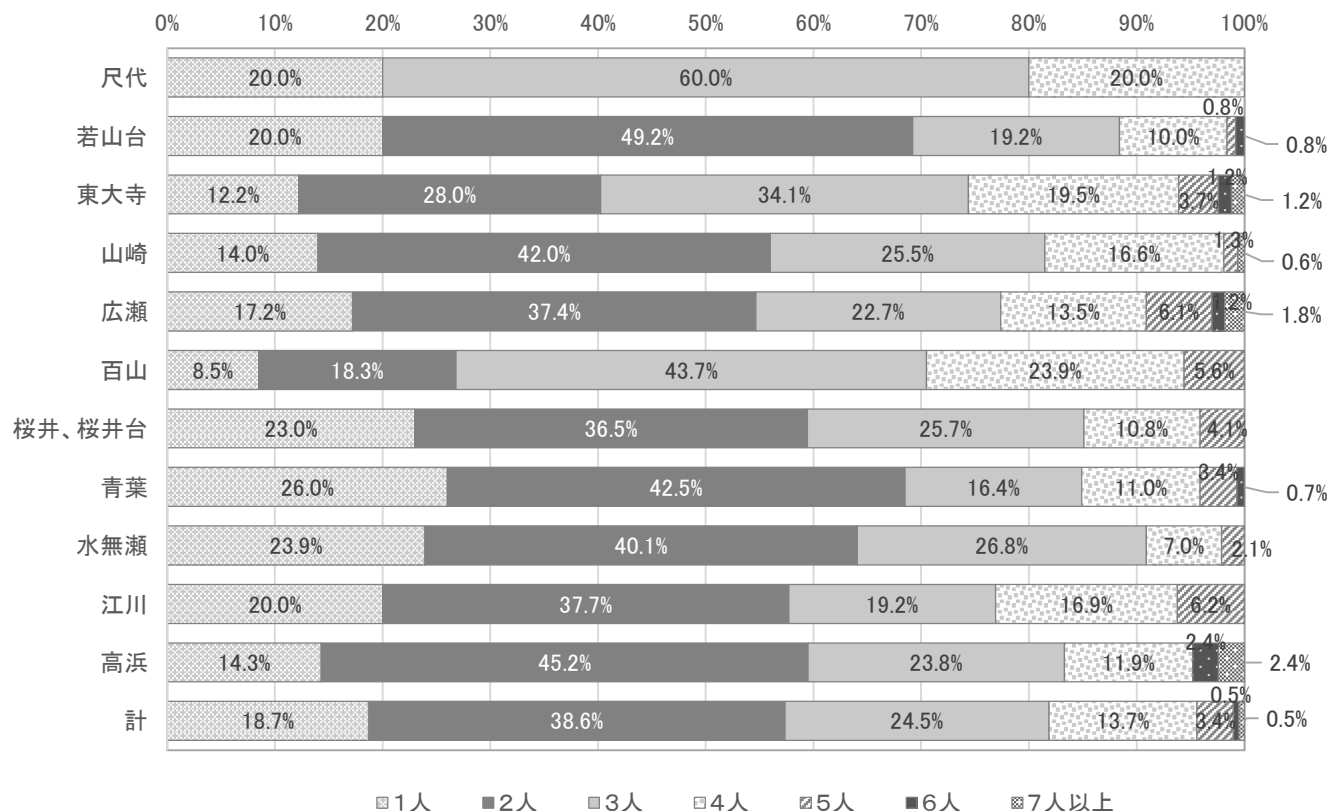
『問 4』 あなたのお宅で水道を使用されている人数を教えてください。(単数回答)

水道使用人数については、「2 人」が 38.6%と最も高く、次いで「3 人」が 24.5%、「1 人」が 18.7%となっています。



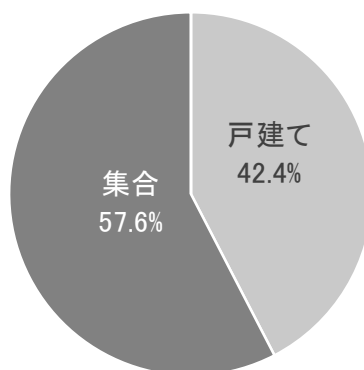
■ 『問 4』 「水道使用人数」のクロス集計 (年代別)

水道使用人数別の居住地区別の分布状況で、各地区 1 人及び 2 人世帯で過半数を超えています。百山地区と尺代地区は 3 人以上で 7~8 割を占めています。



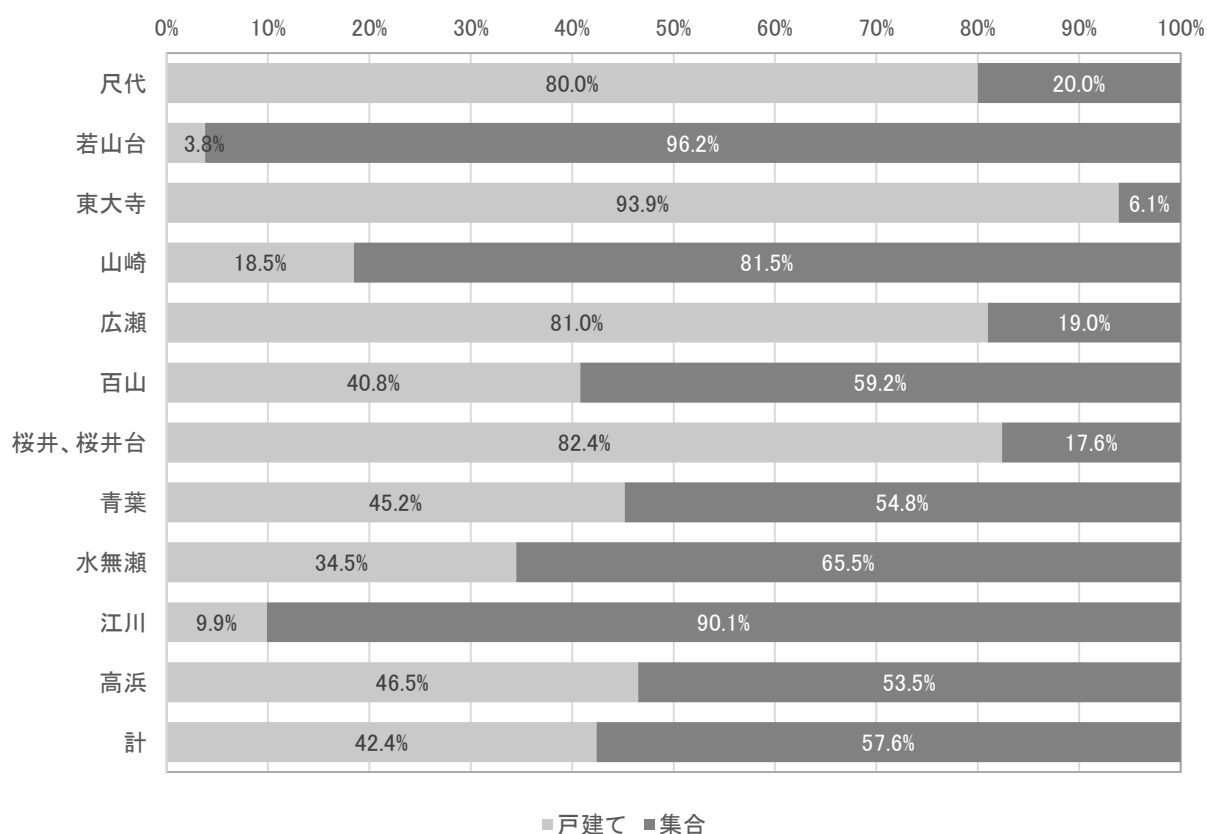
『問 5』あなたのお宅の住宅形式を教えてください。（単数回答）

居住形式については、「集合」が 57.6%と過半数を超えています。



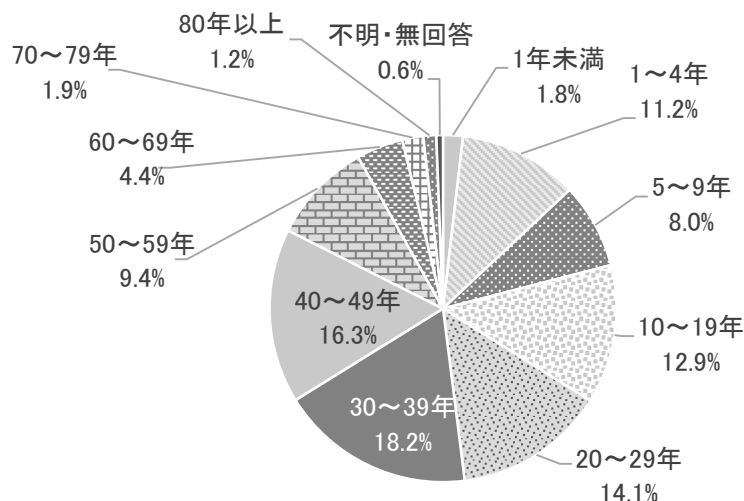
■『問 5』 「住宅形式」のクロス集計（地区別）

住居形式の居住地区別の分布状況で、若山台、山崎、江川については 8 割以上が集合住宅で、逆に尺代、東大寺、広瀬及び桜井、桜井台については戸建てが 8～9 割を占めています。



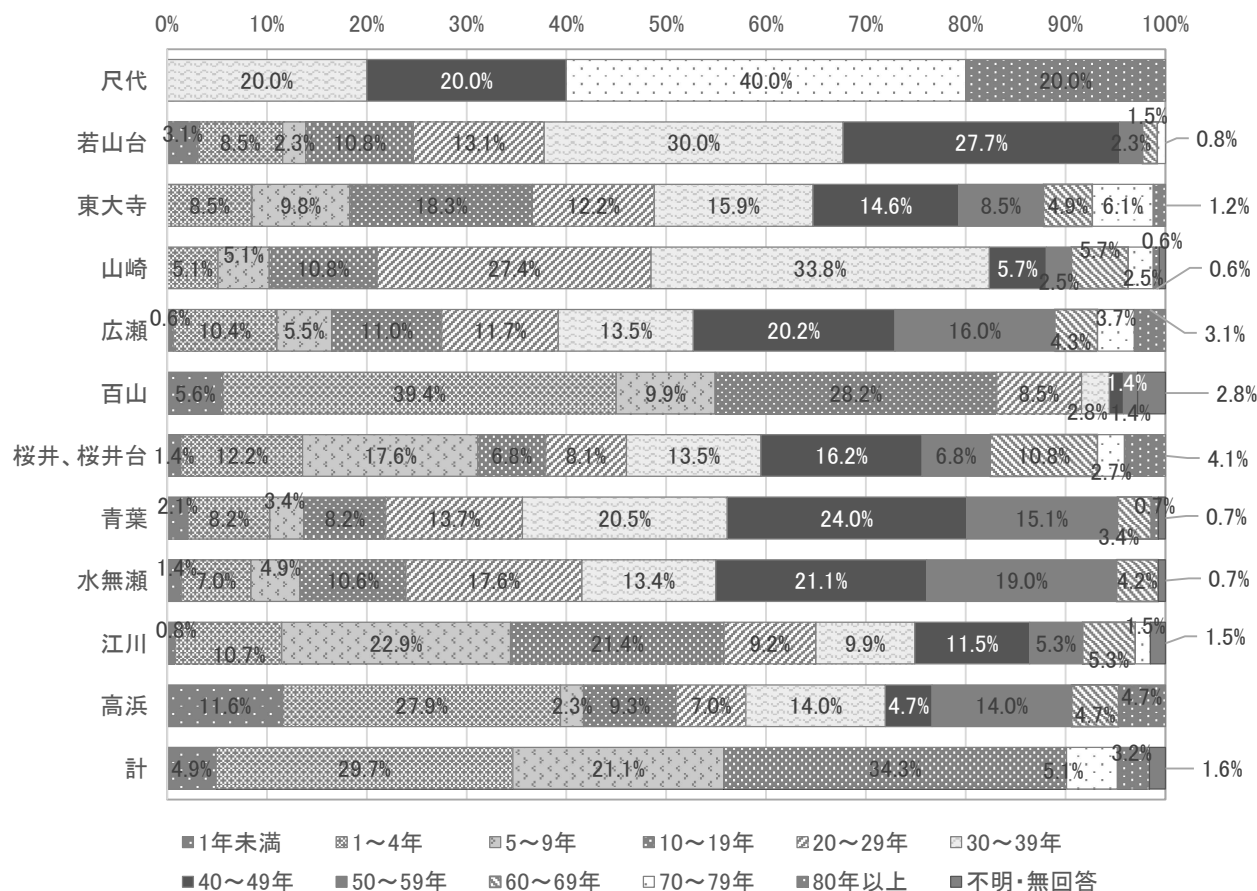
『問 6』 あなたの島本町に在住しているおおよその年数を教えてください。

居住年数については、「30～39 年」が 18.2%と最も高く、次いで「40～49 年」が 16.3%、「20～29 年」が 14.1%となっています。



■ 『問 6』 「在住年数」のクロス集計（地区別）

居住年数の居住地区別の分布状況で、開発された時期による地域性が見られます。



■ 『問 4 ～6』 年齢とのクロス集計（年代別）（地区別・住居形式別・在住年数別）

年齢とのクロス集計で、地区別では百山が 30～49 歳の年齢層に集中しているのと、在住年数との相関性が特徴的です。

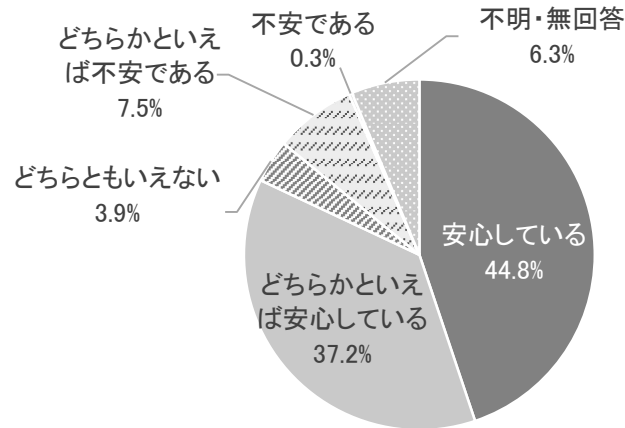
（上段：件数 下段：％）

		調査数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
全体		1,144 100.0	0 0.0	23 2.0	109 9.5	162 14.2	150 13.1	112 9.8	296 25.9	292 25.5
地区別	尺代	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0
	若山台	130 100.1	0 0.0	1 0.8	8 6.2	14 10.8	13 10.0	10 7.7	52 40.0	32 24.6
	東大寺	82 100.0	0 0.0	0 0.0	10 12.2	15 18.3	10 12.2	7 8.5	20 24.4	20 24.4
	山崎	157 100.1	0 0.0	2 1.3	8 5.1	24 15.3	26 16.6	24 15.3	43 27.4	30 19.1
	広瀬	163 100.0	0 0.0	2 1.2	16 9.8	18 11.0	26 16.0	14 8.6	41 25.2	46 28.2
	百山	71 100.0	0 0.0	6 8.5	27 38.0	19 26.8	11 15.5	5 7.0	1 1.4	2 2.8
	桜井、桜井台	74 100.0	0 0.0	2 2.7	11 14.9	8 10.8	8 10.8	12 16.2	13 17.6	20 27.0
	青葉	146 99.9	0 0.0	1 0.7	10 6.8	13 8.9	18 12.3	15 10.3	37 25.3	52 35.6
	水無瀬	142 100.1	0 0.0	2 1.4	3 2.1	12 8.5	17 12.0	12 8.5	44 31.0	52 36.6
	江川	131 100.0	0 0.0	1 0.8	10 7.6	33 25.2	17 13.0	7 5.3	36 27.5	27 20.6
	高浜	43 100.1	0 0.0	6 14.0	6 14.0	6 14.0	4 9.3	5 11.6	8 18.6	8 18.6
	計	1,144 100.0	0 0.0	23 2.0	109 9.5	162 14.2	150 13.1	112 9.8	296 25.9	292 25.5
住宅形式	戸建て	485 100.0	0 0.0	2 0.4	49 10.1	57 11.8	57 11.8	51 10.5	116 23.9	153 31.5
	集合	659 100.0	0 0.0	21 3.2	60 9.1	105 15.9	93 14.1	61 9.3	180 27.3	139 21.1
	計	1,144 100.0	0 0.0	23 2.0	109 9.5	162 14.2	150 13.1	112 9.8	296 25.9	292 25.5
在住年数	1年未満	21 100.0	0 0.0	1 4.8	5 23.8	2 9.5	3 14.3	5 23.8	5 23.8	0 0.0
	1～4年	128 100.0	0 0.0	21 16.4	52 40.6	21 16.4	12 9.4	7 5.5	10 7.8	5 3.9
	5～9年	91 100.1	0 0.0	0 0.0	24 26.4	38 41.8	11 12.1	4 4.4	9 9.9	5 5.5
	10～19年	148 100.0	0 0.0	0 0.0	14 9.5	60 40.5	21 14.2	7 4.7	25 16.9	21 14.2
	20～29年	161 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	13 8.1	65 40.4	30 18.6	29 18.0	23 14.3
	30～39年	208 100.1	0 0.0	1 0.5	11 5.3	12 5.8	14 6.7	27 13.0	94 45.2	49 23.6
	40～49年	186 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	15 8.1	3 1.6	14 7.5	77 41.4	76 40.9
	50～59年	108 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	20 18.5	6 5.6	16 14.8	66 61.1
	60～69年	50 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	11 22.0	17 34.0	21 42.0
	70～79年	22 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 59.1	9 40.9
	80年以上	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	13 92.9
	不明・無回答	7 100.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0	4 57.1
	計	1,144 100.0	0 0.0	23 2.0	109 9.5	162 14.2	150 13.1	112 9.8	296 25.9	292 25.5

2. 水道水の安全性とおいしさについて

『問7』 あなたは水道水の安全性についてどのように感じていますか。(単数回答)

水道水の安全性については、「安心している」が44.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば安心している」が37.2%、「どちらかといえば不安である」が7.5%となっています。



■『問7』 「水道水の安全性」のクロス集計（年代別・地区別・住居形式別・在住年数別）

「安心している」「どちらかといえば安心している」の回答を合算すると、『安心』と感じている人が8割を超えています。

(上段:件数 下段:%)

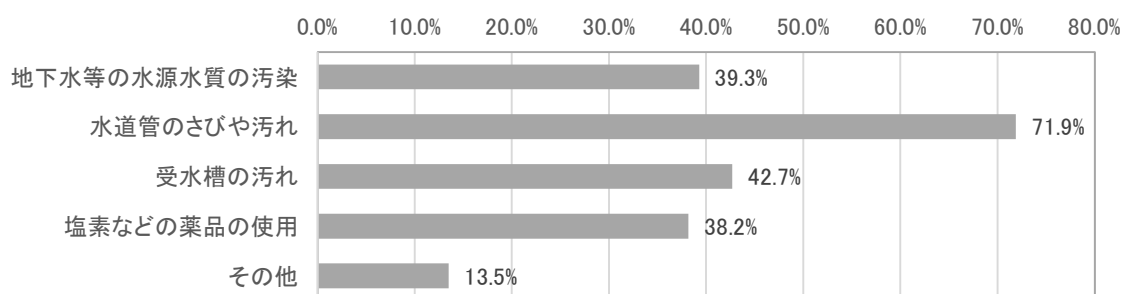
	調査数	安心している	どちらかといえば安心している	どちらかといえば不安である	不安である	不明・無回答
全体	1,144	513	425	45	86	72
	100.0	44.8	37.2	3.9	7.5	6.3
年代別	20歳未満	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	23	10	10	2	1
	100.0	43.5	43.5	0.0	8.7	4.3
	30～39歳	109	49	45	4	3
	100.0	45.0	41.3	3.7	7.3	2.8
	40～49歳	162	56	78	8	5
	100.0	34.6	48.1	4.9	8.0	3.1
	50～59歳	150	61	67	5	9
	100.0	40.7	44.7	3.3	5.3	6.0
地区別	60～64歳	112	45	38	9	10
	100.0	40.2	33.9	8.0	8.9	8.9
	65～74歳	296	139	109	9	23
	100.0	47.0	36.8	3.0	7.8	5.1
	75歳以上	292	153	78	10	22
	100.0	52.4	26.7	3.4	7.5	9.9
	計	1,144	513	425	45	86
	100.0	44.8	37.2	3.9	7.5	6.3
	尺代	5	1	1	0	2
	100.0	20.0	20.0	0.0	40.0	20.0
地区別	若山台	130	63	46	4	10
	100.0	48.5	35.4	3.1	7.7	5.4
	東大寺	82	43	32	1	4
	100.0	52.4	39.0	1.2	4.9	2.4
	山崎	157	83	52	3	11
	100.0	52.9	33.1	1.9	7.0	5.1
	広瀬	163	72	57	9	12
	100.0	44.2	35.0	5.5	7.4	8.0
	百山	71	31	29	2	8
	100.0	43.7	40.8	2.8	11.3	1.4
地区別	桜井・桜井台	74	32	25	7	7
	100.0	43.2	33.8	9.5	9.5	4.1
	青葉	146	58	63	6	9
	100.0	39.7	43.2	4.1	6.2	6.2
	水無瀬	142	61	57	3	7
	100.0	43.0	40.1	2.1	4.9	9.9
	江川	131	49	51	8	13
	100.0	37.4	38.9	6.1	9.9	6.1
	高浜	43	20	12	2	3
	100.0	46.5	27.9	4.7	7.0	14.0
計	1,144	513	425	45	86	72
	100.0	44.8	37.2	3.9	7.5	6.3

(上段:件数 下段:%)

	調査数	安心している	どちらかといえば安心している	どちらかといえば不安である	不安である	不明・無回答
全体	1,144	513	425	45	86	72
	100.0	44.8	37.2	3.9	7.5	6.3
住居形式別	戸建て	485	231	172	14	33
	100.0	47.6	35.5	2.9	6.8	7.2
	集合	659	282	253	31	53
	100.0	42.8	38.4	4.7	8.0	5.6
	計	1,144	513	425	45	86
在住年数別	1年未満	21	6	6	5	4
	100.0	28.6	28.6	23.8	19.0	0.0
	1～4年	128	48	55	5	13
	100.0	37.5	43.0	3.9	10.2	4.7
	5～9年	91	40	36	3	5
	100.0	44.0	39.6	3.3	5.5	5.5
	10～19年	148	65	61	4	9
	100.0	43.9	41.2	2.7	6.1	6.1
	20～29年	161	79	56	8	12
	100.0	49.1	34.8	5.0	7.5	3.7
	30～39年	208	98	71	6	18
	100.0	47.1	34.1	2.9	8.7	7.2
	40～49年	186	90	67	7	12
	100.0	48.4	36.0	3.8	6.5	5.4
	50～59年	108	38	46	5	8
在住年数別	100.0	35.2	42.6	4.6	7.4	10.2
	60～69年	50	31	14	1	2
	100.0	62.0	28.0	2.0	4.0	4.0
	70～79年	22	12	7	0	1
	100.0	54.5	31.8	0.0	4.5	9.1
	80年以上	14	6	2	1	0
	100.0	42.9	14.3	7.1	0.0	35.7
	不明・無回答	7	0	4	0	2
	100.0	0.0	57.1	0.0	28.6	14.3
	計	1,144	513	425	45	86
	100.0	44.8	37.2	3.9	7.5	6.3

『問8』 問7で「4 どちらかと言えば不安である」、「5 不安である」と答えた方
におたずねします。あなたが水道水に「不安」を感じる理由は何ですか。
(複数回答)

水道水に「不安」を感じる理由としては、「水道管のさびや汚れ」が71.9%と最も高く、
次いで「受水槽の汚れ」が42.7%、「地下水等の水源水質の汚染」が39.3%、「塩素などの薬
品の使用」が38.2%となっています。



■『問8』 「不安であると答えた方」のクロス集計（年代別・地区別・住居形式別・在住年数別）

一部を除き各区分とも、「水道管のさびや汚れ」が最も高く全体と同様です。

(上段:件数 下段:%)

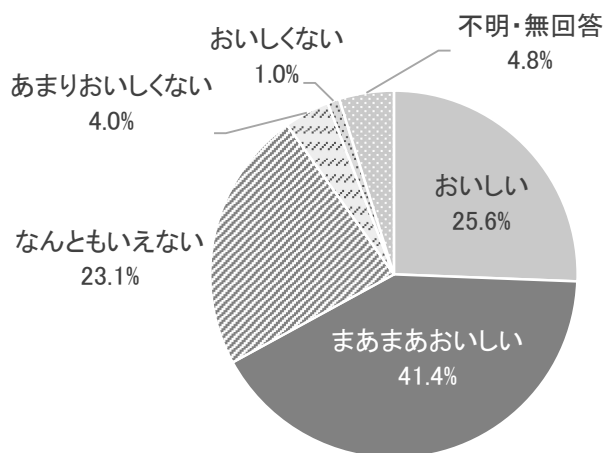
	調査数	地下水等の汚染の水質	水道管のさびや汚れ	受水槽の汚れ	塩素などの薬品の使用	その他
全体	89 100.0	35 39.3	64 71.9	38 42.7	34 38.2	12 13.5
年代別	20歳未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29歳	2 100.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0
	30～39歳	8 100.0	3 37.5	5 62.5	3 37.5	1 12.5
	40～49歳	15 100.0	7 46.7	10 66.7	10 66.7	3 20.0
	50～59歳	8 100.0	4 50.0	6 75.0	4 50.0	2 25.0
	60～64歳	10 100.0	4 40.0	6 60.0	1 10.0	4 40.0
	65～74歳	24 100.0	8 33.3	18 75.0	12 50.0	9 37.5
	75歳以上	22 100.0	9 40.9	17 77.3	8 36.4	10 45.5
	計	89 100.0	35 39.3	64 71.9	38 42.7	12 13.5
地区別	尺代	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	1 50.0
	若山台	10 100.0	5 50.0	9 90.0	5 50.0	3 30.0
	東大寺	4 100.0	2 50.0	4 100.0	1 25.0	2 50.0
	山崎	11 100.0	4 36.4	6 54.5	7 63.6	5 45.5
	広瀬	12 100.0	3 25.0	9 75.0	4 33.3	4 33.3
	百山	8 100.0	4 50.0	5 62.5	2 25.0	3 37.5
	桜井、桜井台	7 100.0	1 14.3	5 71.4	0 0.0	4 57.1
	青葉	10 100.0	5 50.0	7 70.0	5 50.0	3 30.0
	水無瀬	7 100.0	3 42.9	4 57.1	4 57.1	3 42.9
	江川	15 100.0	7 46.7	11 73.3	8 53.3	7 46.7
	高浜	3 100.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	0 0.0
	計	89 100.0	35 39.3	64 71.9	38 42.7	12 13.5

(上段:件数 下段:%)

	調査数	地下水等の汚染の水質	水道管のさびや汚れ	受水槽の汚れ	塩素などの薬品の使用	その他
全体	89 100.0	35 39.3	64 71.9	38 42.7	34 38.2	12 13.5
住宅形式	戸建て	33 100.0	10 30.3	25 75.8	5 15.2	14 42.4
	集合	56 100.0	25 44.6	39 69.6	33 58.9	20 35.7
	計	89 100.0	35 39.3	64 71.9	38 42.7	34 38.2
在住年数	1年未満	4 100.0	1 25.0	3 75.0	1 25.0	2 50.0
	1～4年	14 100.0	7 50.0	10 71.4	9 64.3	2 14.3
	5～9年	7 100.0	1 14.3	5 71.4	3 42.9	1 14.3
	10～19年	9 100.0	3 33.3	5 55.6	4 44.4	4 44.4
	20～29年	12 100.0	2 16.7	9 75.0	6 50.0	5 41.7
	30～39年	18 100.0	9 50.0	13 72.2	4 22.2	8 44.4
	40～49年	12 100.0	6 50.0	11 91.7	6 50.0	5 41.7
	50～59年	8 100.0	4 50.0	5 62.5	2 25.0	4 50.0
	60～69年	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0
	70～79年	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0
	80年以上	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	不明・無回答	2 100.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0
	計	89 100.0	35 39.3	64 71.9	38 42.7	34 38.2

『問 9』 あなたは水道水の味についてどのように感じていますか。(単数回答)

水道水の味については、「まあまあおいしい」が 41.4%と最も高く、次いで「おいしい」が 25.6%、「なんともいえない」が 23.1%となっています。



■ 『問 9』 「水道水の味」のクロス集計(年代別・地区別・住居形式別・在住年数別)

一部を除き各区分とも、「まあまあおいしい」が 2 割から 5 割、「おいしい」が 2 割から 4 割を示し、『おいしい』と感じている人が約 7 割を示しています。

(上段:件数 下段:%)

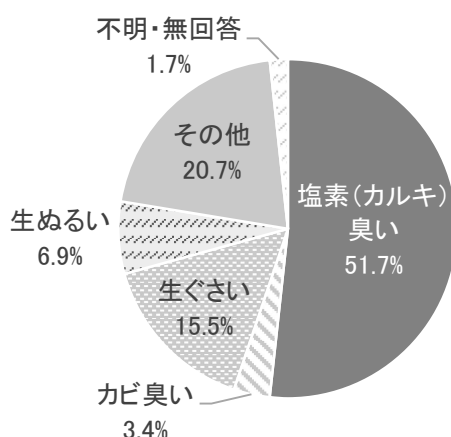
	調査数	おいしい	まあまあおいしい	なんともいえない	あまりおいしくない	おいしくない	不明・無回答
全体	1,144 100.0	293 25.6	474 41.4	264 23.1	46 4.0	12 1.0	55 4.8
年代別	20歳未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29歳	23 100.0	6 26.1	7 30.4	7 30.4	2 8.7	1 4.3
	30～39歳	109 100.0	22 20.2	43 39.4	37 33.9	5 4.6	1 0.9
	40～49歳	162 100.0	36 22.2	63 38.9	44 27.2	13 8.0	2 1.2
	50～59歳	150 100.0	37 24.7	71 47.3	33 22.0	4 2.7	5 3.3
	60～64歳	112 100.0	31 27.7	36 32.1	27 24.1	7 6.3	1 0.9
	65～74歳	296 100.0	71 24.0	134 45.3	66 22.3	10 3.4	3 1.0
	75歳以上	292 100.0	90 30.8	120 41.1	50 17.1	5 1.7	4 1.4
	計	1,144 100.0	293 25.6	474 41.4	264 23.1	46 4.0	12 1.0
地区別	尺代	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0
	若山台	130 100.0	36 27.7	48 36.9	36 27.7	5 3.8	5 3.8
	東大寺	82 100.0	24 29.3	40 48.8	15 18.3	1 1.2	1 1.2
	山崎	157 100.0	46 29.3	66 42.0	34 21.7	2 1.3	9 5.7
	広瀬	163 100.0	45 27.6	62 38.0	34 20.9	8 4.9	3 1.8
	百山	71 100.0	16 22.5	26 36.6	24 33.8	2 2.8	1 1.4
	桜井、桜井台	74 100.0	18 24.3	30 40.5	15 20.3	6 8.1	2 2.7
	青葉	146 100.0	33 22.6	70 47.9	30 20.5	4 2.7	2 1.4
	水無瀬	142 100.0	33 23.2	63 44.4	32 22.5	5 3.5	2 1.4
	江川	131 100.0	27 20.6	56 42.7	33 25.2	10 7.6	0 0.0
	高浜	43 100.0	14 32.6	12 27.9	10 23.3	1 2.3	1 2.3
	計	1,144 100.0	293 25.6	474 41.4	264 23.1	46 4.0	12 1.0

(上段:件数 下段:%)

	調査数	おいしい	まあまあおいしい	なんともいえない	あまりおいしくない	おいしくない	不明・無回答
全体	1,144 100.0	293 25.6	474 41.4	264 23.1	46 4.0	12 1.0	55 4.8
住居形式	戸建て	485 100.0	136 28.0	211 43.5	88 18.1	18 3.7	7 1.4
	集合	659 100.0	157 23.8	263 39.9	176 26.7	28 4.2	5 0.8
	計	1,144 100.0	293 25.6	474 41.4	264 23.1	46 4.0	12 1.0
	計	1,144 100.0	293 25.6	474 41.4	264 23.1	46 4.0	12 1.0
在住年数	1年未満	21 100.0	2 9.5	9 42.9	7 33.3	1 4.8	2 9.5
	1～4年	128 100.0	23 18.0	48 37.5	42 32.8	9 7.0	3 2.3
	5～9年	91 100.0	20 22.0	38 41.8	29 31.9	4 4.4	0 0.0
	10～19年	148 100.0	33 22.3	58 39.2	42 28.4	7 4.7	0 0.0
	20～29年	161 100.0	49 30.4	64 39.8	35 21.7	4 2.5	3 1.9
	30～39年	208 100.0	57 27.4	86 41.3	49 23.6	5 2.4	0 0.0
	40～49年	186 100.0	45 24.2	91 48.9	30 16.1	9 4.8	2 1.1
	50～59年	108 100.0	30 27.8	46 42.6	20 18.5	2 1.9	2 1.9
	60～69年	50 100.0	22 44.0	17 34.0	6 12.0	3 6.0	0 0.0
	70～79年	22 100.0	7 31.8	10 45.5	1 4.5	1 4.5	0 0.0
	80年以上	14 100.0	4 28.6	4 28.6	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	不明・無回答	7 100.0	1 14.3	3 42.9	3 42.9	0 0.0	0 0.0
	計	1,144 100.0	293 25.6	474 41.4	264 23.1	46 4.0	12 1.0

『問 10』 問9で「4 あまりおいしくない」、「5 おいしくない」と答えた方におたずねします。あなたが水道水を「おいしくない」と感じる理由は何ですか。
(単数回答)

水道水を「おいしくない」と感じる理由については、「塩素（カルキ）臭い」が 51.7%と最も高く、次いで「その他」が 20.7%、「生ぐさい」が 15.5%となっています。



■ 『問 10』 「水道水の味」のクロス集計（年代別・地区別・住居形式別・在住年数別）

一部を除き各区分とも、「塩素（カルキ）臭い」が最も高く全体と同様です。

(上段:件数 下段:%)

	調査数	塩素(カルキ)臭い	カビ臭い	生ぐさい	生ぬるい	その他	不明・無回答
全体	58	30	2	9	4	12	1
	100.0	51.7	3.4	15.5	6.9	20.7	1.7
年代別	20歳未満	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	3	3	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	6	5	0	1	0	0
	100.0	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	15	9	1	3	1	1
	100.0	60.0	6.7	20.0	6.7	6.7	0.0
	50～59歳	4	2	1	1	0	0
	100.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
地区別	60～64歳	8	2	0	2	1	3
	100.0	25.0	0.0	25.0	12.5	37.5	0.0
	65～74歳	13	4	0	2	1	6
	100.0	30.8	0.0	15.4	7.7	46.2	0.0
	75歳以上	9	5	0	0	1	2
	100.0	55.6	0.0	0.0	11.1	22.2	11.1
	計	58	30	2	9	4	12
	100.0	51.7	3.4	15.5	6.9	20.7	1.7
	尺代	2	1	0	0	1	0
	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
地区別	若山台	5	3	1	1	0	0
	100.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	東大寺	2	0	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	山崎	2	0	0	2	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	広瀬	11	6	1	1	1	2
	100.0	54.5	9.1	9.1	9.1	18.2	0.0
	百山	3	2	0	1	0	0
	100.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
地区別	桜井、桜井台	8	4	0	2	0	2
	100.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	青葉	6	3	0	0	0	2
	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7
	水無瀬	7	5	0	1	0	1
	100.0	71.4	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
	江川	10	5	0	1	2	2
	100.0	50.0	0.0	10.0	20.0	20.0	0.0
	高浜	2	1	0	0	0	1
	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
計	58	30	2	9	4	12	1
	100.0	51.7	3.4	15.5	6.9	20.7	1.7

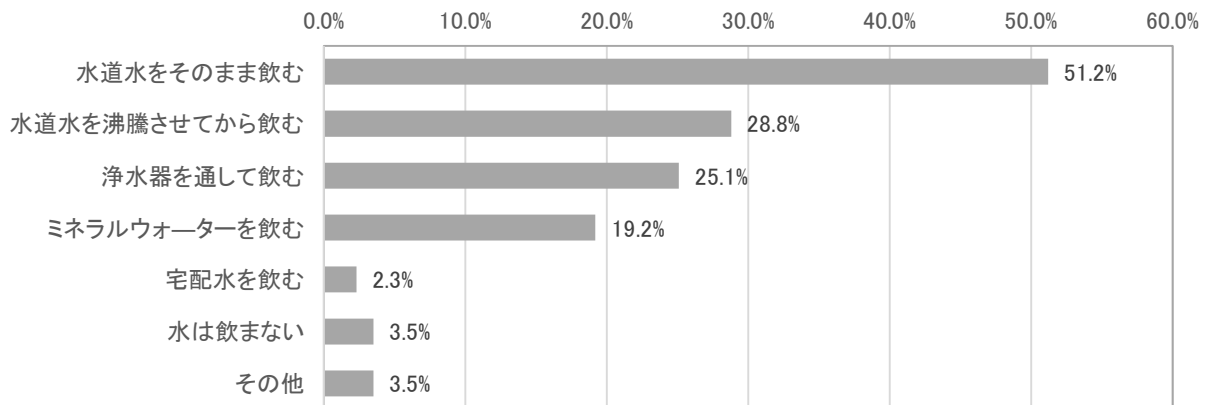
(上段:件数 下段:%)

	調査数	塩素(カルキ)臭い	カビ臭い	生ぐさい	生ぬるい	その他	不明・無回答
全体	58	30	2	9	4	12	1
	100.0	51.7	3.4	15.5	6.9	20.7	1.7
住居形式	戸建て	25	10	0	5	2	8
	100.0	40.0	0.0	20.0	8.0	32.0	0.0
	集合	33	20	2	4	2	4
	100.0	60.6	6.1	12.1	6.1	12.1	3.0
計	58	30	2	9	4	12	1
	100.0	51.7	3.4	15.5	6.9	20.7	1.7
在住年数	1年未満	3	0	0	1	0	2
	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
	1～4年	12	9	1	0	0	2
	100.0	75.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0
	5～9年	4	2	0	2	0	0
	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	10～19年	7	3	1	3	0	0
	100.0	42.9	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0
	20～29年	7	5	0	1	0	1
	100.0	71.4	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
	30～39年	5	3	0	1	0	1
	100.0	60.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	40～49年	11	5	0	0	3	2
	100.0	45.5	0.0	0.0	27.3	18.2	9.1
在住年数	50～59年	4	1	0	1	0	2
	100.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0
	60～69年	3	1	0	0	0	2
	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	70～79年	1	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	80年以上	1	1	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	不明・無回答	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	58	30	2	9	4	12	1
	100.0	51.7	3.4	15.5	6.9	20.7	1.7

3. 水道水の利用状況について

『問 11』 あなたの家庭では普段、水をどのようにして飲んでいきますか。(複数回答)

水をどのようにして飲んでいきますかについては、「水道水をそのまま飲む」が 51.2%と最も高く、次いで「水道水を沸騰させてから飲む」が 28.8%、「浄水器を通して飲む」が 25.1%、「ミネラルウォーターを飲む」が 19.2%となっています。



■ 『問 11』「水をどのように飲んでいきますか」のクロス集計 (年代別・地区別・住居形式別・在住年数別)

一部を除き各区分とも、「水道水をそのまま飲む」が最も高く全体と同様です。

(上段:件数 下段:%)

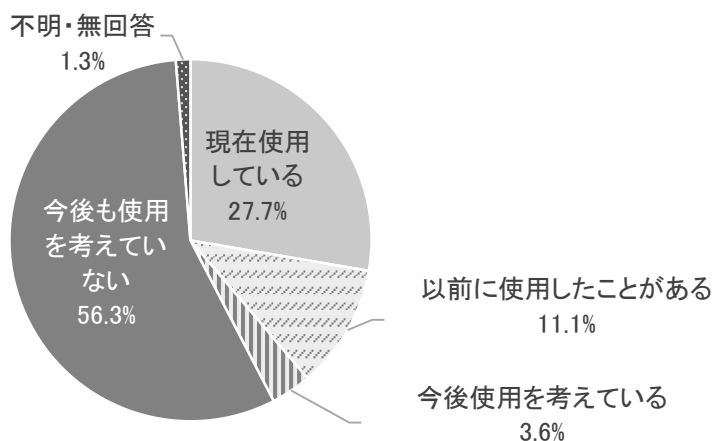
		調査数	水道水をそのまま飲む	水道水を沸騰させてから飲む	浄水器を通して飲む	ミネラルウォーターを飲む	宅配水を飲む	水は飲まない	その他
全体		1,144	586	330	287	220	26	40	40
		100.0	51.2	28.8	25.1	19.2	2.3	3.5	3.5
年代別	20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	23	6	6	12	3	0	1	1
		100.0	26.1	26.1	52.2	13.0	0.0	4.3	4.3
	30～39歳	109	37	31	45	25	5	4	6
		100.0	33.9	28.4	41.3	22.9	4.6	3.7	5.5
	40～49歳	162	71	39	58	46	3	3	6
		100.0	43.8	24.1	35.8	28.4	1.9	1.9	3.7
	50～59歳	150	79	28	40	33	1	5	4
		100.0	52.7	18.7	26.7	22.0	0.7	3.3	2.7
	60～64歳	112	56	29	26	25	3	3	3
		100.0	50.0	25.9	23.2	22.3	2.7	2.7	2.7
	65～74歳	296	165	93	67	51	9	8	7
		100.0	55.7	31.4	22.6	17.2	3.0	2.7	2.4
	75歳以上	292	172	104	39	37	5	16	13
		100.0	58.9	35.6	13.4	12.7	1.7	5.5	4.5
計		1,144	586	330	287	220	26	40	40
		100.0	51.2	28.8	25.1	19.2	2.3	3.5	3.5

(上段:件数 下段:%)

		調査数	水道水をそのまま飲む	水道水を沸騰させてから飲む	浄水器を通して飲む	ミネラルウォーターを飲む	宅配水を飲む	水は飲まない	その他
全体		1,144 100.0	586 51.2	330 28.8	287 25.1	220 19.2	26 2.3	40 3.5	40 3.5
地区別	尺代	5 100.0	1 20.0	5 100.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	若山台	130 100.0	63 48.5	46 35.4	28 21.5	24 18.5	5 3.8	2 1.5	9 6.9
	東大寺	82 100.0	46 56.1	23 28.0	18 22.0	15 18.3	1 1.2	2 2.4	1 1.2
	山崎	157 100.0	104 66.2	43 27.4	26 16.6	25 15.9	4 2.5	5 3.2	6 3.8
	広瀬	163 100.0	82 50.3	40 24.5	45 27.6	34 20.9	4 2.5	7 4.3	5 3.1
	百山	71 100.0	23 32.4	18 25.4	34 47.9	15 21.1	1 1.4	0 0.0	1 1.4
	桜井、桜井台	74 100.0	40 54.1	22 29.7	13 17.6	15 20.3	2 2.7	4 5.4	3 4.1
	青葉	146 100.0	89 61.0	43 29.5	26 17.8	25 17.1	2 1.4	10 6.8	5 3.4
	水無瀬	142 100.0	72 50.7	42 29.6	36 25.4	25 17.6	4 2.8	4 2.8	5 3.5
	江川	131 100.0	49 37.4	40 30.5	42 32.1	36 27.5	2 1.5	5 3.8	3 2.3
	高浜	43 100.0	17 39.5	8 18.6	18 41.9	5 11.6	1 2.3	1 2.3	2 4.7
	計	1,144 100.0	586 51.2	330 28.8	287 25.1	220 19.2	26 2.3	40 3.5	40 3.5
住宅形式	戸建て	485 100.0	281 57.9	140 28.9	111 22.9	80 16.5	9 1.9	18 3.7	13 2.7
	集合	659 100.0	305 46.3	190 28.8	176 26.7	140 21.2	17 2.6	22 3.3	27 4.1
	計	1,144 100.0	586 51.2	330 28.8	287 25.1	220 19.2	26 2.3	40 3.5	40 3.5
在住年数	1年未満	21 100.0	6 28.6	5 23.8	10 47.6	8 38.1	1 4.8	1 4.8	2 9.5
	1～4年	128 100.0	37 28.9	28 21.9	63 49.2	31 24.2	2 1.6	3 2.3	5 3.9
	5～9年	91 100.0	37 40.7	26 28.6	31 34.1	27 29.7	3 3.3	2 2.2	2 2.2
	10～19年	148 100.0	68 45.9	43 29.1	49 33.1	26 17.6	5 3.4	5 3.4	6 4.1
	20～29年	161 100.0	90 55.9	40 24.8	27 16.8	40 24.8	3 1.9	5 3.1	6 3.7
	30～39年	208 100.0	114 54.8	68 32.7	44 21.2	35 16.8	5 2.4	7 3.4	8 3.8
	40～49年	186 100.0	107 57.5	60 32.3	37 19.9	28 15.1	4 2.2	7 3.8	5 2.7
	50～59年	108 100.0	71 65.7	33 30.6	16 14.8	18 16.7	1 0.9	3 2.8	3 2.8
	60～69年	50 100.0	30 60.0	16 32.0	6 12.0	4 8.0	0 0.0	4 8.0	2 4.0
	70～79年	22 100.0	15 68.2	8 36.4	2 9.1	2 9.1	0 0.0	0 0.0	1 4.5
	80年以上	14 100.0	9 64.3	2 14.3	0 0.0	0 0.0	1 7.1	2 14.3	0 0.0
	不明・無回答	7 100.0	2 28.6	1 14.3	2 28.6	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0
	計	1,144 100.0	586 51.2	330 28.8	287 25.1	220 19.2	26 2.3	40 3.5	40 3.5

『問 12』 あなたの家庭では浄水器を使用していますか。(単数回答)

浄水器を使用していますかについては、「今後も使用を考えていない」が 56.3%と最も高く、次いで「現在使用している」が 27.7%、「以前に使用したことがある」が 11.1%となっています。



■ 『問 12』 「浄水器」のクロス集計 (年代別・地区別・住居形式別・在住年数別)

一部を除き各区分とも、「今後も使用を考えていない」が最も高く全体と同様です。

(上段: 件数 下段: %)

	調査数	現在使用している	以前に使用したことがある	今後使用を考えている	今後使用を考えていない	不明・無回答
全体	1,144	317	127	41	644	15
	100.0	27.7	11.1	3.6	56.3	1.3
年代別	20歳未満	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	23	12	3	5	0
		100.0	52.2	13.0	21.7	0.0
	30～39歳	109	52	6	4	1
		100.0	47.7	5.5	3.7	0.9
	40～49歳	162	60	20	8	0
		100.0	37.0	12.3	4.9	0.0
	50～59歳	150	46	20	5	2
		100.0	30.7	13.3	3.3	1.3
地区別	60～64歳	112	27	13	2	0
		100.0	24.1	11.6	1.8	0.0
	65～74歳	296	75	31	12	3
		100.0	25.3	10.5	4.1	1.0
	75歳以上	292	45	34	7	9
		100.0	15.4	11.6	2.4	3.1
	計	1,144	317	127	41	644
		100.0	27.7	11.1	3.6	56.3
	尺代	5	1	1	1	1
		100.0	20.0	20.0	20.0	20.0
地区別	若山台	130	32	12	6	0
		100.0	24.6	9.2	4.6	0.0
	東大寺	82	20	9	4	0
		100.0	24.4	11.0	4.9	0.0
	山崎	157	28	16	5	2
		100.0	17.8	10.2	3.2	1.3
	広瀬	163	47	18	4	3
		100.0	28.8	11.0	2.5	1.8
	百山	71	38	7	4	0
		100.0	53.5	9.9	5.6	0.0
地区別	桜井、桜井台	74	17	11	1	1
		100.0	23.0	14.9	1.4	1.4
	青葉	146	29	21	3	0
		100.0	19.9	14.4	2.1	2.1
	水無瀬	142	36	12	6	3
		100.0	25.4	8.5	4.2	2.1
	江川	131	49	15	6	1
		100.0	37.4	11.5	4.6	0.8
	高浜	43	20	5	1	1
		100.0	46.5	11.6	2.3	2.3
計	1,144	317	127	41	644	15
	100.0	27.7	11.1	3.6	56.3	1.3

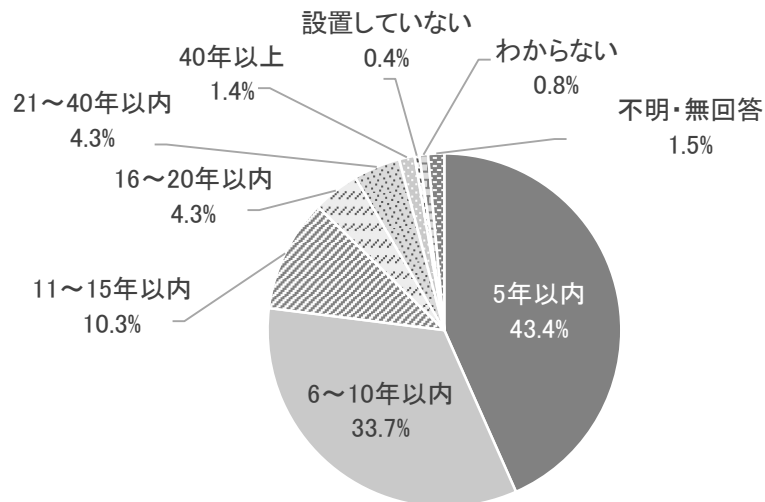
(上段: 件数 下段: %)

	調査数	現在使用している	以前に使用したことがある	今後使用を考えている	今後使用を考えていない	不明・無回答
全体	1,144	317	127	41	644	15
	100.0	27.7	11.1	3.6	56.3	1.3
住宅形式	戸建て	485	124	55	13	8
		100.0	25.6	11.3	2.7	1.6
	集合	659	193	72	28	7
		100.0	29.3	10.9	4.2	1.1
在住年数	計	1,144	317	127	41	644
		100.0	27.7	11.1	3.6	56.3
	1年未満	21	10	1	1	0
		100.0	47.6	4.8	4.8	0.0
	1～4年	128	72	12	6	1
		100.0	56.3	9.4	4.7	0.8
	5～9年	91	31	8	6	0
		100.0	34.1	8.8	6.6	0.0
	10～19年	148	53	19	4	1
		100.0	35.8	12.8	2.7	0.7
	20～29年	161	32	20	7	0
		100.0	19.9	12.4	4.3	0.0
	30～39年	208	50	28	9	3
		100.0	24.0	13.5	4.3	1.4
	40～49年	186	40	19	4	3
		100.0	21.5	10.2	2.2	1.6
在住年数	50～59年	108	17	11	2	4
		100.0	15.7	10.2	1.9	3.7
	60～69年	50	7	6	0	1
		100.0	14.0	12.0	0.0	2.0
	70～79年	22	2	1	1	0
		100.0	9.1	4.5	4.5	0.0
	80年以上	14	0	2	1	2
		100.0	0.0	14.3	7.1	14.3
在住年数	不明・無回答	7	3	0	0	0
		100.0	42.9	0.0	0.0	0.0
計	1,144	317	127	41	644	15
	100.0	27.7	11.1	3.6	56.3	1.3

『問 13 』現在使用している洗濯機の設置時期と型式と風呂水の再利用率を教えてください。(単数回答)

【設置時期】

洗濯機の設置時期については、「5 年以内」が 43.4%と最も高く、次いで「6～10 年以内」が 33.7%、「11～15 年以内」が 10.3%となっています。



■ 【設置時期】のクロス集計（年代別・地区別・住居形式別・在住年数別）

一部を除き各区分とも、「5 年以内」が最も高く全体と同様です。

(上段:件数 下段:%)

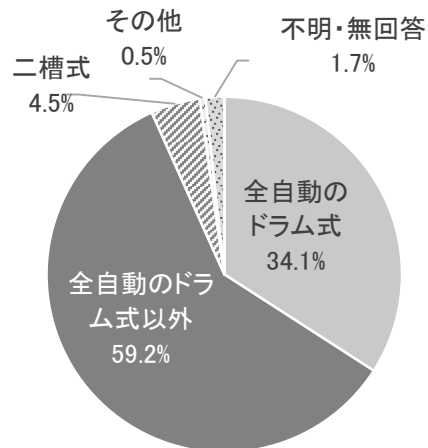
	調査数	5年以内	6～10年以内	11～15年以内	16～20年以内	21～40年以内	40年以上	設置していない	わからない	不明・無回答
全体	1,144	496	385	118	49	49	16	5	9	17
	100.0	43.4	33.7	10.3	4.3	4.3	1.4	0.4	0.8	1.5
年代別	20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	23	22	1	0	0	0	0	0	0
		100.0	95.7	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	109	75	28	4	0	0	1	0	1
		100.0	68.8	25.7	3.7	0.0	0.0	0.9	0.0	0.9
	40～49歳	162	72	62	18	4	1	1	1	3
		100.0	44.4	38.3	11.1	2.5	0.6	0.6	0.6	1.9
	50～59歳	150	73	46	13	6	8	1	1	2
		100.0	48.7	30.7	8.7	4.0	5.3	0.7	0.7	1.3
75歳以上	60～64歳	112	47	37	13	9	4	2	0	0
		100.0	42.0	33.0	11.6	8.0	3.6	1.8	0.0	0.0
	65～74歳	296	113	116	36	14	14	1	0	2
		100.0	38.2	39.2	12.2	4.7	4.7	0.3	0.0	0.7
	75歳以上	292	94	95	34	16	23	12	7	9
		100.0	32.2	32.5	11.6	5.5	7.9	4.1	2.4	3.1
計	1,144	496	385	118	49	49	16	5	9	17
	100.0	43.4	33.7	10.3	4.3	4.3	1.4	0.4	0.8	1.5

(上段:件数 下段:%)

		調査数	5年以内	6～10年以内	11～15年以内	16～20年以内	21～40年以内	40年以上	設置していない	わからない	不明・無回答
全体		1,144 100.0	496 43.4	385 33.7	118 10.3	49 4.3	49 4.3	16 1.4	5 0.4	9 0.8	17 1.5
地区別	尺代	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
	若山台	130 100.0	45 34.6	48 36.9	16 12.3	6 4.6	13 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.5
	東大寺	82 100.0	36 43.9	30 36.6	8 9.8	4 4.9	3 3.7	1 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	山崎	157 100.0	58 36.9	56 35.7	19 12.1	11 7.0	6 3.8	1 0.6	1 0.6	1 0.6	4 2.5
	広瀬	163 100.0	69 42.3	55 33.7	17 10.4	6 3.7	9 5.5	4 2.5	0 0.0	2 1.2	1 0.6
	百山	71 100.0	46 64.8	13 18.3	8 11.3	2 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.4	1 1.4
	桜井、桜井台	74 100.0	29 39.2	28 37.8	7 9.5	1 1.4	3 4.1	4 5.4	1 1.4	0 0.0	1 1.4
	青葉	146 100.0	62 42.5	47 32.2	16 11.0	10 6.8	5 3.4	2 1.4	0 0.0	1 0.7	3 2.1
	水無瀬	142 100.0	64 45.1	47 33.1	9 6.3	7 4.9	9 6.3	1 0.7	2 1.4	2 1.4	1 0.7
	江川	131 100.0	57 43.5	51 38.9	16 12.2	1 0.8	1 0.8	2 1.5	1 0.8	1 0.8	1 0.8
	高浜	43 100.0	29 67.4	8 18.6	1 2.3	1 2.3	0 0.0	1 2.3	0 0.0	1 2.3	2 4.7
	計	1,144 100.0	496 43.4	385 33.7	118 10.3	49 4.3	49 4.3	16 1.4	5 0.4	9 0.8	17 1.5
住宅形式	戸建て	485 100.0	205 42.3	163 33.6	52 10.7	21 4.3	19 3.9	11 2.3	3 0.6	3 0.6	8 1.6
	集合	659 100.0	291 44.2	222 33.7	66 10.0	28 4.2	30 4.6	5 0.8	2 0.3	6 0.9	9 1.4
	計	1,144 100.0	496 43.4	385 33.7	118 10.3	49 4.3	49 4.3	16 1.4	5 0.4	9 0.8	17 1.5
在住年数	1年未満	21 100.0	17 81.0	2 9.5	2 9.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	1～4年	128 100.0	108 84.4	17 13.3	2 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.8
	5～9年	91 100.0	39 42.9	44 48.4	5 5.5	0 0.0	0 0.0	1 1.1	1 1.1	0 0.0	1 1.1
	10～19年	148 100.0	59 39.9	52 35.1	24 16.2	7 4.7	2 1.4	1 0.7	1 0.7	1 0.7	1 0.7
	20～29年	161 100.0	66 41.0	50 31.1	14 8.7	12 7.5	13 8.1	0 0.0	1 0.6	2 1.2	3 1.9
	30～39年	208 100.0	84 40.4	81 38.9	22 10.6	8 3.8	10 4.8	0 0.0	1 0.5	1 0.5	1 0.5
	40～49年	186 100.0	66 35.5	67 36.0	22 11.8	11 5.9	14 7.5	6 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	50～59年	108 100.0	32 29.6	44 40.7	13 12.0	5 4.6	4 3.7	6 5.6	0 0.0	0 0.0	4 3.7
	60～69年	50 100.0	16 32.0	15 30.0	8 16.0	4 8.0	1 2.0	0 0.0	1 2.0	3 6.0	2 4.0
	70～79年	22 100.0	7 31.8	6 27.3	6 27.3	1 4.5	2 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	80年以上	14 100.0	2 14.3	3 21.4	0 0.0	1 7.1	3 21.4	2 14.3	0 0.0	1 7.1	2 14.3
	不明・無回答	7 100.0	0 0.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	2 28.6
	計	1,144 100.0	496 43.4	385 33.7	118 10.3	49 4.3	49 4.3	16 1.4	5 0.4	9 0.8	17 1.5

【型式】

2 洗濯機の型式については、「全自動のドラム式以外」が 59.2%、次いで「全自動のドラム式」が 34.1%、「二槽式」が 4.5%となっています。



■ 【型式】のクロス集計（年代別・地区別・住居形式別・在住年数別）

一部を除き各区分とも、「全自動のドラム式以外」が最も高く全体と同様です。

(上段:件数 下段:%)

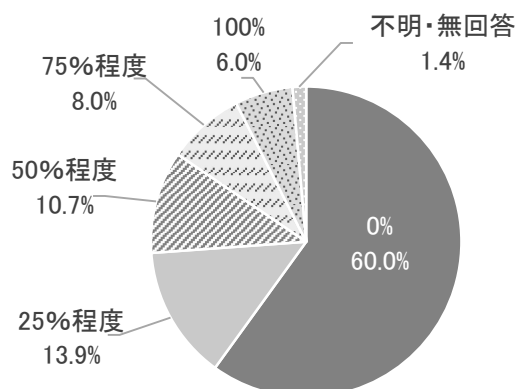
	調査数	全自動のドラム式	全自動のドラム式以外	二槽式	その他	不明・無回答
全体	1,144	390	677	52	6	19
	100.0	34.1	59.2	4.5	0.5	1.7
年代別	20歳未満	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	23	8	14	1	0
	100.0	34.8	60.9	4.3	0.0	0.0
	30～39歳	109	48	59	0	2
	100.0	44.0	54.1	0.0	0.0	1.8
	40～49歳	162	55	102	2	0
	100.0	34.0	63.0	1.2	0.0	1.9
	50～59歳	150	51	95	1	3
地区別	100.0	34.0	63.3	0.7	0.0	2.0
	60～64歳	112	40	69	2	1
	100.0	35.7	61.6	1.8	0.9	0.0
	65～74歳	296	92	186	13	2
	100.0	31.1	62.8	4.4	0.7	1.0
	75歳以上	292	96	152	33	3
	100.0	32.9	52.1	11.3	1.0	2.7
	計	1,144	390	677	52	6
	100.0	34.1	59.2	4.5	0.5	1.7

(上段:件数 下段:%)

	調査数	全自動のドラム式	全自動のドラム式以外	二槽式	その他	不明・無回答
全体	1,144	390	677	52	6	19
	100.0	34.1	59.2	4.5	0.5	1.7
住居形式	戸建て	485	172	270	31	4
	100.0	35.5	55.7	6.4	0.8	1.6
	集合	659	218	407	21	2
在住年数	100.0	33.1	61.8	3.2	0.3	1.7
	計	1,144	390	677	52	6
	100.0	34.1	59.2	4.5	0.5	1.7
	1年未満	21	6	15	0	0
	100.0	28.6	71.4	0.0	0.0	0.0
	1～4年	128	43	80	3	0
	100.0	33.6	62.5	2.3	0.0	1.6
	5～9年	91	35	53	1	0
	100.0	38.5	58.2	1.1	0.0	2.2
	10～19年	148	59	85	1	1
	100.0	39.9	57.4	0.7	0.7	1.4
	20～29年	161	54	98	6	0
	100.0	33.5	60.9	3.7	0.0	1.9
	30～39年	208	70	126	11	1
	100.0	33.7	60.6	5.3	0.5	0.0
	40～49年	186	52	117	13	2
	100.0	28.0	62.9	7.0	1.1	1.1
	50～59年	108	36	58	9	1
	100.0	33.3	53.7	8.3	0.9	3.7
	60～69年	50	15	30	3	1
	100.0	30.0	60.0	6.0	2.0	2.0
	70～79年	22	11	8	3	0
	100.0	50.0	36.4	13.6	0.0	0.0
	80年以上	14	5	6	1	0
	100.0	35.7	42.9	7.1	0.0	14.3
	不明・無回答	7	4	1	1	0
	100.0	57.1	14.3	14.3	0.0	14.3
	計	1,144	390	677	52	6
	100.0	34.1	59.2	4.5	0.5	1.7

【風呂水の再利用率】

風呂水の再利用率については、「0%」が60.0%と最も高く、次いで「25%程度」が13.9%、「50%程度」が10.7%となっています。



■ 【風呂水の再利用率】のクロス集計（年代別・地区別・住居形式別・在住年数別）

一部を除き各区分とも、「0%」が最も高く全体と同様です。

(上段:件数 下段:%)

	調査数	0%	25%程度	50%程度	75%程度	100%	不明・無回答
全体	1,144	686	159	122	92	69	16
	100.0	60.0	13.9	10.7	8.0	6.0	1.4
年代別	20歳未満	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	23	18	2	0	2	1
		100.0	78.3	8.7	0.0	8.7	4.3
	30～39歳	109	67	11	10	13	6
		100.0	61.5	10.1	9.2	11.9	5.5
	40～49歳	162	108	16	14	13	8
		100.0	66.7	9.9	8.6	8.0	4.9
	50～59歳	150	86	19	19	10	13
		100.0	57.3	12.7	12.7	6.7	8.7
地区別	尺代	5	2	0	0	2	0
		100.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	若山台	130	70	22	14	12	10
		100.0	53.8	16.9	10.8	9.2	7.7
	東大寺	82	42	19	10	5	6
		100.0	51.2	23.2	12.2	6.1	7.3
	山崎	157	98	16	11	18	10
		100.0	62.4	10.2	7.0	11.5	6.4
	広瀬	163	96	21	24	13	8
		100.0	58.9	12.9	14.7	8.0	4.9
地区別	百山	71	37	9	11	6	7
		100.0	52.1	12.7	15.5	8.5	9.9
	桜井、桜井台	74	53	9	5	1	4
		100.0	71.6	12.2	6.8	1.4	5.4
	青葉	146	87	22	13	8	15
		100.0	59.6	15.1	8.9	5.5	10.3
	水無瀬	142	88	18	16	15	4
		100.0	62.0	12.7	11.3	10.6	2.8
	江川	131	84	19	16	7	3
		100.0	64.1	14.5	12.2	5.3	2.3
地区別	高浜	43	29	4	2	5	2
		100.0	67.4	9.3	4.7	11.6	4.7
	計	1,144	686	159	122	92	69
		100.0	60.0	13.9	10.7	8.0	6.0

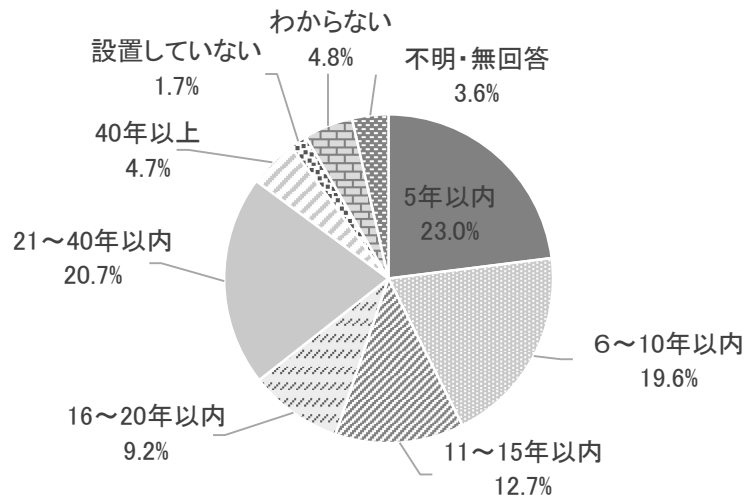
(上段:件数 下段:%)

	調査数	0%	25%程度	50%程度	75%程度	100%	不明・無回答
全体	1,144	686	159	122	92	69	16
	100.0	60.0	13.9	10.7	8.0	6.0	1.4
住居形式	戸建て	485	287	70	54	39	30
		100.0	59.2	14.4	11.1	8.0	6.2
	集合	659	399	89	68	53	39
		100.0	60.5	13.5	10.3	8.0	5.9
在住年数	計	1,144	686	159	122	92	69
		100.0	60.0	13.9	10.7	8.0	6.0
	1年未満	21	14	0	2	2	3
		100.0	66.7	0.0	9.5	9.5	14.3
	1～4年	128	83	12	9	14	9
		100.0	64.8	9.4	7.0	10.9	7.0
	5～9年	91	58	12	12	7	0
		100.0	63.7	13.2	13.2	7.7	0.0
	10～19年	148	90	21	11	10	14
		100.0	60.8	14.2	7.4	6.8	9.5
	20～29年	161	102	27	14	8	8
		100.0	63.4	16.8	8.7	5.0	5.0
	30～39年	208	115	32	27	18	15
		100.0	55.3	15.4	13.0	8.7	7.2
	40～49年	186	116	28	20	13	8
		100.0	62.4	15.1	10.8	7.0	4.3
	50～59年	108	53	11	18	15	9
		100.0	49.1	10.2	16.7	13.9	8.3
	60～69年	50	28	10	8	1	2
		100.0	56.0	20.0	16.0	2.0	4.0
	70～79年	22	15	3	1	2	1
		100.0	68.2	13.6	4.5	9.1	4.5
	80年以上	14	9	1	0	1	0
		100.0	64.3	7.1	0.0	7.1	0.0
	不明・無回答	7	3	2	0	1	0
		100.0	42.9	28.6	0.0	14.3	0.0
	計	1,144	686	159	122	92	69
		100.0	60.0	13.9	10.7	8.0	6.0

『問 14』 現在使用している水洗トイレの設置時期とウォシュレットの有無を教えてください。(単数回答)

【設置時期】

水洗トイレの設置時期については、「5 年以内」が 23.0%と最も高く、次いで「21～40 年以内」が 20.7%、「6～10 年以内」が 19.6%となっています。



■ 【設置時期】のクロス集計（年代別）

年齢別に見ると、50 歳以上は「21 年～40 年以内」が最も多く、次いで 40～49 歳では「6～10 年以内」、20～39 歳では「5 年以内」となっています。

(上段:件数 下段:%)

		調査数	5年以内	6～10年以内	11～15年以内	16～20年以内	21～40年以内	40年以上	設置していない	わからない	不明・無回答
全体		1,144	263	224	145	105	237	54	20	55	41
		100.0	23.0	19.6	12.7	9.2	20.7	4.7	1.7	4.8	3.6
年代別	20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	23	19	1	0	1	0	0	1	1	0
		100.0	82.8	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0
	30～39歳	109	65	24	5	4	4	0	1	4	2
		100.0	59.6	22.0	4.6	3.7	3.7	0.0	0.9	3.7	1.8
	40～49歳	162	40	48	26	16	10	1	2	18	1
		100.0	24.7	29.6	16.0	9.9	6.2	0.6	1.2	11.1	0.6
	50～59歳	150	32	25	24	13	39	4	0	11	2
		100.0	21.3	16.7	16.0	8.7	26.0	2.7	0.0	7.3	1.3
	60～64歳	112	24	17	10	9	31	3	4	5	9
		100.0	21.4	15.2	8.9	8.0	27.7	2.7	3.6	4.5	8.0
	65～74歳	296	51	63	37	31	76	14	6	9	9
		100.0	17.2	21.3	12.5	10.5	25.7	4.7	2.0	3.0	3.0
	75歳以上	292	32	46	43	31	77	32	6	7	18
		100.0	11.0	15.8	14.7	10.6	26.4	11.0	2.1	2.4	6.2
計		1,144	263	224	145	105	237	54	20	55	41
		100.0	23.0	19.6	12.7	9.2	20.7	4.7	1.7	4.8	3.6

■【設置時期】のクロス集計（地区別・住居形式別・在住年数別）

地区別に見ると、ばらつきが見られます。

住宅形式別に見ると、戸建て集合共「5 年以内」が最も多く、次いで「21～40 年以内」となっています。

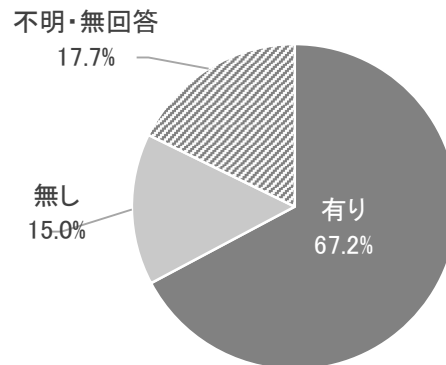
居住年数別に見ると、20 年以上では「21 年～40 年以内」が最も多く、20 年未満では居住年数と近くなっています。

（上段：件数 下段：％）

		調査数	5年以内	6～10年以内	11～15年以内	16～20年以内	21～40年以内	40年以上	設置していない	わからない	不明・無回答
全体		1,144 100.0	263 23.0	224 19.6	145 12.7	105 9.2	237 20.7	54 4.7	20 1.7	55 4.8	41 3.6
地区別	尺代	5 100.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	若山台	130 100.0	21 16.2	22 16.9	14 10.8	10 7.7	37 28.5	11 8.5	2 1.5	12 9.2	1 0.8
	東大寺	82 100.0	17 20.7	21 25.6	17 20.7	7 8.5	11 13.4	4 4.9	1 1.2	3 3.7	1 1.2
	山崎	157 100.0	34 21.7	20 12.7	15 9.6	21 13.4	51 32.5	1 0.6	1 0.6	7 4.5	7 4.5
	広瀬	163 100.0	33 20.2	28 17.2	17 10.4	20 12.3	38 23.3	8 4.9	2 1.2	12 7.4	5 3.1
	百山	71 100.0	42 59.2	2 2.8	15 21.1	9 12.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.4	2 2.8
	桜井、桜井台	74 100.0	11 14.9	17 23.0	6 8.1	5 6.8	12 16.2	8 10.8	11 14.9	2 2.7	2 2.7
	青葉	146 100.0	29 19.9	26 17.8	21 14.4	13 8.9	33 22.6	9 6.2	0 0.0	6 4.1	9 6.2
	水無瀬	142 100.0	39 27.5	24 16.9	14 9.9	17 12.0	28 19.7	9 6.3	2 1.4	3 2.1	6 4.2
	江川	131 100.0	17 13.0	55 42.0	21 16.0	2 1.5	20 15.3	1 0.8	1 0.8	9 6.9	5 3.8
	高浜	43 100.0	19 44.2	9 20.9	4 9.3	1 2.3	6 14.0	1 2.3	0 0.0	0 0.0	3 7.0
	計	1,144 100.0	263 23.0	224 19.6	145 12.7	105 9.2	237 20.7	54 4.7	20 1.7	55 4.8	41 3.6
住宅形式	戸建て	485 100.0	101 20.8	90 18.6	68 14.0	54 11.1	101 20.8	26 5.4	14 2.9	12 2.5	19 3.9
	集合	659 100.0	162 24.6	134 20.3	77 11.7	51 7.7	136 20.6	28 4.2	6 0.9	43 6.5	22 3.3
	計	1,144 100.0	263 23.0	224 19.6	145 12.7	105 9.2	237 20.7	54 4.7	20 1.7	55 4.8	41 3.6
在住年数	1年未満	21 100.0	18 85.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	2 9.5	0 0.0
	1～4年	128 100.0	98 76.6	10 7.8	1 0.8	3 2.3	3 2.3	0 0.0	1 0.8	11 8.6	1 0.8
	5～9年	91 100.0	21 23.1	52 57.1	7 7.7	1 1.1	0 0.0	0 0.0	1 1.1	8 8.8	1 1.1
	10～19年	148 100.0	19 12.8	40 27.0	41 27.7	21 14.2	11 7.4	0 0.0	2 1.4	8 5.4	6 4.1
	20～29年	161 100.0	28 17.4	19 11.8	16 9.9	24 14.9	55 34.2	4 2.5	2 1.2	8 5.0	5 3.1
	30～39年	208 100.0	36 17.3	43 20.7	24 11.5	14 6.7	70 33.7	5 2.4	2 1.0	7 3.4	7 3.4
	40～49年	186 100.0	25 13.4	32 17.2	20 10.8	21 11.3	49 26.3	30 16.1	3 1.6	2 1.1	4 2.2
	50～59年	108 100.0	9 8.3	17 15.7	22 20.4	10 9.3	27 25.0	7 6.5	3 2.8	5 4.6	8 7.4
	60～69年	50 100.0	5 10.0	6 12.0	8 16.0	6 12.0	13 26.0	2 4.0	3 6.0	3 6.0	4 8.0
	70～79年	22 100.0	3 13.6	2 9.1	5 22.7	3 13.6	6 27.3	1 4.5	1 4.5	0 0.0	1 4.5
	80年以上	14 100.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	2 14.3	3 21.4	3 21.4	1 7.1	1 7.1	3 21.4
	不明・無回答	7 100.0	1 14.3	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	1 14.3
	計	1,144 100.0	263 23.0	224 19.6	145 12.7	105 9.2	237 20.7	54 4.7	20 1.7	55 4.8	41 3.6

【ウォシュレットの有無】

ウォシュレットの有無については、「有り」が 67.2%、「無し」が 15.0%となっています。



■【ウォシュレットの有無】のクロス集計（年代別・地区別・住居形式別・在住年数別）

一部を除き各区分とも、「有り」が最も高く全体と同様です。

(上段: 件数 下段: %)

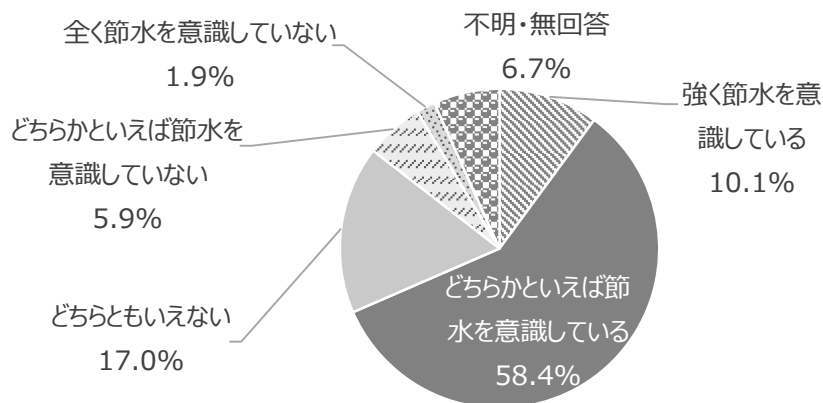
		調査数	有り	無し	不明・無回答
全体		1,144	769	172	203
		100.0	67.2	15.0	17.7
年代別	20歳未満	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	23	14	2	7
		100.0	60.9	8.7	30.4
	30～39歳	109	76	11	22
		100.0	69.7	10.1	20.2
	40～49歳	162	111	24	27
		100.0	68.5	14.8	16.7
	50～59歳	150	105	22	23
		100.0	70.0	14.7	15.3
地区別	60～64歳	112	73	23	16
		100.0	65.2	20.5	14.3
	65～74歳	296	206	49	41
		100.0	69.6	16.6	13.9
	75歳以上	292	184	41	67
		100.0	63.0	14.0	22.9
	計	1,144	769	172	203
		100.0	67.2	15.0	17.7
	尺代	5	4	0	1
		100.0	80.0	0.0	20.0
地区別	若山台	130	83	29	18
		100.0	63.8	22.3	13.8
	東大寺	82	58	10	14
		100.0	70.7	12.2	17.1
	山崎	157	92	33	32
		100.0	58.6	21.0	20.4
	広瀬	163	115	17	31
		100.0	70.6	10.4	19.0
	百山	71	56	2	13
		100.0	78.9	2.8	18.3
	桜井、桜井台	74	52	11	11
		100.0	70.3	14.9	14.9
	青葉	146	105	18	23
		100.0	71.9	12.3	15.8
	水無瀬	142	95	16	31
		100.0	66.9	11.3	21.8
	江川	131	80	33	18
		100.0	61.1	25.2	13.7
	高浜	43	29	3	11
		100.0	67.4	7.0	25.6
	計	1,144	769	172	203
		100.0	67.2	15.0	17.7

(上段: 件数 下段: %)

		調査数	有り	無し	不明・無回答
全体		1,144	769	172	203
		100.0	67.2	15.0	17.7
住居形式	戸建て	485	345	42	98
		100.0	71.1	8.7	20.2
	集合	659	424	130	105
		100.0	64.3	19.7	15.9
	計	1,144	769	172	203
		100.0	67.2	15.0	17.7
在住年数	1年未満	21	14	4	3
		100.0	66.7	19.0	14.3
	1～4年	128	92	12	24
		100.0	71.9	9.4	18.8
	5～9年	91	64	12	15
		100.0	70.3	13.2	16.5
	10～19年	148	89	20	39
		100.0	60.1	13.5	26.4
	20～29年	161	109	33	19
		100.0	67.7	20.5	11.8
	30～39年	208	136	32	40
		100.0	65.4	15.4	19.2
	40～49年	186	134	25	27
		100.0	72.0	13.4	14.5
	50～59年	108	80	12	16
		100.0	74.1	11.1	14.8
	60～69年	50	29	12	9
		100.0	58.0	24.0	18.0
	70～79年	22	13	6	3
		100.0	59.1	27.3	13.6
	80年以上	14	7	3	4
		100.0	50.0	21.4	28.6
	不明・無回答	7	2	1	4
		100.0	28.6	14.3	57.1
	計	1,144	769	172	203
		100.0	67.2	15.0	17.7

『問 15』 あなたの節水意識について教えてください。(単数回答)

節水意識については、「どちらかといえば節水を意識している」が 58.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 17.0%、「強く節水を意識している」が 10.1%となっています。



■ 『問 15』 「節水意識」のクロス集計 (年代別・地区別・住居形式別・在住年数別)

各区分とも、「どちらかといえば節水を意識している」が最も高く全体と同様です。

(上段:件数 下段:%)

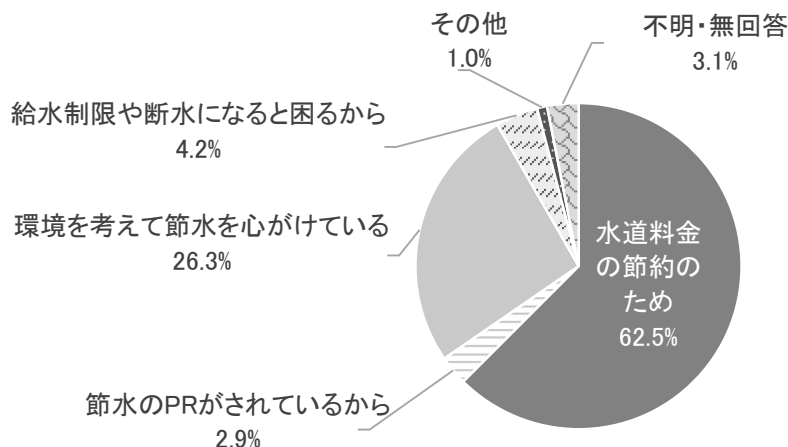
	調査数	強く節水を意識している	どちらかといえば節水を意識している	どちらともいえない	どちらかといえば節水を意識していない	全く節水を意識していない	不明・無回答
全体	1,144 100.0	116 10.1	668 58.4	194 17.0	67 5.9	22 1.9	77 6.7
年代別	20歳未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29歳	23 100.0	1 4.3	13 56.5	4 17.4	3 13.0	2 8.7
	30～39歳	109 100.0	8 7.3	50 45.9	32 29.4	12 11.0	5 4.6
	40～49歳	162 100.0	10 6.2	97 59.9	25 15.4	17 10.5	8 4.9
	50～59歳	150 100.0	11 7.3	88 58.7	31 20.7	10 6.7	4 2.7
	60～64歳	112 100.0	13 11.6	56 50.0	25 22.3	5 4.5	12 10.7
	65～74歳	296 100.0	30 10.1	196 66.2	44 14.9	7 2.4	15 5.1
	75歳以上	292 100.0	43 14.7	168 57.5	33 11.3	13 4.5	31 10.6
	計	1,144 100.0	116 10.1	668 58.4	194 17.0	67 5.9	77 6.7
地区別	尺代	5 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	若山台	130 100.0	15 11.5	80 61.5	26 20.0	4 3.1	5 3.8
	東大寺	82 100.0	10 12.2	50 61.0	13 15.9	4 4.9	4 4.9
	山崎	157 100.0	17 10.8	89 56.7	22 14.0	13 8.3	12 7.6
	広瀬	163 100.0	20 12.3	84 51.5	42 25.8	7 4.3	8 4.9
	百山	71 100.0	5 7.0	37 52.1	13 18.3	5 7.0	8 11.3
	桜井、桜井台	74 100.0	4 5.4	44 59.5	14 18.9	8 10.8	2 2.7
	青葉	146 100.0	14 9.6	88 60.3	19 13.0	5 3.4	17 11.6
	水無瀬	142 100.0	18 12.7	89 62.7	17 12.0	4 2.8	9 6.3
	江川	131 100.0	9 6.9	79 60.3	20 15.3	13 9.9	9 6.9
	高浜	43 100.0	4 9.3	23 53.5	8 18.6	4 9.3	3 7.0
	計	1,144 100.0	116 10.1	668 58.4	194 17.0	67 5.9	77 6.7

(上段:件数 下段:%)

	調査数	強く節水を意識している	どちらかといえば節水を意識している	どちらともいえない	どちらかといえば節水を意識していない	全く節水を意識していない	不明・無回答
全体	1,144 100.0	116 10.1	668 58.4	194 17.0	67 5.9	22 1.9	77 6.7
住居形式	戸建て	485 100.0	54 11.1	269 55.5	93 19.2	27 5.6	35 7.2
	集合	659 100.0	62 9.4	399 60.5	101 15.3	40 6.1	42 6.4
	計	1,144 100.0	116 10.1	668 58.4	194 17.0	67 5.9	77 6.7
在住年数	1年未満	21 100.0	2 9.5	12 57.1	5 23.8	1 4.8	1 4.8
	1～4年	128 100.0	13 10.2	75 58.6	20 15.6	10 7.8	7 5.5
	5～9年	91 100.0	3 3.3	50 54.9	23 25.3	11 12.1	3 3.3
	10～19年	148 100.0	13 8.8	83 56.1	24 16.2	13 8.8	13 8.8
	20～29年	161 100.0	14 8.7	95 59.0	29 18.0	6 3.7	11 6.8
	30～39年	208 100.0	33 15.9	116 55.8	36 17.3	7 3.4	13 6.3
	40～49年	186 100.0	14 7.5	113 60.8	32 17.2	13 7.0	11 5.9
	50～59年	108 100.0	14 13.0	69 63.9	10 9.3	5 4.6	7 6.5
	60～69年	50 100.0	6 12.0	28 56.0	9 18.0	1 2.0	6 12.0
	70～79年	22 100.0	2 9.1	15 68.2	3 13.6	0 0.0	2 9.1
	80年以上	14 100.0	2 14.3	7 50.0	3 21.4	0 0.0	2 14.3
	不明・無回答	7 100.0	0 0.0	5 71.4	0 0.0	0 0.0	2 28.6
	計	1,144 100.0	116 10.1	668 58.4	194 17.0	67 5.9	77 6.7

『問 16』 問 15 で「1 強く節水を意識している」または「2 どちらかといえば節水を意識している」と答えた方におたずねします。その理由は何ですか。
(単数回答)

節水を意識していると答えた方については、「水道料金の節約のため」が 62.5%と最も高く、次いで「環境を考えて節水を心がけている」が 26.3%となっています。



■『問 16』 「節水意識」のクロス集計（年代別・地区別・住居形式別・在住年数別）

一部を除き各区分とも、「水道料金の節約のため」が最も高く全体と同様です。

(上段:件数 下段:%)

		調査数	水道料金の節約のため	節水のPRがされているから	環境を考えている	給水制限や断水になると困るから	その他	不明・無回答
全体		784 100.0	490 62.5	23 2.9	206 26.3	33 4.2	8 1.0	24 3.1
年代別	20歳未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29歳	14 100.0	13 92.9	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30～39歳	58 100.0	45 77.6	0 0.0	12 20.7	0 0.0	0 0.0	1 1.7
	40～49歳	107 100.0	76 71.0	0 0.0	27 25.2	0 0.0	2 1.9	2 1.9
	50～59歳	99 100.0	64 64.6	1 1.0	25 25.3	4 4.0	1 1.0	4 4.0
	60～64歳	69 100.0	44 63.8	0 0.0	18 26.1	3 4.3	1 1.4	3 4.3
	65～74歳	226 100.0	134 59.3	8 3.5	66 29.2	8 3.5	2 0.9	8 3.5
	75歳以上	211 100.0	114 54.0	14 6.6	57 27.0	18 8.5	2 0.9	6 2.8
	計	784 100.0	490 62.5	23 2.9	206 26.3	33 4.2	8 1.0	24 3.1
	地区別	尺代	5 100.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0
若山台		95 100.0	63 66.3	0 0.0	24 25.3	1 1.1	3 3.2	4 4.2
東大寺		60 100.0	42 70.0	1 1.7	12 20.0	2 3.3	0 0.0	3 5.0
山崎		106 100.0	62 58.5	4 3.8	35 33.0	3 2.8	1 0.9	1 0.9
広瀬		104 100.0	69 66.3	5 4.8	20 19.2	7 6.7	1 1.0	2 1.9
百山		42 100.0	31 73.8	0 0.0	8 19.0	0 0.0	0 0.0	3 7.1
桜井、桜井台		48 100.0	25 52.1	3 6.3	12 25.0	5 10.4	1 2.1	2 4.2
青葉		102 100.0	56 54.9	4 3.9	34 33.3	7 6.9	0 0.0	1 1.0
水無瀬		107 100.0	66 61.7	4 3.7	30 28.0	4 3.7	0 0.0	3 2.8
江川		88 100.0	57 64.8	2 2.3	22 25.0	2 2.3	1 1.1	4 4.5
高浜		27 100.0	18 66.7	0 0.0	7 25.9	1 3.7	1 3.7	0 0.0
計		784 100.0	490 62.5	23 2.9	206 26.3	33 4.2	8 1.0	24 3.1

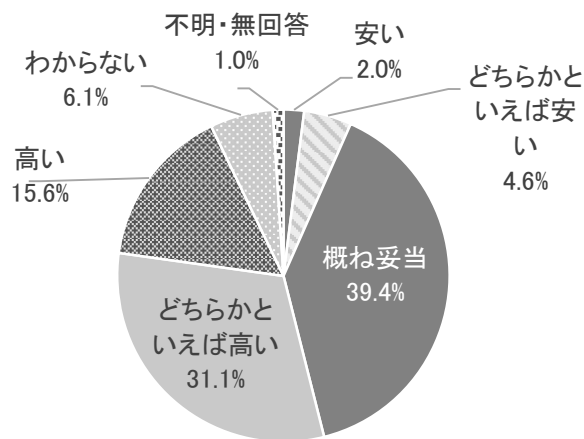
(上段:件数 下段:%)

		調査 数	水道料金の 節約のため	節水のPRが されているから	環境を考 えて節水を 心掛けて	水になると 困るから	給水制限や 断水	その他	不明・無 回答
全体		784 100.0	490 62.5	23 2.9	206 26.3	33 4.2	8 1.0	24 3.1	
住宅形式	戸建て	323 100.0	193 59.8	11 3.4	85 26.3	20 6.2	2 0.6	12 3.7	
	集合	461 100.0	297 64.4	12 2.6	121 26.2	13 2.8	6 1.3	12 2.6	
	計	784 100.0	490 62.5	23 2.9	206 26.3	33 4.2	8 1.0	24 3.1	
	在住年数	1年未満	14 100.0	10 71.4	0 0.0	2 14.3	2 14.3	0 0.0	0 0.0
1～4年		88 100.0	67 76.1	0 0.0	19 21.6	1 1.1	0 0.0	1 1.1	
5～9年		53 100.0	32 60.4	2 3.8	18 34.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	
10～19年		96 100.0	63 65.6	2 2.1	23 24.0	3 3.1	1 1.0	4 4.2	
20～29年		109 100.0	70 64.2	1 0.9	27 24.8	6 5.5	1 0.9	4 3.7	
30～39年		149 100.0	86 57.7	4 2.7	46 30.9	6 4.0	3 2.0	4 2.7	
40～49年		127 100.0	79 62.2	8 6.3	28 22.0	5 3.9	3 2.4	4 3.1	
50～59年		83 100.0	47 56.6	2 2.4	24 28.9	7 8.4	0 0.0	3 3.6	
60～69年		34 100.0	21 61.8	2 5.9	8 23.5	2 5.9	0 0.0	1 2.9	
70～79年		17 100.0	9 52.9	1 5.9	4 23.5	1 5.9	0 0.0	2 11.8	
80年以上		9 100.0	4 44.4	1 11.1	4 44.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
不明・無回答		5 100.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
計		784 100.0	490 62.5	23 2.9	206 26.3	33 4.2	8 1.0	24 3.1	

4. 水道料金について

『問 17』 あなたは水道料金についてどのように思っていますか。(単数回答)

水道料金については、「概ね妥当」が 39.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば高い」が 31.1%、「高い」が 15.6%となっています。



■ 『問 17』 「水道料金」のクロス集計 (年代別・地区別・住居形式別・在住年数別)

一部を除き各区分とも、「概ね妥当」が最も高く全体と同様です。

(上段:件数 下段:%)

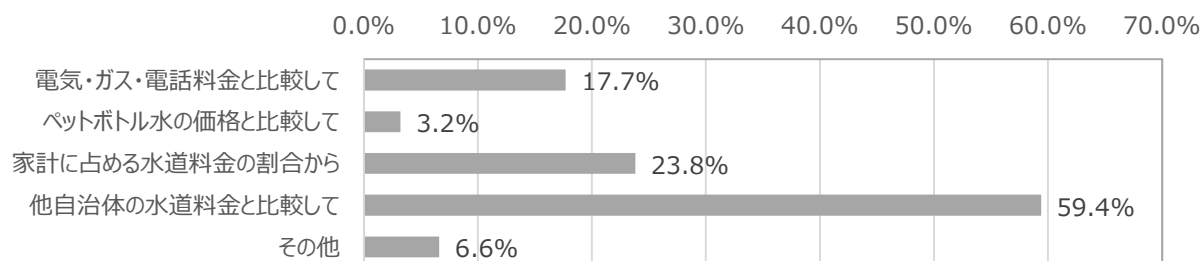
		調査数	安い	どちらか 安いか 高い	概ね 妥当	どちらか 高いか 安い	高い	わからない	不明・ 無回答
全体		1,144 100.0	23 2.0	53 4.6	451 39.4	356 31.1	179 15.6	70 6.1	12 1.0
年代別	20歳未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29歳	23 100.0	2 8.7	1 4.3	13 56.5	2 8.7	3 13.0	2 8.7	0 0.0
	30～39歳	109 100.0	2 1.8	3 2.8	37 33.9	38 34.9	23 21.1	6 5.5	0 0.0
	40～49歳	162 100.0	3 1.9	6 3.7	60 37.0	54 33.3	28 17.3	11 6.8	0 0.0
	50～59歳	150 100.0	1 0.7	10 6.7	62 41.3	40 26.7	29 19.3	8 5.3	0 0.0
	60～64歳	112 100.0	2 1.8	2 1.8	44 39.3	31 27.7	22 19.6	10 8.9	1 0.9
	65～74歳	296 100.0	8 2.7	10 3.4	120 40.5	106 35.8	34 11.5	13 4.4	5 1.7
	75歳以上	292 100.0	5 1.7	21 7.2	115 39.4	85 29.1	40 13.7	20 6.8	6 2.1
	計	1,144 100.0	23 2.0	53 4.6	451 39.4	356 31.1	179 15.6	70 6.1	12 1.0

(上段:件数 下段:%)

		調査 数	安い	どちら か安い	概ね 妥当	えど ちらか 高い	高い	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,144 100.0	23 2.0	53 4.6	451 39.4	356 31.1	179 15.6	70 6.1	12 1.0
地区別	尺代	5 100.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
	若山台	130 100.0	1 0.8	3 2.3	53 40.8	44 33.8	23 17.7	6 4.6	0 0.0
	東大寺	82 100.0	1 1.2	3 3.7	29 35.4	29 35.4	19 23.2	1 1.2	0 0.0
	山崎	157 100.0	3 1.9	9 5.7	69 43.9	39 24.8	24 15.3	10 6.4	3 1.9
	広瀬	163 100.0	1 0.6	6 3.7	48 29.4	66 40.5	28 17.2	13 8.0	1 0.6
	百山	71 100.0	1 1.4	2 2.8	32 45.1	19 26.8	14 19.7	3 4.2	0 0.0
	桜井、桜井台	74 100.0	1 1.4	7 9.5	43 58.1	14 18.9	3 4.1	6 8.1	0 0.0
	青葉	146 100.0	3 2.1	11 7.5	53 36.3	44 30.1	24 16.4	7 4.8	4 2.7
	水無瀬	142 100.0	2 1.4	8 5.6	55 38.7	41 28.9	24 16.9	10 7.0	2 1.4
	江川	131 100.0	8 6.1	4 3.1	44 33.6	47 35.9	17 13.0	9 6.9	2 1.5
	高浜	43 100.0	2 4.7	0 0.0	22 51.2	12 27.9	3 7.0	4 9.3	0 0.0
	計	1,144 100.0	23 2.0	53 4.6	451 39.4	356 31.1	179 15.6	70 6.1	12 1.0
住宅形式	戸建て	485 100.0	5 1.0	25 5.2	182 37.5	157 32.4	85 17.5	26 5.4	5 1.0
	集合	659 100.0	18 2.7	28 4.2	269 40.8	199 30.2	94 14.3	44 6.7	7 1.1
	計	1,144 100.0	23 2.0	53 4.6	451 39.4	356 31.1	179 15.6	70 6.1	12 1.0
在住年数	1年未満	21 100.0	0 0.0	1 4.8	7 33.3	7 33.3	3 14.3	3 14.3	0 0.0
	1～4年	128 100.0	5 3.9	7 5.5	50 39.1	38 29.7	19 14.8	9 7.0	0 0.0
	5～9年	91 100.0	2 2.2	5 5.5	36 39.6	28 30.8	12 13.2	8 8.8	0 0.0
	10～19年	148 100.0	3 2.0	6 4.1	64 43.2	43 29.1	20 13.5	11 7.4	1 0.7
	20～29年	161 100.0	2 1.2	8 5.0	65 40.4	44 27.3	31 19.3	7 4.3	4 2.5
	30～39年	208 100.0	3 1.4	6 2.9	83 39.9	69 33.2	34 16.3	12 5.8	1 0.5
	40～49年	186 100.0	4 2.2	8 4.3	68 36.6	59 31.7	34 18.3	9 4.8	4 2.2
	50～59年	108 100.0	3 2.8	8 7.4	39 36.1	37 34.3	17 15.7	4 3.7	0 0.0
	60～69年	50 100.0	1 2.0	2 4.0	23 46.0	16 32.0	3 6.0	4 8.0	1 2.0
	70～79年	22 100.0	0 0.0	1 4.5	11 50.0	7 31.8	2 9.1	1 4.5	0 0.0
	80年以上	14 100.0	0 0.0	0 0.0	4 28.6	7 50.0	1 7.1	2 14.3	0 0.0
	不明・無回答	7 100.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	3 42.9	0 0.0	1 14.3
	計	1,144 100.0	23 2.0	53 4.6	451 39.4	356 31.1	179 15.6	70 6.1	12 1.0

『問 18』 あなたはどのような理由で問 17 に答えましたか。(複数回答)

水道料金はどのような理由で答えましたかについては、「他自治体の水道料金と比較して」が 59.4%と最も高く、次いで「家計に占める水道料金の割合から」が 23.8%、「電気・ガス・電話料金と比較して」が 17.7%となっています。



■ 『問 18』 「水道料金の理由」のクロス集計 (年代別・地区別・住居形式別・在住年数別)

一部を除き各区分とも、「他自治体の水道料金と比較して」が最も高く全体と同様です。

(上段:件数 下段:%)

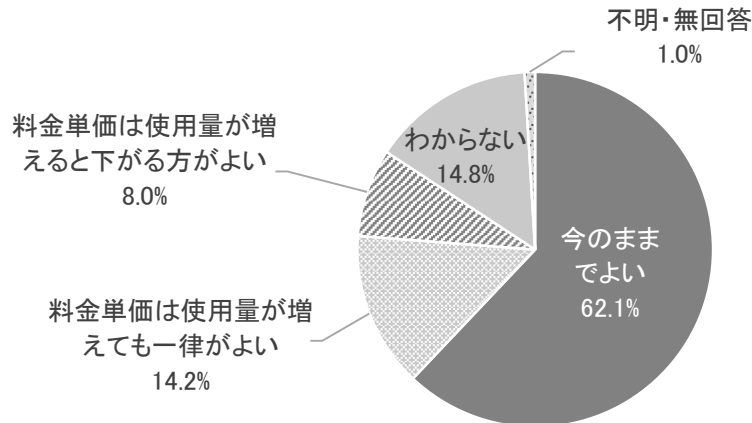
	調査数	電気・ガス・電話料金と比較して	ペットボトル水の価格と比較して	家計に占める水道料金の割合から	他自治体の水道料金と比較して	その他
全体	1,144 100.0	202 17.7	37 3.2	272 23.8	679 59.4	76 6.6
年代別	20歳未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29歳	23 100.0	8 34.8	2 8.7	9 39.1	0 0.0
	30～39歳	109 100.0	10 9.2	2 1.8	30 27.5	12 11.0
	40～49歳	162 100.0	12 7.4	5 3.1	33 20.4	16 9.9
	50～59歳	150 100.0	20 13.3	6 4.0	32 21.3	11 7.3
	60～64歳	112 100.0	20 17.9	2 1.8	25 22.3	10 8.9
	65～74歳	296 100.0	67 22.6	9 3.0	73 24.7	15 5.1
	75歳以上	292 100.0	65 22.3	11 3.8	70 24.0	12 4.1
	計	1,144 100.0	202 17.7	37 3.2	272 23.8	679 59.4
	計	1,144 100.0	202 17.7	37 3.2	272 23.8	679 59.4
地区別	尺代	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0
	若山台	130 100.0	28 21.5	3 2.3	31 23.8	10 7.7
	東大寺	82 100.0	13 15.9	1 1.2	12 14.6	6 7.3
	山崎	157 100.0	27 17.2	3 1.9	36 22.9	16 10.2
	広瀬	163 100.0	31 19.0	7 4.3	41 25.2	6 3.7
	百山	71 100.0	5 7.0	1 1.4	19 26.8	5 7.0
	桜井、桜井台	74 100.0	13 17.6	2 2.7	26 35.1	4 5.4
	青葉	146 100.0	28 19.2	7 4.8	39 26.7	10 6.8
	水無瀬	142 100.0	32 22.5	3 2.1	29 20.4	7 4.9
	江川	131 100.0	20 15.3	6 4.6	29 22.1	7 5.3
	高浜	43 100.0	3 7.0	3 7.0	9 20.9	4 9.3
	計	1,144 100.0	202 17.7	37 3.2	272 23.8	679 59.4

(上段:件数 下段:%)

	調査数	電気・ガス・電話料金と比較して	ペットボトル水の価格と比較して	家計に占める水道料金の割合から	他自治体の水道料金と比較して	その他
全体	1,144 100.0	202 17.7	37 3.2	272 23.8	679 59.4	76 6.6
住居形式	戸建て	485 100.0	80 16.5	15 3.1	117 24.1	30 6.2
	集合	659 100.0	122 18.5	22 3.3	155 23.5	46 7.0
	計	1,144 100.0	202 17.7	37 3.2	272 23.8	76 6.6
在住年数	1年未満	21 100.0	3 14.3	0 0.0	1 4.8	6 28.6
	1～4年	128 100.0	19 14.8	4 3.1	41 32.0	8 6.3
	5～9年	91 100.0	15 16.5	1 1.1	20 22.0	10 11.0
	10～19年	148 100.0	23 15.5	7 4.7	35 23.6	9 6.1
	20～29年	161 100.0	21 13.0	5 3.1	37 23.0	10 6.2
	30～39年	208 100.0	33 15.9	11 5.3	49 23.6	19 9.1
	40～49年	186 100.0	51 27.4	5 2.7	44 23.7	8 4.3
	50～59年	108 100.0	21 19.4	3 2.8	21 19.4	1 0.9
	60～69年	50 100.0	11 22.0	0 0.0	13 26.0	5 10.0
	70～79年	22 100.0	5 22.7	1 4.5	7 31.8	0 0.0
	80年以上	14 100.0	0 0.0	0 0.0	4 28.6	0 0.0
	不明・無回答	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	計	1,144 100.0	202 17.7	37 3.2	272 23.8	679 59.4

『問 19』 島本町では、使用量が増えるほど料金単価が上がる料金体系になっており、工場など大量に水を使うところでは料金単価が高くなっています。このことについて、あなたはどのように思いますか。(単数回答)

料金体系については、「今のままでよい」が 62.1%と最も高く、次いで「わからない」が 14.8%、「料金単価は使用料が増えても一律がよい」が 14.2%となっています。



■ 『問 19』 「料金体系」のクロス集計 (年代別・地区別・住居形式別・在住年数別)

一部を除き各区分とも、「今のままでよい」が最も高く全体と同様です。

(上段:件数 下段:%)

	調査数	今のままでよい	料金単価は使用料が増えても一律がよい	料金単価は使用量が増える方がよい	わからない	不明・無回答
全体	1,144	710	162	92	169	11
	100.0	62.1	14.2	8.0	14.8	1.0
年代別	20歳未満	0	0	0	0	0
	20~29歳	23	18	1	0	0
	30~39歳	109	64	23	7	15
	40~49歳	162	109	18	13	22
	50~59歳	150	83	28	12	27
	60~64歳	112	65	16	11	19
	65~74歳	296	204	33	23	34
	75歳以上	292	167	43	26	48
	計	1,144	710	162	92	169
		100.0	62.1	14.2	8.0	14.8
地区別	尺代	5	1	2	0	2
	若山台	130	87	21	10	12
	東大寺	82	44	14	12	12
	山崎	157	98	28	10	18
	広瀬	163	92	27	15	28
	百山	71	56	9	2	4
	桜井、桜井台	74	55	5	7	7
	青葉	146	92	17	11	23
	水無瀬	142	79	19	8	35
	江川	131	76	17	15	20
	高浜	43	30	3	2	8
	計	1,144	710	162	92	169
		100.0	62.1	14.2	8.0	14.8

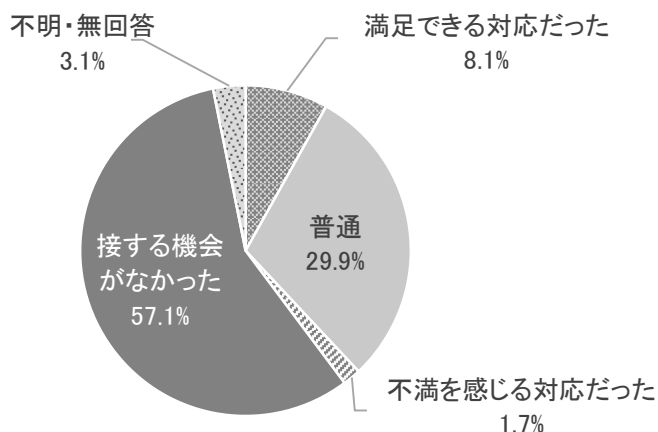
(上段:件数 下段:%)

	調査数	今のままでよい	料金単価は使用料が増えても一律がよい	料金単価は使用量が増える方がよい	わからない	不明・無回答
全体	1,144	710	162	92	169	11
	100.0	62.1	14.2	8.0	14.8	1.0
住居形式	戸建て	485	297	69	44	70
	集合	659	413	93	48	99
	計	1,144	710	162	92	169
在住年数	1年未満	21	14	4	0	3
	1~4年	128	87	21	4	16
	5~9年	91	57	10	8	16
	10~19年	148	95	21	15	16
	20~29年	161	89	23	16	31
	30~39年	208	129	35	19	24
	40~49年	186	123	22	10	28
	50~59年	108	59	13	12	24
	60~69年	50	31	6	6	5
	70~79年	22	15	2	2	3
	80年以上	14	7	4	0	2
	不明・無回答	7	4	1	0	1
	計	1,144	710	162	92	169
		100.0	62.1	14.2	8.0	14.8

5. お客さまサービスについて

『問 20』 この1、2年の間に上下水道部職員や検針員、水道事業が委託している業者について、ご自宅や窓口、電話等での対応はどうでしたか。(単数回答)

職員等の対応については、「接する機会がなかった」が57.1%と最も高く、次いで「普通」が29.9%、「満足できる対応だった」が8.1%となっています。



■『問 20』 「職員等の対応について」のクロス集計(年代別・地区別・住居形式別・在住年数別)

一部を除き各区分とも、「接する機会がなかった」が最も高く全体と同様です。

(上段:件数 下段:%)

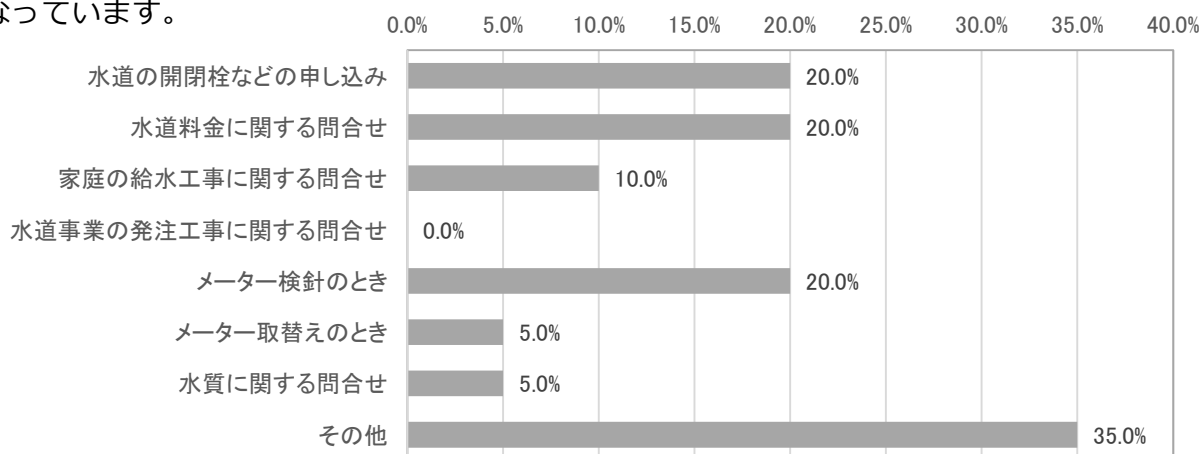
		調査数	満足できる対応	普通	不満を感じる対応	接する機会がなかった	不明・無回答
全体		1,144	93	342	20	653	36
		100.0	8.1	29.9	1.7	57.1	3.1
年代別	20歳未満	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	23	5	5	0	13	0
		100.0	21.7	21.7	0.0	56.5	0.0
	30～39歳	109	11	33	1	62	2
		100.0	10.1	30.3	0.9	56.9	1.8
	40～49歳	162	14	29	4	115	0
		100.0	8.6	17.9	2.5	71.0	0.0
	50～59歳	150	10	29	2	107	2
		100.0	6.7	19.3	1.3	71.3	1.3
	60～64歳	112	10	43	2	50	7
		100.0	8.9	38.4	1.8	44.6	6.3
	65～74歳	296	15	82	10	182	7
		100.0	5.1	27.7	3.4	61.5	2.4
	75歳以上	292	28	121	1	124	18
		100.0	9.6	41.4	0.3	42.5	6.2
計		1,144	93	342	20	653	36
		100.0	8.1	29.9	1.7	57.1	3.1

(上段:件数 下段:%)

		調査 数	応 満 だ 足 っ た で き る 対	普 通	対 不 応 満 だ 感 っ た じ る	な 接 か する っ た 機 会 が	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,144 100.0	93 8.1	342 29.9	20 1.7	653 57.1	36 3.1
地 区 別	尺代	5 100.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
	若山台	130 100.0	9 6.9	31 23.8	2 1.5	88 67.7	0 0.0
	東大寺	82 100.0	8 9.8	32 39.0	0 0.0	40 48.8	2 2.4
	山崎	157 100.0	9 5.7	36 22.9	2 1.3	103 65.6	7 4.5
	広瀬	163 100.0	13 8.0	64 39.3	4 2.5	78 47.9	4 2.5
	百山	71 100.0	12 16.9	12 16.9	2 2.8	45 63.4	0 0.0
	桜井、桜井台	74 100.0	7 9.5	38 51.4	3 4.1	25 33.8	1 1.4
	青葉	146 100.0	9 6.2	48 32.9	3 2.1	77 52.7	9 6.2
	水無瀬	142 100.0	12 8.5	32 22.5	1 0.7	91 64.1	6 4.2
	江川	131 100.0	6 4.6	33 25.2	3 2.3	85 64.9	4 3.1
	高浜	43 100.0	6 14.0	14 32.6	0 0.0	20 46.5	3 7.0
	計	1,144 100.0	93 8.1	342 29.9	20 1.7	653 57.1	36 3.1
住 宅 形 式	戸建て	485 100.0	43 8.9	188 38.8	10 2.1	226 46.6	18 3.7
	集合	659 100.0	50 7.6	154 23.4	10 1.5	427 64.8	18 2.7
	計	1,144 100.0	93 8.1	342 29.9	20 1.7	653 57.1	36 3.1
在 住 年 数	1年未満	21 100.0	3 14.3	10 47.6	0 0.0	8 38.1	0 0.0
	1～4年	128 100.0	17 13.3	31 24.2	4 3.1	75 58.6	1 0.8
	5～9年	91 100.0	9 9.9	23 25.3	1 1.1	57 62.6	1 1.1
	10～19年	148 100.0	8 5.4	39 26.4	0 0.0	97 65.5	4 2.7
	20～29年	161 100.0	8 5.0	37 23.0	3 1.9	109 67.7	4 2.5
	30～39年	208 100.0	13 6.3	64 30.8	4 1.9	120 57.7	7 3.4
	40～49年	186 100.0	17 9.1	54 29.0	1 0.5	109 58.6	5 2.7
	50～59年	108 100.0	12 11.1	44 40.7	4 3.7	41 38.0	7 6.5
	60～69年	50 100.0	3 6.0	24 48.0	0 0.0	21 42.0	2 4.0
	70～79年	22 100.0	3 13.6	4 18.2	3 13.6	11 50.0	1 4.5
	80年以上	14 100.0	0 0.0	9 64.3	0 0.0	3 21.4	2 14.3
	不明・無回答	7 100.0	0 0.0	3 42.9	0 0.0	2 28.6	2 28.6
	計	1,144 100.0	93 8.1	342 29.9	20 1.7	653 57.1	36 3.1

『問 21』 問 20 で「3 不満を感じる対応だった」と答えた方におたずねします。
あなたが不満を感じたのはどのような用件の時でしたか。(複数回答)

「あなたが不満を感じたのはどのような用件の時でしたか」については、「その他」が 35.0%、次いで、「水道の開閉栓などの申し込み」・「水道料金に関する問合せ」・「メーター検針のとき」がそれぞれ 20.0%となっており、「家庭の給水工事に関する問合せ」が 10.0%となっています。



■『問 21』 「不安を感じた用件について」のクロス集計 (年代別・地区別・住居形式別・在住年数別)

各区分とも、調査数が 10 件以下と少なく、バラツキが見られます。

(上段:件数 下段:%)

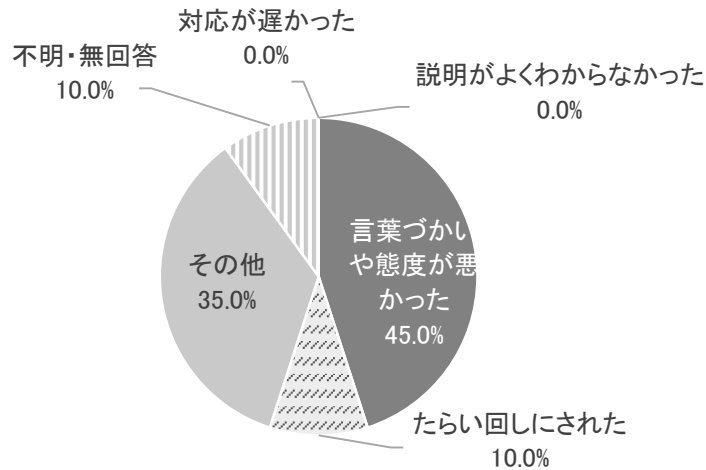
	調査数	水道の開閉栓などの申し込み	水道料金に関する問合せ	家庭の給水工事に関する問合せ	水道事業の発注工事に関する問合せ	メーター検針のとき	メーター取替えのとき	水質に関する問合せ	その他
全体	20 100.0	4 20.0	4 20.0	2 10.0	0 0.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	7 35.0
年代別	20歳未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29歳	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30～39歳	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	40～49歳	4 100.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
	50～59歳	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 100.0	2 0.0	0 0.0	0 0.0
	60～64歳	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0
	65～74歳	10 100.0	0 0.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	3 30.0
	75歳以上	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	計	20 100.0	4 20.0	4 20.0	2 10.0	0 0.0	4 20.0	1 5.0	7 35.0

(上段:件数 下段:%)

		調査数	水道の開閉栓などの 申し込み	水道料金に関する問 合せ	家庭の給水工事に関 する問合せ	水道事業の発注工 事に関する問合せ	メーター検針のとき	メーター取替えのとき	水質に関する問合せ	その他
全体		20 100.0	4 20.0	4 20.0	2 10.0	0 0.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	7 35.0
地区別	尺代	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	若山台	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	東大寺	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	山崎	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0
	広瀬	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
	百山	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	桜井、桜井台	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	青葉	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7
	水無瀬	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	江川	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 66.7
	高浜	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	計	20 100.0	4 20.0	4 20.0	2 10.0	0 0.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	7 35.0
住宅形式	戸建て	10 100.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	3 30.0
	集合	10 100.0	3 30.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	4 40.0
	計	20 100.0	4 20.0	4 20.0	2 10.0	0 0.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	7 35.0
在住年数	1年未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	1～4年	4 100.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
	5～9年	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 200.0
	10～19年	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29年	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3
	30～39年	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40～49年	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	50～59年	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
	60～69年	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	70～79年	3 100.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0
	80年以上	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	不明・無回答	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	計	20 100.0	4 20.0	4 20.0	2 10.0	0 0.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	7 35.0

『問 22』 問 20 で「3 不満を感じる対応だった」と答えた方におたずねします。
どのような点に不満を感じましたか。(単数回答)

「どのような点に不満を感じましたか」については、「言葉づかいや態度が悪かった」が 45.0%と最も高く、次いで「その他」が 35.0%、「たらい回しにされた」が 10.0%となっています。



■『問 22』 「不満の理由について」のクロス集計 (年代別・地区別・住居形式別・在住年数別)

一部を除き各区分とも、「言葉づかいや態度が悪かった」が最も高く全体と同様です。

(上段:件数 下段:%)

	調査数	対応が遅かった	説明がよくわからなかった	言葉づかいや態度が悪かった	たらい回しにされた	その他	不明・無回答
全体	20 100.0	0 0.0	0 0.0	9 45.0	2 10.0	7 35.0	2 10.0
年代別	20歳未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29歳	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30～39歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	40～49歳	4 100.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0
	50～59歳	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	60～64歳	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	65～74歳	10 100.0	0 0.0	5 50.0	0 0.0	4 40.0	1 10.0
	75歳以上	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	計	20 100.0	0 0.0	9 45.0	2 10.0	7 35.0	2 10.0
	尺代	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
地区別	若山台	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	東大寺	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	山崎	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
	広瀬	4 100.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	百山	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	桜井、桜井台	3 100.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0
	青葉	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 33.3	0 33.3
	水無瀬	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	江川	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0
	高浜	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	計	20 100.0	0 0.0	9 45.0	2 10.0	7 35.0	2 10.0

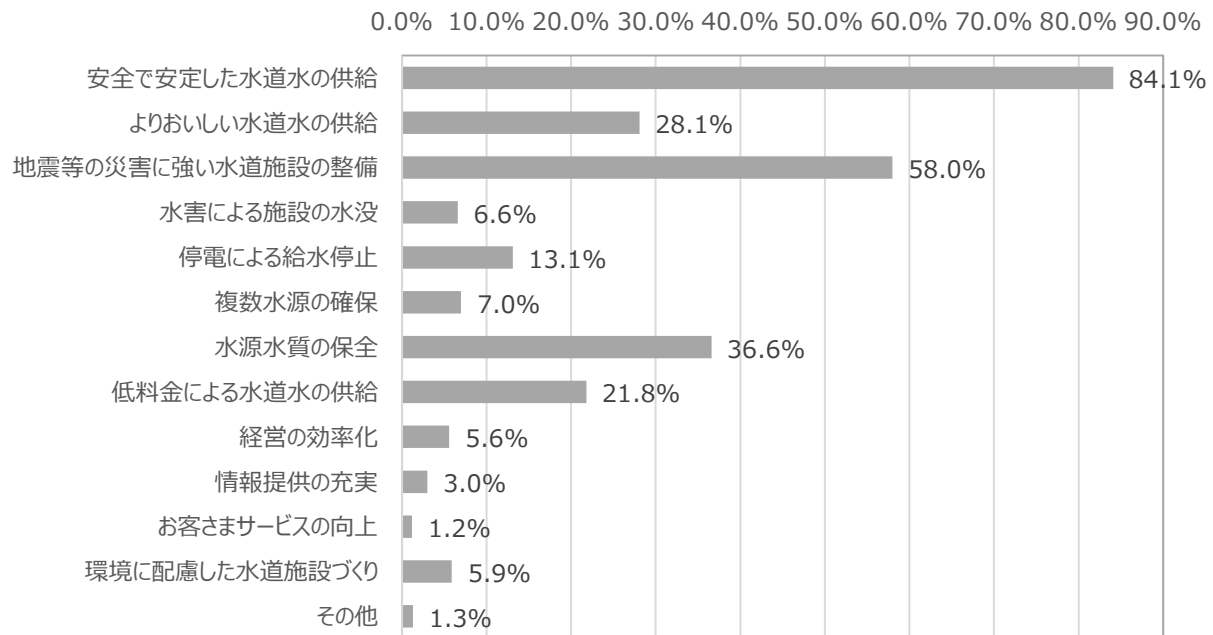
(上段:件数 下段:%)

	調査数	対応が遅かった	説明がよくわからなかった	言葉づかいや態度が悪かった	たらい回しにされた	その他	不明・無回答
全体	20 100.0	0 0.0	0 0.0	9 45.0	2 10.0	7 35.0	2 10.0
住居形式	戸建て	10 100.0	0 0.0	7 70.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0
	集合	10 100.0	0 0.0	2 20.0	1 10.0	5 50.0	2 20.0
	計	20 100.0	0 0.0	9 45.0	2 10.0	7 35.0	2 10.0
	1年未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
在住年数	1～4年	4 100.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0
	5～9年	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	10～19年	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29年	3 100.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0
	30～39年	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0
	40～49年	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	50～59年	4 100.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
	60～69年	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	70～79年	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0
	80年以上	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	不明・無回答	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	計	20 100.0	0 0.0	9 45.0	2 10.0	7 35.0	2 10.0

6. 今後の水道事業の経営と災害対策について

『問 23』 あなたが今後の水道事業で特に重要と思うことは何ですか。(3 つまでに○)

今後の水道事業で特に重要と思うことについては、「安全で安定した水道水の供給」が 84.1%と最も高く、次いで「地震等の災害に強い水道施設の整備」が 58.0%、「水源水質の保全」が 36.6%となっています。



■『問 23』 「今後の水道事業について」のクロス集計 (年代別・地区別・住居形式別・在住年数別)

一部を除き各区分とも、「安全で安定した水道水の供給」が最も高く全体と同様です。

(上段: 件数 下段: %)

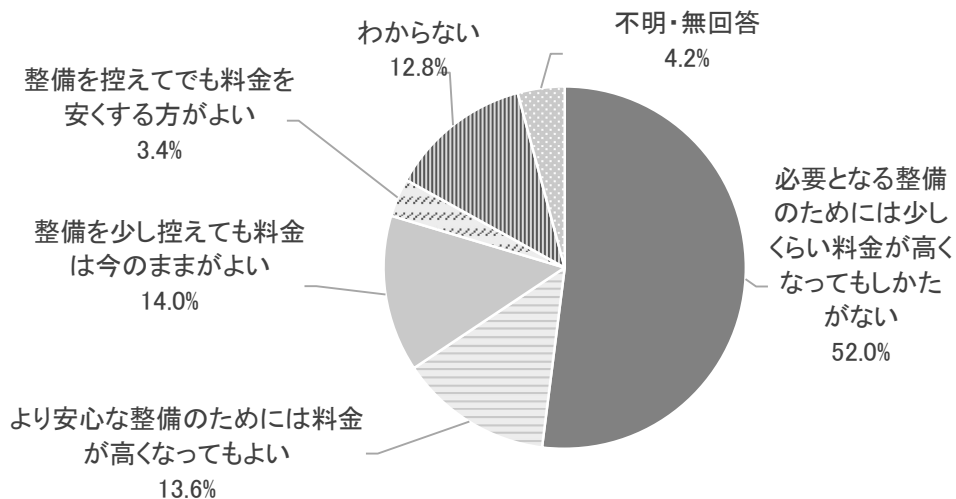
	調査数	安全で安定した水道水の供給	よりおいしい水道水の供給	地震等の災害に強い水道施設の整備	水害による施設の水没	停電による給水停止	複数水源の確保	水源水質の保全	低料金による水道水の供給	経営の効率化	情報提供の充実	お客さまサービスの向上	環境に配慮した水道施設づくり	その他
全体	1,144	962	322	664	75	150	80	419	249	64	34	14	67	15
	100.0	84.1	28.1	58.0	6.6	13.1	7.0	36.6	21.8	5.6	3.0	1.2	5.9	1.3
年代別	20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	23	19	8	12	0	1	4	9	1	0	0	2	0
		100.0	82.6	34.8	52.2	0.0	4.3	17.4	39.1	4.3	0.0	0.0	8.7	0.0
	30～39歳	109	90	22	74	8	13	29	34	5	2	3	7	3
		100.0	82.6	20.2	67.9	7.3	11.9	26.6	31.2	4.6	1.8	2.8	6.4	2.8
	40～49歳	162	143	42	108	10	25	55	41	9	3	1	8	1
		100.0	88.3	25.9	66.7	6.2	15.4	34.0	25.3	5.6	1.9	0.6	4.9	0.6
	50～59歳	150	123	36	87	8	23	59	27	7	5	0	13	2
		100.0	82.0	24.0	58.0	5.3	15.3	39.3	18.0	4.7	3.3	0.0	8.7	1.3
年代別	60～64歳	112	94	37	68	6	14	41	24	6	5	1	6	4
		100.0	83.9	33.0	60.7	5.4	12.5	36.6	21.4	5.4	4.5	0.9	5.4	3.6
	65～74歳	296	254	79	154	27	35	124	64	22	8	2	18	2
		100.0	85.8	26.7	52.0	9.1	11.8	41.9	21.6	7.4	2.7	0.7	6.1	0.7
	75歳以上	292	239	98	161	16	32	107	50	14	11	7	13	3
		100.0	81.8	33.6	55.1	5.5	11.0	36.6	17.1	4.8	3.8	2.4	4.5	1.0
計	1,144	962	322	664	75	150	80	419	249	64	34	14	67	15
	100.0	84.1	28.1	58.0	6.6	13.1	7.0	36.6	21.8	5.6	3.0	1.2	5.9	1.3

(上段:件数 下段:%)

		調査 数	水道安 全で安 定した 供給	水道よ りおい しい水 の供給	整備強 い地震 等の災 害に	の水害 による 施設	停止停 電に よる給 水	複数水 源の確 保	水源水 質の保 全	水道低 料金に よる水 の供給	経営の 効率化	情報提 供の充 実	お客さ まサー ビスの 向上	環境に 配慮し た水道 施設の 設置	その他
全体		1,144 100.0	962 84.1	322 28.1	664 58.0	75 6.6	150 13.1	80 7.0	419 36.6	249 21.8	64 5.6	34 3.0	14 1.2	67 5.9	15 1.3
地区別	尺代	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
	若山台	130 100.0	109 83.8	40 30.8	84 64.6	2 1.5	19 14.6	7 5.4	46 35.4	26 20.0	10 7.7	3 2.3	2 1.5	7 5.4	0 0.0
	東大寺	82 100.0	74 90.2	29 35.4	48 58.5	5 6.1	7 8.5	7 8.5	29 35.4	20 24.4	5 6.1	1 1.2	0 0.0	4 4.9	0 0.0
	山崎	157 100.0	132 84.1	42 26.8	95 60.5	10 6.4	20 12.7	10 6.4	50 31.8	40 25.5	6 3.8	5 3.2	1 0.6	13 8.3	2 1.3
	広瀬	163 100.0	137 84.0	42 25.8	90 55.2	17 10.4	24 14.7	18 11.0	46 28.2	43 26.4	7 4.3	5 3.1	4 2.5	11 6.7	1 0.6
	百山	71 100.0	59 83.1	15 21.1	43 60.6	7 9.9	13 18.3	7 9.9	18 25.4	15 21.1	8 11.3	2 2.8	2 2.8	6 8.5	2 2.8
	桜井、桜井台	74 100.0	59 79.7	20 27.0	43 58.1	8 10.8	12 16.2	6 8.1	32 43.2	15 20.3	2 2.7	0 0.0	0 0.0	3 4.1	4 5.4
	青葉	146 100.0	122 83.6	41 28.1	84 57.5	6 4.1	16 11.0	6 4.1	61 41.8	25 17.1	5 3.4	5 3.4	3 2.1	8 5.5	2 1.4
	水無瀬	142 100.0	126 88.7	44 31.0	77 54.2	7 4.9	20 14.1	8 5.6	57 40.1	20 14.1	9 6.3	9 6.3	1 0.7	4 2.8	3 2.1
	江川	131 100.0	107 81.7	34 26.0	72 55.0	9 6.9	13 9.9	9 6.9	61 46.6	32 24.4	10 7.6	3 2.3	1 0.8	8 6.1	1 0.8
	高浜	43 100.0	34 79.1	14 32.6	27 62.8	2 4.7	6 14.0	2 4.7	15 34.9	12 27.9	2 4.7	1 2.3	0 0.0	2 4.7	0 0.0
	計	1,144 100.0	962 84.1	322 28.1	664 58.0	75 6.6	150 13.1	80 7.0	419 36.6	249 21.8	64 5.6	34 3.0	14 1.2	67 5.9	15 1.3
住宅形式	戸建て	485 100.0	393 81.0	143 29.5	280 57.7	43 8.9	55 11.3	35 7.2	169 34.8	106 21.9	24 4.9	11 2.3	6 1.2	25 5.2	12 2.5
	集合	659 100.0	569 86.3	179 27.2	384 58.3	32 4.9	95 14.4	45 6.8	250 37.9	143 21.7	40 6.1	23 3.5	8 1.2	42 6.4	3 0.5
	計	1,144 100.0	962 84.1	322 28.1	664 58.0	75 6.6	150 13.1	80 7.0	419 36.6	249 21.8	64 5.6	34 3.0	14 1.2	67 5.9	15 1.3
在住年数	1年未満	21 100.0	18 85.7	6 28.6	13 61.9	0 0.0	3 14.3	2 9.5	8 38.1	5 23.8	1 4.8	2 9.5	0 0.0	2 9.5	0 0.0
	1～4年	128 100.0	108 84.4	30 23.4	76 59.4	8 6.3	21 16.4	9 7.0	43 33.6	47 36.7	6 4.7	1 0.8	0 0.0	11 8.6	0 0.0
	5～9年	91 100.0	79 86.8	24 26.4	62 68.1	5 5.5	12 13.2	9 9.9	29 31.9	17 18.7	5 5.5	1 1.1	2 2.2	4 4.4	3 3.3
	10～19年	148 100.0	127 85.8	37 25.0	94 63.5	11 7.4	22 14.9	8 5.4	49 33.1	35 23.6	9 6.1	5 3.4	3 2.0	10 6.8	1 0.7
	20～29年	161 100.0	135 83.9	35 21.7	94 58.4	8 5.0	18 11.2	15 9.3	69 42.9	26 16.1	10 6.2	7 4.3	2 1.2	11 6.8	3 1.9
	30～39年	208 100.0	173 83.2	68 32.7	113 54.3	13 6.3	23 11.1	9 4.3	78 37.5	50 24.0	10 4.8	6 2.9	2 1.0	13 6.3	2 1.0
	40～49年	186 100.0	159 85.5	52 28.0	102 54.8	14 7.5	29 15.6	15 8.1	74 39.8	32 17.2	14 7.5	7 3.8	1 0.5	6 3.2	2 1.1
	50～59年	108 100.0	92 85.2	37 34.3	60 55.6	9 8.3	12 11.1	10 9.3	39 36.1	19 17.6	3 2.8	1 0.9	0 0.0	5 4.6	3 2.8
	60～69年	50 100.0	41 82.0	16 32.0	28 56.0	5 10.0	5 10.0	1 2.0	17 34.0	9 18.0	3 6.0	4 8.0	2 4.0	2 4.0	1 2.0
	70～79年	22 100.0	18 81.8	8 36.4	12 54.5	1 4.5	3 13.6	0 0.0	7 31.8	5 22.7	0 0.0	0 0.0	1 4.5	2 9.1	0 0.0
	80年以上	14 249.8	8 57.1	5 35.7	9 64.3	1 7.1	2 14.3	2 14.3	3 21.4	3 21.4	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	不明・無回答	7 100.0	4 57.1	4 57.1	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 42.9	1 14.3	2 28.6	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	計	1,144 100.0	962 84.1	322 28.1	664 58.0	75 6.6	150 13.1	80 7.0	419 36.6	249 21.8	64 5.6	34 3.0	14 1.2	67 5.9	15 1.3

『問 24』 現在、上下水道部では、経費削減等の経営努力を行いながら、安全でおいしい水道水の供給や災害に強い水道施設の整備を進めています。あなたは整備に必要な経費の負担についてどう思いますか。(単数回答)

整備に必要な経費の負担については、「必要となる整備のためには少しくらい料金が高くなってもしかたがない」が 52.0%と最も高く、次いで「整備を少し控えても料金は今のままがよい」が 14.0%、「より安心な整備のためには料金が高くなってもよい」が 13.6%となっています。



■『問 24』 「整備に必要な経費の負担」のクロス集計 (年代別・地区別・住居形式別・在住年数別)

一部を除き各区分とも、「必要となる整備のためには少しくらい料金が高くなってもしかたがない」が最も高く全体と同様です。

(上段: 件数 下段: %)

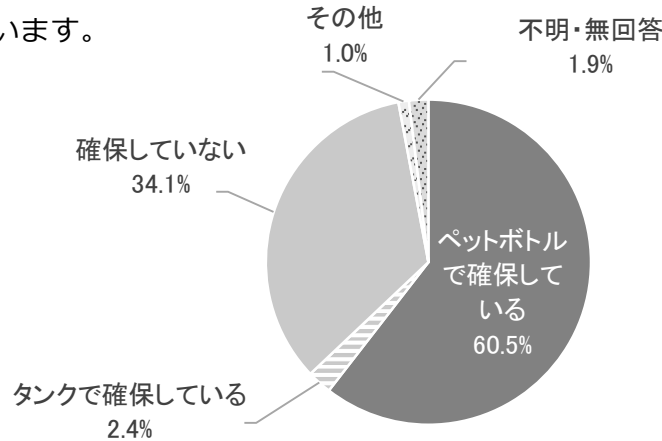
		調査数	必要となる整備のためには少しくらい料金が高くなってもしかたがない	より安心な整備のためには料金が高くなってもよい	整備を少し控えても料金は今のままがよい	整備を控えてでも料金を安くする方がよい	わからない	不明・無回答
全体		1,144	595	156	160	39	146	48
		100.0	52.0	13.6	14.0	3.4	12.8	4.2
年代別	20歳未満	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	23	15	1	3	1	3	0
		100.0	65.2	4.3	13.0	4.3	13.0	0.0
	30～39歳	109	57	14	19	3	13	3
		100.0	52.3	12.8	17.4	2.8	11.9	2.8
	40～49歳	162	89	22	19	7	21	4
		100.0	54.9	13.6	11.7	4.3	13.0	2.5
	50～59歳	150	86	17	20	4	18	5
		100.0	57.3	11.3	13.3	2.7	12.0	3.3
	60～64歳	112	54	17	8	3	25	5
		100.0	48.2	15.2	7.1	2.7	22.3	4.5
	65～74歳	296	152	41	44	12	33	14
		100.0	51.4	13.9	14.9	4.1	11.1	4.7
	75歳以上	292	142	44	47	9	33	17
		100.0	48.6	15.1	16.1	3.1	11.3	5.8
計		1,144	595	156	160	39	146	48
		100.0	52.0	13.6	14.0	3.4	12.8	4.2

(上段:件数 下段:%)

		調査数	ない	高	には必要となる整備のた	もにより安心が高くな	金は整備を少し控えても	を整備を控えてでもよい	わからない	不明・無回答
	全体	1,144 100.0	595 52.0	156 13.6	160 14.0	39 3.4	146 12.8	48 4.2		
地区別	尺代	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0		
	若山台	130 100.0	73 56.2	20 15.4	14 10.8	5 3.8	15 11.5	3 2.3		
	東大寺	82 100.0	45 54.9	14 17.1	11 13.4	2 2.4	6 7.3	4 4.9		
	山崎	157 100.0	80 51.0	26 16.6	26 16.6	4 2.5	14 8.9	7 4.5		
	広瀬	163 100.0	72 44.2	21 12.9	28 17.2	9 5.5	24 14.7	9 5.5		
	百山	71 100.0	41 57.7	8 11.3	7 9.9	1 1.4	12 16.9	2 2.8		
	桜井、桜井台	74 100.0	45 60.8	6 8.1	14 18.9	0 0.0	9 12.2	0 0.0		
	青葉	146 100.0	71 48.6	24 16.4	13 8.9	8 5.5	22 15.1	8 5.5		
	水無瀬	142 100.0	78 54.9	12 8.5	22 15.5	0 0.0	21 14.8	9 6.3		
	江川	131 100.0	64 48.9	15 11.5	19 14.5	9 6.9	20 15.3	4 3.1		
	高浜	43 100.0	25 58.1	8 18.6	5 11.6	1 2.3	3 7.0	1 2.3		
	計	1,144 100.0	595 52.0	156 13.6	160 14.0	39 3.4	146 12.8	48 4.2		
住宅形式	戸建て	485 100.0	243 50.1	66 13.6	76 15.7	13 2.7	58 12.0	29 6.0		
	集合	659 100.0	352 53.4	90 13.7	84 12.7	26 3.9	88 13.4	19 2.9		
	計	1,144 100.0	595 52.0	156 13.6	160 14.0	39 3.4	146 12.8	48 4.2		
在住年数	1年未満	21 100.0	9 42.9	4 19.0	1 4.8	0 0.0	7 33.3	0 0.0		
	1～4年	128 100.0	76 59.4	13 10.2	18 14.1	5 3.9	13 10.2	3 2.3		
	5～9年	91 100.0	52 57.1	9 9.9	12 13.2	1 1.1	15 16.5	2 2.2		
	10～19年	148 100.0	74 50.0	23 15.5	19 12.8	4 2.7	25 16.9	3 2.0		
	20～29年	161 100.0	82 50.9	19 11.8	26 16.1	6 3.7	21 13.0	7 4.3		
	30～39年	208 100.0	107 51.4	32 15.4	32 15.4	9 4.3	22 10.6	6 2.9		
	40～49年	186 100.0	102 54.8	30 16.1	20 10.8	5 2.7	16 8.6	13 7.0		
	50～59年	108 100.0	54 50.0	13 12.0	14 13.0	4 3.7	16 14.8	7 6.5		
	60～69年	50 100.0	22 44.0	7 14.0	9 18.0	2 4.0	8 16.0	2 4.0		
	70～79年	22 100.0	11 50.0	2 9.1	5 22.7	2 9.1	1 4.5	1 4.5		
	80年以上	14 100.0	3 21.4	2 14.3	4 28.6	1 7.1	1 7.1	3 21.4		
	不明・無回答	7 100.0	3 42.9	2 28.6	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3		
	計	1,144 100.0	595 52.0	156 13.6	160 14.0	39 3.4	146 12.8	48 4.2		

『問 25』 あなたの家庭では日頃から大規模な災害時（風水害、地震など）に備えて「飲料水」を確保していますか。また、どのような容器で確保していますか。
(単数回答)

災害時に備えて「飲料水」を確保していますかについては、「ペットボトルで確保している」が 60.5%と最も高く、次いで「確保していない」が 34.1%、「タンクで確保している」が 2.4%となっています。



■ 『問 25』 「飲料水の確保」のクロス集計（年代別・地区別・住居形式別・在住年数別）

一部を除き各区分とも、「ペットボトルで確保している」が最も高く全体と同様です。

(上段:件数 下段:%)

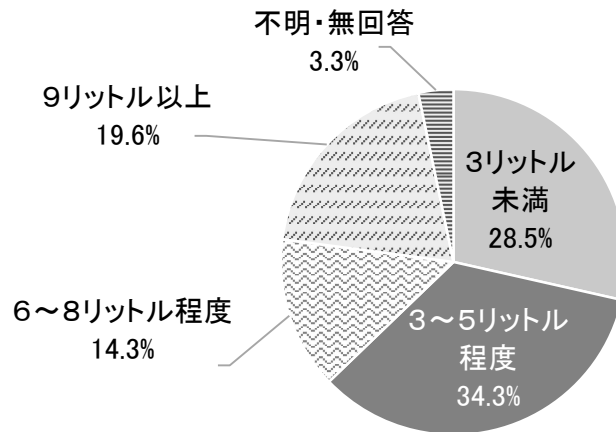
	調査数	ペットボトルで確保している	タンクで確保している	確保していない	その他	不明・無回答
全体	1,144	692	28	390	12	22
	100.0	60.5	2.4	34.1	1.0	1.9
年代別	20歳未満	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	23	11	1	9	1
		100.0	47.8	4.3	39.1	4.3
	30～39歳	109	68	3	34	2
		100.0	62.4	2.8	31.2	1.8
	40～49歳	162	99	8	53	2
		100.0	61.1	4.9	32.7	1.2
	50～59歳	150	94	2	54	0
		100.0	62.7	1.3	36.0	0.0
地区別	60～64歳	112	60	3	46	1
		100.0	53.6	2.7	41.1	0.9
	65～74歳	296	192	4	91	3
		100.0	64.9	1.4	30.7	1.0
	75歳以上	292	168	7	103	3
		100.0	57.5	2.4	35.3	1.0
	計	1,144	692	28	390	12
		100.0	60.5	2.4	34.1	1.0
	尺代	5	2	0	3	0
		100.0	40.0	0.0	60.0	0.0
地区別	若山台	130	71	5	49	1
		100.0	54.6	3.8	37.7	0.8
	東大寺	82	58	2	22	0
		100.0	70.7	2.4	26.8	0.0
	山崎	157	89	1	62	1
		100.0	56.7	0.6	39.5	0.6
	広瀬	163	95	5	61	1
		100.0	58.3	3.1	37.4	0.6
	百山	71	45	4	21	0
		100.0	63.4	5.6	29.6	0.0
地区別	桜井・桜井台	74	42	0	29	1
		100.0	56.8	0.0	39.2	1.4
	青葉	146	94	3	43	1
		100.0	64.4	2.1	29.5	0.7
	水無瀬	142	89	6	41	1
		100.0	62.7	4.2	28.9	0.7
	江川	131	84	2	42	2
		100.0	64.1	1.5	32.1	1.5
	高浜	43	23	0	17	1
		100.0	53.5	0.0	39.5	2.3
計	1,144	692	28	390	12	22
	100.0	60.5	2.4	34.1	1.0	1.9

(上段:件数 下段:%)

	調査数	ペットボトルで確保している	タンクで確保している	確保していない	その他	不明・無回答
全体	1,144	692	28	390	12	22
	100.0	60.5	2.4	34.1	1.0	1.9
住宅形式	戸建て	485	298	13	157	5
		100.0	61.4	2.7	32.4	1.0
	集合	659	394	15	233	7
		100.0	59.8	2.3	35.4	1.1
	計	1,144	692	28	390	12
在住年数		100.0	60.5	2.4	34.1	1.0
	1年未満	21	10	0	10	1
		100.0	47.6	0.0	47.6	4.8
	1～4年	128	74	7	42	2
		100.0	57.8	5.5	32.8	1.6
	5～9年	91	71	1	19	0
		100.0	78.0	1.1	20.9	0.0
	10～19年	148	90	5	51	1
		100.0	60.8	3.4	34.5	0.7
	20～29年	161	115	3	40	1
		100.0	71.4	1.9	24.8	0.6
	30～39年	208	118	2	81	2
		100.0	56.7	1.0	38.9	1.0
	40～49年	186	108	3	67	3
		100.0	58.1	1.6	36.0	1.6
	50～59年	108	59	4	41	1
		100.0	54.6	3.7	38.0	0.9
	60～69年	50	27	1	21	0
		100.0	54.0	2.0	42.0	0.0
	70～79年	22	10	2	9	1
		100.0	45.5	9.1	40.9	4.5
	80年以上	14	6	0	6	0
		100.0	42.9	0.0	42.9	0.0
	不明・無回答	7	4	0	3	0
		100.0	57.1	0.0	42.9	0.0
計	1,144	692	28	390	12	22
	100.0	60.5	2.4	34.1	1.0	1.9

『問 26』 問 25 で「確保している」と答えた方におたずねします。ひとりあたり、
どれくらいの量の水を確保していますか。(単数回答)

どれくらいの量の水を確保していますかについては、「3～5リットル程度」が 34.3%と
最も高く、次いで「3リットル未満」が 28.5%、「9リットル以上」が 19.6%となっていま
す。



■ 『問 26』 「水の確保量」のクロス集計（年代別・地区別・住居形式別・在住年数別）

一部を除き各区分とも、「3～5リットル程度」が最も高く全体と同様です。

(上段:件数 下段:%)

	調査数	満3リットル未満	3リットル程度	6～8リットル程度	9リットル以上	不明・無回答
全体	729	208	250	104	143	24
	100.0	28.5	34.3	14.3	19.6	3.3
年代別	20歳未満	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	13	4	6	3	0
		100.0	30.8	46.2	23.1	0.0
	30～39歳	73	29	24	8	10
		100.0	39.7	32.9	11.0	13.7
	40～49歳	107	42	31	10	24
		100.0	39.3	29.0	9.3	22.4
	50～59歳	97	35	28	14	19
地区別		100.0	36.1	28.9	14.4	19.6
	60～64歳	64	22	19	8	13
		100.0	34.4	29.7	12.5	20.3
	65～74歳	199	39	79	34	40
		100.0	19.6	39.7	17.1	20.1
	75歳以上	176	37	63	27	37
		100.0	21.0	35.8	15.3	21.0
	計	729	208	250	104	143
		100.0	28.5	34.3	14.3	19.6

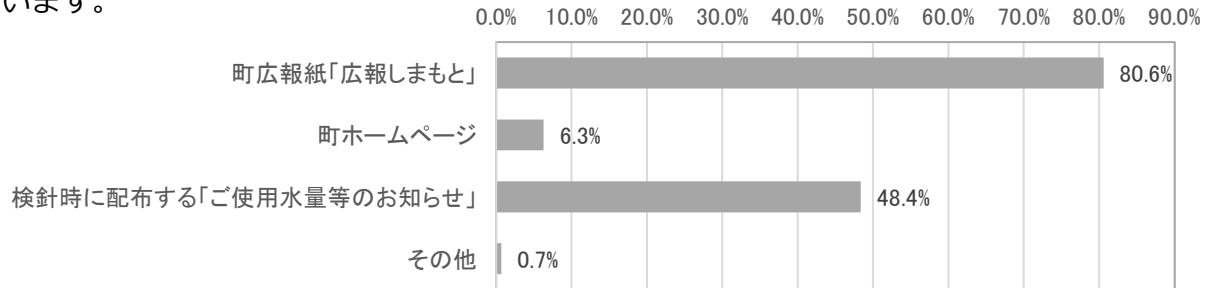
(上段:件数 下段:%)

	調査数	満3リットル未満	3リットル程度	6～8リットル程度	9リットル以上	不明・無回答
全体	729	208	250	104	143	24
	100.0	28.5	34.3	14.3	19.6	3.3
住居形式	戸建て	313	92	101	48	61
		100.0	29.4	32.3	15.3	19.5
	集合	416	116	149	56	82
在住年数		100.0	27.9	35.8	13.5	19.7
	計	729	208	250	104	143
		100.0	28.5	34.3	14.3	19.6
	1年未満	11	2	3	2	4
		100.0	18.2	27.3	18.2	36.4
	1～4年	82	34	23	13	11
		100.0	41.5	28.0	15.9	13.4
	5～9年	72	22	25	9	16
		100.0	30.6	34.7	12.5	22.2
	10～19年	96	34	27	13	18
		100.0	35.4	28.1	13.5	18.8
	20～29年	119	37	49	13	20
		100.0	31.1	41.2	10.9	16.8
	30～39年	121	26	50	11	27
		100.0	21.5	41.3	9.1	22.3
	40～49年	114	30	38	23	17
		100.0	26.3	33.3	20.2	14.9
	50～59年	64	12	19	10	19
		100.0	18.8	29.7	15.6	29.7
	60～69年	28	8	8	4	6
		100.0	28.6	28.6	14.3	21.4
	70～79年	12	2	4	2	4
		100.0	16.7	33.3	16.7	33.3
	80年以上	6	0	2	4	0
		100.0	0.0	33.3	66.7	0.0
	不明・無回答	4	1	2	0	1
		100.0	25.0	50.0	0.0	25.0
	計	729	208	250	104	143
		100.0	28.5	34.3	14.3	19.6

7. 情報の提供について

『問 27』 水道事業の情報などをお知らせするもので、あなたが普段読んだり、見たりするものがありますか。(複数回答)

水道事業の情報については、「町広報紙「広報しまもと」」が 80.6%と最も高く、次いで「検針時に配布する「ご使用水量等のお知らせ」」が 48.4%、「町ホームページ」が 6.3%となっています。



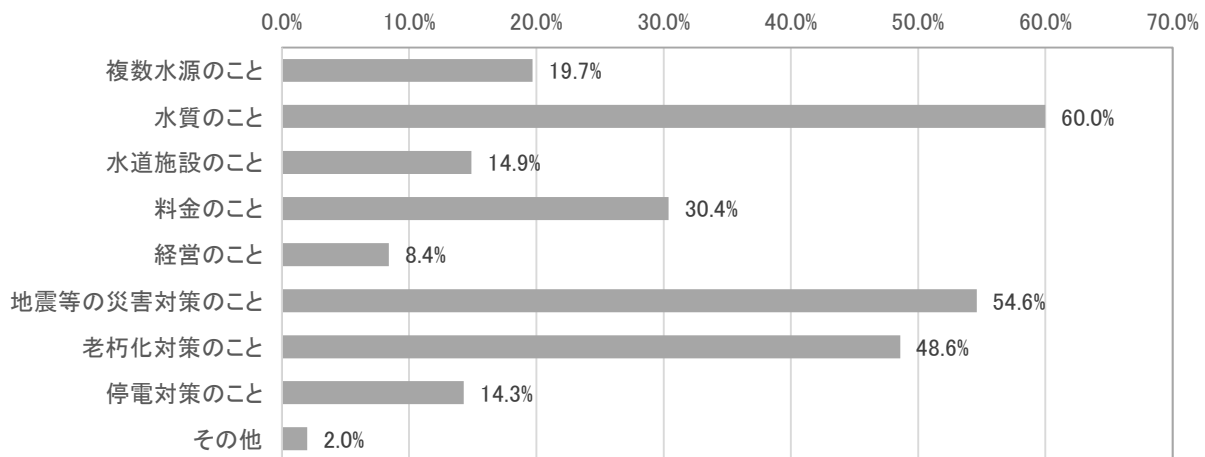
■ 『問 27』 「水道事業の情報」のクロス集計（年代別・地区別・住居形式別・在住年数別）

各区分とも、「町広報紙「広報しまもと」」が最も高く全体と同様です。

上段:件数 下段: %)							(上段:件数 下段: %)							
		調査数	町広報紙 もと」 広報しま	町ホームページ	検針時に配布する 「ご使用水量等 のお知らせ」	その他			調査数	町広報紙 もと」 広報しま	町ホームページ	検針時に配布する 「ご使用水量等 のお知らせ」	その他	
全体		1,144 100.0	922 80.6	72 6.3	554 48.4	8 0.7	全体		1,144 100.0	922 80.6	72 6.3	554 48.4	8 0.7	
年代別	20歳未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	住宅形式	戸建て	485 100.0	387 79.8	34 7.0	229 47.2	7 1.4	
	20～29歳	23 100.0	16 69.6	0 0.0	14 60.9	0 0.0		集合	659 100.0	535 81.2	38 5.8	325 49.3	1 0.2	
	30～39歳	109 100.0	82 75.2	8 7.3	61 56.0	2 1.8		計	1,144 100.0	922 80.6	72 6.3	554 48.4	8 0.7	
	40～49歳	162 100.0	139 85.8	9 5.6	77 47.5	1 0.6		1年未満	21 100.0	19 90.5	0 0.0	10 47.6	0 0.0	
	50～59歳	150 100.0	123 82.0	15 10.0	66 44.0	1 0.7		1～4年	128 100.0	98 76.6	10 7.8	67 52.3	2 1.6	
	60～64歳	112 100.0	84 75.0	4 3.6	51 45.5	1 0.9		5～9年	91 100.0	81 89.0	3 3.3	42 46.2	0 0.0	
	65～74歳	296 100.0	249 84.1	24 8.1	133 44.9	1 0.3		10～19年	148 100.0	119 80.4	9 6.1	70 47.3	0 0.0	
	75歳以上	292 100.0	229 78.4	12 4.1	152 52.1	2 0.7		20～29年	161 100.0	131 81.4	14 8.7	65 40.4	4 2.5	
	計	1,144 100.0	922 80.6	72 6.3	554 48.4	8 0.7		30～39年	208 100.0	167 80.3	11 5.3	103 49.5	2 1.0	
	地区別	尺代	5 100.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0		0 0.0	在住年数	40～49年	186 100.0	156 83.9	10 5.4	102 54.8
若山台		130 100.0	107 82.3	9 6.9	61 46.9	0 0.0	50～59年	108 100.0		79 73.1	11 10.2	57 52.8	0 0.0	
東大寺		82 100.0	65 79.3	4 4.9	39 47.6	1 1.2	60～69年	50 100.0		42 84.0	2 4.0	22 44.0	0 0.0	
山崎		157 100.0	130 82.8	11 7.0	70 44.6	2 1.3	70～79年	22 100.0		17 77.3	1 4.5	8 36.4	0 0.0	
広瀬		163 100.0	129 79.1	8 4.9	79 48.5	4 2.5	80年以上	14 107.2		9 64.3	0 0.0	6 42.9	0 0.0	
百山		71 100.0	63 88.7	4 5.6	39 54.9	0 0.0	不明・無回答	7 100.0		4 57.1	1 14.3	2 28.6	0 0.0	
桜井、桜井台		74 100.0	60 81.1	3 4.1	34 45.9	1 1.4	計	1,144 100.0		922 80.6	72 6.3	554 48.4	8 0.7	
青葉		146 100.0	119 81.5	12 8.2	78 53.4	0 0.0								
水無瀬		142 100.0	109 76.8	8 5.6	68 47.9	0 0.0								
江川		131 100.0	106 80.9	10 7.6	66 50.4	0 0.0								
高浜		43 100.0	31 72.1	1 2.3	18 41.9	0 0.0								
計		1,144 100.0	922 80.6	72 6.3	554 48.4	8 0.7								

問 28』 あなたが、今後、水道事業について知りたいと思うことは何ですか。
(3 つまでに○)

今後、水道事業について知りたいと思うことについては、「水質のこと」が 60.0%と最も高く、次いで「地震等の災害対策のこと」が 54.6%、「老朽化対策のこと」が 48.6%となっています。



■ 『問 28』 「地震等の災害対策」のクロス集計（年代別・地区別・住居形式別・在住年数別）

一部を除き各区分とも、「水質のこと」が最も高く全体と同様です。

(上段:件数 下段:%)

	調査数	と複数水源のこと	水質のこと	と水道施設のこと	料金のこと	経営のこと	対地震等の災害	と老朽化対策のこと	と停電対策のこと	その他
全体	1,144 100.0	225 19.7	686 60.0	171 14.9	348 30.4	96 8.4	625 54.6	556 48.6	164 14.3	23 2.0
年代別	20歳未満	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29歳	23 100.0	3 13.0	15 65.2	2 8.7	14 60.9	1 4.3	11 47.8	10 43.5	5 21.7
	30～39歳	109 100.0	14 12.8	59 54.1	11 10.1	47 43.1	14 12.8	59 54.1	36 33.0	18 16.5
	40～49歳	162 100.0	28 17.3	97 59.9	24 14.8	70 43.2	17 10.5	100 61.7	63 38.9	25 15.4
	50～59歳	150 100.0	24 16.0	93 62.0	25 16.7	43 28.7	15 10.0	83 55.3	74 49.3	24 16.0
	60～64歳	112 100.0	26 23.2	69 61.6	19 17.0	29 25.9	11 9.8	62 55.4	63 56.3	12 10.7
	65～74歳	296 100.0	63 21.3	181 61.1	42 14.2	77 26.0	23 7.8	153 51.7	170 57.4	42 14.2
	75歳以上	292 100.0	67 22.9	172 58.9	48 16.4	68 23.3	15 5.1	157 53.8	140 47.9	38 13.0
	計	1,144 100.0	225 19.7	686 60.0	171 14.9	348 30.4	96 8.4	625 54.6	556 48.6	164 14.3

(上段:件数 下段:%)

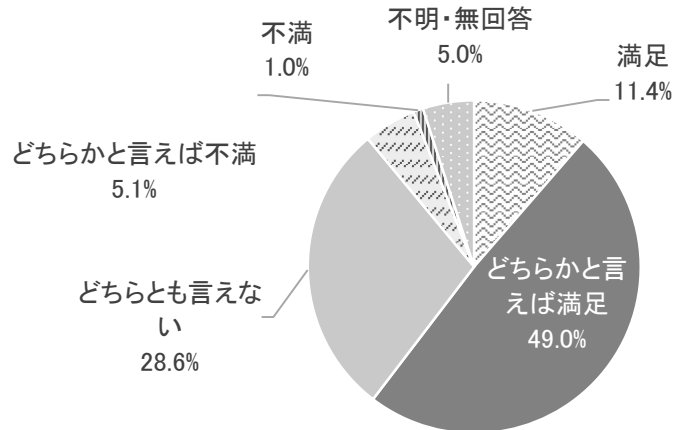
		調査数	と複数水源のこ	水質のこと	と水道施設のこ	料金のこと	経営のこと	地震等の災害	老朽化対策のこ	停電対策のこ	その他
全体		1,144 100.0	225 19.7	686 60.0	171 14.9	348 30.4	96 8.4	625 54.6	556 48.6	164 14.3	23 2.0
地区別	尺代	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0
	若山台	130 100.0	25 19.2	80 61.5	19 14.6	37 28.5	7 5.4	70 53.8	78 60.0	24 18.5	2 1.5
	東大寺	82 100.0	17 20.7	48 58.5	18 22.0	31 37.8	9 11.0	42 51.2	41 50.0	6 7.3	0 0.0
	山崎	157 100.0	32 20.4	100 63.7	22 14.0	52 33.1	13 8.3	91 58.0	67 42.7	22 14.0	4 2.5
	広瀬	163 100.0	33 20.2	109 66.9	22 13.5	46 28.2	15 9.2	93 57.1	74 45.4	23 14.1	3 1.8
	百山	71 100.0	8 11.3	34 47.9	11 15.5	32 45.1	7 9.9	39 54.9	33 46.5	14 19.7	1 1.4
	桜井、桜井台	74 100.0	19 25.7	43 58.1	9 12.2	21 28.4	4 5.4	35 47.3	29 39.2	10 13.5	6 8.1
	青葉	146 100.0	23 15.8	90 61.6	23 15.8	38 26.0	8 5.5	81 55.5	77 52.7	24 16.4	1 0.7
	水無瀬	142 100.0	28 19.7	86 60.6	16 11.3	40 28.2	11 7.7	85 59.9	74 52.1	18 12.7	3 2.1
	江川	131 100.0	29 22.1	72 55.0	23 17.6	38 29.0	17 13.0	66 50.4	61 46.6	15 11.5	3 2.3
	高浜	43 100.0	10 23.3	22 51.2	7 16.3	12 27.9	3 7.0	20 46.5	20 46.5	7 16.3	0 0.0
	計	1,144 100.0	225 19.7	686 60.0	171 14.9	348 30.4	96 8.4	625 54.6	556 48.6	164 14.3	23 2.0
住宅形式	戸建て	485 100.0	106 21.9	289 59.6	76 15.7	133 27.4	41 8.5	257 53.0	236 48.7	59 12.2	10 2.1
	集合	659 100.0	119 18.1	397 60.2	95 14.4	215 32.6	55 8.3	368 55.8	320 48.6	105 15.9	13 2.0
	計	1,144 100.0	225 19.7	686 60.0	171 14.9	348 30.4	96 8.4	625 54.6	556 48.6	164 14.3	23 2.0
在住年数	1年未満	21 100.0	7 33.3	12 57.1	3 14.3	7 33.3	2 9.5	10 47.6	13 61.9	5 23.8	0 0.0
	1～4年	128 100.0	24 18.8	75 58.6	22 17.2	54 42.2	12 9.4	63 49.2	50 39.1	15 11.7	2 1.6
	5～9年	91 100.0	22 24.2	50 54.9	14 15.4	30 33.0	8 8.8	56 61.5	40 44.0	13 14.3	3 3.3
	10～19年	148 100.0	23 15.5	74 50.0	27 18.2	52 35.1	15 10.1	87 58.8	62 41.9	26 17.6	3 2.0
	20～29年	161 100.0	27 16.8	104 64.6	24 14.9	45 28.0	17 10.6	98 60.9	78 48.4	25 15.5	8 5.0
	30～39年	208 100.0	41 19.7	139 66.8	27 13.0	70 33.7	17 8.2	115 55.3	104 50.0	31 14.9	2 1.0
	40～49年	186 100.0	35 18.8	115 61.8	29 15.6	46 24.7	13 7.0	92 49.5	103 55.4	23 12.4	2 1.1
	50～59年	108 100.0	24 22.2	70 64.8	12 11.1	21 19.4	6 5.6	58 53.7	61 56.5	14 13.0	3 2.8
	60～69年	50 100.0	13 26.0	29 58.0	10 20.0	10 20.0	2 4.0	24 48.0	27 54.0	9 18.0	0 0.0
	70～79年	22 100.0	6 27.3	10 45.5	3 13.6	7 31.8	0 0.0	12 54.5	11 50.0	3 13.6	0 0.0
	80年以上	14 192.8	1 7.1	6 42.9	0 0.0	3 21.4	3 21.4	8 57.1	6 42.9	0 0.0	0 0.0
	不明・無回答	7 100.0	2 28.6	2 28.6	0 0.0	3 42.9	1 14.3	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	計	1,144 100.0	225 19.7	686 60.0	171 14.9	348 30.4	96 8.4	625 54.6	556 48.6	164 14.3	23 2.0

8. 総合評価について

『問 29』 ここまで、水源、水質、料金、お客さまサービスなどについておたずねしてきましたが、島本町の水道事業を総合的にみて、あなたはどのように思いますか。

(単数回答)

総合評価については、「どちらかと言えば満足」が 49.0%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 28.6%、「満足」が 11.4%となっています。



■ 『問 29』 「総合評価」のクロス集計（年代別・地区別・住居形式別・在住年数別）

一部を除き各区分とも、「どちらかと言えば満足」、「満足」と感じている人が約 6 割を示しています。

(上段:件数 下段:%)

		調査数	満足	どちらか え ば 満足	どちら え ない とも言	どちら え ば 不満	不満	不明・ 無回答
全体		1,144	130	561	327	58	11	57
		100.0	11.4	49.0	28.6	5.1	1.0	5.0
年代別	20歳未満	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	23	6	14	2	1	0	0
		100.0	26.1	60.9	8.7	4.3	0.0	0.0
	30～39歳	109	17	44	35	7	1	5
		100.0	15.6	40.4	32.1	6.4	0.9	4.6
	40～49歳	162	19	82	49	4	2	6
		100.0	11.7	50.6	30.2	2.5	1.2	3.7
	50～59歳	150	23	66	50	8	0	3
		100.0	15.3	44.0	33.3	5.3	0.0	2.0
	60～64歳	112	11	42	43	10	2	4
		100.0	9.8	37.5	38.4	8.9	1.8	3.6
	65～74歳	296	22	153	83	19	2	17
		100.0	7.4	51.7	28.0	6.4	0.7	5.7
	75歳以上	292	32	160	65	9	4	22
		100.0	11.0	54.8	22.3	3.1	1.4	7.5
計		1,144	130	561	327	58	11	57
		100.0	11.4	49.0	28.6	5.1	1.0	5.0

(上段:件数 下段:%)

		調査 数	満 足	え ど ち ら か と 言	え ど ち ら と 言	え ど ち ら か と 言	不 満	不 明 ・ 無 回 答
全体		1,144 100.0	130 11.4	561 49.0	327 28.6	58 5.1	11 1.0	57 5.0
地区別	尺代	5 100.0	0 0.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	若山台	130 100.0	7 5.4	64 49.2	45 34.6	6 4.6	0 0.0	8 6.2
	東大寺	82 100.0	6 7.3	40 48.8	26 31.7	6 7.3	0 0.0	4 4.9
	山崎	157 100.0	30 19.1	74 47.1	35 22.3	7 4.5	1 0.6	10 6.4
	広瀬	163 100.0	16 9.8	81 49.7	46 28.2	10 6.1	3 1.8	7 4.3
	百山	71 100.0	9 12.7	36 50.7	20 28.2	2 2.8	1 1.4	3 4.2
	桜井、桜井台	74 100.0	9 12.2	32 43.2	24 32.4	3 4.1	2 2.7	4 5.4
	青葉	146 100.0	14 9.6	69 47.3	43 29.5	9 6.2	1 0.7	10 6.8
	水無瀬	142 100.0	20 14.1	73 51.4	35 24.6	6 4.2	1 0.7	7 4.9
	江川	131 100.0	11 8.4	66 50.4	41 31.3	9 6.9	1 0.8	3 2.3
	高浜	43 100.0	8 18.6	22 51.2	11 25.6	0 0.0	1 2.3	1 2.3
	計	1,144 100.0	130 11.4	561 49.0	327 28.6	58 5.1	11 1.0	57 5.0
住宅形式	戸建て	485 100.0	47 9.7	240 49.5	136 28.0	26 5.4	8 1.6	28 5.8
	集合	659 100.0	83 12.6	321 48.7	191 29.0	32 4.9	3 0.5	29 4.4
	計	1,144 100.0	130 11.4	561 49.0	327 28.6	58 5.1	11 1.0	57 5.0
在住年数	1年未満	21 100.0	1 4.8	8 38.1	12 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	1～4年	128 100.0	20 15.6	62 48.4	32 25.0	7 5.5	1 0.8	6 4.7
	5～9年	91 100.0	12 13.2	49 53.8	29 31.9	0 0.0	0 0.0	1 1.1
	10～19年	148 100.0	15 10.1	77 52.0	42 28.4	7 4.7	2 1.4	5 3.4
	20～29年	161 100.0	19 11.8	72 44.7	55 34.2	7 4.3	2 1.2	6 3.7
	30～39年	208 100.0	24 11.5	99 47.6	53 25.5	15 7.2	1 0.5	16 7.7
	40～49年	186 100.0	14 7.5	95 51.1	50 26.9	13 7.0	2 1.1	12 6.5
	50～59年	108 100.0	15 13.9	52 48.1	30 27.8	2 1.9	2 1.9	7 6.5
	60～69年	50 100.0	6 12.0	25 50.0	14 28.0	4 8.0	0 0.0	1 2.0
	70～79年	22 100.0	3 13.6	12 54.5	5 22.7	1 4.5	1 4.5	0 0.0
	80年以上	14 100.0	1 7.1	7 50.0	4 28.6	0 0.0	0 0.0	2 14.3
	不明・無回答	7 100.0	0 0.0	3 42.9	1 14.3	2 28.6	0 0.0	1 14.3
	計	1,144 100.0	130 11.4	561 49.0	327 28.6	58 5.1	11 1.0	57 5.0

9. 自由回答について

『問 30』 水道事業に対するご意見、ご要望など、ご自由にお書きください。

● 昨今、飲料水として、水道水を飲むことがなくなっているのに対し、料金が低い 昔はおいしい水として有名だった島本 今はもうまずくてのめない
● マンションの乱立で水資源の確保が心配。 自然の風景も残して欲しい。
● アンケート集計が今後の事業に反映されることを望みます。 アンケートしたことに満足し、何ら改善されないなら、ガス抜きとも言える。そうならないように。
● 庭の散水には雨水タンクを設置して節水に努力している積りであるが、水道料金は他に比較して高いように思われます。 島本町に 50 年前に来た時には、まるで井戸水を飲んでいる様に感じられたのを思い出します。 飲料水として味は美味しく夏は冷たく冬は暖かく感じられたので島本町に移転した事を喜んだ記憶があります。飲料水にうるさい外人が自宅に来た時も、美味しいと褒めてくれたものですが、最近味はもうひとつで多分町人口が増加した頃から味はぬるく感じています。以前には考えもしなかったペットボトル水の使用が増えてきました最近です。 やはり、上下水道以外に中水道の発想が必要かと思えます。
● (要望) 島本町の水道水は他所と比較して、水回りに白い粉（カルシウム？）が、長年の使用で付着しやすいように感じる。 地下水が水源のため、白い粉の発生の抑制は難しいかもしれないので、例えば「広報しまもと」を活用し、効果的な清掃方法の紹介や、各種水回り設備のこまめなフィルター等の確認をしようとする等、白い粉が発生した時の対応方法や注意点についてもっと PR して頂くことができないか。 以上
● 料金が低いイメージが定着しているが、低い理由は保全対策を常に行っている為だと認識していた。 今回のアンケートを見る限り、対策には料金を上げる等の方法で原資が必要という印象を受けた。 他の自治体よりも多額の支払いをしていたと思っている為、水道料金は正常な使われ方をしていたのか多少疑問を感じた。 何かと不正の発覚の多い世の中（他の自治体ですが・・・）で島本町はそのような事が無い事を願っております。 アンケート内に記載されている料金の表現も、他の自治体よりも安いというイメージを植えつける為に書かれたと思うが、20 m ³ の利用者の比率はどのぐらいなのか。利用量が多い程割り増しになるのであれば、20 m ³ で区切った意図を感じてしまいます。
● 水道の値段が書いてありますが、上水道、下水道を合わせるとけっこう値段が高いなあと思いますね。
● 最近はマンション建設が多く、開発負担金等の歳入が十分あるはずである。 料金値上げなどせずに災害対策、水質向上をすべきである。 水道事業の独占事業、もっと経営努力をすべきである。
● 親せき等で水を貰って使っているのを知るとめづまれていると思っている。
● 1. 地震等の災害対策で断水のない様に！ 2. 水道料金は極力抑さえてほしい。 3. 以前地下水だったのですが、市水と合わせて供給していると、きいています。現在浄水器を使用しています。少しでもおいしい水を供給していただきたい。

● 水道料金の支払いが、口座引き落としや、コンビニの現金払い以外に、最近、LINE PAY が導入された事は、前向きな取り組みとして高く評価しています。 これからは、手数料の問題はあるかもしれませんが、クレジットカード、電子マネー（ナナコ、ポンタ、ワオン等）、ウオレット、デビット、PAYPAY 等、各種支払いを出来る様に幅を広げて欲しいものです。
● 「口座ふりかえ」ではなく、「カード支払い」が出来るようにして下さい。
● 島本町の1番の売りはおいしい水だと思うので、これからも守ってもらいたいです。
● 地下水利用は島本町の特徴であり、継続して欲しい。
● 島本町の水はおいしく、町の誇りでもあり、大切にしたい。おいしい水を供給して頂き有難く感謝している。心配点を述べるなら、長年使っている水道の施設の更新、古くて破損しないか、水道に生活依存している現在、一番の心配であり、計画的、順次更新して頂くことを願います。開発が進み人口の増加による水量の変化、水道事業費の減少が心配です。災害時の上水道の供給も心配です。安心出来る情報があれば教えて頂きたい。いつまでもおいしい水、を供給され飲料出来ること願って止みません。頑張ってください。よい返事まちます。乱筆乱文 ごめん先日の和歌山市の事件 他人事に思いません。
● 地下水はあるのでしょうか？ （田んぼ・畑が最近少なくなりマンションとか家が建っているので使用する水も増えるし！） 上下水道部の皆様 これからも安心・安全な水を送り続けてください。
● 島本町だけでは水道事業は効率が悪い 高槻市といっしょにやるべきだと思います。以上
● 島本の水は全国でも指折りのおいしい水であるのが、私の自慢でありました。料金を維持の上で、おいしい水の維持をお願い致します。
● 25年前に他市より引越して来ました。 島本の水のおいしさにはびっくりしました。 その後府の水が何割か混じったと聞き残念に思いました。（そう言えば、水道栓の回りの結晶のような物が見られなくなったなと思っていました） しかし、今日のように災害が多く発生してしまった日本に於いては、仕方がなく、災害時においしい水を・・・などは云ってられませんので、やはり、安全に水を供給していただくには、やむを得ないと思われます。 大変なお仕事だと思います。今後共どうぞ宜しくお願い致します。
● 先日、和歌山市で起きた断水する、しないという騒動は、結局は、水道管の老朽化ですね。 私たちの住む、広瀬地区も、もうだいぶ水道管は、古いものと思います。 何年間に一度でも、水道管を洗浄していただいたり、水道管の取り換えの時期など、お知らせしていただくと嬉しく思います。
● 島本町に移住し、1年になったばかりで、当町の水道事業の状況については、あまり分かりません。 移住したとき、島本町の水道は、地下水でおいしいよと聞いた。しかし、料金が一寸高いかな！との話でした。前住居の兵庫県朝来市（山東町）でおいしい上水を飲んでいたので、まあまあと思う水かなと！料金は高いとあまり感じていない朝来市と同じくらいかと思う。 施設の老朽化に対応していかなければならない状況にあると思うので、しっかり取り組んでもらいたい。 経営面は、実情を理解していないので、料金とのかねあいは分かりません。一般会計からの上水道会計への繰り出しなどにより施設整備を行うことも必要かと！若い層の流入により税収入が増えているはず。
● 私は、島本の水道がよいと云うのを聞いて家を買った 地下水で良い水が出ると聞いていたのは昭和47年位でしたが今はわからなくなりましたので浄水器を付けました 人口も余り増えない方がよいのかなと思います。

● 100%地下水の頃とくらべ、味は落ちたと思います。 水道水をすぐに飲むと気になりませんが、水筒に入れて、持ち歩いて飲んだ時はおいしくないと思いました。 島本町＝美味しい水の町 とは思いません。 水で売るには味がともなっていないと思います。 不可能なこととは思いますが昔に戻ってくればいいなあと思います。
● 府営水道を一部導入したことがくれぐれも残念です。 それまでは水もおいしく ミネラルウォーターを買う必要が無かったのですが
● 老朽化対策についてどのような計画等があるのかもっと町民に知らせてほしい。 広域事業化（高槻市との）についての課題等は？ないのですか？ 以上
● 1. 今後も島本町のおいしい水の維持に尽力頂きたい。 2. 25 年前の震災時には断水して非常に不便を感じた。災害に強い水道の実現をお願いしたい。 3. 料金の引落しの金融機関が少い。都銀も含めるなど対象を拡げてほしい。
● 以前(時期?) より給水の温度(夏期に於いて) 高くなっている様(蛇口に結露していた)に感じます。(温暖化?、府水の混合?)
● 昨今報道されている配水管の老朽化が心配。 懸念される地域は取り替えなど早目の修理を進めていただきたい。 問題があるとは思いますが巨額を要する工事なので水道設備改善の特別徴収会計新設も考慮せざるを得ない事態と思います。
● 私は主人が亡くなり 15 年が経過して立派な設備のある住宅に住まわせて頂き日々不自由なく生活出来るので感謝しています。
● 島本町の水は他の市町村の水と比べてもおいしいと思う。 この品質を維持していただけるとありがたいです。 よろしくお願いします。
● 持続可能な水質、水源の確保を目的とした施策の実施状況、投資費用とその効果など、～町行政部局とタイアップした山林・里山林の整備～を広報してほしい。
● 10 数年前は、島本の水は、冷たくておいしいと感じた。 たまに来訪する友人、親せきの人も、おいしいと言っていた。 いつからか、水が普通の味になってしまったのが、残念である。
● 料金が少々上がってもより安全でより美味しい水を提供して下さい。
● 島本町に移ってきた当時(約 40 年前)の水道水はとても美味だった。 集合住宅なので屋上に一時貯水のタンクを経由していたが、味は抜群で他市町村の人々にも自慢できた。 比べて 現在は 淀川系の水をブレンドするようになってから昔の味は戻ってこない。せめて「島本の水」レベルがいつも飲めたら満足。
● 40 年前に島本町へ来た時は、おいしい水だと思いましたが、料金は倍近く高くなりおどろいた事を覚えています。 今は安全でおいしい水、災害に強い水道施設であれば安心します。地震や水害など災害が多くなってきました。 水道管が老朽化したり施設が災害対応できるか必要な問題があれば、解決するようがんばっていただきたいと思います。時間とお金が必要でしょうが、水道事業ビジョンの大切さを感じます。
● 地震、災害、水害がいつ起きかわからない現在生活していく上で一番大切な水道管の老朽化は心配です。 水道料金が今以上値上がりするのは年金暮らしの私は困りますが整備は必要と思います。

● 水源→浄化→配水→回収等のフローを広報で教えて下さい。（水質検査、保全システム等を含めて。）
● 長期安定的な経営をお願いしたい。 飲料水から安全・安心な水の確保、供給をお願いします。 長期間使用することから、老朽化対策に必要な経費増は止むを得ないが、効率効果的な経営を大切にお願いします。
● いつも安定してきれいな水を提供していただき、ありがとうございます。
● 震災後、神戸から島本町に移りました。 経験から①水②電気③ガスで大切なライフラインです。 人は水があれば3日は凌ぐことができます。 『1人3日分90』これは大変な量の備蓄ですが、個々で備えるべきです。 経営努力と言いますが、それによって水に対する不安が増すことは容認できません。 現在の経営で（もちろん無駄は困ります）質を下げる事態にならない様に努力していただくことを望みます。 家の台所を預かるものとしては、料金が安くなるのは嬉しいことですが、それによって、質や供給そのものが下がってしまうことは本当に困ります。 とにかく水は命に直結します。 人権や公共施設などに予算を注ぎ込むのも結構ですが、命あつての人権です。 町は水道事業の見直し・削減など考えるより（町長・議会にも伝えて欲しいです）、しっかり予算を出して、守るべきです。
● 水道料金のクレジット決済を希望します。
● 地下水に水道水（淀川水）が混じりおいしくなくなった。島本に住んだのは水がおいしかったからです！
● できるだけ、水道料金を安くをお願いします。
● あまり意識をした事がないので、よくわからない。
● 水は命です。
● おいしい水の安定供給をお願いします。
● 平時は水道のことに関心を向けることもなくいつでも、栓を開けばおいしい水が呑めるものと思っていました。 水源のこと、処理方法等を知りたいと思いますが、いずれ機会があればと考えます。 今後ともよろしくお願いします。
● 下水道料金が安いもう少し安くして欲しいおいしい水が蛇口から出て欲しい夏→庭の水やりにフロ水使用
● 他自治体に比べ、水道料金が明かに高い。
● 町外の友達数人に島本は水が普通にのめていいねと良くいわれます。夏は特に氷を作ると判るといいです。 そのまま水道口からのんでいます。 最初引っ越してきた時にそのままのめる水道水と聞きました。もう50年近くなりますがそのままのんでも未だにだいじょうぶだと信じています。いいですか？ これからがんばって自然ないい水道水が続きますように、お願いします。 毎日御苦労さまです。ありがとうございます。
● 安定した供給と水質の保全をリーズナブルな価格で。
● JCBなどクレジットカードによる料金引落しを可能にするよう、制度改善を希望します。
● 特にありません。 いつも感謝しております。ありがとうございます。

● 私は島本町に引越してきて、こんなにおいしい水で感激しました。高槻から水無瀬に来たのですが、水道の水をそのまま飲めることに感動したのです。 こんなおいしい水をトイレに流し、洗濯に使い植物にやったりしているので、もったいないなあと思います。 昔、島本町の議員さんに飲み水と飲み水以外に分けたらどうですか？と質問したことがありましたが、工事費の方が高くつくと言われました。 私は水無瀬に来て、他の人にも水が一番おいしいと自慢しています。
● 水源確保のため、淀川水系の水を取り入れてから、水道の味が悪くなったような気がします。 出来れば地下水でまかなっていただきたい。 水道事業と関係ないかもしれないが、農業用水路の清掃を定期的に行ってほしい。 こけやゴミがたまり、悪臭がひどい時期があって、いやな思いをしている。
● 高い！！ むずかしいかもしれないが、トイレ用&オフロ用と、キッチンにひく水用とわけて、地下水、淀川水を利用できるようになってほしい。トイレ用に地下水はもったいない！！
● 安心・安全の為頑張って下さい。
● みづまろくんを使った水ブランドの考え方はとても面白いと思う。 くまモン、とまではいかないにしても誰にでも深い関心を持つ「水」だから、全国的なPRもできるのでは？ 他自治体にも水を売りにしているところがありますね。♡ コラボすると、きょううまくいくと思います。 (みづまろくん) けっこうりしくて気に入ってます。
● いつもおいしいお水を供給いただき、本当にありがとうございます。 島本町のきれいな水は、私たち町民の誇りです。 大規模開発をせず、自然豊かな自然と水を子どもたちに残したいと思います。 北摂他市と比べて、この環境があるのは無二だと思っています。(特に国土軸にありながら、この環境はありません) まちの大きなブランドです。 税や水道料金が多少高くなっても、この水・環境を残していただきますよう、よろしくお願いします。
● 現在の水道事業に満足しております。 安全で安定した、よりおいしい水道水の供給を今後も続けて下さい。
● <u>計画的</u>な設備更新をお願いします。(他のまちづくり行政に全く計画性が見られませんので)
● いつも水道水を供給していただき、ありがとうございます。 これからも宜しくお願い致します。
● 老朽化対策が日々云われていますが、予算問題少子化を考えて、少しずつ、早目の対応をお願いしたいです。 子供の世代に何でも負担をかけない計画性が必要と思います。 応分の負担は町民がすべきもの。
● 昔から島本町に居住する者としては、府営水を導入してからの水道水が浄水器を使用しないと飲める味でないことは残念。水道料金が府下で一番高いことは、地下水 100%だからと幼い頃から聞いて来て、子供ながらに満足・節水に努めて来た。今、マンションが乱立し、更に JR 島本西口にも大マンションが建つと聞く。こんなんで水道料金が下がることも昔の旨かった水が戻ることもない。マンション等のインフラに金を使うなら、もっと水道料金を見直す等の対応も考えてはどうか。町民税を含めもっと有効な活用と経営努力を願いたい。人口が増えることだけがすべてではない。豊かな田園風景も失い、島本町の水質も昔から下がり、町に何の魅力が残るのか。町の将来に不安が残る。みづまろくんも泣いているのではないだろうか。

● 水もれで高額な請求があったとき細かく色々お教えてくださり料金を下げる事が出来助かりました。 ありがとうございました。
● 安定した水の供給をお願いします。
● 桜井地区は下水道整備が遅れています。早期に整備をお願いしたい。 上下水道部様よろしく。
● おいしい地下水をこれからも守って下さい。そのために水道代が多少高くなってもよいと思います。（一度やめてしまうと元に戻すことができないので） ✓水道の話は町長の約束でもあると思います。 ✓高槻市との合併問題が出て、水道が守られないのであれば、反対です。 ✓島本町のアイデンティティにかかわる重要な課題だと思いますので、水道事業に携わるみなさまの努力にはいつも感謝しています。 ● 以上、これからもがんばって下さい！
● (1) 水道水を容器に入れて長時間おいておくと下に白いものが沈殿します。それがいつも気になるのです（カルキ？） 色々必要な成分が含まれていると思うのですが少し少なくすることが出来ないものでしょうか？ (2) 又どの様な成分かおしえてほしいです。？（乱筆乱文ゴメン） (3) このアンケート結果は何時どの様に出て知ることが出来ますか？ (4) 日本中で地下水だけで、水道水を使用している所は福井県の越前大野市だけと聞いていますがなぜ島本町は水道水を地下水だけにできないのですか？
● 蛇口をひねれば水が出る。有難い事と思っています。
● 水道事業の説明会や見学会を開催して欲しい。
● 安くておいしいお水の安定供給をお願いします。
● 先日の神戸の断水報道のような事のない様に事前に計画的に老朽箇所の整備計画を順次行うべきだと思います。 ありがとうございます。
● 高槻市在住の時（2018年度）は28㎡当り¥5,540だったのが（2ヶ月）島本町に引越後は28㎡当り¥6,478になった。月ベースで¥469のCOST増となり年ベースで約¥6,000の負担増です。水道水が旨いと聞いていたが、常温ではカルキ臭が立ち高槻、茨木の水道水と大差ナシと感じました。と云うかほぼ同等、残念ながら水道料金の高さだけが目立つ結果となっております。
● 長年島本町に住んでいますが、2017年9月から2019年9月までの2年間堺市北区の集合住宅9階にいました。 転居後まず驚いたのは、水がぬるくて、臭くて、とてもまずくて飲むことも歯を磨くのも嫌なほどでした。 堺市も水道料金が高いことで知られています。 島本町の水道料金が高いことで常々不満でしたが、この度戻ってきて、水が冷たくて美味しいことに改めて気づかされ、この水質なら許容範囲の料金かと思いました。
● 水は人間にとって大切な物であり、地震等の災害で断水するのですが、それが長時間掛かると、生命の危機もありえます。 なのでもし断水しても早急に復旧できる様に災害に強い水道施設を完全なる物にしていきたい。 その為には多少の水道料金の値上げもいたしかたないと思っています。
● 水道事業内容など、情報があまりないので、わかりたくてもわからない、もっと知らせた方がよい。 安全・安心である事、永久的に供給出来る事を望んでいます。

● 昭和 50 年代当時地下水を利用し冷たく水そのものがうまく感じた。他都市と比べおいしい水道と感じたが今は感じない。水無瀬神宮の水と比べ何が違うのか。又、安全性分析内容等町として努力している部分など広報で活発に宣伝、解説してほしい。町議からの資料、学習不足も感じられ活動も怠っているのではないかと自然と山々、水、地域性を発揮した学習政策未来ある子供への施策を望む。
● クレジット払いが出来る様にしてほしい。
● 水源を昔のように地下水 100%にすることは、無理なのでしょうか？
● 水道事業の民営化は反対である。
● 私が利用している三井住友銀行が口座振替の利用ができず非常に不便です (町内に店舗の無い三菱 UFJ が利用でき、同じ三井住友が利用できないのがなぜ？)
● 今後も上水の安定供給をお願いします。
● 以前高槻市に住んでいました。 高槻市に比べると水道料金はかなり高いと思われます。
● 生活水を独占的に扱っていることを胆に銘じて安全で、いつでも、豊富で低廉な水を供給されることを希望する。
● 今後も安全な水道の供給を期待しています。
● おいしい水をありがとうございます！
● 下水道の整備について何もない 早急に整備すべきではないでしょうか。
● 料金支払いの銀行振替が複数の銀行からでも可能にしてもらいたい。 現状、取引のほぼないりそなに都度入金せざるを得ず、とても手間がかかる。 そんなつもりはななくとも滞納扱いとなり、忙しさに銀行も行けず、延滞料までかかり、困っている。 そちらも事務処理が増えてたいへんだと思う。 今の時代、振替先が少ないのは、とても考えにくい。島本町の怠慢であると考えている。
● 島本町に住んで 40 数年、生活してゆく上で最も重要な水道水を安心して飲めること、有難く思う。 自然災害の多い昨今、施設の整備や安定した水の供給を希望します。
● 水道料金の口座引き落としが、簡単に手続きできるようにしてほしい。
● おいしい水の供給をお願いします。 水は島本町の誇りです！
● 桜井地区では都市計画税を前から支払っているが、下水道がまだ設置されていない。 駅西側開発の問題もあろうが近々にがんばって設置していただくことを、強く要望するものである。
● 水道水にミネラル成分が含まれているのだろう。(地下水が 90%のため) このミネラル成分が固化するため、止水栓が回らなくなる。 ウォシュレットのノズル付近に白化物が付着する等、メンテナンスが難しい。 対処方法を PR してほしい。
● 「みづ(水) まろ」くんは、「みず(水) まろ」くんでは？表記が気になります。 ペット(犬)の散歩時の水飲み場を人間と区別して作ってほしい。(簡易でよい)
● 集合住宅の受水槽の清掃が行われているのか気になる。 (現在水質に不満がある訳ではないが・・・)それぞれの集合住宅にて管理されているのか？
● 水道管の劣化を懸念している。大丈夫でしょうか？
● 合理化と安全を両立するための具体的な施策をわかりやすく紹介してほしい。 町民は水のブランド化も、価格も安全も”欲深く”求めている。優先すべきは安全(災害対策)と思う。

● 水道の水回りに白い粉状のものがつき掃除が大変。原因は何なのか？害はないのか？広報で知らせてほしい ● 地下水 100%に復元努力をしてほしい。島本町の少ない自慢できるものは<u>水</u>です。水ぐらいです！ ● 高くておいしくない府営水をブレンド（リザーブ）する必要性に疑問あり。 ● アンケート調査の（項目内容）をもっと検討・吟味すべきである。 今「島本町水道事業ビジョン」策定をする目的意図が明確でない！ 水道事業を民営化（企業委託）するようなことも考えているのかと心配になる。
● 民間委託への施策は、ダメです。
● 高槻市と比べて、水道料が高いというイメージがある。現在、そのようなことがないのであれば、正しく情報を発信していただきたい。但し、一般家庭のアンケートで工場で使う水の量と比較した料金体系を示すなど、若干のアンケート設問設定に対する疑問もある。いち町民として正しい情報を受け取れるようにお願いしたい。
● いつも美味しい水を供給して下さる島本町水道部の方々に感謝しております。お茶やコーヒーの味が違うと他の都市に住む義妹が申しております。私も水を口にふくんだだけで違いがわかります。 時々消毒のにおいがする時がありますが、あれは衛生上やむを得ないことなののでしょうか。 今から 60 数年前、西宮市に住んでいた時ジェーン台風の襲来を受け断水となり、幸い家からそれ程遠くない処に浄水場があり、バケツややかんを持って水を貰いに往復しました。 島本町が終の住処となり五十年、断水の記憶は一度だけ、それも冬の朝気温が－4° 以下になり水道管の水が凍結しましたが午前 10 時頃にはもう出ました。 幸いなことにこの五十年間、島本町で災害による断水は経験していませんが、今後地震等の災害対策と老朽化による水漏れ等（先日和歌山県で起きたような事）の対策を強化して頂ける様よろしくお願い申し上げます。 最後になりましたが島本町上水道部の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。 令和 2 年 1 月 24 日
● 島本町に住んで約 30 年余り 水はとってもおいしくてありがたいです。（料金は以前住んでいた所より高かったですが） いつも整備等御苦勞様です。がんばって下さい。 ◎時々水道水そのままいただくのですが大丈夫でしょうか？ 生きる為には水が一番大事だと思いますのでよろしくお願い致します。
● 水道事業経営に関する認可書の閲覧等をして見たい。
● 生活に必要不可欠な水をいつも管理して頂きありがとうございます。 安心安全な背を供給頂いているからこそ、私たちの生活が成りたっています。 今後も、よろしくお願い致します。
● 以前、他の市町村に住んでいましたが、島本に住んでから水のおいしさを改めて感じました。 島本に住んで良かったと思う理由のNo.1 が、「水がおいしい」だと断言できます。 どうかこれからも、このまま安定したおいしい水をいただけるように、がんばってください。
● 水道（上水道）料金について説明されていますが、下水道料金もほぼ同額（上水道と）に近い体系になっていますが、こちらの料金は他の市町村と比較しての案内がありませんでした。 （上）（下）水道の料金比較を知らせて欲しい。 水質については他の水系（例えば淀川水系）との混合比率は現状もしくは混合比率を（他の導入）低くして欲しい。地下水脈を活用する工夫を今後も続けて欲しい。
● 地下水よりの水源を 100%にしてわずかなカルキ臭をなくして本当においしい水としてほしいです。
● 現在満足しています 今後共よろしくお願い致します。

● 安全でおいしい水を供給してください。 経営を効率化し、老朽化や災害の対策を現行以下の料金でほどこしてください。 サントリーや多量に使う企業から、もっと料金を収納させてください。 ◎特にサントリーでは、井戸を掘り水を売っている名水を利用して利益を得ています。一考を要す。
● 長年島本町に居ますが今迄に特に困る事等は感じませんでした。 今後もよりおいしく、料金もより安くあれば願っています。
● 現在程度の水質を保っていただけたら、大変ありがたいと思います。 よろしくお願い致します。
● 給水鑄鉄管の老朽化が気になる。
● 老朽化対策を、早目に実行して下さい。 水害、地震等の災害対策を、日頃からしっかり実行して欲しい。以上
● ・府内の他市町村に比べると居住地域が狭いため、水道設備の更新等のコストは低くできるのではないかと。 ・半面、供給世帯が少ないので、供給設備当たりの販売額は少ないような気がします。 ・水の味は、他の自治体よりは良いと思います。 ・町単独での水道事業の効率性や、（災害対策や、老朽化等）対応を含めた持続可能性等を分析した上での水道コスト等で比較いただいたアンケートであれば、もっと的確な回答ができたと思いました。
● ・島本町の水道水源はインターネットの島本町ホームページの「水質」のところを見ると、90%が井戸水で10%が高度浄水処理水とのことです。このことは井戸水だけだとCa, Mgが高くなりすぎるきらいがあるのを緩和できるのと、何かあったとき、府の水源にも頼れる体制にある、ということで反対するものではありません。しかし、地下水資源の多くを企業に取られ、住民にまわす量が足りないということだと、問題だとも考えます。地下水水源についての基本的な取決めを、利用企業との間で、取り決めておくことを望みます（未だなら）。 ・水道事業をPF1事業にして民間運営するという話も聞きますが、島本町の誇りの元は水道水であるという自覚で市が自ら運営することを望みます。
● 他自治体より島本町の水道料（下水料）が高いのは有名な事実でありその違いがどう理由か解りません。おいしい水だからという事では理由になっていないと思います。 水道料より下水料（半額）が高いのは？ もっと解りやすい説明など添付文などを「ご使用水量等のお知らせ」に書き加えるか付けるかしは？
● どんなに浄化し、安全で美味しい水を供給するにしても、それに伴う水道配管の老朽化対策（定期点検や定期交換）が適切になされなければ安心・安全な水とは言えません。 海外で勤務していた時、JICAの人が話してくれました。事業でその国の水道施設の改修・改善をしていたのですが、いくら世界最高水準の設備をしても、配管が汚れていたり、亀裂していたり定期的に交換していかないと、この国の水は安全とは言えません。見た目で蛇口から出る水はきれいでも、一瞬にして病気が蔓延することもある・・・etc 水道事業は最も大切な公共事業の一つであると思っています。
● 淀川の水を使わない様にしていきたい。
● 塩素（カルキ）臭い。毎日気になっている。
● 生命にとって水はかかすことの出来ない大事なものだと思っています。 水道事業に対して是非真摯なお気持ちで取り組んでいただければお願い致します。
● 各地区において、配管の老朽化対策がどの様になっているのか？を知りたい。 又、どの様な進捗で、古い配管が取り換えられているのかもあわせて知りたい。 広報「しまもと」にでも表示よろしくお願い致します。

● 水道料金の支払いについて。 取扱金融機関を増やしてほしい。 口座振替にしたいができない。せめて大手銀行は入れてほしい。
● 老朽化した水道管の更新を進めて欲しい。
● 近年マンション建設が多数進む中、都会化する島本が心配である。昔は夏は冷たく、冬は適度な暖かさで自然の水道水であった。 かつてに建設し、かつてに移住して来て、水道水がおいしくないの高いのと文句を云う人々が多くなった事か。 新規に建設される大規模住居には受益者担当で幹線支線管の新設、更新をお願いしたい。
● 地下水に、淀川の水をまぜているのに料金が高いのが不満です。
● 高槻市から影響を受けている水道事業の問題点はありますか。
● 水道業者による、工事、設備の低料金をお願いしたいです。
● ①問 24 で「整備に必要な経費の負担」について問うているが、この判断は人によって異なるはずである。水道事業部として、住民が判断できるような資料を提示してほしい！その際、他市町村の判断材料を提示して頂きたい。 ②現在、地下水の割合は 90%ときている。マンション建設が増え、水道水の需要も増えたと考えられるが、地下水の割合を現状維持できるのか知らせてほしい。 ③本アンケートの集計結果を町広報紙上で公表して頂きたい。
● 都市整備の話になるのかもしれないが、島本町で物件を探していた時、桜井の方など、けっこう良い土地が見つかったも、下水がくみとり式（？）なので、土地の購入を見送ったのが何件かあった。他からの人をよびこむには、整備されたほうが良いのでは？ 他府、他市からの転入なのですが、水道料金が高いなと思いました。
● できれば、もう少し水道料金を下げてください。府内の他自治体と比べて料金が高いと思う。 水のきれいな町なので、水道料金も安いと思っていた。水質保全のために経費を掛けているのであれば納得するが、なぜこのように料金が高くなっているのか説明がないと思う（広報誌を詳しく読んでないのかもしれませんが。）
● おいしいといわれる島本の水は大切に、守り続けていってほしい。
● 上下水道料金安い方がよい！！大阪府下一番安い地域にしてほしい！！
● より安全な水を確保する為施設等の整備を望みます。また災害時の水道の供給がとても気になっています。
● このアンケートの必要性がよく分からない。答えを誘導されている気がする。
● 災害に強く、安全な水道水の供給をよろしくお願いします。
● ①問 24 については、選択肢が見つからなかったため『分からない』としました。料金を上げずに取り組むということを望みます。 ②アンケートの精度を上げるための 2000 件でしょうがもう少し絞っても良いように思います。
● お水は美味しいと思いますが少しカルシウムみたいな白い線がコップに出ます。浄水器通していると、その時は白い線が残らない。やはりきれいなお水でいて欲しいです。 いつも本当に有難うございます。
● 若山台第三住宅 8～9 棟横に給水タンクがあります。地震等で破損した場合の被害状況が知りたい。
● 島本の水はおいしい事で有名である。維持して下さい。他市からもくみに来ている。 地下水を独自に確保して欲しい。ありがとう！
● 水道料金を少し下げてください。
● 検針員のことですが、出会う事もないですし、正確に検針がなされているのかと、思っています が！？

● 高齢者の為今のままお任せします
● 府営水道の導入以来、他都市で断水等が発生しても島本町では断水したと云う事を聞いた事がない。 府営水道をやめればいいのか・・・（負けてはダメ） 美しい自然とおいしい水「みづまろ」君が泣いている。島本町の魅力がない。
● 水は電気と並んでもっとも重要なライフラインの一つです。 水が止まったら日常生活が成り立ちません。 従って安全安定した供給と災害に対する水道施設の整備はコスト以上に優先すべきと考えます。
● 公営を維持してほしい。
● 桜井地区は浄化槽を早く水洗トイレにして欲しい。 虫もわくし、臭いもキツイ。検査やくみ取りも在宅が必要である為、大きく負担がかかる。
● 京都市から転居後、2 ヶ月しかたっていないので、アンケート内容は十分理解するには、情報の把握は不十分ななかでの回答です。 お尋ねしたいことが、1 つあります。 何らかの形で回答なり、情報提供して頂けたら幸いです。 ①鍋を（ステンレス）洗ったあと、白い色が多数残ります。 洗い残しではないようです。検索したら塩素の影響かと思われるのですが、身体への影響はないですか？ 市内でこのようなことがなかったのに塩素濃度が高いのでしょうか？
● 問 24 で記入のとおり。 問 24 その他→水は最低限のインフラなので整備に関して町民から高いお金を取るのではなく、町の他の事業を見直せばよい。
● 島本町の水道代を高いと思っていますが味が良く、おいしいので（よその市と比べて）今のままで良いのではないかと、なっとくしています。
● ・ 水は命の原泉であり安全でだれもが安心して飲めることが大切である ・ 収入が少ない人も一定量の水は安価で使えるように制度変更も変える ・ 地下水が 100%から淀川の水がまざっていると聞いていますがその原因と水道水が安くならないのはなぜか？
● 将来にわたって水道水を飲料水として飲む為に水源地の確保及び環境の保全が肝要。
● ・ 基礎資料の位置付けではあるが、アンケート集約結果の信頼度の観点からは「消せないペンによる記載」を条件として明記しておくべき。 ・ 数値を問う項目（再利用率）については、記入者の解釈の差に伴う統計上の誤差が大きくなるように定義を明確にしておくべき。
● 自分が住んでいる地域は、問題ないが、下水処理が必要な地域や、山間部、名神以北部については、問題が多いのではと想像する。 新築マンションが、どんどん建設され、それに伴う、整備・対応とともに、先住民が納得する対応を、明確にして頂きたいと思う。
● がんばってください
● 都道府県・人口減少により、水道事業が課題と聞いている。人間が生きるために”安全でおいしい水”を供給する事は必要。島本は町行政と企業の共生により人口増が予測されている。”おいしい水”を維持するために、災害施設整備など費用が必要となるが、安心安全な町維持のため頑張ってください。
● ご担当者様 いつもお世話になります。これからもよろしくお願い致します。
● 水無瀬神宮の水を地域外から沢山の人が取りに来ている。肝心の地域の人は余り利用していないように思う。 料金を取った方が良くないかな？～資源を盗まれている。

● 最近、水道水のもれでよく、緊急処理しているのを見聞します。古い水道管を整備出来れば良いなと思います。 災害の時に、貯水池にある水がどれ程（日数）もつのかも知りたいです。
● ・事業の内容の確認がしやすい方法をお願いしたい。 ・上下水の魅力を記載して欲しい。
● 島本の水は他自治体に誇れる資産の1つだと思います。後生にこの資産をつないでいきたいと思っています。 これからもおいしい水の供給に励んで頂けると幸いです。
● 生きる為の大切な資源です。 有るのがあたり前の様な生活ではなく、毎日が水に対する意識を重要なことだと再確認して生活していかなければ・・・いけないと思います。 太陽・空気・水・この3資源のどれかなくなっても殆どの生物はこの世で生きて行くことは出来ません。 当たり前をどうか感謝の気持ちに切り換えていく様にしましょう。
● 水質の問題だとは思いますが、水道水が乾いた後白く残るのがとても気になります。以前高槻に住んでいた時は、そこまで白く残ることはありませんでしたが、島本の水道水は残りがとても多いと思います。カルシウムやマグネシウムで悪い物質ではないことは分かっていますが、供給の際に少し除去していただけたらいいなと思います。 最後になりますが、いつも安定して水を供給して下さいありがとうございます。 今後ともよろしくお願いします。
● 地下水の利用を継続する。 淀川の水はいらない。
● ・問 25, 26 について 備蓄水の目安量を書いて欲しい。 ・離宮の水について 水質が安定しない地下水を飲用として町として HP 等でアピールする姿勢に、水道事業との矛盾を感じる。食の安全を軽視してはいないか。 ・水道管等の設備について 共用の配水管等の設置時期や交換・補修のタイミングを知らない。水道行政の見通しと、必要経費が分かる様にし、将来の負担にそなえて費用の積み立てなどの方策を示してほしい。 ・町立幼稚園に供給される水道水について 令和元年夏頃、幼稚園の水道水を子どもに飲ませて欲しいと園に依頼したところ、「水道水をそのまま飲ませるなんてできない。衛生面、味の点で。」とのことであった。 町職員の水道事業（安全面）の理解が不足しているので、町民だけでなく町職員にも啓発してほしい。 ・雨水・下水について 近年大雨などのリスクが高まっており、雨水処理の強化が必要と感じます。数年前に水無瀬駅前が水没しましたが、対策は講じられているのでしょうか？また一部地域では下水管が未整備と聞いています。公衆衛生の面から整備が必要かと考えますが、どうお考えでしょうか？
● マンションの3Fに住んでいますが貯水槽の衛生面が気掛かりです。 清掃等はされているのでしょうか？
● 宅地開発による住宅の増加、高層住宅の増加に伴う給・排水管工事費用が上下水道事業の悪化になって来る。 新規開発宅地住宅により一層の負担をしてもらう方法を考え既存の住民に負担が来ない様にしてもらいたい。 大雨による高川の増水及び汚泥水の流入対策をしてもらいたい。

● 将来に渡って安心な水の供給をお願いします。 いつも有難うございます。
● 私が心配しているのはだんだん環境が悪くなってきているので、今の水質が保たれていけるか、ということと、やはり地震災害などの断水、これが気になります。水が出て美味しくのめるといことは非常にありがたいことです。これから水道の方達にもがんばって頂いて、断水等がないようにお願いします。
● 島本・山崎と言えば「水」だと思っていますし周囲からもそう言われます。 急激な宅地開発等で景観だけでなくこういった財産が失われる事の無い施策に期待しています。
● 大阪府内の市町村は、2ヶ月に1回の支払いですが、島本町、他に有るかもわかりませんが、毎月料金は高いと思います。なぜ毎月なのか2ヶ月に1回ではダメなのでしょうか？
● おいしいお水ありがとうございます。
● 老朽化対策について 各方面（地域）では50年以上？過ぎている水道管の劣化が言われているが当町ではどの様に考え対策を行っているか？
● 複数水源を確保した場合、味等の変化はあるのか知りたい（関係者によるレビューでもよいので）
● 百選の町なのだからその水にちかい水を水道水に流してほしい まぜるのはやめてほしい
● いままで断水の経験があまりなく、もしもの対策ができない。心構えなど広報島本で特集してほしいです。
● 安心安全な水の供給と災害時に強い設備を望みます。次代の子供、孫達のために！
● 知り合いとその他で聞いたことですが、我家の水道は（台所を主として勢いがよすぎます）この家に水道管を道路から引くとき管を太くするか普通にすると水道局の方から聞かれ、考えなく出がいの太いのをお願いしましたが 無駄な水量のように家族が減少する度思います。現在細くしたりすると再び太くする時は割高額に町へ支払う必要があるとか 現在と同じでしょうか 水の勢いはどの位減少するか知りたいですが、近所は今新築が多いですが今と同じパターンで水量は決定ですか ずっと前から知りました。災害が発生した時 すぐ飲めるタンクが人口に合わせてあると安心です 町債の支出に特別に使うとき 町民も負担するのは惜しみません 3万余人の人口はそういう時賛成して下さるそうです。
● 集合住宅に住んでいると、水は貯水槽に溜めて使用するのでもっとおいしい水のメリットはありませんので、老朽化対策、災害対策に費用をかけてほしい。
● ①カルキが多い。お湯を沸かすポットが2～3年に1度カルキつまりにより壊れる。 ②他県にくらべ、水道料金が高すぎる。 ③嫁より・・・生まれてからずっと島本町に住んでいるがどんどん水がおいしくなくなっている。 昔、川だった所が家になったりしているからではないだろうか・・・と。 ④浄水場の見学する機会が減っている気がする。もっとイベント的な事を出来ないか。
● 少し高いと思います。
● 現在地下水の割合はどの程度になっているのか、各家庭への飲料水に地下水は入っているのか、そのままでは臭いがあるので、その点が疑問です。
● 安全な水の安定供給（自然災害への対策を含む）を第一に今後も取り組んでいただきたい。
● 7月8月の真夏の時、特に昼間の時の水道水はくさくてのめない なぜか？40年前は真夏の水はとてつめたくて又冬の時期は温水器がいない位温かでした。すべて井戸水で水道水が賄われていた為でしょうか？

● 島本の水はカルキが多く、洗面所等の水まわり水アカ、洗車に使えば車のウォータースポット等が付着しやすいと聞いた事がある。本当であるなら、できれば改善してほしい。 また、水質に他所と違いがあるなら、アトピーなどへの影響もあるのでしょうか？肌にやさしい水質を期待する。
● 29年前に島本町に移り住んできたとき、この町の水は、何と美味しいのだろうと思いました。 ポットがすぐに悪くなる弊害はありましたが。 府営水道が入って以降、水の美味しさに感動することがなくなりました。 安定供給や料金の兼ね合いはあると思いますが、美味しい水の復活を期待しています。
● 今のまま、おいしい水を飲み続けられるように望みます。 そのために水源水質の保全も必要だろうと考えます。 よろしくお願いします。
● 大阪市に住んでいた頃と比較して、水質が違う？のか、水アカが付きやすくなった。
● 美味しいお水の島本町、これからもずっと守っていただきたい。
● 水道料金 高槻と同じく2ヶ月に1度でもいいかと思う。少し高いように感じる。 口座振替にみずほ銀行をしてほしい 不便です。
● 人口が増えていくなかで、美味しいお水を保持して頂きたい。 水道料金もおさえてほしい。
● 以前、地下水のみを使用していた時代の島本の水道水は、他所から来た人が、そのおいしさにびっくりしていました。 人口が増えた今日、府営水道の導入は止むを得なかったとは思いますが、是非今の品質を落とさずに運営して欲しいと思います。
● あて名の字が違う。 25年ぐらいすんでいます、ずう～っとです。 名前を書けないので、これからも修正はできないですが・・・
● 昔に比べると水温が高く、味も落ちています。 水源確保に努めて下さい。
● 今の水道事業には、課題が多いのは事実だと思います。正直、昔より、水はまずくなりました。 長岡京や大山崎町がオール地下水と聞いています。その地域と島本町の差は何でしょう 水まろ として売り出すくらいの水！！水道水にもほこりを持ってほしい。 がんばって下さい。
● 島本町に住んで35年位になりますが最初の時期に比べて水のおいしさが少し劣ってきている気がします。 おいしい水を追求してほしい。
● 送付して頂いた ○○○は死亡の為 ○○○○（妻）に変更願います
● 島本町の強みとして”水”があるので、これからも安心して飲める水の供給をよろしくお願いします。
● 水道料金がとにかく高いことが不満です。 毎月の請求書の表示の仕方がとてもわかりにくい。 ぱっとみて今月は○○ですと（○月○日引きおとし）とわかりやすく書いて欲しい
● 高度浄水処理水（10%混入）は大失態。 サントリーでさえ、今後も、安定できる水源と言っている。 天然水が売りのサントリーは独自で、水源を確保したと言っている。大失敗の町政である。 そもそも水を求めて、引越したようなもの。 高槻より相場が高いのに、町民に対する、うらざりと思う。

● 水道事業はその公益性を見ると政府が推進する民営化に全くそぐわない事業であると考えます。世界に於ける民営化の失敗を鑑み、水道事業は町が責任を持って維持管理を行っていただきたいと思ひます。 島本町への転入を決めた経緯のひとつに水があります。 府の圧力もあり 10%の淀川の水の混入を強いられましたができれば島本町は 100%地下水でお願いしたい。
● 水道料が他の市に比べ高い なぜか
● 淀川水系の汚染があった場合、これをお考え頂きたい。 原発事故、鳥の大量死、琵琶湖への水源テロ、最早起こり得る想定が必要となった。 然るして、島本町の水道の水源は地下。 この幸いをよくよく利する有奉行政をお考え頂くと、淀川水系の恒常的なブレンドより、有事の際は「絶つ」という選択肢を持つべきと考える。 それにより、町民の安全安心なる水の確保、ならびに、幾ばくかの他自治体の水の供給が出来ることと考えます。 従来がブレンドであったから、この先もブレンドで通すというような思考は改めて頂きとう思う次第。 よろしくご高密頂けますよう、お願いいたします。
● 以前の地下水による給水は、本当においしい水と思っていました。 現在混合水となっていますが、特にまずいと感じたことはなく、水道水をそのまま飲むこともあるほど信賴しています。 町民からの期待を裏切ることなく今後もずっと安心で安全な水道水の給水をお願いします。
● 美味しいと PR する事を大事にして欲しい。 水が島本町の一番の PR ポイントと思います。
● 島本町のおいしい水でありつづけて下さい。
● 集合住宅ですので管理については直接関りはないかもしれませんが。いくら安全で良質な水を供給して頂いても、マンションの受水槽が汚れていれば、全く意味がありません。水道局が集合住宅の受水槽の管理についてどこまで把握しているのでしょうか。定期的な清掃は当然ですが、品質や安全性について、指導をしたり、管理を促したりすることは、可能なのでしょうか。次に、高槻市との合併の度に言われている、水の管理について、今後、どのようなスタンスで進めていくのでしょうか。
● きれいなのみ水をトイレに流しているのは残念 蛇口に白いものがつくが仕方がないのか これがないのが最もおいしい水といえる 水洗トイレになってから水量がどの位増したのか知りたいです
● 問 18-5 についてですが、 引越して来た時、ガラスコップに白い水滴がついて取れないことがよくわからなくて水道局に出向いた際に言われました。 白い水滴がカルシウム量が多いというのは理解しましたが、若山台は日本の名水 100 選に選ばれている水源とは別のところから来ていると。そのようなことを言われて、毎月請求が来るのは納得が行きません。カルキ臭さは感じたことはありませんが、不満です。 住んでいる所で水質が違えば高いお金払っている分に見合う何か欲しいです。 以前、大阪市内におりましたので、そちらに比べたら断然おいしいとは思いますが。
● 他の自治体にくらべ水道料金は高いと思うが 久しぶりに帰った子供達は” やっぱりこの水道水は<u>つめたくておいしい</u>” と飲む。大変ほこらしく思っている。

● 水道工事が非常に多いと思う。又、水道工事業者との（ゆちゃく）が有るのではないかと？今まで78年以上町にいらして、色々な町会議員や町の有力者など多くを知っている、が水道関係ほど甘い事をやっていると思うと町民税を納める時に少々考えます。 このアンケートが本当に意味有るのか考えます。このアンケートを生かして下さい！！ 今まで夫婦2人で毎月1万以上払って来たが約20年ここ半年ぐらいは毎月1万以下になりましたがなにか原因があるのか考えさせられる！！ 半年前は、町の水道料金が高槻市、茨木市に比べて高い。他の市民の友達から、それは2ヶ月分と違うのかと言われる事が有り私も水道料金は高いと思う。 水道工事が多い事が高くなっている原因か？
● ◦地下水を水源に使っていることは、島本町の特徴であるので維持してもらいたい。 そのために料金が上がることはしかたがないと考える。 ◦経済的なことで町の特徴がなくならないようにしてもらいたい。
● ◦私の記憶では、地下水100%ではなく、1割ほど淀川の水が混じっていると聞いています。 今も、それが本当なら、1%混ぜるのも10%も同じだと思うので、混ぜること自体反対です。 ◦今の経営体制が町のみなのか、広域なのかかわかっていませんが住民サービスが後退しない形で効率的な経営のために市町村の枠組にとらわれず柔軟に考えてほしいです。 ◦アンケートの回収をどれくらい希望されているのか分かりませんが、何のインセンティブもなければ、アンケート回収などできないと思います。 税金を使うから難しいとは思いますが、何かのプレゼントをぶら下げないとアンケートは返ってこないでしょう。
● 1. 水道（上水）事業と下水道（汚水・雑排水、雨水排水）事業を分別して、事業採算がどのようになっているのかを、「広報しまもと」で、分かりやすく説明して下さい。 2. そのためには、複式簿記を導入して、損益計算書と貸借対照表を作成しなければなりません。それほど難しいことではないとおもわれますが、如何でしょうか？毎年、「広報しまもと」11月号に掲載の「決算概要」では、収入額、支出額、差引額が表示されているだけで、事業の実態がどうなっているのかは、何も分かりません。 3. そもそも、「水道事業会計の決算の状況」とある一方、「公共下水道事業特別会計」の歳入、歳出、差引額、が表示されています。平成30年度の両者（水道事業会計と公共下水道事業特別会計）の収支は、黒字で何の問題も無いように見られますが、果たしてどうなのでしょう？ 4. 島本町は、天王山山系や若山の保安林等、水資源に恵まれた町であると認識しています。しかし、現状は、竹藪の放置による竹の暴走を許し、森林は荒れるに任せた状態となっています。防災上も極めて問題です。平成31年3月号の「広報しまもと」特集“森林を守る”に指摘されています。これを食い止めるために、同誌で紹介されている四つのボランティア団体の活動に頼るだけでは、とても不可能ではないでしょうか？ 5. 浄水工程に「炭」が使われると聞いていますが、暴走する竹林を伐採して「竹炭」を作り、その竹炭を浄水工程に利用すれば、一石二鳥とならないでしょうか？本格的な「竹炭」でなくてもよければ、ファミリー農園で、竹を燃やして「燠」（おき）を作ることは可能です。この竹の「燠」で間に合うのであれば、ファミリー農園を借りて野菜作りをする人たちに呼びかければ、かなりの量を確保できることでしょう。（以上） ※令和元年6月15日近所でボヤ、消防車出動、防火水槽から放水準備されるも、放水せずに済みましたが水道水赤く濁りました。浴槽にお湯を張ってわかりました。翌日6月16日消防署（管理課）にtel確認したところ、放水準備するだけで水が濁ることがある、との説明でした。3日間飲料煮炊きには、非常用のペットボトル飲料水を使用しました。
● 今後も水道料金と水質は経営の効率化でこのままつづけてほしい。
● 島本町の水は良いと云われて来ましたが今後どのように保っていくか。 最近、マンションがふえて来ましたが安定して安全な供給に力を入れて下さい。

● 高槻神内は水洗になっていますがなぜ桜井5丁目は水洗にできないのですか。 25年ひっこしてきてたちますが今に水洗になると聞きましたがどう島本町は考えておられますか。
● 水源、水質、安全性、料金設定やなぜ名水100選に選ばれているのか？等、広報しまもとに詳しく掲載してほしい。
● いつも本当に有難うございます。 この感謝の気持ちを忘れてしまう程、日々安心して利用させていただいておりますことにお礼申し上げます。 先日、出生地の和歌山で水道管老朽化対策について話題となりましたが、本町も同様の問題があると思います。 種々大変な事業と存じますが、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。
● 問24でわからないとしたが、必要となる整備の具体性、それに対する費用の妥当性が一町民として見えてこないの、整備をおさえろとも言えないし、料金を上げるなどとも言えない。 水質は長年使っているとカルキ？らしいかたまりができてくるので安心とは言にくい。以前住んでいた所では同じくらいの期間でもこんなかたまりは見たことがなかったのでやはり違和感を感じる。
● 島本町は水が美味しく、安全・安心だと信用して日々使わせていただいています。 引き続きよろしくお願いします。
● 今の状態を維持してほしい。 おいしい水の島本町を守って下さい。
● 水道から直接飲めているのは、とても素晴らしいと思っています。 この品質を、いつまでも保って頂きたいと思っています。
● 水道管が40年以上経過しているため、水質や災害時などの不安が強くなります。
● 下水道の整備は？
● 水道管の布設替等にて、アスファルト舗装を復旧する際の施工が悪い。 車、自転車の通行において、不快感や危険を感じる。施工管理品質管理の徹底を強く要望する。
● 昭和45年に大阪市内より島本町に越して来た時は、それは冬はあたたかく夏はまるで氷水のように冷たくものすごくおいしかったです。人口が増えた為か一番水に変化があり少しショックです！！
● 問24について整備費に関して、水道使用料は維持管理に算出されているものと理解しているが？施設整備については、使用水量とは別途に復興税のような形式、個別単位の均等料金とするのも一つの方策ではないかと思料しますが？
● 下水道の整備（現在、浄化槽なので）を望みます。
● マンションが出来すぎて私たちが来た時は、夏が冷たく冬があたたかくともうれしかったです。 今は、家がようけたって人がすみやすいのやけど……。私達もあと少しの年やし……。昔の水がこいしいです。手がつかれてもう書けません。
● 料金、水道水の安定供給が気になります。
● 島本町はお水が有名です。これからも町民が自慢できる安全でおいしいお水の提供をお願いします。 水道施設に必要な経費は、町民の水道代でまかなうのではなく町税を使うべきだと思います。
● 以前府の水道が何%か導入された時、水道の味の低下がわかりました。 パーセントにすれば少しかもわかりませんが味がかわったとわかるくらいだから、それ迄の島本の水100%はすばらしかったと思います。 京都市の水道水を毎日職場でつかっていますが、お茶が大変まずく思います。 今の水道水が維持されることを望みます。 以上

● 地下水の量を増加してほしい
● 特にナシ、ガンバツテ下サイ。
● 今後も、安全でおいしい水の供給に努めてほしい
● 入居した際に水が使えており、（前の契約？）入居後数日して突然水が止まりました。17 時を過ぎており、連絡先がわからず苦勞しました。緊急連絡先が HP にあるとありがたいです。結果的に夜間に開栓頂き大変助かりました。 水道水はおいしいです。これからも安定した供給をよろしくお願いします。いつもありがとうございます。
● 上水道関連については大枠理解できたが下水道についてはアンケートにも記載されていない。 下水道の使用料についての適正の判断が出来ない。 上水道と同様維持管理も当然必要であり合わせて情報公開等して欲しい。さらなるコスト低減に努めて欲しい。
● 島本町の水の良さをもっと PR して行ってほしいと思います
● 水道管の質について懸念しています。鉛管とかビニール（PVC）管とかは、その中を水が通っている間にその毒性が水に吸収されるので安全な管（例えばステンレス）に変えてほしい。水の安全性が第一です。水量に限りがあるのであればトイレ用は使用水を別の管での送水できればと思います。初期投資はかかるでしょうが
● 島本町のお水はおいしいと評判ですが、水自体はおいしくても配管が古くなると、その影響はどのようなかなと思います。 管の整備状況は気になるところです。 浄水器を使用せず飲める安心のお水がベストですが・・・ 引越して間がないので、よくわからないのが実情です。
● 昔は、水が夏は冷たく冬は温かったけど最近はまったくない。 これから、マンションの建設や人口の増加をふせぎ地下水で淀川の水をあまり入れない様にしてほしい。
● 水道料金高い
● ・老朽化がわかる配管図を作成し、公表してほしい。 ・配管の交換時、耐久性の高いもの、若しくは錆びにくいものにしてほしい。
● メータ検針票の名前の字がまちがっていた。 しっかり確認して下さい。
● 36 年前に大阪市から転入したが、その時に比し、水道水の味が不味くなっていると思います。
● （水道事業部）長期入院で留守の時何回か来て下さったらしく帰って 2,3 日で調度尋ねて下さった時の対応がとてもやさしい言葉を受け有難く感じました。 水道部に関係のない部署ですが役場の窓口はとても感じの悪い部署があります。TEL するのが困る時があります。 昨年 10 月に急に水道が一滴も出ない事がありました そう言った事のないようお願いします。
● 『安全で安心である』と信じて、日々水を使用している状況です。災害対策等、目に見える形で島本町民に（安全で安心な）水を提供して頂けるよう、よろしくお願いいたします。
● マンションや住宅が増えてきていますが、供給量は、足りているのか心配です。
● 災害などが起きた時にすばやく水道が出るように今のうちから準備しておいてほしい。 水道料金も、もっと安くしてほしいです。
● 各家庭に安心安全な水が供給されている事は大変有り難い事だと思います。 今の水道水がまずくならない様にしていってもらえたら良いと思います。

● 上水道も大切だが、下水道の整備を忘れていませんか？今日まで放置した下水道事業の早期着工を願いたい。
● 水道水の安全と確実な給水のため努力してもらいたい。
● 1. 問題の多い民営化に絶対すべきでない。 2. 大阪府の水道設備は日本国内で最老朽化していると報道されていますが、島本町は如何に？ 3. 水道事業の PR、啓蒙を続けられたい。
● 水道をひねると水が出るのは当たり前と以前の私は思っていました。阪神大震災の時に短期間でしたが泊り込みでボランティアに行った時のことです。一番困ったのが水のないことでした。どこかの温泉地からお湯をタンクローリーで運んでいただき、先ず赤ちゃんのお風呂をして次年配者、その使った後のお湯を水の入りそうなバケツ以外の物に満杯に入れボランティアの人々が同じ水で顔や手を洗い、その水をトイレに持って行って何回かに分けて流していました。ティッシュがあるのでなかなか流れず水分を取るのも控えるようになってきました。朝かちかちの食パン 1 枚 昼と夜おにぎり 1 個だけの食事でした。食べるものはともかくトイレに流す水がなかったのが一番辛かったです。何日かたって近所の井戸に水が出だしたとの情報が入り男女多数でバケツリレーで水をもらった思い出があります。ですから水の有難さは身にしみついています。高齢となり力もなくなってきましたが出来るだけ風呂の水はトイレに流したり、色々考えて水を大切にに使わせていただいております。ありがとうございます。
● 地下水 100%にしてほしい
● いつもお世話になっています 人間生きてゆくのに一番大切な水ですので関心は持って居ります。水源の淀川三川に支流の水無瀬川に草ぼうぼうで水が流れていないと大丈夫かと通るたびに心配しています。朝顔を洗うとつるつるして、良い水だと安心して居ります。皆様のお世話のおかげです。
● 水道水の安全、安定に最善の努力をし、経営していただくよう、責任を持って行動、言動して下さい。
● 特になし アンケートの内容で十分です
● 特にありませんが、淀川の水をこれ以上まぜないでほしい。
● 島本町は二つのゴルフ場があり、水源を汚染していると思う。 除草剤・着色剤を使用しているのではないか。 水無瀬川はいつもにごり、すっきりとすんだことは少ない。 又柳谷方面、大沢方面、釈迦岳の下等、山が荒れており、京都府や高槻市に比べ、整備が劣る。廃棄物も多い。 道路状況も隣接の高槻や、京都府に比べ整備が悪い。 一昨年台風後の処理も遅れており、火災発生まで手がつけられていない。 ポンポン山や天王山に何度も行くが、山地の道路も荒れている。 このままでは、他の自治体より、ますます遅れるのではないか。 竹藪の荒れているのは、何とかありませんか、竹害です。 島本町単独の処理を止め大阪府の水道を入れるべきである。
● 水は、なくてはならないものなので、本当の意味で安全安心安定供給、老朽化対策、子供でもわかる内容であれば 色々な対策における水道料金の対応も考慮できればと思います。
● 樹木の根が廻って、水道管を〇〇していたので----思った。----思っている。早期の対策を----。
● これからも安全な水をよろしくお願いします。

● 1. 飲料水は以前のように地下水 100%は不可能なことです。当時の水は「おいしかった」です。また現在は地下水の割合は 80%～90%位と聞いたことがあるがこの割合は地下水の量によると思いますが今後の見通は？ 2. 問 17 の水道料金について参考資料として「府内の水道料金」が記載してあるが間違いないか以前は島本町の水道料金は府内で一番高いと認識していたが 3. 問 24 の「水道施設の整備」を進めているとあるが具体的にどんな内容で、経費、いつまでに等知りたい。
● 居住当初に比べ水道水が非常に水質が悪くなっている 薬品臭い 当初は確か地下水の汲み上げだった記憶が有る 他の自治体の水道水に比べ味（水質）が極めて悪い様に思う 改善熱望する 浄水器を使用しなくてもその儘飲める水が懐かしい。
● 日頃から「当たり前」のように水道を使っている（使えている）ということが「日々の努力の証」でありすごいことだと思います。
● いつも安全安心な水道供給にご尽力いただきありがとうございます。 アンケートにお答えする中で、ふと思ったことがありますのでお知らせします。 私は島本で生まれ育ちましたが幼少期に飲んで（使って）いた時と現在とでは かなり味（質？）が変わったように感じています。 30 年以上前と現在では水源の水質や浄化技術も変化しているでしょうし、私自身の味覚も知らず知らずのうちに変わっているかもしれません。 ある時小さい頃はよく水道の水をそのまま飲んでいたのに、最近はほぼミネラルウォーターしか飲まなくなりました。おそらく味や臭いに違和感があって、知らず知らずのうちに飲まなくなってしまったようです。 ただ、せっかくの良質な水道も集合住宅に住んでいる以上、貯水槽を通過した水しか飲めませんので、その貯水槽に問題があると、台無しになってしまいます。 もちろん、末端の水道設備は、水道部の管轄外なので、どうしようもないのですが、個々人の生活（住宅）環境によって、アンケートの回答も変わってくるような気がしました。 あまり建設的ではない内容を長々と書いてしまいました 今後よろしくお願いします。
● 塩素の投入量が多いのではないかと考えています。 規定量の上限にあるのではないかと。 高槻の病院で看護師さんから胆石ですかと聞かれて何故ですかと聞くと島本町の方は胆石の患者が多いからと！ 私は塩素の投入量と結石が因果関係がある様に思っています。 塩素投入量を他市町村と比較検討して下さい。
● ①地下水 100%にしてほしい ②府営水の導入には反対です
● 水がでるのが当たり前と思っています。災害で 1 番困るのが”水” フロ水の利用に心掛けて”水”に対する認識を改めようと思いました。
● 府、広域的水道整備計画等の告知を広めて、人口減、老朽化、等の問題を明らかにして、健全な運営がされるよう願います。
● 良く水無瀬神宮にお参りに行くのですが、其の都度思う事は 大きなペットボトルに 3～4 個位汲んで持って帰られる人を見かけるのですが、お金を出してる様子もなくタダでお持ち帰り出来るのですか？ 水は生活にはなくてはならない資源なのに驚きましたし無駄なことをしてるな-と思います。 水の量に対して支払って、頂いたら良いと思います。 余りにも当り前の様な態度に驚きました！

● 水道料金は単純に水代だけではなく、老朽化した水道管の取り替え費用も入っていると聞いたことがあります。ですから使わない人が増えると水道管の取り替えが難しくなったりするでしょうし、安定供給のためならば、多少の値上げは仕方のないことかと思います。
● 島本町は地下水が豊かと聞きます 地下水を 100%使ってほしい。
● 島本町には離宮の水という美味しい水があります。 水道水には 10%の淀川の水が混ざっていると伺った事がありますが、100%島本町の水での供給は難しいですか？淀川の水を混ぜた為に美味しくなくなるのは残念です。
● 特にございません。いつもありがとうございます。
● 浄水器等設置する余裕がないので 今以上に水質が悪くならない様にお願いします。
● 数十年前までは地下水 100%だったものが現在は 70%まで減ったと聞いている。この 30%減の時に当時子供がアトピーがひどくなったことがある。またおいしさも感じなくなった。府営水道を入れることで水の確保がしっかりしたことは評価するが 一方で水質の悪化で健康に影響が出ることは承知した上で事業を進めていただければと思う。あと水道管の老朽化対策について情報を流していただければ。もしかしたら当方が見おとしているのかもしれませんが。
● 島本の水道水は他市町と比べ大変美味しくとても満足しています。 水道料金が、もう少し下がってくれば、嬉しいですよ。
● 名水百選に入っている島本の水をもっと PR できるようにすべき。 みづまろくんの活用も、もっといろんなかたちでできるのでは。
● 現在、町民人数の増加傾向にあります、水量不足が生じて水質が悪化しないように強く望みます。 アンケートにある、複数水源の確保も必要になってくるのでしょうか。
● この先未来のためにも、現在の様に蛇口から、おいしい水が飲めれば良いと思います。（私の願い）
● 今後町人口の増加が見込まれるが、現在の地下水 90%の比率が低下する事も視野に入っているのか？できるだけ現状維持が希望。
● 淀川の水を混ぜるようになったのならもっと料金を下げてほしい。 子どもの頃は浄水器なしでも美味しく飲んで島本の水は高くても自慢でしたが。 結婚して戻ってきてまずさがっかりしました。
● 地球温暖化、自然災害など、突発に起る災害に対して生活に密着している水道は切り離せないものです。 町民に寄りそった、水道事業ビジョン策定を願います。 水道管の老朽化、耐震化 etc
● 4 年前に広瀬にこして新築戸建に住んでいますが、先日水道清掃を業者をお願いしたら、水道管が古すぎるからニオイが上がってくるかもって言われました。 自分の家の周りをキレイにしても共同の水道管が古いと意味ないなと思いました。水道管をキレイにして欲しいです。
● 私は水道事業には詳しくありませんので、仕組みはよくわかりませんが昨年長岡京市より引越して参りまして、水道水を直接飲んだ際に味が違うと感じております。 住んでおりますのが大規模マンションですので、マンションの都合かも分かりませんが、島本町は水がキレイなイメージがありますのでよりおいしい水が飲めると嬉しいなと思います。
● もっと町民の水道施設等への見学を多く実施して公民ともに刺激される又する体制が必要と思う。
● ・今後も水質保全に尽力ください

● マンションや戸建てが増え、人口は増加していると思います。 その分、水道利用料が増えたとは思いますが、設備の保守の重要さ、量も増加しているかと。 節水により、水の利用量が減ることの方が、水道事業にとってプラスなのか。 利用料が増えることの方が水道事業にとってプラスなのか、分かりません。（地下水のため（資源のため）と事業のための天秤が・・・） 人口減少の地域では節水により量が減り、結果として、水道利用料金を上げているところもあると。 水道管の保守、運営の点からも、今後の方針は知りたいです。（地下資源の将来性も）
● 淀川の水ではなく島本の水（地下水等）の供給を続けて欲しい。 維新のいうように広域水道企業団に入ることなく、島本町は島本町独自の力でおいしい安全な水の供給を続けて欲しい。水道民営化には反対の立場なので、経費削減等に努めて、水で外国に支配されることがないようにして欲しい。
● ・情報開示 特に財政関係の情報を町民にわかりやすく公開すること。私に誤解があると願いたいですが、起債残高が、町予算の5倍程度あることは、具体的な対策、それともかなり思いきったものでないと返済できない。元金と利息を分けての開示も重要でしょう。 ・上水道事業 老朽化水道管の耐震化を兼ねた更新を進めて、次の更新時期が平準化することを望みます。名水のまちを意識づけるしかけを望みます。意匠でペットボトルぐらいの大きさのびんにしか給水できない給水器を観光や商業色が濃い場所に設置（公園ではない）して熱中症対策にも資するようなものであればなおよいです。 ・下水道事業 下水管の敷設に費用がかかりすぎ、利払いがふくらんでいます。総延長を短くし、一部陸上輸送や合併浄化槽の活用により、汚水量を遊水池の活用や、市街化調整区域の策定透水性舗装によって雨水管への流入を減らし、地下水の涵養を促進するなど、名水を育てるような都市計画と一体化した方向性を望んでいます。最近の建設ラッシュにはこの視点がないと感じます。
● 島本町は、三川合流と、地下水に恵まれており、地下水の管理を充分に行って、これ以上府水の割合を増やさないでほしい。 現在は府水は、10%程度と聞いています。よろしく。
● 水道事業について、特に接する機会なく、特に不満は生じていません。幸いにして断水という事態の経験もないので、不自由なく、水道の恩恵を受けられるのはありがたいことと思っています。感謝申し上げます。 ただ、こちらに越してきた頃の<u>ホントに</u>おいしい水がもう一度飲みたい思いは強くあります。地下水90%ということでもずいというレベルでは勿論ないけれど「まずくない」のレベルかなという感想です。少しでも他の水が混ざれば組成は変わるのですから。しかし地下水に限りもあるだろうから、飲料以外に地下水を使うのは贅沢な話で、現行は仕方ないと思っています。 島本の地下水100%のおいしい水を、高くても供給できる別のシステムができると良いのに、と思いますがムリですね。 水道局の皆様お仕事ご苦労さまに存じます。 おいしい水、安全な水の供給の為に、今後ともよろしくお願い致します。 大阪府の”おいしい水百選”のおいしい水の恩恵を、住民が受けるのは、水無瀬神宮の水以外には何ヶ所かあるのでしょうか？
● 町の水道水をポットに入れるとカルキが付着する。 何か方法は

● 近年全国各地で発生している地震、風水害等による水道施設への被害や水道管の老朽化により給水が滞ることなどに対し、整備、対策について十分な計画性を持ち確実に実行、対応していただくとともに、これらの情報を公開していただきたい。 これによる水道料金の上昇はしかたがないと考えます。 「蛇口を捻ればいつでも安全でおいしい水が出る」ことを当たり前のように思っている私たちも今一度思いを新たにし、ライフラインの一つである水道施設の「これから」について、熟慮していかなければならないと考えます。
● 4. 水道料金について の問いかけ（問 17）に関してですが、水道料金と下水道使用料金の合計額が、町の上下水道部業務課の検針票（「ご使用水量等のお知らせ」）に表示されており、この合計額を私は 1 ヶ月ごとの水道料金として、記録しておりました。2002 年（平成 16 年）からの 1 ヶ月ごとの光熱費（ガス代・電気代・水道の使用料金）を、日記帳を兼ねている手帳に作って残していたのです。水道の使用料金には、下水道使用料金も合算した「請求予定額」を記しておりました。 上水道・下水道とも使用水の管理に合わせて、施設の管理、下水道の施設や河川への放流等の管理なども毎日の十分な業務が必要なのでしょう。ご苦労様です。
● ”水がきれいな町、島本”。この他にはない特徴をもっとアピール頂ければと思います。 その為には町民一人一人の意識を上げていくイベントや取り組みを増やしていくべきだと思います。”水”といえは”島本町”とすぐ出るくらいのブランド力を官民、企業一体となっていく取り組みを作って頂ければです。 島本町に住む恩恵を”水”というキーワードでイベントや勉強会などのコミュニケーションの場を通じて、感じさせられていくと自然と”水”に対する意識も高まり、大切に考えると思います。”水”は生命と直結する大切なものです。守って次の世代に残していかなければなりません。直近は水道事業を民間に委託する自治体も増えてきていますが、命とダイレクトに関わっている水を、水道事業を安心、安全な水を町民全員で見守っていかなければならないと思います。
● ・近年、大型マンションが急速に増えています。又、町としては企業誘致を進めて行く方向のようですが、水道事業とのすり合わせが充分なされているか心配です。・水（排水）の再利用はうまく出来ているか・水源の保全活動は行われているか知りたいところです
● 災害が多発している最近に、特に要望したい事は、水道水の安定した供給を！望む。 そのためにも、あらゆる対策を講じてほしい。 「島本の水はおいしいよ」といつまでも、自慢できるように皆さんの努力をよろしく。お願いします。
● おいしくて安全な水を確保して下さい 浄水器が必要のない水を確保して下さい 命に必要な水なので税金を投入しても安価で安全に供給すべきです
● 経営の効率化をはかり、災害に強い施設整備、水道管の老朽化対策、低料金で安心でおいしい水道水の供給をお願いします。
● 一定の家だけが水道料金の割引があるようですが、平等にしてほしいです
● 島本町に移住した頃は、水道水は地下水 100%でしたが、複数水源となり、味が低下したと思う。よりおいしい水道水の確保を。 配管の整備で、老朽化した管の交換で経費がかかると思われるが、整備計画を策定される前提でアンケート調査を実施されていると思われるので、早急に策定されることを望みます。
● 毎年全国各地で起っている地震や災害 この町も例外ではありません。 生きていくのに水はほんとうに大切です。 安心・安全・安定した水道事業をお願いしたいです。

● 今回のアンケートが、整備に必要な経費を徴収するために行ったとしか思えず、大変不快です。整備に必要な経費は、月々各家庭から徴収している水道料金の中から積み立てるべきものであり、それができていないということは、努力不足を自ら認めていることになります。積み立てるべき部分まで、自分たちの給料にしてしまったとしか思えません。必要ならば水道料金に上乗せして・・・という考え方をするのであれば、何が必要で、何が必要でないか、という判断は事業部は下すべきではなく、別の機関に委ねるべきです。往々にして、組織というのは自らに甘くなるものです。このようなアンケートを実施して、回答を誘導するような質問をしている時点で、不信感が高まりました。誘導質問によるアンケートの利用について反対します。
● 他府県から引越してきて島本町の水はおいしいと聞いていましたが、本当にそうだと感じています。一年を通して浄水器のいらない水道水は初めてです。いろいろ意見はあると思いますが、これからも安全でおいしいお水が水道水から飲めるよう頑張ってください！いつもありがとうございます！
● 『大阪市が提案している民営化には反対してほしい』
● 水は命です。 安全な水を今後共お願いします。 人口は減る一方です。 量より質の確保をお願いします。
● ①上下水道の配管の具合を調査して欲しい。
● 水質と水道料金が安全で少しでも、安く提供できれば、うれしいです。地震など災害の時、いち早く、復旧してほしいです。 また、緊急時のお水の確保など、すばやく対応出来るようにしてほしいです。
● クレジットカードで水道料金を支払えるようにしてほしい。 不可能であれば口座引き落としできる銀行を多くしてほしい。
● 私の妻が30年以上前より島本町で暮らしていますが、当時と比べ水がおいしくなくなったと残念がっています。当時のおいしい水が戻ることを願っています。 淀川の水を今以上に割合を増やさないで欲しいです。
● 昔から島本町は水がおいしい町として名をはせています。私も島本に住むきっかけは水がおいしく環境が良いということが条件に入っていました。 これからも、もっと水質の良い水を提供していただいて全国に名前を知ってもらえるような島本町にしてみたいと願っています。
● 「ふりかな」より大切な事があるのでは？ ふりかなが必要な人はそもそも、今回の文章の意味が理解できないのでは？ 水道の理想像の明示／理想像の具体化・・・ まったく意味不明。
● 4年前に引っ越して来た時と今では、水の味が変わったと感じています。おいしい水に戻ればいいなと思っています。改善をお願いします。
● 島本の水、というか”離宮の水”、他市から来てどんどん持っていくのを見ると、地下資源も立派な島本の財産だと思うのでちょっと複雑な気持ちになる。 ただ、あの水が宗教的な意味があって すぎる気持ちで持っていくなら、もっと社務所の横とかで、コイン式（を渡して）にするとか・・・ なんかポリタンクにじゃんじゃん持っていく人を見ると水どろぼうに思えて気分が悪い。 そのあたりも考えてほしいと思います。

● ①2、3年前であるが、自宅の近辺の道路に水道水があふれ出し、通行止めにして水道部の人達が復旧に携われていたのを思い出しました。 外面上では水道管が古くなって漏水、又は管の破損していることはわかりませんが、水道部の担当部署は把握されておられますね。 何分にも水道は生活には欠かせない必需のものでありますので、水道管の老朽化対策、耐震化の課題に万全を期して頂きたい。 ②昔、当町の水道料金は日本一高い、その分美味であると認識していましたが、今回のアンケート調査で、私が誤って認識していました。認識を改めます。 尚一層の安全なる水道供給をお願いします。
● いつも安心して飲める水道を供給していただきありがとうございます。 水道施設の設備等で特別、一時的にかかるコストがあれば、通常の水道料金とは別の費目として、料金明細に分けて記載されるようにしてもらえるとよいかもしれません。 これからも日々の運用、大変でしょうが宜しくお願いいたします。
● 他市町の人に、島本の水を飲んでもらいますと、皆さんに美味しいと云ってもらえます。時々味がアレっと思う日がありますが、消毒の為と思っています。でも以前より味はまずくなっているように思います。
● 飲水はカルキ抜きしてのんでいます。 以前臭いがある時、近所からへんな味すると聞かれた事があった。 どこに電話したらいいのか？近くに水道工事で、起きたと聞いた。
● 今のままで良い 何時までもの安定供給が第一と思います。
● 高層住宅が急速に増え、人口も増加していると思います。 水道の使用量も急に増えている事から、安定的に今までの水質を保って供給していただけるのかな、と漠然と思っています。 対応よろしくお願いします。
● 現在ははっきりとわからないが、向日市から26年前に引越して来て、料金が2倍位だったので驚いた。 少し安くなった感はあるがまだ他地区より高い気がする。 他の大阪府自治体の料金は知らない。 隣の京都府と比較してはどうなのか？
● 災害対策が重要課題だと思います。一番不安です。 味も料金も不満はないのでその点は現状維持の努力をお願いします。
● いつも安心安全でおいし水を供給して頂きありがとうございます。 島本町は水が有名な町ですので、値段は高くなってもかまいませんので、より良い水道水をこれからも供給して頂ければ幸いです。
● ・コストを無視した投資は利用者無視。 ・元々、他の地域より高額 質の良い水を提供できなければ意味がない。
● 府営水道などをいれない昔の水道水にもどしてほしい。その場合料金は高くてもよい。
● 水道料金を安くして下さい。 質問4の（参考）のデータは本当なんですか 信じられません
● 昔の水道水は冷たくておいしかった。

● 今回のアンケートを通じて町民から様々な意見や要望が出てくるかと思いますが、島本町は誰もが住み良い街だと感じられるような事業の展開、充実を目指してください。
● 今後も安全でおいしい水の供給に取り組んで頂きたい。
● 都市部から転入して、この町の規模でおいしい地下水を保全し、かつ黒字経営をしていると知って感嘆した。この町の環境は素晴らしく、中でも水が一番気に入って、終の棲家になっている。島本町の誇る地下水について、その維持や保全についてのアンケート項目がないことに違和感を感じた。このまま地下水の確保を続けておいしい水を供給し続けてほしい。昔は地下水が100%だったとか？飲んでみたいと思う。都市部はどこに行っても町の様相は同じで水にも感動がない。この町の良さ＝地下水を続けてほしい。今後の皆様のご活躍を期待しています。
● 安全で美味しい水の供給ありがとうございます。 特に意見はありません。現状を続けて下さい。 ただ、大阪府知事が考えている民営化はしないで下さい。 世界でも、民営では維持できないので、公営にもどしています。 島本は、現状の態勢で維持して下さい。
● 水道事業の策定にあたって、南海トラフ地震での震度5以上の想定で起こりうる被害を、ビジョン策定の一案に入れていただきたいと思います。
● 問19について 企業の町に対する貢献度を考慮し柔軟な料金体制があっても良いのでは。
● 長く島本町に住んでいますが特に不満や不安はありません。 安全第一でこれからも宜しくお願いします。
● 水道代をクレジットカード引き落としできるようにしてほしいです！
● 水源が確保できるなら、地下水のみの使用にしてほしい。
● 水はライフライン。 他事業、部署のムダやしょうもない部分を省き優先すべきである。
● いろんな地区で問題になっている水道管（地下）の老朽化が心配です。 水源や元が良い水でも水道管で悪くなるのでは・・・漏水も心配。 これからも安全でおいしい島本の水の供給をよろしくお願い致します。
● 「老朽化対策」「美味しい水道水」よろしくお願いします。
● 以前、水道管の老朽化でサビが混じり 給湯器にまでサビが入ってしまいメンテナンスしないと いけなくなり使えず、料金もかかり困った。サビが混入するのはそれが1回目ではなく何回もあ ってそのつど早く工事をお願いしたいのになかなかで 予算の問題などあるんでしょうが、こち らも負担になるのももう少し考えていただきたかった。 今は工事をしてもらったのでサビが混入する事もないので問題ありません。
● 以前、高槻市に住んでいましたが、島本町の水道料金の高さにびっくりしました。
● いつもお世話になっております ありがとうございます
● 大型マンションの建設により、住民も増える事により、水道の使用も多くなりますが、安心安全 でおいしい水が水道栓をひねると飲める様これから未来にかけて考えて行ってほしいものです。

● 町の道路、施設など様々なところで、老朽化への手だてが必要となるなかで、日々町の暮らしを支えてくれている水への意識は高い一方で、その仕組み、技術などへの認識は中途半端な一町民であることを発見し、もっとより知っていきたいと思いました。その点では浄水場の見学企画はとてありがたい企画と思っています。 また府営水道が導入される前から町に住み育ってきたものとしては、わずかとはいえ導入されてからの水の味が明らかに変化したことを思うと、この町独自の地下水の恵みを持続的に水道事業として守り育てていくことを強く要望します。その点では、今回 50 年 100 年後を見通すためのビジョンの項目に、「地下水」の一言もみあたらないことに、不自然さとあえての意図を感じ、そこは真っ向から町民と共に考えて頂きたいと思います。 时期的には、府知事が府域水道の統合や、おそらくその後の民営化を目して積極的ではありますが、水というものは、人の命を支える上で根幹となるもの。営利の対象となったり人を選別したり、保守技術を外部化してしまい いざという時何もできないでは、一番の危機に直面するもの。日頃の町水道事業に感謝すると共に、この町の技術と地下水を未来につなげていくことを希望します。（森の活動などの横断的な関心もつながります）
● 水道事業と考えるには、利益を求める手段ではないものではないと考えます。社会の授業の折に教師が「電気・ガス・水道」「一番大切な命につながるのは水」「最後に止められるのは水だ、水が止まると死になる」と力説している位必須のものだと感じています。特に島本町では、私達も水への意識が高く、自治体や運営主体の信念も高く安心・安全・安定した給水が行われており、日々感謝しております。日本の水道水は世界一と言われるが、島本町は名水百選に選ばれる位、素晴らしい水源を持っているので 保全などにも気をつけて環境保護にも住民一同気をつけないといけないとポスターなど水道のお知らせメーター検針などの紙にも もっとアピールすべきであると思います。島本町のウリは水が一番なのですから！水道のメーターが指す表示が例月に比べて少ないときにも、役場に連絡して安否確認して頂けるサービスがあれば、安心できると思います。
● あまり普段身近なものではないため、事業について考える機会が少ないです。昨年、地元に戻った際（愛知県）”下水道科学館あいち”という施設へ子供（6 歳・3 歳）を連れて見学に行きました。 分かりやすく、楽しく下水道のしくみが見られるので、幼い子供でも、水道の水はこうやってできるんだ～！！と知ることができました。 （家の模型があり、床がスケルトンで、水道管が見え、水の流れ→再生まで見れる仕組みです）子供が楽しそうだったので、そんな体験ができる場所があると良いな～と思います。 （もう既にあるのならすみません）
● 水質の良さにひかれて島本町への転居を決めたと言っても過言ではありません。 今計画されている島本駅付近の開発で水脈が変わり水質が低下しないか心配です。 以前高槻市に住んでいた頃、水滴のあとに石灰質のような輪ジミが白くこびりつき困りました。島本ではそのようなことはなく、今の水質に満足しています。 いつも良い水をありがとうございます。 これからもどうぞよろしくお願い致します。
● 島本町は、美味しい地下水を水道水に使用している事をもっとアピールして欲しいです。
● 事業にかかわる皆様にいつも感謝しています。 老朽化している水道管が増えているのでは～？と思います。 少しずつでも改善して欲しいです
● ・地下水 100%の水道に戻してほしい。（災害など緊急の時の複数水源は確保して） ・「水道事業」を民営化することには反対です。生活にとってかせない水道を営利目的の民間に任せることに大きな不安があります。

● 毎月のメーター検針時、フタの開閉が荒く大きな音で蓋がこわれるのではないかと、何時も心配している（大きな音は遠くからでも聞こえる）
● 業務効率化のため、使用した水道量の検針は、2ヶ月に1回に変更すべき これまで住んでいた自治体（4ヵ所以上）ではすべて2ヶ月に1回の検針だった。
● 大規模集合住宅（マンション）などが増えてきており島本町の「おいしい水」（地下水）が今後不足して需要と供給のバランスが崩れて、茨木市のような「おいしくない水」になるのではないかと心配です。 （他市の水道水を飲んで、島本町の水道水の美味しさを実感しました。） 島本町の水道水は美味しいが、30数年前はもっと美味しかった。 蛇口を捻れば「ミネラルウォーター」で感激した記憶がある。 今後とも「おいしい水」の安定供給をよろしくお願いします。
● 今後、様々な改修が必要かと思うが、水道料金の値上げではなく、町の財源で賄うことは困難なのでしょうか。
● 以前はペットボトル6本入（2年保証）を買って確保していましたが 今はペットボトルに水道水を入れて一週間ほどしてお花に水をあげて又水道水を入れておく様にしているのですが 水道水は何日ぐらい有効なのでしょう？教えて頂けるとありがたいです
● 下水を朝、早い時間とか夜中に流されるとチョロチョロでて音が耳ざわりです。その家は外見は下水管に流しているように見えますが、実際は〇〇〇に穴あけて外に流されています。町で下水工事されていても何の役にもなっていないと思えます。
● 災害等に対する備えをくれぐれもよろしくお願いします。
● 昔、当町の水道水はすべて地下水でしたが、現在そうでなくなったのが残念です。名水百選にも入っている本町のおいしい水を再び全世帯に供給すればきっと全国にPRできると思いますよ。そして「水道民営化」という声も若干耳にしますが、水道は生きるために絶対必要な社会資源です。経営の効率化は必要な事ですが、民営化は絶対してほしくないです。です。ですからこれからも町民のためこれからも安全安心な水道のためにがんばってください。応援しております。
● 島本町は地下資源でありますので もっとよりよい水を供給していただきたいです。 地下水をたいせつにお願いします。 工業用水に使用するのは？です。
● 島本町の水は美味しいと長年安心して頂いてきました。 水道水が混ざってからも臭いも少なく他府県に比べて安心しています。が・・・これから先どれだけ今の状態を維持できるのかを考えると不安もあります。 上水道と下水道の水源が分かれることが理想ですね。
● 水道料金も少しでも安くして頂いて住み良い島本町の運営を希望します。
● 島本町の水道水は昔は本当に美味しかった。 しかし河川水混合になって少し不味くなってきたように思う。 現在の水質を確保するため これ以上の河川水混合を増やさず、現状を維持してほしい。
● 。蛇口から出る水をそのまま飲む、浄水器不要の水質に努めて欲しい（大阪市内の友人宅は、ほぼ浄水器を設置している） 。ライフラインの老朽化を新聞・テレビでよく報道されるようになりました。島本町も同様に老朽化しつつあると思うので、対策はしてほしい。
● 島本町の水は非常においしいと思うので、今後も安全でおいしい水の確保（出来れば地下水100%）をお願いしたい。
● 情報開示の徹底が、事業に対する理解、信頼につながると考えます。

● 島本町に住宅購入を決めた理由の1つが「水道の水質の良さ」でした。 最近では塩素でしょうか・・・薬品の味がしてしまい浄水器を通さないと口に含むのをためらってしまいましたが浄水器を通せばとても美味しく感じています。 水質や設備の安全のためにいくらかでも負担増を受け入れられる状況では残念ながらありませんが「しまもとのおいしい水」を守り続けて頂きたいと切に希望しています。 2018年の大きな地震の時も島本が独立した水源を持っていたお陰で断水にはならず本当に感謝しました。 これからもがんばってください。よろしくお願い致します。
● ・どのような計画を策定し、事業全般を推進しているのかを、よく見える様に努めて下さい。 ・昨今、老朽化施設の破損等を見受けられますが・・・。対応に対する計画の推進へ ・40年以上経過している管の設置替えには、相応の予算が必要となりますが、少しでも老朽管を継続し使用可能な方策の検討も必要ではと考えますが・・・
● ・町の水道料金はなぜ高いのか？（市と比べて） ・前に府から水を買ったので料金が上がったと聞いた事があるが、府から買う必要はあるのか？ ・料金の根拠が見える化できれば、料金が高くても町民の理解は得られるのではないかと（高くても理解はされるのでは？） ・島本町の水は他の自治体と比べて石灰成分が多い ・他の地域・自治体と比べての特徴等があれば教えて欲しい。
● 料金の支払い方法の充実を希望します。 よろしくお願い致します。
● 今回「島本町水道事業ビジョン」策定のためのアンケート調査を受け取り、初めて現行の島本町水道事業ビジョンにざっと目を通しましたが、現在何を考えなければいけないのかよく見えませんでした。キーワードは、「今後の適正な施設規模と維持管理」「老朽化施設更新と耐震化」でしょうか。約15億円あった自己資金が平成33年度末には約8億円となる見込み。今後は資金残高に余裕が無くなった時は、企業債借入等の対策も念頭に置いた経営が必要になります。→要は「老朽化施設更新と耐震化」のために借金が必要で、今までのような運営は行えないということでしょうか。住民が水道事業を理解するためには、もっと具体的な資料と説明会が必要です。例えば、水道管を更新するには1キロメートル当たりいくら必要か（別資料では約1億5000万円／km）、島本町の上水道管は全部で何kmか。マンションのメンテナンス工事でももっと丁寧な説明会が行われます。そういう具体的な知識なくては、「今後の適正な施設規模」は判断できません。“いつでもどこでも安全でおいしい水を低廉に供給する”として、居住区域をどんどん拡張してそれに対応して水道施設を拡張していけば、ここ数年は良いかもしれませんが、将来の更新時期に予算がパンクするのは目に見えています。いえ、10年前から今の危機は予測できたはずですが。今後、借入金が増え町独自では無理となって、広域化・大阪広域水道企業への統合を選択せざるを得なくなることも考えられます。その時になってから、住民に町独自か広域化かを問うても意味がない。「島本の美味しい水」を求める多くの住民の願いを裏切ることになります。「水道の理想像」という抽象的なもので終わらせるのではなく、現実の課題と資料を住民にわかりやすく説明する説明会をぜひ早急に持ってください。 *アンケートの問17、18、19、23、24、18、29、は、与えられた情報によって大きく回答が変わってきます。・問17、水道料金が安い・高いか…他と比較して考えるべきものではない。どのように運営され、その必要経費はいくらかを知って初めて判断できる。何の商品でもそうですが、ものを購入するときは値段だけを見るのではなく、それがどこでどのように作られているかの情報こそが大切。賢い消費者を育てることこそが大切。・問24、経費の負担…具体的な整備とその経費についての資料なくして判断できない。 *防災については、各地の被害で分かるように、「命の水」を水道だけに頼るのは対策として脆弱です。早急に「井戸」を確保すべきです。家庭用井戸を含め、緊急時に使える井戸がどれくらいあるか把握できていますか。

● 若山台住宅では、団地が設備を保有して管理している。 しかし、老齢化により設備の正常な維持が困難になってきている。 同じ住民に対し、区別せず、今後の対応検討を望みます。
● ・地下水 100%にもどす→ブレンドにして販売する。 ・水道料金は基本料一律 それ以上の使用量は所得の多少によって決める。 ・大森浄水場は、よく工事をしているが、<u>何の工事</u>をしているのかよく分からない→説明の掲示 (あるのはあるが、よくわからない) をするとか、広報で知らせるとか。 ・封筒の表にある印 (左側下方) は何か (不審をいだく) 差出人が特定できるのではないのか
● 水道事業条例で手数料は、承認のとき納付しなければならないとありますが、もし、承認されなかった場合は手数料不要となるのですか？ ”承認しない”判断も承認と同様の”手数料”がかかっていると思うのですが。
● 私の子どもの頃のお水は、とてもおいしかった 今も、おいしいのですが、昔の方がおいしい。 大阪市内から遊びに来た人がうちで水道のお水を飲むと、すごくおいしいと大喜びです。 ペットボトルに入れて持って帰るほどです。 その時私は、水道水がそのまま飲める町に住んで、ほこらしく思いました。 水無瀬神宮の無料でくむことのできるお水の料金は、水無瀬神社さんが払ってらっしゃるのか、ギモンです。タンクに2つ3つ持って帰ってる人を見たことがあります。どこかのお店の人？って感じでした。 まあ-よけいな心配なんですが・・・ これからもずっと、おいしい、自慢のできる、お水であってほしいです。 よろしくお願いします。 遅くなってすみません
● 1. 水道料金がクレジット払も可能になればよい。2. 転居して、1年も過ぎていないが、島本町の水道事業のとりくみ等、アンケート調査が有効にすすんでいけばよいと思う。3. 島本の水は、昔は、もっとおいしかったとよく聞きますが、なぜなのでしょう。今は少しおちるのですか。なぜですか。ちなみに転居前からペットボトルの水の利用をしている事と、集合住宅に浄水器が設置してあり、カートリッジを交換して利用しています。もっと以前？のように、おいしくなり、安全と、自分が納得できれば水道水をそのまま飲むようになるでしょう。4. 調査票が届いた事で、水道事業に関する意識が深まりました。ありがとうございます。
● 地下水の利用率を高くしておいしい 又夏冷たい水 冬暖かい水の水道を望んでいます。
● JR 島本駅西側開発が進み、マンション建設も進んで行き人口も増えるに従って水道水不足もおこって来ると思われます。 この地に転入してきた 46～47 年前は島本町だけで水道水源を 100%確保していて大変おいしい水でした。 今では 50%は淀川の水を取り入れていると聞きます。今の水道水は、まずくはありませんが、これ以上淀川の水を取り入れないよう、新しい水源を開発するのは無理と思われるので節水を押し進めていただきたいと思います。
● 料金支払いの金融機関の数をもっと増やしてほしい。 毎回コンビニに支払いに行くため、大変不便です。 口座だけではなく、カード払い等も取り入れるべき！！

● ☆水道事業におきましては、いつもお世話になり、感謝申し上げます☆ 蛇口をひねれば、出て当たり前の水。 いつも安心して、飲むことができる水道があることは、本当にありがたいことです。 ・島本町の水道、下水道がどのように運営されているか、もっと知りたいです。（勉強したいです） このアンケートを受けるまで、真剣に考えたことがありませんでした。 町民が、島本町の水道、下水道について学習する環境があれば、教えてほしいです。 ・島本町の水（水道）が、どのように作られているか知りたいです。 浄水場見学など、できるのでしょうか？ ・島本町の下水は、どこで、どのように処理されているか知りたいです。 ・島本町のホームページによると、更新事業において、管路しか掲載されていませんが、浄水場や配水池などの設備に関する計画が、どのようになっているか知りたいです。 ・調査の依頼文に、水道事業のビジョン策定に向けて、とありますが、改正ではなく策定ですか？ いままでは、ビジョンがなかったのですか？ これまでは、どのような運営だったのか知りたいです。 ・水道ビジョン策定後のアセットマネジメントについて、いつ作成され、公表されますか？ ・問 23 において、水道事業の経営に関して重要であろうことの選択肢に複数水源の確保とありますが、そのような計画があるのか知りたいです。 ・水源において、熊本県の多くが、地下水を頼りにした運用（浄水設備）で、先般の熊本地震により、困っていると耳にしたことがあります。 もし島本町に地震がおこり、水脈が変わったり、濁ったりした場合、どのように対応するか、どのような体制が組まれているか、島本町水道事業のBCPについて、知りたいです。 ・島本町の水道事業にかかる公民連携（PPP／PFI 事業）への展開について、どのような施策があるか、知りたいです。 ・島本町の水源は、ほとんど地下水であると聞いたことがあるが、本当ですか？ もしそうなら、導水管や浄水施設の設備維持管理費用は、他の自治体の水道より経費は、小さく思われ、もっと水道料金が安くなるのでは？と思います。 ・いまの水道料金、これからの水道料金の設定の根拠をもっとわかりやすく公開してほしいです。 以上、よろしくお願いいたします。
● 上水道には満足していますが、我が家の地区（桜井 5 丁目、向陽が丘）に下水道が整備されていないことは不満に感じています。 浄化槽のメンテナンス費用は掛かる上に、夏場は庭に臭いがただよう事もあり、生活する上で直接的に影響が有ります。 なぜこの地区で下水道が整備出来ないのか説明して頂きたいと思いますし、出来ないならばせめて浄化槽のメンテナンス費用に補助を出して頂きたいと考えています
● 浄水器を利用しなくても飲める水を提供して欲しい。
● 口座引落とし、又はクレジット払いなどの支払い方法の手続きを、もっと簡単にしたい。
● 雨が降っている時、天気の悪い日等溝からドブ臭い匂いがするのでなんとかして欲しい。 全戸が下水道になるのでしょうか？
● 水は生活上不可欠のものでありますから、毎日信用出来る水を必要量供給していただけることは良い事だと思います。 感謝してもよいと思います。

Ⅲ アンケート調査票

しまもとちょうすいどうじぎょう さくてい
「島本町水道事業ビジョン」策定のための
ちょうさ きょうりょく ねが
アンケート調査（ご協力のお願い）



しまもとちょうすい
島本町公式マスコットキャラクター
「みづまるくん」

みな ひごろ ちょうせい りかい きょうりょく
皆さまには、日頃より町政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
ほんちょうすいどうじぎょう いま ねんご ねんご しょうらい みす すいどう りそうぞう めいじ
本町水道事業では、今から50年後、100年後の将来を見据え、水道の理想像を明示
するとともに、その理想像を具現化するため、今後、当面の間に取り組むべき事項、方策
を定める「島本町水道事業ビジョン」の策定に向けた取組を進めているところです。
こんばん すいどうじぎょう さくてい き そりょう やくだ すいどう
今般、水道事業ビジョンの策定にあたり、基礎資料として役立てるため、水道について
のアンケート調査を実施します。
ちょうさ しゅし りかい きょうりょく ねが もう あ
調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

れいわ ねん がつ しまもとちょうすいどうじぎょう
令和2年1月 島本町水道事業

ちょうさひょう きにゅう
調査票のご記入にあたって

- 1 この調査は、令和元年12月末日現在で、一般用途(大沢地区特設水道を除く口径20
ミリ以下)で水道をお使いの皆さまの中から無作為に抽出した2,000人を対象に
調査票をお送りしています。
- 2 調査には無記名でお答えいただき、回答はすべて統計的に処理しますので、個人が特定
されることはありません。また、回答結果は調査目的以外に使用することはありません。
- 3 ご本人(封筒の宛名に記載された方)がお答えください。ご本人の記入が難しい場合
は、ご家族などが、本人のお考えを聞いてかわりに記入してください。
- 4 回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、文章などを記入いただく場合が
あります。注意書きに従ってご回答ください。
- 5 ご記入いただいた調査票は、2月10日(月)までに同封の「返信用封筒」に
入れ、切手を貼らずに投かんしてください。(調査票及び返信用封筒には、氏名や住所
は記入しないでください。)

ちょうさ かん といあわ さき
【アンケート調査に関する問合せ先】

しまもとちょうじょうげすいどうぶ こうむか
島本町上下水道部 工務課

☎ : 075-962-6308

ファックス : 075-962-6307

アンケート調査票



1 あなた自身のことについて

問1 あなたの性別を教えてください。(どちらかに○)

1 男性

2 女性

問2 あなたの年齢(令和元年12月31日時点)を教えてください。(ひとつだけに○)

1 20歳未満

2 20～29歳

3 30～39歳

4 40～49歳

5 50～59歳

6 60～64歳

7 65～74歳

8 75歳以上

問3 あなたが水道を使用している地区を教えてください。(ひとつだけに○)

1 尺代

2 若山台

3 東大寺

4 山崎

5 広瀬

6 百山

7 桜井、桜井台

8 青葉

9 水無瀬

10 江川

11 高浜

問4 あなたのお家で水道を使用されている人数を教えてください。(ひとつだけに○)

1 1人

2 2人

3 3人

4 4人

5 5人

6 6人

7 7人以上

問5 あなたのお家の住宅形式を教えてください。(ひとつだけに○)

1 戸建て

2 集合

問6 あなたの島本町に在住しているおおよその年数を教えてください。

おおよそ() 年 在住

2 水道水の安全性とおいしさについて

問7 あなたは水道水の安全性についてどのように感じていますか。(ひとつだけに○)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------------|
| 1 安心 <small>あんしん</small> している | 2 どちらかといえば安心 <small>あんしん</small> している |
| 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえば不安 <small>ふあん</small> である |
| 5 不安 <small>ふあん</small> である | |

問8 問7で「4 どちらかといえば不安ふあんである」、「5 不安ふあんである」と答えた方におたずねします。あなたが水道水に「不安」を感じる理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1 地下水等 <small>ちかすいとう</small> の水源水質 <small>すいげんすいしつ</small> の汚染 <small>おせん</small> | 2 水道管 <small>すいどうかん</small> のさびや汚 <small>よご</small> れ |
| 3 受水槽 <small>じゅすいそう</small> の汚 <small>よご</small> れ | 4 塩素 <small>えんそ</small> などの薬品 <small>やくひん</small> の使用 <small>しよう</small> |
| 5 その他() | |

問9 あなたは水道水の味についてどのように感じていますか。(ひとつだけに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 おいしい | 2 まあまあおいしい |
| 3 なんともいえない | 4 あまりおいしくない |
| 5 おいしくない | |

問10 問9で「4 あまりおいしくない」、「5 おいしくない」と答えた方におたずねします。あなたが水道水を「おいしくない」と感じる理由は何ですか。(ひとつだけに○)

- | | |
|--|---------------------------|
| 1 塩素 <small>えんそ</small> (カルキ)臭 <small>くさ</small> い | 2 カビ臭 <small>くさ</small> い |
| 3 生 <small>なま</small> ぐさい | 4 生 <small>なま</small> ぬるい |
| 5 その他() | |



3 水道水の利用状況について

問11 あなたの家庭では普段、水をどのようにして飲んでいますか。

(あてはまるすべてに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 水道水をそのまま飲む | 2 水道水を沸騰させてから飲む |
| 3 浄水器を通して飲む | 4 ミネラルウォーターを飲む |
| 5 宅配水を飲む | 6 水は飲まない |
| 7 その他 () | |

問12 あなたの家庭では浄水器を使用していますか。(ひとつだけに○)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 現在使用している | 2 以前に使用したことがある |
| 3 今後使用を考えている | 4 今後も使用を考えていない |

問13 現在使用している洗濯機の設置時期と型式と風呂水の再利用率を教えてください。

(ひとつだけに○)

【設置時期】

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1 5年以内 | 2 6～10年以内 | 3 11～15年以内 |
| 4 16～20年以内 | 5 21～40年以内 | 6 40年以上 |
| 7 設置していない | 8 わからない | |

【型式】

- | | | |
|------------|--------------|-------|
| 1 全自動のドラム式 | 2 全自動のドラム式以外 | 3 二槽式 |
| 4 その他 () | | |

【風呂水の再利用率】

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1 0% | 2 25%程度 | 3 50%程度 | 4 75%程度 |
| 5 100% | | | |

問14 現在使用している水洗トイレの設置時期とウォシュレットの有無を教えてください。

(ひとつだけに○)

【設置時期】

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1 5年以内 | 2 6～10年以内 | 3 11～15年以内 |
| 4 16～20年以内 | 5 21～40年以内 | 6 40年以上 |
| 7 設置していない | 8 わからない | |

【ウォシュレットの有無】

- | | |
|------|------|
| 1 あり | 2 なし |
|------|------|

問15 あなたの節水意識について教えてください。(ひとつだけに○)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1 強く節水を意識している | 2 どちらかといえば節水を意識している |
| 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえば節水を意識していない |
| 5 全く節水を意識していない | |

問16 問15で「1 強く節水を意識している」または「2 どちらかといえば節水を意識している」と答えた方におたずねします。その理由は何ですか。

(ひとつだけに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 水道料金の節約のため | 2 節水のPRがされているから |
| 3 環境を考えて節水を心がけている | 4 給水制限や断水になると困るから |
| 5 その他 () | |



4 水道料金について

(参考) 島本町と島本町を含む府内市町村及び府内市町村の1カ月に20m³使用した場合の平均水道料金は、次のとおりです。

水道料金 (令和元年10月1日現在・税込み)

島本町	2,926円
府内市町村平均	2,902円
府内市町村平均	3,487円

問17 あなたは水道料金についてどのように思っていますか。(ひとつだけに○)

- | | |
|--------|---------------|
| 1 やすい | 2 どちらかといえばやすい |
| 3 概ね妥当 | 4 どちらかといえば高い |
| 5 高い | 6 わからない |

問18 あなたはどのような理由で問17に答えましたか。(あてはまるすべてに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 電気・ガス・電話料金と比較して | 2 ペットボトル水の価格と比較して |
| 3 家計に占める水道料金の割合から | 4 他自治体の水道料金と比較して |
| 5 その他 () | |

問19 島本町では、使用量が増えるほど料金単価が上がる料金体系になっており、工場など大量に水を使うところでは料金単価が高くなっています。このことについて、あなたはどのように思いますか。(ひとつだけに○)

- | |
|------------------------|
| 1 今のままでよい |
| 2 料金単価は使用量が増えても一律がよい |
| 3 料金単価は使用量が増えたと下がる方がよい |
| 4 わからない |

5 お客さまサービスについて

問20 この1、2年の間に上下水道部職員や検針員、水道事業が委託している業者について、ご自宅や窓口、電話等での対応はどうでしたか。(ひとつだけに○)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 満足できる対応だった | 2 普通 |
| 3 不満を感じる対応だった | 4 接する機会がなかった |

問21 問20で「3 不満を感じる対応だった」と答えた方におたずねします。あなたが不満を感じたのはどのような用件の時でしたか。(あてはまるすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 水道の開閉栓などの申し込み | 2 水道料金に関する問合せ |
| 3 家庭の給水工事に関する問合せ | 4 水道事業の発注工事に関する問合せ |
| 5 メーター検針のとき | 6 メーター取替えのとき |
| 7 水質に関する問合せ | |
| 8 その他 () | |

問22 問20で「3 不満を感じる対応だった」と答えた方におたずねします。どのような点に不満を感じましたか。(ひとつだけに○)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 対応が遅かった | 2 説明がよくわからなかった |
| 3 言葉づかいや態度が悪かった | 4 たらい回しにされた |
| 5 その他 () | |



6 今後の水道事業の経営と災害対策について

問23 あなたが今後の水道事業で特に重要と思うことは何ですか。(3 つまでに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 安全で安定した水道水の供給 | 2 よりおいしい水道水の供給 |
| 3 地震等の災害に強い水道施設の整備 | 4 水害による施設の水没 |
| 5 停電による給水停止 | 6 複数水源の確保 |
| 7 水源水質の保全 | 8 低料金による水道水の供給 |
| 9 経営の効率化 | 10 情報提供の充実 |
| 11 お客さまサービスの向上 | 12 環境に配慮した水道施設づくり |
| 13 その他() | |

問24 現在、上下水道部では、経費削減等の経営努力を行いながら、安全でおいしい水道水の供給や災害に強い水道施設の整備を進めています。あなたは整備に必要な経費の負担についてどう思いますか。

(ひとつだけに○)

- 必要となる整備のためには少しくらい料金が高くなってもしかたがない
- より安心な整備のためには料金が高くなってもよい
- 整備を少し控えても料金は今のままがよい
- 整備を控えてでも料金を安くする方がよい
- わからない

問25 あなたの家庭では日頃から大規模な災害時(風水害、地震など)に備えて「飲料水」を確保していますか。また、どのような容器で確保していますか。

(ひとつだけに○)

- ペットボトルで確保している
- タンクで確保している
- 確保していない
- その他()

問26 問25で「確保している」と答えた方におたずねします。ひとりあたり、どれくらいの水を確保していますか。(ひとつだけに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 3リットル未満 | 2 3～5リットル程度 |
| 3 6～8リットル程度 | 4 9リットル以上 |



7 情報の提供について

問27 水道事業の情報などをお知らせするもので、あなたが普段読んだり、見たりするものはありますか。(あてはまるすべてに○)

- 1 町広報紙「広報しまもと」
- 2 町ホームページ
- 3 検針時に配布する「ご使用水量等のお知らせ」
- 4 その他 ()

問28 あなたが、今後、水道事業について知りたいと思うことは何ですか。(3つまでに○)

- | | |
|------------|---------------|
| 1 複数水源のこと | 2 水質のこと |
| 3 水道施設のこと | 4 料金のこと |
| 5 経営のこと | 6 地震等の災害対策のこと |
| 7 老朽化対策のこと | 8 停電対策のこと |
| 8 その他 () | |

8 そうごうひょうか 総合評価について

問29 とい ここまで、すいげん 水源、すいしつ 水質、りょうきん 料金、きやく お客さまサービスなどについておたずねしてきましたが、しまとちやう 島本町のすいどうじぎやう 水道事業をそうごうてき 総合的にみて、おち あなたはどう思いますか。
(ひとつだけに○)

1 まんぞく
満足

2 い まんぞく
どちらかと言えば満足

3 い
どちらとも言えない

4 い ふまん
どちらかと言えば不満

5 ふまん
不満



じゅうかいどう
9 自由回答について

とい 30 すいどうじぎょう たい いけん ようぼう じゅう か
問30 水道事業に対するご意見、ご要望など、ご自由にお書きください。

Handwriting practice area with horizontal dashed lines.



「島本町水道事業ビジョン」策定のためのアンケート調査一覧表

属性	問	質 問 事 項
1 あなた自身のことについて	問 1	あなたの性別を教えてください。(単数回答)
	問 2	あなたの年齢(令和元年12月31日時点)を教えてください。(単数回答)
	問 3	あなたが水道を使用している地区を教えてください。(単数回答)
	問 4	あなたのお宅で水道を使用されている人数を教えてください。(単数回答)
	問 5	あなたのお宅の住宅形式を教えてください。(単数回答)
	問 6	あなたの島本町に在住しているおおよその年数を教えてください。
2 水道水の安全性とおいしさについて	問 7	あなたは水道水の安全性についてどのように感じていますか。(単数回答)
	問 8	問 7 で「4 どちらかと言えば不安である」、「5 不安である」と答えた方におたずねします。あなたが水道水に「不安」を感じる理由は何ですか。(複数回答)
	問 9	あなたは水道水の味についてどのように感じていますか。(単数回答)
	問 10	問 9 で「4 あまりおいしくない」、「5 おいしくない」と答えた方におたずねします。あなたが水道水を「おいしくない」と感じる理由は何ですか。(単数回答)
3 水道水の利用状況について	問 11	あなたの家庭では普段、水をどのようにして飲んでいますか。(複数回答)
	問 12	あなたの家庭では浄水器を使用していますか。(単数回答)
	問 13	現在使用している洗濯機の設置時期と型式と風呂水の再利用率を教えてください。(単数回答)
	問 14	現在使用している水洗トイレの設置時期とウォシュレットの有無を教えてください。(単数回答)
	問 15	あなたの節水意識について教えてください。(単数回答)
	問 16	問 15 で「1 強く節水を意識している」または「2 どちらかといえば節水を意識している」と答えた方におたずねします。その理由は何ですか。(単数回答)
4 水道料金について	問 17	あなたは水道料金についてどのように思っていますか。(単数回答)
	問 18	あなたはどのような理由で問 17 に答えましたか。(複数回答)
	問 19	島本町では、使用量が増えるほど料金単価が上がる料金体系になっており、工場など大量に水を使うところでは料金単価が高くなっています。このことについて、あなたはどのように思いますか。(単数回答)

属性	問	質 問 事 項
5 お客さまサービスについて	問 20	この1、2年の間に上下水道部職員や検針員、水道事業が委託している業者について、ご自宅や窓口、電話等での対応はどうでしたか。(単数回答)
	問 21	問 20で「3 不満を感じる対応だった」と答えた方におたずねします。あなたが不満を感じたのはどのような用件の時でしたか。(複数回答)
	問 22	問 20で「3 不満を感じる対応だった」と答えた方におたずねします。どのような点に不満を感じましたか。(単数回答)
6 今後の水道事業の経営と災害対策について	問 23	あなたが今後の水道事業で特に重要と思うことは何ですか。(複数回答)
	問 24	現在、上下水道部では、経費削減等の経営努力を行いながら、安全でおいしい水道水の供給や災害に強い水道施設の整備を進めています。あなたは整備に必要な経費の負担についてどう思いますか。(単数回答)
	問 25	あなたの家庭では日頃から大規模な災害時(風水害、地震など)に備えて「飲料水」を確保していますか。また、どのような容器で確保していますか。(単数回答)
	問 26	問 25で「確保している」と答えた方におたずねします。ひとりあたり、どれくらいの量の水を確保していますか。(単数回答)
7 情報の提供について	問 27	水道事業の情報などをお知らせするもので、あなたが普段読んだり、見たりするものはありますか。(複数回答)
	問 28	あなたが、今後、水道事業について知りたいと思うことは何ですか。(複数回答)
8 総合評価について	問 29	ここまで、水源、水質、料金、お客さまサービスなどについておたずねしてきましたが、島本町の水道事業を総合的にみて、あなたはどう思いますか。(単数回答)
9 自由回答について	問 30	水道事業に対するご意見、ご要望など、ご自由にお書きください。



～ 『 いきいき・ふれあい・やさしい島本 』
を支える水道 ～

島本町上下水道部

〒618-0011 大阪府三島郡島本町広瀬三丁目 11 番 24 号
TEL 業務課：(075) 962-6306 工務課：(075) 962-6308
FAX (075) 962-6307